

平成21年4月27日

杏林大学外国語学部観光交流文化学科設置届出書

学校法人 杏林学園

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	学部の学科の設置							
フリガナ設置者	カヨリン大学 杏林学園 学校法人 杏林学園							
フリガナ大学の名称	カヨリン大学 杏林大学 (Kyorin University)							
大学本部の位置	東京都三鷹市新川六丁目20番2号							
大学の目的	本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。							
新設学部等の目的	観光交流文化学科は、観光産業の現場における有益な人材を輩出するため、十分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習し、実践的に応用できる人材を養成することを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	外国語学部 (Faculty of Foreign Studies) 観光交流文化学科 (Department of Hospitality and Tourism) 計	4年	70人	3年次 3人	286人	学士(観光交流文化学)	平成22年4月 第1年次 平成24年4月 第3年次	東京都八王子市宮下町 476番地
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	外国語学部 応用コミュニケーション学科 [定員減] (△70) 応用コミュニケーション学科(3年次編入学定員) [定員減] (△3)							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
	外国語学部観光交流文化学科	講義	演習	実験・実習	計	124単位		
		120科目	127科目	2科目	249科目			

教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称	専任教員等					兼任 教員	
		教授	准教授	講師	助教	計		
新 設 分	外国語学部	6	2	1	0	9	0	7
	観光交流文化学科	(8)	(2)	(1)	(0)	(11)	(0)	(7)
	計	6	2	1	0	9	0	7
		(8)	(2)	(1)	(0)	(11)	(0)	(7)
既 設	医学部	57	52	46	142	297	0	190
	医学科	(57)	(52)	(46)	(142)	(297)	(0)	(190)
既 設	保健学部	10	5	9	9	33	0	3
	臨床検査技術学科	(10)	(5)	(9)	(9)	(33)	(0)	(3)
既 設	保健学部	6	5	5	6	22	0	3
	健康福祉学科	(6)	(5)	(5)	(6)	(22)	(0)	(3)
既 設	保健学部	6	8	5	14	33	0	11
	看護学科	(6)	(8)	(5)	(14)	(33)	(0)	(11)
既 設	保健学部	4	4	1	4	13	0	1
	臨床工学科	(4)	(4)	(1)	(4)	(13)	(0)	(1)
既 設	保健学部	5	0	1	8	14	0	6
	救急救命学科	(5)	(0)	(1)	(8)	(14)	(0)	(6)
既 設	保健学部	4	2	1	3	10	0	0
	理学療法学科	(4)	(2)	(1)	(3)	(10)	(0)	(0)
既 設	総合政策学部	11	7	1	0	19	0	24
	総合政策学科	(11)	(7)	(1)	(0)	(19)	(0)	(24)
既 設	総合政策学部	6	4	1	0	11	0	8
	企業経営学科	(6)	(4)	(1)	(0)	(11)	(0)	(8)
既 設	外国語学部	2	3	1	2	8	0	39
	英語学科	(4)	(3)	(1)	(2)	(10)	(0)	(39)
既 設	外国語学部	5	0	5	0	10	0	33
	中国語・日本語学科	(8)	(0)	(5)	(0)	(13)	(0)	(33)
既 設	外国語学部	4	1	1	0	6	0	16
	応用コミュニケーション学科	(5)	(1)	(1)	(0)	(7)	(0)	(16)
	計	116	89	76	185	466	0	334
		(122)	(89)	(76)	(185)	(472)	(0)	(334)
	合 計	122	91	77	185	475	0	341
		(130)	(91)	(77)	(185)	(483)	(0)	(341)
教員以外の職員の概要	職 種	専 任		兼 任		計		八王子 キャンパスのみ
	事 務 職 員	49 (49)		23 (23)		72 (72)		
	技 術 職 員	0 (0)		2 (2)		2 (2)		
	図 書 館 専 門 職 員	12 (12)		3 (3)		15 (15)		
	そ の 他 の 職 員	1 (1)		0 (0)		1 (1)		
	計	62 (62)		28 (28)		90 (90)		

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	136,727.16㎡	— ㎡	— ㎡	136,727.16㎡				
	運動場用地	14,570.00㎡	— ㎡	— ㎡	14,570.00㎡				
	小 計	151,297.16㎡	— ㎡	— ㎡	151,297.16㎡				
	そ の 他	34,950.65㎡	— ㎡	— ㎡	34,950.65㎡				
合 計	186,247.81㎡	— ㎡	— ㎡	186,247.81㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		74,221.81㎡ (74,221.81㎡)	— ㎡ (— ㎡)	— ㎡ (— ㎡)	74,221.81㎡ (74,221.81㎡)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	90室	105室	35室	9室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)				
専任教員研究室		新設学部等の名称 観光交流文化学科		室 数 9 室		大学全体			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	観光交流文化学科	169,552 (55,418) (169,552 (55,418))	1,608 [669] (1,608 [669])	1,271 [1,224] (1,271 [1,224])	8,592 (8,592)	41,560 (41,560)	526 (526)		
	計	169,552 [55,418] (169,552 [55,418])	1,608 [669] (1,608 [669])	1,271 [1,224] (1,271 [1,224])	8,592 (8,592)	41,560 (41,560)	526 (526)		
図書館		面積		閲覧座席数	収納可能冊数				
		5,342.13㎡		681	439,225				
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		12,894.53㎡		野球場一面 テニスコート8面 弓道場1 アーチアリー練習場1					
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費の中には、電子 ジャーナル・ データベース の費用として年 次ごとに250 万円を計上して いる。
	教員1人当り研究費等		653千円	653千円	653千円	653千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等		0千円	0千円	0千円	0千円	— 千円	— 千円	
	図書購入費	9,467千円	9,501千円	9,626千円	9,757千円	9,895千円	— 千円	— 千円	
	設備購入費	68,882千円	18,340千円	18,646千円	18,958千円	19,276千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,173千円	920千円	920千円	920千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。							

大学等の名称	杏林大学								
	学部等の名称	修業年限 年	入学定員 人	編入学定員 年次 人	収容定員 人	学位又は称号	定員超過率 倍	開設年度	所在地
既設大学等の状況	医学部								
	医学科	6	105	—	555	学士 (医学)	1.00	S45年度	東京都三鷹市新川 6丁目20番2号
	保健学部								
	臨床検査技術学科	4	80	2年次 6 3年次 4	336	学士 (保健衛生学)	1.22	S54年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	健康福祉学科	4	40	2年次 6 3年次 4	206	学士 (保健衛生学)	1.27	S54年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	看護学科	4	100	2年次 2 3年次 8	372	学士 (看護学)	1.14	H6年度	東京都三鷹市新川 6丁目20番2号
	臨床工学科	4	40	—	160	学士 (臨床工学)	1.27	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	救急救命学科	4	40	3年次 5	125	学士 (救急救命学)	1.21	H19年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	理学療法学科	4	40	—	40	学士 (理学療法学)	1.22	H21年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	総合政策学部								
	総合政策学科	4	170	3年次10	750	学士 (総合政策学)	1.23	H14年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	企業経営学科	4	100	3年次 5	485	学士 (企業経営学)	1.07	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	外国語学部								
	英語学科	4	110	3年次 5	460	学士 (文学)	1.10	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	中国語・日本語学科	4	40	3年次13	273	学士 (文学)	0.71	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	応用コミュニケーション学科	4	110	3年次 5	465	学士 (文学)	1.03	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地
附属施設の概要	該当なし								

様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要														
(外国語学部観光交流文化学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手
専門外国語科目	英語Ⅰ-1	1前	1				○							兼3
	英語Ⅰ-2	1後	1				○							兼3
	英語Ⅱ-1	1前	1				○							兼3
	英語Ⅱ-2	1後	1				○							兼3
	英語Ⅲ-1	2前	1				○							兼3
	英語Ⅲ-2	2後	1				○							兼3
	英語Ⅳ-1	2前	1				○		1					兼2
	英語Ⅳ-2	2後	1				○		1					兼2
	中国語Ⅰ-1	1前	1				○							兼3
	中国語Ⅰ-2	1後	1				○							兼3
	中国語Ⅱ-1	1前	1				○							兼3
	中国語Ⅱ-2	1後	1				○							兼3
	中国語Ⅲ-1	2前	1				○							兼3
	中国語Ⅲ-2	2後	1				○							兼3
	中国語Ⅳ-1	2前	1				○							兼3
	中国語Ⅳ-2	2後	1				○							兼3
	日本語Ⅰ-1	1前		1			○							兼3
	日本語Ⅰ-2	1後		1			○							兼3
	日本語Ⅱ-1	1前		1			○							兼3
	日本語Ⅱ-2	1後		1			○							兼3
	日本語Ⅲ-1	1前		1			○							兼3
	日本語Ⅲ-2	1後		1			○							兼3
	日本語Ⅳ-1	2前		1			○							兼3
	日本語Ⅳ-2	2後		1			○							兼3
	日本語Ⅴ-1	2前		1			○							兼3
	日本語Ⅴ-2	2後		1			○							兼3
	日本語Ⅵ-1	2前		1			○							兼3
	日本語Ⅵ-2	2後		1			○							兼3
	日本語Ⅶ-1	2前		1			○							兼3
	日本語Ⅶ-2	2後		1			○							兼3
	インテンシブ中国語Ⅰ-1	1前		1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅰ-2	1後		1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅱ-1	1前		1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅱ-2	1後		1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅲ-1	1前		1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅲ-2	1後		1			○							兼1
インテンシブ中国語Ⅳ-1	2前		1			○							兼1	
インテンシブ中国語Ⅳ-2	2後		1			○							兼1	
小計(38科目)		-	16	22			-		1					兼17

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目A	観光交流文化論	1前	2			○			1						
	ホスピタリティ論	1後	2			○			1						
	国際観光論	1前	2			○			1						
	交流文化論	2前	2			○			1						
	異文化コミュニケーション論	2後	2			○			1						
	サービス文化論	2前	2			○			1						
	サービス日本語	2後	2			○			1						
	紀行文学論	3前		2		○			1						
	観光メディア論	3後		2		○			1						
	観光心理学	2前		2		○					1				
	観光人類学	2後		2		○			1						
	観光地理学	2前		2		○				1					
	観光保健論	2前		2		○			1						
	福祉観光論	2後		2		○			1						
	観光マーケティング論	2前		2		○				1					
	キャリアデザインⅠ	2後	2			○				1	1				
	キャリアデザインⅡ	3前	2			○				1	1				
	観光英語Ⅰ-1	1前	1				○			1					
	観光英語Ⅰ-2	1後	1				○			1					
	観光英語Ⅱ-1	2前	1				○			1					
	観光英語Ⅱ-2	2後	1				○			1					
	観光中国語-1	3前		1			○			1					
	観光中国語-2	3後		1			○			1					
	観光韓国語-1	3前		1			○								兼1
	観光韓国語-2	3後		1			○								兼1
	観光手話基礎	2前		1			○								兼1
	観光手話	2後		1			○								兼1
	実用英語-1	3前		1			○								兼1
	実用英語-2	3後		1			○								兼1
	観光基礎演習-1	2前		1			○			2	2	1			
	観光基礎演習-2	2後		1			○			2	2	1			
	ゼミナール-1	3前		2			○			2	2	1			
	ゼミナール-2	3後		2			○			2	2	1			
	ゼミナール-3	4前		2			○			2	2	1			
	卒業論文・課題指導	4通			4		○			2	2	1			
小計(35科目)		—	30	28			—		6	2	1			兼3	—

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目B	サービス産業論	1後	2			○				1						
	航空産業論	2前		2		○			1							
	航空サービス論	2後		2		○			1							
	宿泊産業論	2前		2		○				1						
	宿泊サービス論	2後		2		○				1						
	外食産業論	2前		2		○										兼1
	外食サービス論	2後		2		○										兼1
	旅行産業論	2前		2		○			1							
	旅行サービス論	2後		2		○				1						
	ホスピタリティマネジメント論	2後		2		○				1						
	観光政策・行政論	3前		2		○				1						
	風景・景観論	3後		2		○				1						
	イベント・コンベンション論	3前		2		○					1					
	エンターテインメント産業論	3後		2		○					1					
	ツアーガイド論	3前		2		○										兼1
	プライダルコーディネート論	3後		2		○			1							
	多摩八王子観光論	3後		2		○				1						
	世界遺産観光論	3前		2		○										兼1
	旅行医学概論	3前		2		○			1							
	サービス衛生論	3後		2		○			1							
	観光交流文化特論Ⅰ	3前		2		○										兼1
	観光交流文化特論Ⅱ	3後		2		○										兼1
	観光交流文化特論Ⅲ	4前		2		○			1							
	観光交流文化特論Ⅳ	4後		2		○				1						
	観光交流文化特論Ⅴ	4前		2		○					1					
	観光交流文化特論Ⅵ	4後		2		○					1					
小計 (26科目)	—	—	2	50			—		3	2	1				兼3	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門関連科目A	比較文化論Ⅰ-1	1前		2		○			1						
	比較文化論Ⅰ-2	1後		2		○			1						
	比較文化論Ⅱ-1	1前		2		○								兼1	
	比較文化論Ⅱ-2	1後		2		○								兼1	
	アメリカ社会論-1	1前		2		○								兼1	
	アメリカ社会論-2	1後		2		○								兼1	
	中国事情	1前		2		○								兼1	
	韓国事情	1後		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅰ-1	1前		2		○			1						
	地域圏研究Ⅰ-2	1後		2		○			1						
	地域圏研究Ⅱ-1	1前		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅱ-2	1後		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅲ-1	1前		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅲ-2	1後		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅳ-1	1前		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅳ-2	1後		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅴ-1	1前		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅴ-2	1後		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅵ-1	1前		2		○								兼1	
	地域圏研究Ⅵ-2	1後		2		○								兼1	
	国際関係論Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	国際関係論Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	経済原論Ⅰ	1前		2		○								兼1	
	経済原論Ⅱ	1後		2		○								兼1	
	西洋史-1	1前		2		○								兼1	
	西洋史-2	1後		2		○								兼1	
	中国史-1	1前		2		○								兼1	
	中国史-2	1後		2		○								兼1	
	日本史-1	1前		2		○								兼1	
	日本史-2	1後		2		○								兼1	
	言語学-1	1前		2		○								兼1	
	言語学-2	1後		2		○								兼1	
	言語と文化-1	1前		2		○			1						
	言語と文化-2	1後		2		○								兼1	
	日中文化交流史-1	1前		2		○								兼1	
	日中文化交流史-2	1後		2		○								兼1	
	日韓文化交流史-1	1前		2		○								兼1	
	日韓文化交流史-2	1後		2		○								兼1	
	神話学	1前		2		○								兼1	
	文化人類学	1後		2		○								兼1	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1	1前		2			○							兼1	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2	1後		2			○							兼1	
英語総合講座-1	1前		2		○								兼1		
英語総合講座-2	1後		2		○								兼1		
英語特論-1	1前		2		○								兼1		
英語特論-2	1後		2		○								兼1		
コミュニケーション概論	1前		2		○								兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	基礎演習-1	1前	1				○		2	2	1				
	基礎演習-2	1後	1				○		2	2	1				
	キャリア指導Ⅰ-1	2前	1				○		2						
	キャリア指導Ⅰ-2	2後	1				○		2						
	キャリア指導Ⅱ-1	3前	1				○		1						
	キャリア指導Ⅱ-2	3後	1				○		1						
	ホスピタリティ実習-1	1前	1				○		3						
	ホスピタリティ実習-2	1後	1				○		3						
	インターンシップⅠ	2前		1			○		1						
	インターンシップⅡ	2後		1			○			1	1				
	インターンシップⅢ	2前		1			○		1						
	インターンシップⅣ	2後		1			○		1						
	小計 (59科目)	-	10	96			-		6	2	1				兼22 -
専門 関連 科目 目 B	ドイツ語Ⅰ-1	2前		1			○								兼2
	ドイツ語Ⅰ-2	2後		1			○								兼2
	ドイツ語Ⅱ-1	2前		1			○								兼2
	ドイツ語Ⅱ-2	2後		1			○								兼2
	ドイツ語Ⅲ-1	3前		1			○								兼1
	ドイツ語Ⅲ-2	3後		1			○								兼1
	フランス語Ⅰ-1	2前		1			○								兼2
	フランス語Ⅰ-2	2後		1			○								兼2
	フランス語Ⅱ-1	2前		1			○								兼2
	フランス語Ⅱ-2	2後		1			○								兼2
	フランス語Ⅲ-1	3前		1			○								兼1
	フランス語Ⅲ-2	3後		1			○								兼1
	スペイン語Ⅰ-1	2前		1			○								兼2
	スペイン語Ⅰ-2	2後		1			○								兼2
	スペイン語Ⅱ-1	2前		1			○								兼2
	スペイン語Ⅱ-2	2後		1			○								兼2
	スペイン語Ⅲ-1	3前		1			○								兼1
	スペイン語Ⅲ-2	3後		1			○								兼1
	インドネシア語Ⅰ-1	2前		1			○								兼1
	インドネシア語Ⅰ-2	2後		1			○								兼1
	インドネシア語Ⅱ-1	2前		1			○								兼1
	インドネシア語Ⅱ-2	2後		1			○								兼1
	インドネシア語Ⅲ-1	3前		1			○								兼1
	インドネシア語Ⅲ-2	3後		1			○								兼1
	韓国語Ⅰ-1	2前		1			○								兼2
	韓国語Ⅰ-2	2後		1			○								兼2
	韓国語Ⅱ-1	2前		1			○								兼2
	韓国語Ⅱ-2	2後		1			○								兼2
韓国語Ⅲ-1	3前		1			○								兼2	
韓国語Ⅲ-2	3後		1			○								兼2	
情報英語Ⅰ	1前		1			○								兼1	
情報英語Ⅱ	2後		1			○								兼1	
情報中国語Ⅰ	1前		1			○								兼1	
情報中国語Ⅱ	2後		1			○								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	情報日本語	2前		1			○								兼1	
	口語英語Ⅰ-1	2前		1			○								兼1	
	口語英語Ⅰ-2	2後		1			○								兼1	
	口語英語Ⅱ-1	1前		1			○								兼1	
	口語英語Ⅱ-2	1後		1			○								兼1	
	口語英語Ⅲ-1	1前		1			○								兼1	
	口語英語Ⅲ-2	1後		1			○								兼1	
	口語英語Ⅳ-1	1前		1			○								兼1	
	口語英語Ⅳ-2	1後		1			○								兼1	
	口語英語Ⅴ-1	1前		1			○								兼1	
	口語英語Ⅴ-2	1後		1			○								兼1	
	中国語演習Ⅰ-1	2前		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅰ-2	2後		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅱ-1	2前		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅱ-2	2後		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅲ-1	1前		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅲ-2	1後		2			○								兼1	
	中国語実習Ⅰ-1	1前		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅰ-2	1後		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅱ-1	1前		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅱ-2	1後		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅲ-1	1前		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅲ-2	1後		1			○								兼1	
	小計 (57科目)	-		63			-								兼23	-
専門 関連 科目 C	哲学-1	3前		2			○								兼1	
	哲学-2	3後		2			○								兼1	
	宗教学-1	3前		2			○								兼1	
	宗教学-2	3後		2			○								兼1	
	歴史学-1	3前		2			○								兼1	
	歴史学-2	3後		2			○								兼1	
	文学-1	3前		2			○								兼2	
	文学-2	3後		2			○								兼2	
	音楽-1	3前		2			○								兼2	
	音楽-2	3後		2			○								兼2	
	日本国憲法	3後		2			○								兼2	
	法学	3前		2			○								兼2	
	政治学-1	3前		2			○								兼1	
	政治学-2	3後		2			○								兼1	
	地理学-1	3前		2			○								兼2	
	地理学-2	3後		2			○								兼2	
	経済学-1	3前		2			○								兼1	
	経済学-2	3後		2			○								兼1	
	数学-1	3前		2			○								兼2	
	数学-2	3後		2			○								兼2	
物理学-1	3前		2			○								兼1		
物理学-2	3後		2			○								兼1		
化学-1	3前		2			○								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	化学-2	3後		2		○									兼1	
	生物学-1	3前		2		○									兼1	
	生物学-2	3後		2		○									兼1	
	心理学-1	3前		2		○									兼2	
	心理学-2	3後		2		○									兼2	
	統計学-1	3前		2		○									兼2	
	統計学-2	3後		2		○									兼2	
	情報処理	1前		2		○									兼2	
	体育理論	1前		1		○									兼2	
	体育実技-1	1前		1				○							兼2	
	体育実技-2	1後		1				○							兼2	
	小計 (34科目)	-		65		-									兼18	-
専門関連科目D	他学部設置科目															
合計 (249科目)		-	58	324		-		8	2	1					兼68	-
学位又称号		学士 (観光交流文化学)			学位又は学科の分野			文学関係, 社会学・社会福祉学関係								
教 育 課 程 の 編 成 方 針																
<p>本学科は、国境や民族を越えた人びとの交流において、今後さらに重要な役割を果たす「観光」の分野において、その発展に貢献する人材を育成することを目的とする。</p> <p>その教育課程は、①学部共通課程での英語・中国語等の外国語運用能力の十分な養成、②異文化間コミュニケーションの現状理解、③観光関連事業の現場において求められる知識および技能、問題解決能力の習得の3点を基軸とし、理論と実践が相互に補完するよう編成する。</p>																
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
必修科目58単位、専門科目Aの観光心理学、観光人類学、観光地理学、観光保健論、福祉観光論、観光マーケティング論から8単位、観光中国語-1・2(各1単位)又は観光韓国語-1・2(各1単位)のどちらか2単位、専門関連科目AのインターンシップI~IVのうち1単位以上を修得し、124単位以上を修得しなければならない。 専門外国語科目は英語及び中国語(留学生は日本語から8単位選択)必修16単位 (履修科目の登録の上限:24単位(学期))								1学年の学期区分			2			期		
								1学期の授業期間			15			週		
								1時限の授業時間			90			分		

別記様式第2号 (その2の1)

教育課程等の概要															
(外国語学部英語学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門外国語科目	英語Ⅰ-1	1前	1				○						1		兼6
	英語Ⅰ-2	1後	1				○						1		兼6
	英語Ⅱ-1	1前	1				○			1					兼5
	英語Ⅱ-2	1後	1				○			1					兼5
	英語Ⅲ-1	2前	1				○								兼8
	英語Ⅲ-2	2後	1				○								兼8
	英語Ⅳ-1	2前	1				○			1	2	1	1		兼2
	英語Ⅳ-2	2後	1				○			1	2	1	1		兼2
	中国語Ⅰ-1	1前	1				○								兼6
	中国語Ⅰ-2	1後	1				○								兼6
	中国語Ⅱ-1	1前	1				○								兼6
	中国語Ⅱ-2	1後	1				○								兼6
	中国語Ⅲ-1	2前	1				○								兼7
	中国語Ⅲ-2	2後	1				○								兼7
	中国語Ⅳ-1	2前	1				○								兼7
	中国語Ⅳ-2	2後	1				○								兼7
	日本語Ⅰ-1	1前		1			○								兼3
	日本語Ⅰ-2	1後		1			○								兼3
	日本語Ⅱ-1	1前		1			○								兼3
	日本語Ⅱ-2	1後		1			○								兼3
	日本語Ⅲ-1	1前		1			○								兼3
	日本語Ⅲ-2	1後		1			○								兼3
	日本語Ⅳ-1	2前		1			○								兼3
	日本語Ⅳ-2	2後		1			○								兼3
	日本語Ⅴ-1	2前		1			○								兼2
	日本語Ⅴ-2	2後		1			○								兼2
	日本語Ⅵ-1	2前		1			○								兼3
	日本語Ⅵ-2	2後		1			○								兼2
	日本語Ⅶ-1	2前		1			○								兼3
	日本語Ⅶ-2	2後		1			○								兼2
	インテンシブ中国語Ⅰ-1	1前		1			○								兼1
	インテンシブ中国語Ⅰ-2	1後		1			○								兼1
	インテンシブ中国語Ⅱ-1	1前		1			○								兼1
	インテンシブ中国語Ⅱ-2	1後		1			○								兼1
	インテンシブ中国語Ⅲ-1	1前		1			○								兼1
	インテンシブ中国語Ⅲ-2	1後		1			○								兼1
	インテンシブ中国語Ⅳ-1	2前		1			○								兼1
	インテンシブ中国語Ⅳ-2	2後		1			○								兼1
小計 (38科目)		-	16	22			-		1	2	1	1		兼41	-

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 A	日米比較文化概論	2前	2			○					2			兼2
	英語の文化誌	2後	2			○								兼1
	日米関係史概論	2前		2		○					1			
	ヨーロッパの社会と文化	2後		2		○								兼1
	英語演習Ⅰ	1前	1				○			1		1		兼3
	英語演習Ⅱ	1後	1				○			1		1		兼3
	英語演習Ⅲ	2前	1				○			1				兼5
	英語演習Ⅳ	2後	1				○			1				兼5
	現代英語講読Ⅰ-1	3前	1				○			2	1			兼1
	現代英語講読Ⅰ-2	3後	1				○			2	1			兼1
	現代英語講読Ⅱ-1	3前		1			○							兼2
	現代英語講読Ⅱ-2	3後		1			○							兼2
	英語文章表現法-1	3前		1			○							兼1
	英語文章表現法-2	3後		1			○							兼1
	英語聴解・討論-1	3前		1			○							兼1
	英語聴解・討論-2	3後		1			○							兼1
	実用英語Ⅰ	1前		1			○				1			兼1
	実用英語Ⅱ	1後		1			○				1			兼1
	実用英語Ⅲ	1前		1			○			1				兼1
	実用英語Ⅳ	1後		1			○			1				兼1
	実用英語演習Ⅰ	3前	1				○							兼4
	実用英語演習Ⅱ	3後	1				○							兼4
	実用英語演習Ⅲ	3前	1				○			1	1		1	兼1
	実用英語演習Ⅳ	3後	1				○			1	1		1	兼1
	マルチメディア・イングリッシュ	3後	1				○							兼2
	ゼミナール-1	3前	2				○			4	1	1		兼3
	ゼミナール-2	3後	2				○			4	1	1		兼3
	ゼミナール-3	4前	2				○			4	1			兼3
	卒業論文・課題指導	4通		4			○			4	1			兼3
小計 (29科目)		-	21	18					4	3	2	1		兼20

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論-1	2前	2			○			1								
	国際コミュニケーション論-2	2後	2			○			1								
	英米文化論-1	3前		2		○											兼1
	英米文化論-2	3後		2		○					1						
	アメリカ近現代史概説-1	3前		2		○					1						
	アメリカ近現代史概説-2	3後		2		○					1						
	ヨーロッパ近現代史概説-1	3前		2		○											兼1
	ヨーロッパ近現代史概説-2	3後		2		○											兼1
	グローバルビジネス論-1	2前	2			○											兼1
	グローバルビジネス論-2	2後	2			○											兼1
	現代北米ビジネス事情-1	3前	2			○						1					
	現代北米ビジネス事情-2	3後	2			○						1					
	現代ヨーロッパビジネス事情-1	3前	2			○			1								
	現代ヨーロッパビジネス事情-2	3後	2			○			1								
	アメリカ経済論	3前		2		○											兼1
	アメリカ政治外交論	3前		2		○											兼1
	ヨーロッパ経済論	3前		2		○											兼1
	ヨーロッパ政治外交論	3後		2		○											兼1
	経営管理総論Ⅰ	3前		2		○											兼1
	経営管理総論Ⅱ	3後		2		○											兼1
	人材マネジメント論Ⅰ	3前		2		○											兼1
	人材マネジメント論Ⅱ	3後		2		○											兼1
	マーケティング総論Ⅰ	3前		2		○											兼1
	マーケティング総論Ⅱ	3後		2		○											兼1
	ビジネスイングリッシュⅠ	3前	1				○			1		1					
	ビジネスイングリッシュⅡ	3後	1				○			1		1					
	ビジネスイングリッシュⅢ	3前	1				○										兼2
	ビジネスイングリッシュⅣ	3後	1				○										兼2
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	3前	1				○										兼2
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ	3後		1			○					1					
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅲ	3前		1			○					1					
	ビジネス情報処理演習Ⅰ	3前	1				○										兼2
	ビジネス情報処理演習Ⅱ	3後		1			○						1				
	ビジネス情報処理演習Ⅲ	3前		1			○						1				
小計 (34科目)		—	22	36				—	1		2	1				兼11	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目C	英語学-1	2前	2			○				1							
	英語学-2	2後	2			○				1							
	英語音声学-1	2前	2			○										兼1	
	英語音声学-2	2後	2			○										兼1	
	英語史-1	3前		2		○										兼1	
	英語史-2	3後		2		○										兼1	
	英語学特論-1	3前		2		○				1							
	英語学特論-2	3後		2		○				1							
	英語音声学特論-1	3前	2			○				1							
	英語音声学特論-2	3後	2			○				1							
	英語教育論-1	3前		2		○											兼1
	英語教育論-2	3後		2		○											兼1
	児童英語教育論	3前			2	○							1				
	英米文学	3前			2	○											兼1
	児童文学論	3後			2	○					1						
	社会言語学-1	3前			2	○											兼1
	社会言語学-2	3後			2	○											兼1
	対照言語学-1	3前			2	○				1							
	対照言語学-2	3後			2	○											兼1
	認知言語学-1	3前			2	○							1				
	認知言語学-2	3後			2	○							1				
	言語獲得のメカニズム-1	3前			2	○				1							
	言語獲得のメカニズム-2	3後			2	○				1							
	バイリンガル教育論-1	3前			2	○											兼1
	バイリンガル教育論-2	3後			2	○											兼1
	英語発音聴取	3前	1				○										兼1
	英語会話	3前	1				○										兼1
	英語作文	3前	1				○										兼1
	英語文法	3前	1				○			1							
	児童英語教育教材研究	3後			1		○							1			
	児童英語教育実習	3前			1		○							1			
	社会人英語教育法-1	3前			1		○										兼1
	社会人英語教育法-2	3後			1		○										兼1
	英語科教育法-1	3前			2		○				1						
	英語科教育法-2	3後			2		○				1						
小計 (35科目)		-	20	42					-	2	3	1	1			兼8	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 関連 科目 A	比較文化論Ⅰ-1	1前		2		○									兼1
	比較文化論Ⅰ-2	1後		2		○									兼1
	比較文化論Ⅱ-1	1前		2		○									兼1
	比較文化論Ⅱ-2	1後		2		○									兼1
	アメリカ社会論-1	1前		2		○									兼1
	アメリカ社会論-2	1後		2		○									兼1
	中国事情	1前		2		○									兼1
	韓国事情	1後		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅰ-1	1前		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅰ-2	1後		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅱ-1	1前		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅱ-2	1後		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅲ-1	1前		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅲ-2	1後		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅳ-1	1前		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅳ-2	1後		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅴ-1	1前		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅴ-2	1後		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅵ-1	1前		2		○				1					兼1
	地域圏研究Ⅵ-2	1後		2		○				1					兼1
	国際関係論Ⅰ	1前		2		○									兼1
	国際関係論Ⅱ	1後		2		○									兼1
	経済原論Ⅰ	1前		2		○									兼1
	経済原論Ⅱ	1後		2		○									兼1
	西洋史-1	1前		2		○									兼1
	西洋史-2	1後		2		○									兼1
	中国史-1	1前		2		○									兼1
	中国史-2	1後		2		○									兼1
	日本史-1	1前		2		○									兼1
	日本史-2	1後		2		○									兼1
	言語学-1	1前		2		○									兼1
	言語学-2	1後		2		○									兼1
	言語と文化-1	1前		2		○									兼1
	言語と文化-2	1後		2		○									兼1
	日中文化交流史-1	1前		2		○									兼1
	日中文化交流史-2	1後		2		○									兼1
	日韓文化交流史-1	1前		2		○									兼1
	日韓文化交流史-2	1後		2		○									兼1
	神話学	1前		2		○									兼1
	文化人類学	1後		2		○				1					兼1
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1	1前		2			○								兼1
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2	1後		2			○								兼1
	英語総合講座-1	1前		2		○									兼1
英語総合講座-2	1後		2		○									兼1	
英語特論-1	1前		2		○									兼1	
英語特論-2	1後		2		○									兼1	
コミュニケーション概論	1前		2		○						1			兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	基礎演習－1	1前	1				○		3	1	1			兼2	
	基礎演習－2	1後	1				○		3	1	1			兼2	
	キャリア指導Ⅰ－1	2前	1				○			1				兼1	
	キャリア指導Ⅰ－2	2後	1				○			1				兼1	
	キャリア指導Ⅱ－1	3前	1				○							兼2	
	キャリア指導Ⅱ－2	3後	1				○							兼2	
	ホスピタリティ実習－1	1前	1				○							兼3	
	ホスピタリティ実習－2	1後	1				○							兼3	
	インターンシップⅠ	2前		1			○							兼2	
	インターンシップⅡ	2後		1			○							兼2	
	インターンシップⅢ	2前		1			○							兼2	
	インターンシップⅣ	2後		1			○							兼2	
	小計 (59科目)	－	－	10	96			－		3	2	1			兼24
専門関連科目B	ドイツ語Ⅰ－1	2前		1			○							兼2	
	ドイツ語Ⅰ－2	2後		1			○							兼2	
	ドイツ語Ⅱ－1	2前		1			○							兼3	
	ドイツ語Ⅱ－2	2後		1			○							兼3	
	ドイツ語Ⅲ－1	3前		1			○							兼1	
	ドイツ語Ⅲ－2	3後		1			○							兼1	
	フランス語Ⅰ－1	2前		1			○							兼4	
	フランス語Ⅰ－2	2後		1			○							兼4	
	フランス語Ⅱ－1	2前		1			○							兼3	
	フランス語Ⅱ－2	2後		1			○							兼3	
	フランス語Ⅲ－1	3前		1			○							兼1	
	フランス語Ⅲ－2	3後		1			○							兼1	
	スペイン語Ⅰ－1	2前		1			○							兼2	
	スペイン語Ⅰ－2	2後		1			○							兼2	
	スペイン語Ⅱ－1	2前		1			○							兼2	
	スペイン語Ⅱ－2	2後		1			○							兼2	
	スペイン語Ⅲ－1	3前		1			○							兼1	
	スペイン語Ⅲ－2	3後		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅰ－1	2前		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅰ－2	2後		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅱ－1	2前		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅱ－2	2後		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅲ－1	3前		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅲ－2	3後		1			○							兼1	
	韓国語Ⅰ－1	2前		1			○							兼5	
	韓国語Ⅰ－2	2後		1			○							兼5	
	韓国語Ⅱ－1	2前		1			○							兼4	
	韓国語Ⅱ－2	2後		1			○							兼4	
	韓国語Ⅲ－1	3前		1			○							兼2	
	韓国語Ⅲ－2	3後		1			○							兼2	
情報英語Ⅰ	1前		1			○			1						
情報英語Ⅱ	2後		1			○			1						
情報中国語Ⅰ	1前		1			○								兼1	
情報中国語Ⅱ	2後		1			○								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	情報日本語	2前		1			○								兼1	
	口語英語Ⅰ-1	2前		1			○								兼1	
	口語英語Ⅰ-2	2後		1			○								兼1	
	口語英語Ⅱ-1	1前		1			○		1							
	口語英語Ⅱ-2	1後		1			○		1							
	口語英語Ⅲ-1	1前		1			○		1							
	口語英語Ⅲ-2	1後		1			○		1							
	口語英語Ⅳ-1	1前		1			○		1							
	口語英語Ⅳ-2	1後		1			○		1							
	口語英語Ⅴ-1	1前		1			○			1						
	口語英語Ⅴ-2	1後		1			○			1						
	中国語演習Ⅰ-1	2前		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅰ-2	2後		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅱ-1	2前		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅱ-2	2後		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅲ-1	1前		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅲ-2	1後		2			○								兼1	
	中国語実習Ⅰ-1	1前		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅰ-2	1後		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅱ-1	1前		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅱ-2	1後		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅲ-1	1前		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅲ-2	1後		1			○								兼1	
	小計 (57科目)	—		63			—		1	3	1				兼25	—
専門 関連 科目 C	哲学-1	3前		2			○								兼1	
	哲学-2	3後		2			○								兼1	
	宗教学-1	3前		2			○								兼1	
	宗教学-2	3後		2			○								兼1	
	歴史学-1	3前		2			○								兼1	
	歴史学-2	3後		2			○								兼1	
	文学-1	3前		2			○								兼2	
	文学-2	3後		2			○								兼2	
	音楽-1	3前		2			○								兼2	
	音楽-2	3後		2			○								兼2	
	日本国憲法	3後		2			○								兼2	
	法学	3前		2			○								兼2	
	政治学-1	3前		2			○								兼1	
	政治学-2	3後		2			○								兼1	
	地理学-1	3前		2			○								兼2	
	地理学-2	3後		2			○								兼2	
	経済学-1	3前		2			○								兼1	
	経済学-2	3後		2			○								兼1	
	数学-1	3前		2			○								兼2	
	数学-2	3後		2			○								兼2	
物理学-1	3前		2			○								兼1		
物理学-2	3後		2			○								兼1		
化学-1	3前		2			○								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	化学-2	3後		2		○									兼1	
	生物学-1	3前		2		○									兼1	
	生物学-2	3後		2		○									兼1	
	心理学-1	3前		2		○									兼2	
	心理学-2	3後		2		○									兼2	
	統計学-1	3前		2		○									兼2	
	統計学-2	3後		2		○									兼2	
	情報処理	1前		2		○									兼2	
	体育理論	1前		1		○									兼2	
	体育実技-1	1前		1				○							兼3	
	体育実技-2	1後		1				○							兼3	
	小計 (34科目)	-		65		-									兼23	-
専門関連科目D	他学部設置科目															
合計 (286科目)		-	89	342		-		4	3	3	1				兼113	-
学位又称号		学士 (文学)			学位又は学科の分野			文学関係								
教 育 課 程 の 編 成 方 針																
卒業要件及び履修方法																
授業期間等																
														1学年の学期区分	期	
														1学期の授業期間	週	
														1時限の授業時間	分	

別記様式第2号 (その2の1)

教育課程等の概要															
(外国語学部中国語・日本語学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門外国語科目	英語Ⅰ-1	1前	1				○							兼4	
	英語Ⅰ-2	1後	1				○							兼4	
	英語Ⅱ-1	1前	1				○							兼3	
	英語Ⅱ-2	1後	1				○							兼3	
	英語Ⅲ-1	2前	1				○							兼4	
	英語Ⅲ-2	2後	1				○							兼4	
	英語Ⅳ-1	2前	1				○							兼3	
	英語Ⅳ-2	2後	1				○							兼3	
	中国語Ⅰ-1	1前	1				○			1					兼1
	中国語Ⅰ-2	1後	1				○			1					兼1
	中国語Ⅱ-1	1前	1				○								兼2
	中国語Ⅱ-2	1後	1				○								兼2
	中国語Ⅲ-1	2前	1				○					2			兼1
	中国語Ⅲ-2	2後	1				○					2			兼1
	中国語Ⅳ-1	2前	1				○								兼3
	中国語Ⅳ-2	2後	1				○								兼3
	日本語Ⅰ-1	1前		1			○					1			兼2
	日本語Ⅰ-2	1後		1			○					1			兼2
	日本語Ⅱ-1	1前		1			○								兼3
	日本語Ⅱ-2	1後		1			○								兼3
	日本語Ⅲ-1	1前		1			○								兼3
	日本語Ⅲ-2	1後		1			○								兼3
	日本語Ⅳ-1	2前		1			○								兼3
	日本語Ⅳ-2	2後		1			○					1			兼2
	日本語Ⅴ-1	2前		1			○								兼3
	日本語Ⅴ-2	2後		1			○								兼2
	日本語Ⅵ-1	2前		1			○								兼3
	日本語Ⅵ-2	2後		1			○								兼2
	日本語Ⅶ-1	2前		1			○								兼3
	日本語Ⅶ-2	2後		1			○								兼2
	インテンシブ中国語Ⅰ-1	1前		1			○			2		2			
	インテンシブ中国語Ⅰ-2	1後		1			○			2		2			
	インテンシブ中国語Ⅱ-1	1前		1			○								兼2
	インテンシブ中国語Ⅱ-2	1後		1			○								兼2
	インテンシブ中国語Ⅲ-1	1前		1			○			2					兼1
	インテンシブ中国語Ⅲ-2	1後		1			○			2					兼1
	インテンシブ中国語Ⅳ-1	2前		1			○					2			兼1
	インテンシブ中国語Ⅳ-2	2後		1			○					2			兼1
小計 (38科目)		—	16	22			—		3		4			兼25	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 科目 A	日本文化論	2前	2			○									兼2
	異文化交流の実際	2後	2			○					1				
	民俗学	2前		2		○									兼2
	東アジア対照言語学-1	3前		2		○					1				
	東アジア対照言語学-2	3後		2		○					1				
	朝鮮半島政治外交論	3前		2		○					1				
	実務英語-1	3前	1				○								兼1
	実務英語-2	3後	1				○								兼1
	交渉英語-1	3前	1				○								兼1
	交渉英語-2	3後	1				○								兼1
	ゼミナール-1	3前	2				○			7		3			兼2
	ゼミナール-2	3後	2				○			7		3			兼2
	ゼミナール-3	4前	2				○			7		5			兼2
	卒業論文・課題指導	4通		4			○			7		5			兼2
小計 (14科目)		-	14	12		-			7		5			兼5	-

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目 B	日本語教育概説－1	2前	2			○									兼1
	日本語教育概説－2	2後	2			○									兼1
	日本語教授法概論－1	3前	2			○									兼1
	日本語教授法概論－2	3後	2			○									兼1
	日本語学概論－1	3前	2			○			1						
	日本語学概論－2	3後	2			○			1						
	日本語音声学－1	3前		2		○					1				
	日本語音声学－2	3後		2		○					1				
	日本語文法論－1	3前		2		○			1						
	日本語文法論－2	3後		2		○			1						
	日本語意味論－1	3前		2		○			1						
	日本語意味論－2	3後		2		○			1						
	日本語教材教具論	3前		2		○					1				
	試験と評価	3後		2		○									兼1
	日本語語彙論	3前		2		○			1						
	日本語文字表記概説	3後		2		○					1				
	日本語史	3前		2		○			1						
	日本人の言語行動	3後		2		○			1						
	異文化理解とコミュニケーション	3前		2		○									兼2
	社会言語学－1	3前		2		○									兼1
	社会言語学－2	3後		2		○									兼1
	対照言語学－1	3前		2		○									兼1
	対照言語学－2	3後		2		○					1				
	認知言語学－1	3前		2		○									兼1
	認知言語学－2	3後		2		○									兼1
	言語獲得のメカニズム－1	3前		2		○									兼1
	言語獲得のメカニズム－2	3後		2		○									兼1
	バイリンガル教育論－1	3前		2		○									兼1
	バイリンガル教育論－2	3後		2		○									兼1
	日本語教授法演習－1	3前		1			○								兼1
	日本語教授法演習－2	3後		1			○								兼1
	日本語教育実習Ⅰ－1	3前		1			○								兼1
	日本語教育実習Ⅰ－2	3後		1			○								兼1
	日本語教育実習Ⅱ－1	3前		1			○								兼1
	日本語教育実習Ⅱ－2	3後		1			○								兼1
	日本語学演習－1	2前		1			○				1				
日本語学演習－2	2後		1			○				1					
日本語教育演習－1	2前		1			○				1					
日本語教育演習－2	2後		1			○				1					
小計 (39科目)		—	16	52		—			4		3			兼9	—

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門 科目 C	中国語学概論－1	2前	2			○			1								
	中国語学概論－2	2後	2			○			1								
	中国人のコミュニケーションスタイル－1	3前		2		○										兼1	
	中国人のコミュニケーションスタイル－2	3後		2		○										兼1	
	中国語音声学－1	3前	2			○			1								
	中国語音声学－2	3後	2			○			1								
	中国語翻訳法－1	3前		2		○			1								
	中国語翻訳法－2	3後		2		○			1								
	中国語通訳法Ⅰ－1	3前		2		○			2								
	中国語通訳法Ⅰ－2	3後		2		○			2								
	中国語通訳法Ⅱ－1	3前		2		○			2								
	中国語通訳法Ⅱ－2	3後		2		○			2								
	中国の自然地理・風俗習慣	2前	2			○					1						
	中国思想史	3前		2		○											兼2
	中国文学史－1	3前		2		○			2								
	中国文学史－2	3後		2		○			2								
	中国古典概説－1	3前		2		○											兼1
	中国古典概説－2	3後		2		○											兼1
	日中比較文化概論	3後		2		○			1								
	中国経済概論－1	3前		2		○											兼1
	中国経済概論－2	3後		2		○											兼1
	現代中国ビジネス事情	3前		2		○											兼1
	日中貿易論	3後		2		○											兼1
	アジア経済論	3後		2		○											兼1
	中国近現代史－1	3前		2		○											兼1
	中国近現代史－2	3後		2		○											兼1
	中国政治外交論	3前		2		○											兼1
	実用中国語演習Ⅰ	3前		1			○					1					
	実用中国語演習Ⅱ	3後		1			○					1					
	中国語文章表現法－1	3前		1			○										兼1
	中国語文章表現法－2	3後		1			○										兼1
	中国語聴解・討論－1	3前		1			○										兼1
	中国語聴解・討論－2	3後		1			○										兼1
	時事中国語－1	3前		1			○					1					
	時事中国語－2	3後		1			○					1					
	貿易中国語－1	3前		1			○			1							
	貿易中国語－2	3後		1			○			1							
	中国語ビジネス会話－1	3前	1				○										兼1
	中国語ビジネス会話－2	3後	1				○										兼1
	中国語情報処理－1	3前	1				○										兼1
	中国語情報処理－2	3後	1				○										兼1
小計 (41科目)		—	14	54					4		2					兼9	—

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
専門 関連 科目 A	比較文化論Ⅰ-1	1前		2		○									兼1
	比較文化論Ⅰ-2	1後		2		○									兼1
	比較文化論Ⅱ-1	1前		2		○									兼1
	比較文化論Ⅱ-2	1後		2		○									兼1
	アメリカ社会論-1	1前		2		○									兼1
	アメリカ社会論-2	1後		2		○									兼1
	中国事情	1前		2		○									兼1
	韓国事情	1後		2		○					1				
	地域圏研究Ⅰ-1	1前		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅰ-2	1後		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅱ-1	1前		2		○					1				
	地域圏研究Ⅱ-2	1後		2		○					1				
	地域圏研究Ⅲ-1	1前		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅲ-2	1後		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅳ-1	1前		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅳ-2	1後		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅴ-1	1前		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅴ-2	1後		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅵ-1	1前		2		○									兼1
	地域圏研究Ⅵ-2	1後		2		○									兼1
	国際関係論Ⅰ	1前		2		○									兼1
	国際関係論Ⅱ	1後		2		○									兼1
	経済原論Ⅰ	1前		2		○									兼1
	経済原論Ⅱ	1後		2		○									兼1
	西洋史-1	1前		2		○									兼1
	西洋史-2	1後		2		○									兼1
	中国史-1	1前		2		○									兼1
	中国史-2	1後		2		○									兼1
	日本史-1	1前		2		○									兼1
	日本史-2	1後		2		○									兼1
	言語学-1	1前		2		○									兼1
	言語学-2	1後		2		○									兼1
	言語と文化-1	1前		2		○									兼1
	言語と文化-2	1後		2		○			1						
	日中文化交流史-1	1前		2		○									兼1
	日中文化交流史-2	1後		2		○									兼1
	日韓文化交流史-1	1前		2		○					1				
	日韓文化交流史-2	1後		2		○					1				
	神話学	1前		2		○									兼1
	文化人類学	1後		2		○									兼1
クリエイティブ・コミュニケーション論-1	1前		2			○								兼1	
クリエイティブ・コミュニケーション論-2	1後		2			○								兼1	
英語総合講座-1	1前		2		○									兼1	
英語総合講座-2	1後		2		○									兼1	
英語特論-1	1前		2		○									兼1	
英語特論-2	1後		2		○									兼1	
コミュニケーション概論	1前		2		○									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	基礎演習－1	1前	1				○		1		2			兼1	
	基礎演習－2	1後	1				○		1		2			兼1	
	キャリア指導Ⅰ－1	2前	1				○							兼1	
	キャリア指導Ⅰ－2	2後	1				○							兼1	
	キャリア指導Ⅱ－1	3前	1				○							兼2	
	キャリア指導Ⅱ－2	3後	1				○							兼2	
	ホスピタリティ実習－1	1前	1				○							兼2	
	ホスピタリティ実習－2	1後	1				○							兼2	
	インターンシップⅠ	2前		1			○							兼2	
	インターンシップⅡ	2後		1			○							兼2	
	インターンシップⅢ	2前		1			○							兼2	
	インターンシップⅣ	2後		1			○							兼2	
	小計 (59科目)	—	10	96			—		2		3			兼23	—
専門関連科目B	ドイツ語Ⅰ－1	2前		1			○							兼2	
	ドイツ語Ⅰ－2	2後		1			○							兼2	
	ドイツ語Ⅱ－1	2前		1			○							兼3	
	ドイツ語Ⅱ－2	2後		1			○							兼3	
	ドイツ語Ⅲ－1	3前		1			○							兼1	
	ドイツ語Ⅲ－2	3後		1			○							兼1	
	フランス語Ⅰ－1	2前		1			○							兼4	
	フランス語Ⅰ－2	2後		1			○							兼4	
	フランス語Ⅱ－1	2前		1			○							兼3	
	フランス語Ⅱ－2	2後		1			○							兼3	
	フランス語Ⅲ－1	3前		1			○							兼1	
	フランス語Ⅲ－2	3後		1			○							兼1	
	スペイン語Ⅰ－1	2前		1			○							兼2	
	スペイン語Ⅰ－2	2後		1			○							兼2	
	スペイン語Ⅱ－1	2前		1			○							兼2	
	スペイン語Ⅱ－2	2後		1			○							兼2	
	スペイン語Ⅲ－1	3前		1			○							兼1	
	スペイン語Ⅲ－2	3後		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅰ－1	2前		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅰ－2	2後		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅱ－1	2前		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅱ－2	2後		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅲ－1	3前		1			○							兼1	
	インドネシア語Ⅲ－2	3後		1			○							兼1	
	韓国語Ⅰ－1	2前		1			○				2			兼3	
	韓国語Ⅰ－2	2後		1			○				2			兼3	
	韓国語Ⅱ－1	2前		1			○							兼4	
韓国語Ⅱ－2	2後		1			○							兼4		
韓国語Ⅲ－1	3前		1			○							兼2		
韓国語Ⅲ－2	3後		1			○							兼2		
情報英語Ⅰ	1前		1			○							兼1		
情報英語Ⅱ	2後		1			○							兼1		
情報中国語Ⅰ	1前		1			○							兼1		
情報中国語Ⅱ	2後		1			○							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	情報日本語	2前		1			○								兼1
	口語英語Ⅰ-1	2前		1			○								兼1
	口語英語Ⅰ-2	2後		1			○								兼1
	口語英語Ⅱ-1	1前		1			○								兼1
	口語英語Ⅱ-2	1後		1			○								兼1
	口語英語Ⅲ-1	1前		1			○								兼1
	口語英語Ⅲ-2	1後		1			○								兼1
	口語英語Ⅳ-1	1前		1			○								兼1
	口語英語Ⅳ-2	1後		1			○								兼1
	口語英語Ⅴ-1	1前		1			○								兼1
	口語英語Ⅴ-2	1後		1			○								兼1
	中国語演習Ⅰ-1	2前		2			○								兼1
	中国語演習Ⅰ-2	2後		2			○								兼1
	中国語演習Ⅱ-1	2前		2			○								兼1
	中国語演習Ⅱ-2	2後		2			○								兼1
	中国語演習Ⅲ-1	1前		2			○								兼1
	中国語演習Ⅲ-2	1後		2			○								兼1
	中国語実習Ⅰ-1	1前		1			○				1				
	中国語実習Ⅰ-2	1後		1			○				1				
	中国語実習Ⅱ-1	1前		1			○				1				
	中国語実習Ⅱ-2	1後		1			○				1				
	中国語実習Ⅲ-1	1前		1			○				1				
	中国語実習Ⅲ-2	1後		1			○				1				
	小計 (57科目)	-		63			-				3				兼26
専門関連科目C	哲学-1	3前		2			○								兼1
	哲学-2	3後		2			○								兼1
	宗教学-1	3前		2			○								兼1
	宗教学-2	3後		2			○								兼1
	歴史学-1	3前		2			○								兼1
	歴史学-2	3後		2			○								兼1
	文学-1	3前		2			○			1					兼1
	文学-2	3後		2			○			1					兼1
	音楽-1	3前		2			○								兼2
	音楽-2	3後		2			○								兼2
	日本国憲法	3後		2			○								兼2
	法学	3前		2			○								兼2
	政治学-1	3前		2			○								兼1
	政治学-2	3後		2			○								兼1
	地理学-1	3前		2			○								兼2
	地理学-2	3後		2			○								兼2
	経済学-1	3前		2			○								兼1
	経済学-2	3後		2			○								兼1
	数学-1	3前		2			○								兼2
	数学-2	3後		2			○								兼2
物理学-1	3前		2			○								兼1	
物理学-2	3後		2			○								兼1	
化学-1	3前		2			○								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	化学-2	3後		2		○									兼1	
	生物学-1	3前		2		○									兼1	
	生物学-2	3後		2		○									兼1	
	心理学-1	3前		2		○									兼2	
	心理学-2	3後		2		○									兼2	
	統計学-1	3前		2		○									兼2	
	統計学-2	3後		2		○									兼2	
	情報処理	1前		2		○									兼2	
	体育理論	1前		1		○									兼2	
	体育実技-1	1前		1				○							兼3	
	体育実技-2	1後		1				○							兼3	
	小計 (34科目)	—		65		—			1						兼22	—
専門関連科目D	他学部設置科目															
合計 (282科目)		—	70	364		—			8		5				兼96	—
学位又称号		学士 (文学)			学位又は学科の分野				文学関係							
教 育 課 程 の 編 成 方 針																
卒業要件及び履修方法																
授業期間等																
														1学年の学期区分	期	
														1学期の授業期間	週	
														1時限の授業時間	分	

別記様式第2号 (その2の1)

教育課程等の概要															
(外国語学部応用コミュニケーション学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門外国語科目	英語Ⅰ-1	1前	1					○							兼7
	英語Ⅰ-2	1後	1					○							兼7
	英語Ⅱ-1	1前	1					○							兼6
	英語Ⅱ-2	1後	1					○							兼6
	英語Ⅲ-1	2前	1					○							兼6
	英語Ⅲ-2	2後	1					○							兼6
	英語Ⅳ-1	2前	1					○		2					兼3
	英語Ⅳ-2	2後	1					○		2					兼3
	中国語Ⅰ-1	1前	1					○							兼6
	中国語Ⅰ-2	1後	1					○							兼6
	中国語Ⅱ-1	1前	1					○							兼6
	中国語Ⅱ-2	1後	1					○							兼6
	中国語Ⅲ-1	2前	1					○							兼5
	中国語Ⅲ-2	2後	1					○							兼5
	中国語Ⅳ-1	2前	1					○							兼5
	中国語Ⅳ-2	2後	1					○							兼5
	日本語Ⅰ-1	1前			1			○							兼3
	日本語Ⅰ-2	1後			1			○							兼3
	日本語Ⅱ-1	1前			1			○							兼3
	日本語Ⅱ-2	1後			1			○							兼3
	日本語Ⅲ-1	1前			1			○							兼3
	日本語Ⅲ-2	1後			1			○							兼3
	日本語Ⅳ-1	2前			1			○							兼3
	日本語Ⅳ-2	2後			1			○							兼3
	日本語Ⅴ-1	2前			1			○							兼3
	日本語Ⅴ-2	2後			1			○							兼2
	日本語Ⅵ-1	2前			1			○							兼3
	日本語Ⅵ-2	2後			1			○							兼2
	日本語Ⅶ-1	2前			1			○							兼3
	日本語Ⅶ-2	2後			1			○							兼2
	インテンシブ中国語Ⅰ-1	1前			1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅰ-2	1後			1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅱ-1	1前			1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅱ-2	1後			1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅲ-1	1前			1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅲ-2	1後			1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅳ-1	2前			1			○							兼1
	インテンシブ中国語Ⅳ-2	2後			1			○							兼1
小計 (38科目)		-	16	22				-	2					兼40	-

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 科目 A	応用コミュニケーション論	2前	2			○			1							
	生活文化論Ⅰ	2前		2		○			1							
	生活文化論Ⅱ	2後		2		○			1							
	地域の伝統文化	3前		2		○				1						
	英語演習Ⅰ-1	1前	1				○		3							兼2
	英語演習Ⅰ-2	1後	1				○		3							兼2
	英語演習Ⅱ-1	2前	1				○			2						兼2
	英語演習Ⅱ-2	2後	1				○			2						兼2
	TOEIC演習Ⅰ-1	1前		1			○		1							
	TOEIC演習Ⅰ-2	1後		1			○		1							
	TOEIC演習Ⅱ-1	1前		1			○		1							
	TOEIC演習Ⅱ-2	1後		1			○		1							
	TOEIC演習Ⅲ-1	1前		1			○									兼2
	TOEIC演習Ⅲ-2	1後		1			○									兼2
	日本語表現法-1	3前	2				○		1							兼1
	日本語表現法-2	3後	2				○		1							兼1
	ITイングリッシュ	3前		1				○								兼3
	ブロードキャスト・イングリッシュ	3後		1				○								兼1
	ゼミナール-1	3前	2					○	8	2	2					兼3
	ゼミナール-2	3後	2					○	8	2	2					兼3
	ゼミナール-3	4前	2					○	7	1	2					兼3
	卒業論文・課題指導	4通		4				○	7	1	2					兼3
小計 (22科目)		—	16	18			—	8	2	2					兼10	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目B	感性コミュニケーション論	2前	2			○			1							
	情報社会論	2前	2			○			1							
	文化産業論	2後	2			○			1							
	表象文化論	3前	2			○										兼1
	大衆文化論Ⅰ-1	3前	2			○			1							
	大衆文化論Ⅰ-2	3後	2			○			1							
	大衆文化論Ⅱ-1	3前	2			○			1							
	大衆文化論Ⅱ-2	3後	2			○			1							
	ジャーナリズム論	3前	2			○										兼1
	印刷出版文化論-1	3前	2			○			1							
	印刷出版文化論-2	3後	2			○										兼1
	翻訳・翻案文化論	3後	2			○										兼1
	映像文化論	3前	2			○			1							
	演劇文化論	3前	2			○										兼1
	身体表現論	3後	2			○										兼1
	空間表現論	3後	2			○										兼1
	意匠・デザイン論	3前	2			○										兼1
	情報発信特論Ⅰ	3前	2			○										兼1
	情報発信特論Ⅱ	3後	2			○										兼1
	言語芸術表現論Ⅰ	3前	2			○										兼1
	言語芸術表現論Ⅱ	3後	2			○										兼1
	言語芸術表現論Ⅲ	3前	2			○			1							
	比較文学論	3前	2			○										兼1
	レトリック論	3後	2			○										兼1
	ファンタジー論	3前	2			○										兼1
	こころと身体メカニズムⅠ	3後	2			○										兼1
	こころと身体メカニズムⅡ	3後	2			○										兼1
	こころと身体メカニズムⅢ	3後	2			○										兼1
	言語芸術表現演習Ⅰ	3後	1			○			1							
	言語芸術表現演習Ⅱ	3前	1			○			1							
	言語芸術表現演習Ⅲ	3後	1			○										兼1
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅰ	3前	1			○			1							
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅱ	3前	1			○			1							
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅲ	3後	1			○										兼1
	コンテンツ・デザイン実習	3後	1					○								兼1
	カルチャー・マネジメント実習	3後	1					○	1							
	アドバタイズメント・デザイン実習	3後	1					○								兼1
	ライフスタイル・コーディネート実習	3前	1					○	1							
	アーツ・セラピー実習	3前	1				○									兼1
小計(39科目)		—	8	59			—	5							兼11	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目C	観光文化論入門	2前	2			○				1							
	ホスピタリティ・コミュニケーション論入門	2後	2			○						1					
	ホスピタリティ論Ⅰ-1	3前	2			○			1								
	ホスピタリティ論Ⅰ-2	3後	2			○			1								
	ホスピタリティ論Ⅱ-1	3前	2			○						1					
	ホスピタリティ論Ⅱ-2	3後	2			○						1					
	宿泊産業概論	3前		2			○			1							
	宿泊産業経営論	3後		2			○			1							
	旅行産業概論	3前		2			○						1				
	旅行産業経営論	3後		2			○			1							
	フードビジネス概論	3前		2			○										兼1
	フードビジネス経営論	3後		2			○										兼1
	観光文化特論Ⅰ-1	3前		2			○			1							
	観光文化特論Ⅰ-2	3後		2			○					1					
	観光文化特論Ⅱ-1	3前		2			○			1							
	観光文化特論Ⅱ-2	3後		2			○			1							
	観光文化特論Ⅲ-1	3前		2			○										兼5
	観光文化特論Ⅲ-2	3後		2			○										兼5
	観光文化特論Ⅳ-1	3前		2			○										兼1
	観光文化特論Ⅳ-2	3後		2			○										兼1
	観光保健論-1	3前		2			○										兼5
	観光保健論-2	3後		2			○										兼11
	観光地理Ⅰ	2前		2			○										兼1
	観光地理Ⅱ	3後		2			○										兼1
	観光業務論Ⅰ	2前		2			○			3	1	2					
	観光業務論Ⅱ	2前		2			○			3	1	2					
	観光業務論Ⅲ	3前		2			○			2		2					兼1
	観光業務論Ⅳ	2後		2			○										兼1
	観光業務論Ⅴ-1	3後		2			○			1							
	観光業務論Ⅴ-2	3後		2			○			1							
	観光業務特論Ⅰ	2前		2			○										兼1
	観光業務特論Ⅱ	3前		2			○										兼1
	ホスピタリティ演習-1	3前		1				○									兼1
	ホスピタリティ演習-2	3後		1				○									兼1
	ホスピタリティ演習-3	3前		1				○									兼1
	観光手話-1	3前		1				○									兼2
	観光手話-2	3後		1				○									兼2
	観光英語-1	3前		1				○									兼1
	観光英語-2	3後		1				○									兼1
	観光日本語	3前		1				○									兼1
	観光中国語	3後		1				○									兼4
	観光実習	3後		1				○				2					
小計(42科目)		-	17	57					3	1	2					兼27	-

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門関連科目A	比較文化論Ⅰ-1	1前		2		○			1							
	比較文化論Ⅰ-2	1後		2		○			1							
	比較文化論Ⅱ-1	1前		2		○			1							
	比較文化論Ⅱ-2	1後		2		○			1							
	アメリカ社会論-1	1前		2		○										兼1
	アメリカ社会論-2	1後		2		○										兼1
	中国事情	1前		2		○										兼1
	韓国事情	1後		2		○										兼1
	地域圏研究Ⅰ-1	1前		2		○			1							
	地域圏研究Ⅰ-2	1後		2		○			1							
	地域圏研究Ⅱ-1	1前		2		○										兼1
	地域圏研究Ⅱ-2	1後		2		○										兼1
	地域圏研究Ⅲ-1	1前		2		○										兼1
	地域圏研究Ⅲ-2	1後		2		○										兼1
	地域圏研究Ⅳ-1	1前		2		○										兼1
	地域圏研究Ⅳ-2	1後		2		○										兼1
	地域圏研究Ⅴ-1	1前		2		○										兼1
	地域圏研究Ⅴ-2	1後		2		○										兼1
	地域圏研究Ⅵ-1	1前		2		○										兼1
	地域圏研究Ⅵ-2	1後		2		○										兼1
	国際関係論Ⅰ	1前		2		○										兼1
	国際関係論Ⅱ	1後		2		○										兼1
	経済原論Ⅰ	1前		2		○										兼1
	経済原論Ⅱ	1後		2		○										兼1
	西洋史-1	1前		2		○										兼1
	西洋史-2	1後		2		○										兼1
	中国史-1	1前		2		○										兼1
	中国史-2	1後		2		○										兼1
	日本史-1	1前		2		○										兼1
	日本史-2	1後		2		○										兼1
	言語学-1	1前		2		○										兼1
	言語学-2	1後		2		○										兼1
	言語と文化-1	1前		2		○			1							
	言語と文化-2	1後		2		○										兼1
	日中文化交流史-1	1前		2		○										兼1
	日中文化交流史-2	1後		2		○										兼1
	日韓文化交流史-1	1前		2		○										兼1
	日韓文化交流史-2	1後		2		○										兼1
	神話学	1前		2		○										兼1
	文化人類学	1後		2		○										兼1
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1	1前		2			○			1						
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2	1後		2			○			1						
英語総合講座-1	1前		2		○										兼1	
英語総合講座-2	1後		2		○										兼1	
英語特論-1	1前		2		○										兼1	
英語特論-2	1後		2		○										兼1	
コミュニケーション概論	1前		2		○										兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	基礎演習-1	1前	1				○		2	1	1				兼3	
	基礎演習-2	1後	1				○		2	1	1				兼3	
	キャリア指導Ⅰ-1	2前	1				○		1		1					
	キャリア指導Ⅰ-2	2後	1				○		1		1					
	キャリア指導Ⅱ-1	3前	1				○		2							
	キャリア指導Ⅱ-2	3後	1				○		2							
	ホスピタリティ実習-1	1前	1				○								兼5	
	ホスピタリティ実習-2	1後	1				○								兼5	
	インターンシップⅠ	2前		1			○				2					
	インターンシップⅡ	2後		1			○			2						
	インターンシップⅢ	2前		1			○		2							
	インターンシップⅣ	2後		1			○		2							
	小計 (59科目)	—	—	10	96			—		7	2	2				兼20
	専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ-1	2前		1			○		2						
ドイツ語Ⅰ-2		2後		1			○		2							
ドイツ語Ⅱ-1		2前		1			○								兼3	
ドイツ語Ⅱ-2		2後		1			○								兼3	
ドイツ語Ⅲ-1		3前		1			○		1							
ドイツ語Ⅲ-2		3後		1			○		1							
フランス語Ⅰ-1		2前		1			○								兼4	
フランス語Ⅰ-2		2後		1			○								兼4	
フランス語Ⅱ-1		2前		1			○								兼3	
フランス語Ⅱ-2		2後		1			○								兼3	
フランス語Ⅲ-1		3前		1			○								兼1	
フランス語Ⅲ-2		3後		1			○								兼1	
スペイン語Ⅰ-1		2前		1			○								兼2	
スペイン語Ⅰ-2		2後		1			○								兼2	
スペイン語Ⅱ-1		2前		1			○								兼2	
スペイン語Ⅱ-2		2後		1			○								兼2	
スペイン語Ⅲ-1		3前		1			○								兼1	
スペイン語Ⅲ-2		3後		1			○								兼1	
インドネシア語Ⅰ-1		2前		1			○								兼1	
インドネシア語Ⅰ-2		2後		1			○								兼1	
インドネシア語Ⅱ-1		2前		1			○								兼1	
インドネシア語Ⅱ-2		2後		1			○								兼1	
インドネシア語Ⅲ-1		3前		1			○								兼1	
インドネシア語Ⅲ-2		3後		1			○								兼1	
韓国語Ⅰ-1		2前		1			○								兼5	
韓国語Ⅰ-2		2後		1			○								兼5	
韓国語Ⅱ-1		2前		1			○								兼4	
韓国語Ⅱ-2		2後		1			○								兼4	
韓国語Ⅲ-1		3前		1			○								兼2	
韓国語Ⅲ-2		3後		1			○								兼2	
情報英語Ⅰ	1前		1			○								兼1		
情報英語Ⅱ	2後		1			○								兼1		
情報中国語Ⅰ	1前		1			○								兼1		
情報中国語Ⅱ	2後		1			○								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	情報日本語	2前		1			○								兼1	
	□語英語Ⅰ-1	2前		1			○								兼1	
	□語英語Ⅰ-2	2後		1			○								兼1	
	□語英語Ⅱ-1	1前		1			○								兼1	
	□語英語Ⅱ-2	1後		1			○								兼1	
	□語英語Ⅲ-1	1前		1			○								兼1	
	□語英語Ⅲ-2	1後		1			○								兼1	
	□語英語Ⅳ-1	1前		1			○								兼1	
	□語英語Ⅳ-2	1後		1			○								兼1	
	□語英語Ⅴ-1	1前		1			○								兼1	
	□語英語Ⅴ-2	1後		1			○								兼1	
	中国語演習Ⅰ-1	2前		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅰ-2	2後		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅱ-1	2前		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅱ-2	2後		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅲ-1	1前		2			○								兼1	
	中国語演習Ⅲ-2	1後		2			○								兼1	
	中国語実習Ⅰ-1	1前		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅰ-2	1後		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅱ-1	1前		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅱ-2	1後		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅲ-1	1前		1			○								兼1	
	中国語実習Ⅲ-2	1後		1			○								兼1	
小計 (57科目)		-	63			-			1					兼28	-	
専門関連科目C	哲学-1	3前		2			○								兼1	
	哲学-2	3後		2			○								兼1	
	宗教学-1	3前		2			○								兼1	
	宗教学-2	3後		2			○								兼1	
	歴史学-1	3前		2			○								兼1	
	歴史学-2	3後		2			○								兼1	
	文学-1	3前		2			○			1					兼1	
	文学-2	3後		2			○			1					兼1	
	音楽-1	3前		2			○								兼2	
	音楽-2	3後		2			○								兼2	
	日本国憲法	3後		2			○								兼2	
	法学	3前		2			○								兼2	
	政治学-1	3前		2			○								兼1	
	政治学-2	3後		2			○								兼1	
	地理学-1	3前		2			○								兼2	
	地理学-2	3後		2			○								兼2	
	経済学-1	3前		2			○								兼1	
	経済学-2	3後		2			○								兼1	
	数学-1	3前		2			○								兼2	
	数学-2	3後		2			○								兼2	
物理学-1	3前		2			○								兼1		
物理学-2	3後		2			○								兼1		
化学-1	3前		2			○								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	化学-2	3後		2		○									兼1	
	生物学-1	3前		2		○									兼1	
	生物学-2	3後		2		○									兼1	
	心理学-1	3前		2		○									兼2	
	心理学-2	3後		2		○									兼2	
	統計学-1	3前		2		○									兼2	
	統計学-2	3後		2		○									兼2	
	情報処理	1前		2		○									兼2	
	体育理論	1前		1		○									兼2	
	体育実技-1	1前		1				○							兼3	
	体育実技-2	1後		1				○							兼3	
	小計 (34科目)	-		65				-	1						兼22	-
専門関連科目D	他学部設置科目															
合計 (291科目)		-	67	380				-	12	2	2				兼129	-
学位又称号		学士 (文学)			学位又は学科の分野				文学関係							
教 育 課 程 の 編 成 方 針																
卒業要件及び履修方法																
授業期間等																
														1学年の学期区分		期
														1学期の授業期間		週
														1時限の授業時間		分

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	英語Ⅰ-1	徹底的な英文ダイアローグの音読・暗記を行ないながら、実践的な「使える・話せる英語」の習得を目指す。八王子キャンパスを舞台とした大学生活で遭遇するさまざまな状況を想定したダイアローグで構成されたテキストを用いて、重要表現のパターンプラクティスを行いながらダイアローグ全体を正しい発音で繰り返し音読練習を行い、さらに暗唱することによって、英語の語感を養い、英語力を総合的に伸ばすための土台を強化する。	
	英語Ⅰ-2	徹底的な英文ダイアローグの音読・暗記を行ないながら、実践的な「使える・話せる英語」の習得を目指す。八王子キャンパスを舞台とした大学生活で遭遇するさまざまな状況を想定したダイアローグで構成されたテキストを用いて、重要表現のパターンプラクティスを行いながらダイアローグ全体を正しい発音で繰り返し音読練習を行い、さらに暗唱することによって、英語の語感を養い、英語力を総合的に伸ばすための土台を強化する。	
	英語Ⅱ-1	徹底的な英文ダイアローグの音読・暗記を行ないながら、実践的な「使える・話せる英語」の習得を目指す。八王子キャンパスを舞台とした大学生活で遭遇するさまざまな状況を想定したダイアローグで構成されたテキストを用いて、重要表現のパターンプラクティスを行いながらダイアローグ全体を正しい発音で繰り返し音読練習を行い、さらに暗唱することによって、英語の語感を養い、英語力を総合的に伸ばすための土台を強化する。	
	英語Ⅱ-2	徹底的な英文ダイアローグの音読・暗記を行ないながら、実践的な「使える・話せる英語」の習得を目指す。八王子キャンパスを舞台とした大学生活で遭遇するさまざまな状況を想定したダイアローグで構成されたテキストを用いて、重要表現のパターンプラクティスを行いながらダイアローグ全体を正しい発音で繰り返し音読練習を行い、さらに暗唱することによって、英語の語感を養い、英語力を総合的に伸ばすための土台を強化する。	
	英語Ⅲ-1	PEP#1で培った音声面にリーディングの要素を加え、総合的な英語力をのばすことを目的とする。杏林大学の教員による書き下ろしのテキストを使って演習を行う際、次の4点に留意する。①ディクテーションによってヒアリング力を向上させる、②音読練習によって滑らかに朗読する力を養う、③文法を理解しながら文章全体を正しく読む ④語彙力を強化する。週2回の連続授業を通じて、PEP#2では大学生としての英語基礎力の完成を目指す。	
	英語Ⅲ-2	PEP#1で培った音声面にリーディングの要素を加え、総合的な英語力をのばすことを目的とする。杏林大学の教員による書き下ろしのテキストを使って演習を行う際、次の4点に留意する。①ディクテーションによってヒアリング力を向上させる、②音読練習によって滑らかに朗読する力を養う、③文法を理解しながら文章全体を正しく読む ④語彙力を強化する。週2回の連続授業を通じて、PEP#2では大学生としての英語基礎力の完成を目指す。	
	英語Ⅳ-1	PEP#1で培った音声面にリーディングの要素を加え、総合的な英語力をのばすことを目的とする。杏林大学の教員による書き下ろしのテキストを使って演習を行う際、次の4点に留意する。①ディクテーションによってヒアリング力を向上させる、②音読練習によって滑らかに朗読する力を養う、③文法を理解しながら文章全体を正しく読む ④語彙力を強化する。週2回の連続授業を通じて、PEP#2では大学生としての英語基礎力の完成を目指す。	
	英語Ⅳ-2	PEP#1で培った音声面にリーディングの要素を加え、総合的な英語力をのばすことを目的とする。杏林大学の教員による書き下ろしのテキストを使って演習を行う際、次の4点に留意する。①ディクテーションによってヒアリング力を向上させる、②音読練習によって滑らかに朗読する力を養う、③文法を理解しながら文章全体を正しく読む ④語彙力を強化する。週2回の連続授業を通じて、PEP#2では大学生としての英語基礎力の完成を目指す。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	中国語Ⅰ-1	中国語の発音の基礎を習得する。基礎的な語彙・文法事項を少しずつ学んでいく。また、中国語の初級から中級までを学ぶ。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされている。「中国語Ⅰ-1」と「中国語Ⅱ-1」は同じテキストを使い、リレー式で授業を行いながら中国語の発音練習からはじめて、単語や文法事項を少しずつ学んでいく。	
	中国語Ⅰ-2	中国語の基本的な語彙・文法事項を学習し、中国語検定準4級の受験が可能な学力の習得を目指す。「中国語Ⅰ-1」、「中国語Ⅱ-1」の続きの授業であり、「中国語Ⅰ-2」と「中国語Ⅱ-2」はリレー式で、週2コマ授業を行う。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされている。	
	中国語Ⅱ-1	中国語の発音の基礎を習得する。基礎的な語彙・文法事項を少しずつ学んでいく。また、中国語の初級から中級までを学ぶ。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされている。「中国語Ⅰ-1」と「中国語Ⅱ-1」は同じテキストを使い、リレー式で授業を行いながら中国語の発音練習からはじめて、単語や文法事項を少しずつ学んでいく。	
	中国語Ⅱ-2	中国語の基本的な語彙・文法事項を学習し、中国語検定準4級の受験が可能な学力の習得を目指す。「中国語Ⅰ-1」、「中国語Ⅱ-1」の続きの授業であり、「中国語Ⅰ-2」と「中国語Ⅱ-2」はリレー式で、週2コマ授業を行います。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされている。2セメスター終了時には中国語検定準4級の受験が可能。	
	中国語Ⅲ-1	中国語の基本的な語彙・文法事項に加えて常用性の高い構文についても学ぶ。中国語検定4級の受験が可能な学力の習得を目指す。「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」にひきつづいて基礎の中国語を学ぶ。「中国語Ⅲ-1」と「中国語Ⅳ-1」をリレー式で、週2コマ授業を行い、本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされている。	
	中国語Ⅲ-2	これまでに学んだ中国語の基本的な語彙・文法項目・構文を下書きに、中級レベルの文章を読みこなせる能力を養成し、中国語検定3級の受験が可能な学力の習得を目指す。「中国語Ⅲ-1」、「中国語Ⅳ-1」の続きの授業で、春学期同様、「中国語Ⅲ-2」と「中国語Ⅳ-2」をリレー式で、週2コマ授業を行う。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされている。	
	中国語Ⅳ-1	中国語の基本的な語彙・文法事項に加えて常用性の高い構文についても学ぶ。中国語検定4級の受験が可能な学力の習得を目指す。「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」にひきつづいて基礎の中国語を学ぶ。「中国語Ⅲ-1」と「中国語Ⅳ-1」をリレー式で、週2コマ授業を行い、本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされている。	
	中国語Ⅳ-2	これまでに学んだ中国語の基本的な語彙・文法項目・構文を下書きに、中級レベルの文章を読みこなせる能力を養成し、中国語検定3級の受験が可能な学力の習得を目指す。「中国語Ⅲ-1」、「中国語Ⅳ-1」の続きの授業で、春学期同様、「中国語Ⅲ-2」と「中国語Ⅳ-2」をリレー式で、週2コマ授業を行う。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされている。また、4セメスター後半から中級レベルの文章読解の訓練を行う。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門外国語科目	日本語Ⅰ-1	主として聴解力を向上させるための講座である。大学生が講義や発表を聞くのに必要な聴解力を身につけることを目指す。本授業では、話されたことがらのなかにてきた未知の語彙を音として聞きとって調べたり、聞きとれない部分を周囲の状況から類推するなど、大学生が講義を聞くのに必要な聴解力を身につけることを目指す。また、講義や発表を聞くために必要な漢字・語彙の学習も併せて行う。	
	日本語Ⅰ-2	主として聴解力を向上させるための講座である。大学生が講義や発表を聞くのに必要な聴解力を身につけることを目指す。本授業では、話されたことがらのなかにてきた未知の語彙を音として聞きとって調べたり、聞きとれない部分を周囲の状況から類推するなど、大学生が講義を聞くのに必要な聴解力を身につけることを目指す。また、講義や発表を聞くために必要な漢字・語彙の学習も併せて行う。	
	日本語Ⅱ-1	主として読解力を向上させるための講座である。大学生が専門書、論文などの論理的な文章を読むのに必要な基礎的な読解技術を身につけることを目指す。本授業では、文章の論理構造に関する知識の学習、情報検索やアウトライン作成などの読解スキルを学ぶ。また、論理的な文章を読むために欠かせない文法に関する知識を学び、比較的短い文章を正確に読むことを目指す。	
	日本語Ⅱ-2	主として読解力を向上させるための講座である。大学生が専門書、論文などの論理的な文章を読むのに必要な基礎的な読解技術を身につけることを目指す。本授業では、文章の論理構造に関する知識の学習、情報検索やアウトライン作成などの読解スキルを学ぶ。また、論理的な文章を読むために欠かせない文法に関する知識を学び、比較的短い文章を正確に読むことを目指す。	
	日本語Ⅲ-1	主として書く力を向上させるための講座である。大学生がレポートを書くのに必要な基礎的な作文能力を身につけることを目指す。本授業では、文体と書き言葉、文章の構成、段落内の構成、テーマの述べ方、引用の仕方、意見の述べ方など、論理的文章の作成に必要な基本的技能を学ぶ。また、レポートを書くのに欠かせない文法事項を復習し、文作成練習を行う。	
	日本語Ⅲ-2	主として書く力を向上させるための講座である。大学生がレポートを書くのに必要な基礎的な作文能力を身につけることを目指す。本授業では、文体と書き言葉、文章の構成、段落内の構成、テーマの述べ方、引用の仕方、意見の述べ方など、論理的文章の作成に必要な基本的技能を学ぶ。また、レポートを書くのに欠かせない文法事項を復習し、文作成練習を行う。	
	日本語Ⅳ-1	主として書く力を向上させるための講座である。この授業では、大学生がレポートや研究発表要旨、卒業論文などを書くのに必要な客観的な文章を書く能力を身につけることを目指す。本授業では、論理的文章の展開パターンや、学術的文章でよく使われる文型や表現を学ぶ。具体的には、引用、図表の提示、原因の考察、同意と反論など、学術論文を書くのに役立つ文型・表現を学習する。	
	日本語Ⅳ-2	主として書く力を向上させるための講座である。この授業では、大学生がレポートや研究発表要旨、卒業論文などを書くのに必要な客観的な文章を書く能力を身につけることを目指す。本授業では、論理的文章の展開パターンや、学術的文章でよく使われる文型や表現を学ぶ。具体的には、引用、図表の提示、原因の考察、同意と反論など、学術論文を書くのに役立つ文型・表現を学習する。	
	日本語Ⅴ-1	主として読解力を向上させるための講座である。大学生が専門書、論文などの論理的な文章を読むのに必要な読解力の向上を目指す。本授業では、論文を読むための文章の構造に関する知識や文法知識を学びながら、大意を把握したり、必要な情報を読み取ったりする練習を行う。また、読解のスキルを学び、課題をこなすことで日本語能力試験に必要な能力の強化も図る。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	日本語V-2	主として読解力を向上させるための講座である。大学生が専門書、論文などの論理的な文章を読むのに必要な読解力の向上を目指す。本授業では、論文を読むための文章の構造に関する知識や文法知識を学びながら、大意を把握したり、必要な情報を読み取ったりする練習を行う。また、読解のスキルを学び、課題をこなすことで日本語能力試験に必要な能力の強化も図る。	
	日本語VI-1	主に日本の短編小説を教材として、日本語のたて書きの文章に慣れるためのトレーニングをおこなう。やさしくて短い文章から読み始めて、少しずつ長い文章に挑戦する。「やさしいから読める」という体験を重ねて、「面白いから読みたい」という段階へ進む。授業が終わる頃には、自分で読みたいものが見つけられるようになってほしいと考えている。	
	日本語VI-2	主に日本の短編小説を教材として、日本語のたて書きの文章に慣れるためのトレーニングをおこなう。やさしくて短い文章から読み始めて、少しずつ長い文章に挑戦する。「やさしいから読める」という体験を重ねて、「面白いから読みたい」という段階へ進む。授業が終わる頃には、自分で読みたいものが見つけられるようになってほしいと考えている。	
	日本語VII-1	当時の時代、社会背景を理解したうえで古典を読み、日本の文化・習慣・価値観などを学ぶ。特に、現代の日本人にとって常識である知識・語彙・慣用句などを強化し、大学・社会で必要な知識を身につけることを目的とする。主に現代語で日本の古典を読む。その基礎知識としての地理、歴史、ことわざなども学ぶ。前期の範囲は、縄文時代から鎌倉時代初期までで、主に貴族について取り上げる。	
	日本語VII-2	当時の時代、社会背景を理解したうえで古典を読み、日本の文化・習慣・価値観などを学ぶ。特に、現代の日本人にとって常識である知識・語彙・慣用句などを強化し、大学・社会で必要な知識を身につけることを目的とする。主に現代語で日本の古典を読む。その基礎知識としての歴史、ことわざなども学ぶ。後期の範囲は、平安時代後期から江戸時代後期までで、主に武士と庶民について取り上げる。	
	インテンシブ中国語Ⅰ-1	中国語の初級から中級までを学ぶ。本学部オリジナルテキストを使って、授業時間中に十分な練習ドリルを行うことにより、着実に力が着くようにプログラムされている。中国語の発音の基礎の習得からはじめ、基礎的な単語・文法事項を学んでいき、テキストの半分以上を終える予定である。「中国語Ⅰ-1」「中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅰ-1」「インテンシブ中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅲ-1」は同じテキストを使い、リレー式で授業を行う。	
	インテンシブ中国語Ⅰ-2	「中国語Ⅰ-1」「中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅰ-1」「インテンシブ中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅲ-1」の続きの授業である。授業中に十分な練習ドリルを行うことによって着実に力が着くようにプログラムされている。終盤には中級レベルの文章読解の訓練を行う。「中国語Ⅰ-2」「中国語Ⅱ-2」「インテンシブ中国語Ⅰ-2」「インテンシブ中国語Ⅱ-2」「インテンシブ中国語Ⅲ-2」はリレー式で授業を行う。	
	インテンシブ中国語Ⅱ-1	本学部オリジナルテキストを使って、授業時間中に十分な練習ドリルを行うことにより、着実に力が着くようにプログラムされている。中国語の発音の基礎の習得からはじめ、基礎的な単語・文法事項を学んでいく。テキストの半分以上を終える予定である。「中国語Ⅰ-1」「中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅰ-1」「インテンシブ中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅲ-1」は同じテキストを使い、リレー式で授業を行う。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	インテンシブ中国語Ⅱ-2	「中国語Ⅰ-1」「中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅰ-1」「インテンシブ中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅲ-1」の続きの授業である。授業中に十分な練習ドリルを行うことによって着実に力が着くようにプログラムされている。終盤には中級レベルの文章読解の訓練を行う。「中国語Ⅰ-2」「中国語Ⅱ-2」「インテンシブ中国語Ⅰ-2」「インテンシブ中国語Ⅱ-2」「インテンシブ中国語Ⅲ-2」はリレー式で授業を行う。	
	インテンシブ中国語Ⅲ-1	中国語の初級から中級までを学ぶ。本学部オリジナルテキストを使って、授業時間中に十分な練習ドリルを行うことにより、着実に力が着くようにプログラムされている。中国語の発音の基礎の習得からはじめ、基礎的な単語・文法事項を学んでいく。テキストの半分以上を終える予定である。「中国語Ⅰ-1」「中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅰ-1」「インテンシブ中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅲ-1」は同じテキストを使い、リレー式で授業を行う。	
	インテンシブ中国語Ⅲ-2	「中国語Ⅰ-1」「中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅰ-1」「インテンシブ中国語Ⅱ-1」「インテンシブ中国語Ⅲ-1」の続きの授業である。授業中に十分な練習ドリルを行うことによって着実に力が着くようにプログラムされている。終盤には中級レベルの文章読解の訓練を行う。「中国語Ⅰ-2」「中国語Ⅱ-2」「インテンシブ中国語Ⅰ-2」「インテンシブ中国語Ⅱ-2」「インテンシブ中国語Ⅲ-2」はリレー式で授業を行う。	
	インテンシブ中国語Ⅳ-1	日常生活レベルの会話のみならず、自分の考えを文章に書くことが出来て、口頭で中国人とコミュニケーションがとれることを目指す。基本文例の音読、暗記を徹底的に行い、「聞く、話す、読む、書く、訳す」五つの要素をバランスよくトレーニングを重ねていく。学んだ文型や語彙をすぐに使って自分の言いたいことを中国語で表現してみる、という実践型の授業を展開していく。	
	インテンシブ中国語Ⅳ-2	様々な場面において、中国語でコミュニケーションがとれて、自分の考えを文章に書けることを目標とする。前期同様、場面会話と作文&プレゼンテーションに重点を置きつつ、「聞く、話す、読む、書く、訳す」という5つの要素をバランスよくトレーニングしていく。語彙や文型のさらなる蓄積によって、前期よりもより流暢で中国語らしい会話、より質の高い文章が書けることを目指す。なお、学生の習熟度に応じてプリント教材も用意する。	
	観光交流文化論	この講義では観光および観光産業の理論的考察を扱う。観光は現代の人間活動の諸分野に広範な影響を与えている「現代的現象」であり、その分野は生活、産業経済、国家政策など広範な形態を含み、その影響は国境や文化を問わず世界的範囲に及んでいる。講義では観光を価値の側面からとらえ、観光の理論的理解と産業社会への実践的応用を学習する。	
	ホスピタリティ論	本講義ではサービス産業のなかで中核を担うホスピタリティ産業について企業事例を示しながら、その概念について学ぶ。前半ではサービスの概念から説き起こし、ホスピタリティの概念、サービスとホスピタリティの本質的差異について理解を得たうえで、後半で「ホスピタリティ・マネジメント」において優れた成果を示している世界のエクセレントカンパニーの「顧客満足経営手法」にアプローチする。	
	国際観光論	観光は21世紀の人間社会を支える重要な世界的産業となることを期待されている。また、観光というシステムの発達が世界中の人々の交流を促進しているといえる。本講義は、このようなグローバルな社会現象である観光を専門科目として学ぶにあたり、その前提となる国際的な観光の概況について学ぶことを目的とする。具体的にはWorld Tourism Organizationなど国際機関の諸資料を基に国際観光の動きを把握していく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	交流文化論	異なる地域社会に属する人びと同士との交流が盛んとなっている現代においては、個別・固定的にとらえる「静態的」な文化ではなく、交流から創造されるダイナミックな「文化」の形が見られるようになってきている。そのような世界の現状について、主として観光地域として発達している地域の事例を通じて幅広く学ぶ。	
	異文化コミュニケーション論	世界各地のさまざまな「文化」を比較することによって、文化をこえたコミュニケーションのありかたを考えていく。自分が所属する社会・コミュニティでは「自然」なことでも、コミュニティの外側からみれば、「奇妙な」慣習がたくさんある。そこに「文化」の正体が露呈する。本講義では、世界各地の「奇妙な」慣習を例として取り上げ、それを受講者自らの生活と比較することで、相対的に「文化事象」をとらえられる視点を身につける。	
	サービス文化論	本講義はサービスを「取引される機能」と位置付ける。現代社会は広範かつ多岐にわたる機能を必要とすると同時に、サービス需要は高度化していき、人間が担当するサービスの現場においては、その受け渡し局面で人格と機能が分から難く関与する。サービスが内容と評価に人間的要素を多量に含むことから、サービスは必ず人間文化を反映し、文化はサービスに影響を与える。本講義では特に日本文化とサービスを取り上げ、その特徴や構造を考察する。	
	サービス日本語	本講義では、基本的な日本語能力を向上させることを通じて、さまざまな顧客や上司、仲間との円滑なコミュニケーションを取る手段を磨く。また、サービス産業に従事するスタッフとして求められる正しく美しい日本語を身につけるとともに、ノンバーバルコミュニケーションであるボディランゲージも実践的に磨き、身につける。	
	紀行文学論	観光は旅に伴う世界体験である。古来人間は旅する。観光は人間の旅とともに古い。記録が始まって以来、文字は歴史を記述してきた。歴史は主として政治経済と人間社会を語る。旅の歴史は紀行文学のなかに残るが、観光の観点から紀行文をとらえる視点はまだ希薄である。本講義では特にヨーロッパと日本の文学から交通や旅を抽出し、時代背景とともに人間の旅を考察することによって、現代につながる観光の意味や意義を学ぶ。	
	観光メディア論	無形商品としての観光関連商品である宿泊、食事、運輸などのサービスに発生する権利は、所有権でなく利用権である。つまり、無形情報の集まりである観光関連商品にメディアが及ぼす影響は極めて大きい。メディアには新聞、雑誌、ガイドブックなどの活字メディア、TV、映画などの映像メディア、そして第3のメディアとして発展著しいインターネットがあるが、本講義ではこれらメディアによる情報が観光者の行動にどのような影響を及ぼすことができるかを考察する。	
	観光心理学	観光の動機と目的は人によりさまざまであり、観光がもたらす満足度もまた人により落差がある。そこには人それぞれの心の問題が存在するからである。観光者の立場と観光者を受け入れる立場の両側において発生する観光現象について心理学的アプローチを行い、人間の取る観光行動のメカニズムを解明する。事例研究として、人間の心理学的側面に光を当て、成功した旅行企画商品やホテル企画商品を取り上げる。	
	観光人類学	本講義では、観光を単なる産業的視点に基づく「経済的現象」としてだけでなく、現代的な社会的・文化的現象としてとらえ、文化人類学・社会学などの諸議論を参照しながら、現代観光の特徴と構造について理解を深めることを目的とする。毎回特定の議論や視点について、それに関連する事例を取り上げながら、紹介していく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目 A	観光地理学	現代の国内観光は、観光者の観光サービスに求める意識は高く、さらに、年々増加する訪日外国人の観光においても、わが国のもつ風俗・習慣など独自文化を理解してもらう機会であり、観光情報の多様性と正確性がますます問われるようになってきている。本講義では、前提となる地理学的視点を講じた上で、景勝地や温泉地、歴史的建造物等の観光資源に関する知識を確立し、地域振興という視点から観光地の形成過程を捉えていく。	
	観光保健論	観光と健康のかかわりについては、近年「旅行医学」といった分野が現れるなど、観光現象における大きなテーマとなってきた。その内容は「観光による心身状態の向上」と「観光時の健康状態の把握」の2つに大別することができる。本講義では、観光と健康のかかわりを考察する際の前提となる、人体・生物学の基礎的素養を学習し、そのうえで「健康な状態」はどのように成立するかを学ぶ。	
	福祉観光論	観光関連産業および観光地にとって、高齢者・障がい者の観光者にどのように対応するかが、今後の重要な課題になってくる。本講義では、まず健康とは何か、高齢者・障がい者の概念、地域の福祉の現状について学んだうえで、観光の現場（旅行先、宿泊施設など）において必要とされる「介護技術」を学ぶことを目的とする。	
	観光マーケティング論	本講義では、まず現代的な企業組織において必須の活動である「マーケティング」の基礎的知識を習得する。その上で、観光産業の特性に対応したマーケティング戦略の理論について実践事例を交えて解説する。観光産業には物販業その他の業界に見られない商品的な特性があるが、その視点を前提とした顧客満足最大化を目指すマーケティング理論を中心に展開する。	
	キャリアデザインⅠ	キャリアとは、人が労働市場のなかで経験する仕事の連鎖を意味している。こうしたキャリアは、個人が主体的に形成するものと、個人が所属する組織体が自らの目的達成のために提供するものとに二分される。本講義では、日本企業における風習や特性を加味しながらリーダーシップやモチベーションの観点から個人主導型のキャリア形成に関する理解を深める。	
	キャリアデザインⅡ	キャリアとは、人が労働市場のなかで経験する仕事の連鎖を意味している。こうしたキャリアは、個人が主体的に形成するものと、個人が所属する組織体が自らの目的達成のために提供するものとに二分される。本講義では、人的資源管理の観点から日本企業における風習や特性を踏まえ企業主導型のキャリア形成に関する理解を深める。	
	観光英語Ⅰ-1	観光におけるさまざまな場面で求められる「会話力と読解力」を中心に習得する。想定される具体的な場面としては、個人旅行、業務渡航、添乗等である。また、観光資源を紹介するための英語表現の習得を前提として、英国の観光名所・文化の紹介作業を行い、英語力の強化に加えて英国に対する理解を深める。	
	観光英語Ⅰ-2	観光におけるさまざまな場面で求められる「会話力と読解力」を中心に習得する。想定される具体的な場面としては、個人旅行、業務渡航、添乗等である。また、観光資源を紹介するための英語表現の習得を前提として、アメリカの観光名所・文化の紹介作業を行い、英語力の強化に加えてアメリカに対する理解を深める。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	観光英語Ⅱ-1	観光英語Ⅰでの学習を前提として、その発展形として、観光におけるさまざまな場面で使用される英語を会話形式で学ぶ。場面としては、ホテルや機内、空港などサービス提供者として接客するうえで必要となる定型の会話を学ぶ。また各場面における代表的なイレギュラー対応時の表現についても学ぶ。	
	観光英語Ⅱ-2	観光英語Ⅰの発展形として、観光におけるさまざまな場面で使用される英語表現を会話形式で学ぶ。具体的な場面としては、ホテル、機内、空港などで「サービス提供者」として接客するうえで必要となる会話表現を、敬語表現まで含めて学ぶ。また各場面における代表的なイレギュラー対応時の表現についても学ぶ。	
	観光中国語-1	これまでに基礎的な語学学習を修了していることを前提とし、観光におけるさまざまな場面で使用される中国語を会話形式で学ぶことを通じて、中国語表現力のさらなるレベルアップを図る。場面としては、個人旅行、業務渡航、添乗等を想定している。また、中国の観光名所・文化の紹介を通じて、中国に対する理解を深める。	
	観光中国語-2	これまでに基礎的な語学学習を修了していることを前提とし、観光におけるさまざまな場面で使用される中国語を会話形式で学ぶことを通じて、中国語表現力のさらなるレベルアップを図る。観光中国語-1に引き続き、場面として、個人旅行、業務渡航、添乗等を想定している。また、中国の観光名所・文化の紹介を通じて、中国に対する理解を深める。	
	観光韓国語-1	これまでに基礎的な語学学習を修了していることを前提とし、観光におけるさまざまな場面で使用される韓国語を会話形式で学ぶことを通じて、韓国語表現力のさらなるレベルアップを図る。場面としては、個人旅行、業務渡航、添乗等を想定している。また、韓国の観光名所・文化の紹介を通じて、韓国に対する理解を深める。	
	観光韓国語-2	これまでに基礎的な語学学習を修了していることを前提とし、観光におけるさまざまな場面で使用される韓国語を会話形式で学ぶことを通じて、韓国語表現力のさらなるレベルアップを図る。観光韓国語-1に引き続き、場面として、個人旅行、業務渡航、添乗等を想定している。また、韓国の観光名所・文化の紹介を通じて、韓国に対する理解を深める。	
	観光手話基礎	観光に携わる職業において、耳が不自由な方々を含めたすべての顧客へ正確な情報提供をするためにはコミュニケーションに工夫が必要である。本講義では手話の基礎をふまえ、ツアーコンダクターの接客を模してロールプレイし、コミュニケーション技術のひとつである手話の基礎を学びながら、対応の工夫を習得する。ゲストにろう講師を迎え、生の手話にも触れる。	
	観光手話	観光に携わる職業においてすべての顧客へ分かりやすく情報を提供するためにはコミュニケーションの工夫と技術が必要である。観光手話基礎での習得を応用し、ツアーコンダクターの接客を模してロールプレイし、対応の技術を習得する。ゲストにろう講師を迎え、生の手話会話を実践し、手指動作のみならず、表情・視線を使ってすべての人へ、正確で分かりやすい情報提供するためのコミュニケーション技術を習得する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	実用英語-1	本講義では、特に文法力の強化を主眼とし、高校までの文法学習の復習をしながら知識の定着を図っていく。また、毎回の講義においてリスニングとリーディングのトレーニングを交互に行い、そのスキルアップを図る。それに加えてビジネス文書の作成や理解に役立つよう、TOEICテストへの取り組みも行っていく。	
	実用英語-2	本講義では、実用英語演習1に引き続き、文法力の強化を主眼とし、高校までの文法学習の復習をしながら知識の定着を図っていく。また、毎回の講義においてリスニングとリーディングのトレーニングを交互に行い、そのスキルアップを図る。それに加えてビジネス文書の作成や理解に役立つよう、TOEICテストへの取り組みも行っていく。	
	観光基礎演習-1	観光事業と旅行事業に必要とされる基礎的知識の習得を目的とする講義である。パッケージツアー設計に求められる基礎的な観光資源(地理、地誌、民俗、文化、通史)や具体的LAND要素(施設、イベント)の基礎知識を学ぶ。例となる共通練習教材を作り、具体的に設計させる。グループディスカッションやケーススタディーを中心に行う。	
	観光基礎演習-2	観光事業と旅行事業のサービス設計に必要とされる基礎的知識の習得を目的とする講義である。サービスのオペレーションに求められる人間基礎力を能力面(課題感知力、状況分析力、判断力、論理表現力)や資質面(対人関係構築力、応対力、感性力)から学ぶ。そのために共通練習教材を作り、具体的に判断させるとともに、グループディスカッションやケーススタディーを行う。	
	ゼミナール-1	専任教員による指導の下、広く観光事業・産業についての研究を少人数で行う。各専門講義における学習成果に基づき、各産業の事業構造や各産業のビジネス形態の進歩発展に関する研究や、そこで働く人材に関する研究など観光にかかわるすべての事象を対象に、個人ないしはグループで研究を行う。	
	ゼミナール-2	各自が絞り込んだ観光交流文化現象に関する研究を行う。研究のテーマは、観光産業の現代的トピックや交流の現状と課題など、観光に関する現象全般を対象とし、そのなかから各自で研究テーマを絞っていく。毎回の講義では各自の視点で研究した内容につき発表し、その内容について討議を行う。	
	ゼミナール-3	これまで行ってきた観光交流文化現象に対する研究テーマを確定し、卒業論文執筆のための基礎的な研究を行う。毎回1~3人が交代で途中経過と研究成果を発表する。その際、ワープロソフトでレジュメ(発表用のプリント)を作成し、またプレゼンテーション機材を使用し、他の履修者に理解しやすいように工夫する技法を習得する。	
	卒業論文・課題指導	専門分野に関する学習・ゼミナールにおける研究の仕上げとして、卒業論文または調査研究報告書執筆を行う。各自が設定した課題に対し、調査仮説をたて、それに対する検証を行いながら仕上げていく。毎回の発表では各自の研究内容を発表し、討議を行う。最終的には卒業論文・加課題発表会での発表を実施する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	サービス産業論	サービス産業がサービスという形の無い商品を通して、どのように顧客満足を高めているのか、またそこにはどのような現代的課題があるのかなど、製造業などの他産業と比較しながら考察していく。サービスにおける品質と顧客満足との関係について中心的に取り上げる。教科書で重要な諸理論を確認しながら、具体的な事例を取り上げてサービス産業の経営とマーケティングの基礎的な知識も習得する。	
	航空産業論	航空業の経営戦略、マーケティング戦略について、事例を通じて基礎的な知識を習得することを目的とする。旅行の多様化や航空機の大型化、規制緩和などの経営環境の変化を背景とした、格安航空会社の登場、安全性確保など最新の動向を把握するとともに、アライアンスやマイレージ、各種の割引制度といった航空業の経営にとって重要な現代的な手法も取り上げる。	
	航空サービス論	本講義では、航空業界全般に関する研究を扱う。飛行機の歴史は、約100年と浅いものの、飛躍的な技術進歩もあり、商業化された航空業界も劇的に変化し続けている。45・47体制から1990年代のデレグを経て現在にいたる航空業界は、ブランド力とLCCをいかにマネジメントするかがポイントになっている。過去から現在の航空業界を研究し、今後の方向性を予測し、日本の航空会社のあるべき姿を考える。	
	宿泊産業論	本講義は、観光産業の代表的事例として宿泊産業を取り上げ、その基礎的な知識を習得する事を目的とする。講義は、宿泊施設の役割、類型、宿泊業の歴史等について概観した後、宿泊産業の中核事業としてのホテル事業に焦点をあて、組織と職務を中心にホテル運営の全般について学習する。併せて、都度現実の経営場面を例示することにより、より実践的な視点から、ホテル事業の全体像についての理解を深める。	
	宿泊サービス論	履修者がすでにホテル事業の全体像を把握していることを前提に、本講義では、事業としてのホテル経営を中心的な課題とする。具体的には、事業スキーム、経営管理、新規事業計画等について学習すると同時に、現実社会との関わりの中で、マネジメントの視点から見たホテル事業の様々な側面についての理解を深める。関連する業務管理、サービス品質管理、顧客満足戦略などについても取り上げる。	
	外食産業論	F&B事業はホスピタリティ産業において重要な位置をしめるばかりか、その市場規模、消費者の利用頻度をみても、わが国における重要な産業のひとつであることがわかる。本講義では、わが国において、F&B事業が発展してきた経緯をたどり、社会や経済の発展が市場にどのようなニーズを喚起したのかについて考察する。さらに、食の安全並びに環境問題への対応のあり方や中食との競合などマーケットにかかわる今日的な課題についても取り上げる。	
	外食サービス論	巨大なチェーンに発展した外食産業成功の要因は卓越したマーケティングである。また、物販とは異なり、外食チェーン展開には実際の店舗展開が必要不可欠である。そのためには店舗に配置する人員の採用や教育を行う必要がある。食材の調達や広告などの面を含め、日米の外食チェーンの現状と動向について、将来を見据えながら詳細に分析し、外食サービスに関する理解を深めていく。	
	旅行産業論	本講義は、旅行業界の特徴と構造について概説することを目的とする。旅行商品の基本的な特徴に留意しながら、旅行業界の概要や旅行会社の業務の実際について概説する。また、特徴的な事業展開を行っている企業の事例を集中的に取り上げながら、高齢化社会の到来、経済不況、規制緩和、環境問題への関心の高まりなど、現在の旅行業界が抱える課題とそれに対する取り組みを紹介していく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目 B	旅行サービス論	消費者の多様な価値観の出現にともない、旅行商品は、既存のバック商品に加えて提案型の商品に発展しつつある。本講義は、バック商品がわが国のマスツーリズムに与えた影響などを整理し、旅行商品が企画され、実際に催行されるまでの流れについて、商品企画や添乗にかかわる業務を参照しながら理解することを目的とする。さらに、出版や金融、保険、出張処理などの関連サービスへの展開についても取り上げる。	
	ホスピタリティマネジメント論	ホスピタリティ産業の勤務には、管理者（上司）から離れた場所で不規則な勤務形態で就労するという特徴がある。このことは就労者の心身の疲労をはじめとする様々な問題を包含している。こうした問題を取り上げ、採用、育成、品質管理といった人材管理について学習する。感情労働、ヒューマン・リソース・マネジメント、クラスター型人事制度、人材のフロー化などのトピックにもふれる。	
	観光政策・行政論	今日、「観光立国」という言葉を聞くようになったものの、日本の観光はまだ成長過程にとどまっているというのが現状である。しかしその一方で、地域振興の手段としての観光には大きな期待が寄せられている。そこで本講義では、観光による地域振興をめぐるトピックについて、関連する政策と行政の側面から整理し、先進事例および今後の方向性の紹介を通じて学習する。随時、映像資料の利用による講義も行う予定である。	
	風景・景観論	「風景」は、「景観」よりも主観的要素が多く含まれるが、実際にはどちらもほぼ同義で使われることが多い。本講義では特に景観価値に対し観光学の視座からアプローチを試み、景観が本来もつ歴史的価値、文化的価値、環境的価値について具体事例を取り上げながら考察する。日本でも景観論争の高まりを受け、ようやく2004年に「景観法」が施行された。その景観法の理念と目的を知り、観光立国を実現するうえでの前提として、個性的で活力ある地域社会が形成される必要があることを学習する。	
	イベント・コンベンション論	都市型ホテルでは、婚礼以外の一般宴会イベント（催し物・行事）も収入基盤の構築に大きな役割を果たしている。サービスの視点・事業者としての視点から一般宴会イベントに対し、都市ホテルの大規模宴会場を擁する宴会営業部門の取り組みをサービスを提供する側の視点で実務面を学ぶ。また、旅行業は、事業分野のひとつとしてMICEに着目しており、観光地もその受け入れに関心を寄せている現状についても取り上げる。	
	エンターテインメント産業論	エンターテインメント分野は、これまでわが国のレジャーにおいて重要なコンテンツのひとつであった。そして近年、都市においてショービジネスへの関心が高まり、都市観光の魅力となりつつある。特に、これまでに行われた代表的なイベントやテーマパークを事例に、文化装置としてのエンターテインメントビジネスの意義について考察する。また、ライブとパッケージの分類の変化から今後のエンターテインメント産業の展開を予測する。	
	ツアーガイド論	旅行サービスは企画、造成、募集、オペレーションの段階を経て提供される。旅行は移動と潜在の消費であり、特定された日常世界の場の消費である。日常と場は変化する。そのため、期待企画と実施内容が一致しないリスクを常に伴う。パッケージ旅行のオペレーションはサービスの実施・品質管理・評価の現場となるため、現場を管理するツアーガイドは広範な機能が求められる。この授業では、旅行サービスの本質を担うツアーガイドの意味と機能について学ぶ。	
	ブライダルコーディネート論	通過儀礼（人が一生のうちに経験する出生・成人・結婚・死・先祖供養など年齢的に重要な節目にあたって行われる儀礼）すなわち「冠婚葬祭」に触れ、その中で、『婚』を中心とした授業を展開する。また、日本の婚礼の変遷を解説し、文化的背景を踏まえながら少子高齢化社会におけるブライダル業界の今後の課題を学習する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	多摩八王子観光論	ある地域に存在する「伝統文化」と呼ばれるものは、メディアでの取扱対象、観光資源としての可能性を秘めているといえる。この講義は、主に本学が立地する八王子市を中心とした多摩地域に、地域における具体的な伝統文化について学ぶとともに、その「利用可能性」について幅広く学ぶことを目的とする。	
	世界遺産観光論	観光資源とは、観光の対象、観光行動の目的となるすべてのものを意味する。そして、多くの観光者にとって最大の観光資源は世界遺産であろう。本講義では、ユネスコの世界遺産条約の理念と目的、登録要件、国内外の自然遺産・文化遺産の保護の課題を多面的に学び、これら人類の財産をいかにしたら後世へ持続的に継承することができるかを考える。一方で、日本国内の地域活性化を図るうえで、世界遺産が果たす役割についても具体事例を取り上げながら検証を加える。	
	旅行医学概論	最近では、病者も様々な目的で旅行をする場合が増えている。温泉加療など、治療を目的とした場合や人工透析をしながら旅行をする場合もあり、多様化が進んでいる。また、人間ドックとバックになった旅行もあり、医療と旅行はより密接な関係に発展している。旅行医学の現状を踏まえつつ、医学の進歩と今後の旅行需要拡大の可能性につき検討を加える。	
	サービス衛生論	外食産業はもちろん、ホテルや航空機内における食事の提供はサービス競争力強化の観点から重要な内容である。食品の安全性は高品質なサービス提供の前提条件であり、基本品質と言える。食に関する安全管理とは何かを衛生の観点から考察し、食品提供に必要な基本的な知識を学習する。	
	観光交流文化特論Ⅰ	ろう者の言語であり、コミュニケーション手段のひとつである手話は、単に手指動作だけではなく、顔の表情・頭の動き・口形・視線など非手指動作と呼ばれるものと共に構成されている。手話を習得しろう者とコミュニケーションを取るのみならず、観光業界における接客時に、全ての人へ表情豊かに分かりやすく情報を発信し、円滑な人間関係を築くコミュニケーション手段を工夫する。前年度「観光手話基礎」及び「観光手話」履修済み学生対象クラス。	
	観光交流文化特論Ⅱ	手話の構成要素である非手指動作（顔の表情・頭の動き・首の振り・口形・視線など）を学ぶことにより、観光業界における接客時に必要な豊かな表現力を養う。ろう者とコミュニケーションを取るのみならず、全ての人へ表情豊かに分かりやすく情報を発信し、円滑な人間関係を築くコミュニケーション技術を習得する。「観光交流文化特論Ⅰ」履修済み学生対象クラス。	
	観光交流文化特論Ⅲ	観光交流の場となる観光地域への研究アプローチ手法として、フィールドワークやインタビュー調査などの質的調査法を学ぶ。地理学や人類学の分野で多用される調査法を学び、特に卒業論文に関連する調査で応用できるよう具体的事例を交えて解説する。また、具体的な調査対象を設定して、実習的に調査を実施し、その成果を整理する。	
	観光交流文化特論Ⅳ	観光現象や観光産業を対象とした研究アプローチ手法として、質問紙調査や統計分析を学ぶ。社会学や経営学、マーケティング研究において多用される調査・分析方法を学び、特に卒業論文に関連する調査で応用できるように具体的事例を交えて解説する。また、具体的な調査対象を設定して、実習的に調査を実施し、その成果を整理する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	観光交流文化特論V	この授業では観光地におけるイベント・コンベンションの運営・管理について学ぶ。イベントやコンベンションは人間の参加交流を促進し、MICE (Meeting, Incentive travel, Convention, Event/Exhibition)は同時に観光交流にも大きく寄与している。MICEの実態をケーススタディを通して考察し、観光局面との相乗効果をより総合的に学ぶ。	
	観光交流文化特論VI	この授業では、地域における観光振興を実践的に学ぶ。そのため特定地域における実習的学習を行う。プログラムは現地観光公的機関や関連事業者による講義・講話、行事への参加、聞き取り調査、観光資源や素材の体験学習等によって構成する。観光庁の発足を契機に地方自治体で高まる観光交流計画や課題に直接ふれることによって、観光交流の最前線を実践的に学ぶ。	
	比較文化論Ⅰ-1	この講座では、なぜ「文化論」という学問が存在するのか、という問題意識から始まり、文化論が国際政治のなかでなにを、どのように問題提起をおこなっているのかを考察したいと考えている。文化現象は、目に見えるものではない。目に見えない現象をなにを頼りに見るのかという問題意識が重要である。対象地域としては、日本を含めたアジアの文化現象をとりあげることになる。また身近な問題を考察することから、それぞれの国の文化現象を見る試みをおこないたいと考えている。留学生は、日本をフィルターにして母国の文化を再認識し、日本人の学生は、これまで認識していない文化現象を考える機会にしてみたい。	
	比較文化論Ⅰ-2	この講義は、日本、中国、西欧の古典の世界を比較し、そこに見られる国民性について考えるものである。いずれも著名な作品をもとに、それぞれの民族が形成してきた「心の様相」を明らかにしたいと考えている。また比較を通じて、それぞれの特徴が文化現象としてどのように出現しているのかを考察したいと考えている。留学生は、日本の古典を通じて、日本人の学生は、外国の古典の世界を覗きこむことで、自分自身を発見する努力を求めるのが、この講義の目的でもある。	
	比較文化論Ⅱ-1	日本と世界、過去と現代の事物を比較して、教養を深める。身近にある事物に対し鋭い問題意識をもって比較文化論の立場から検討を加える。コーヒーと紅茶の文化誌、おとぎ話の起源、近代観光業の成立と背景、歌謡曲と世相などが講義のテーマとなる。このほか興味深いテーマがあれば随時講義をしてゆく。	
	比較文化論Ⅱ-2	外国人の日本研究を学び、日本とは何かを考える。外国人の日本研究と日本人の外国体験の問題を中心にすえ、時おり、これ以外の興味深いトピックをとりあげる。中国、朝鮮、西欧の日本研究の諸問題を検討し、日本人の海外体験の問題をのべる。異文化に接した日本人と外国人がどのような比較文化論をのこしたかを考えてゆく。	
	アメリカ社会論-1	「Change」と「Yes, We Can!」を旗印に、アメリカ初の黒人大統領・オバマ政権が誕生した。百年に一度と言われる未曾有の経済危機。アメリカは、再びグローバル社会のリーダーに復帰できるのか。私達の多くが興味を持ち、「強いアメリカ」をイメージする。しかし、それはもう過去のものなのか。アメリカ国民の生活苦、経済格差、安全を脅かす生活環境、と国民の不満・不安は大きく、「強大国アメリカ」とは裏腹の現実である。そこで、本講では、現代アメリカ社会の真相をミクロおよびマクロ両側面から考察する。	
	アメリカ社会論-2	「Change」と「Yes, We Can!」を旗印に、アメリカ初の黒人大統領・オバマ政権が誕生した。百年に一度と言われる未曾有の経済危機。アメリカは、再びグローバル社会のリーダーに復帰できるのか。私達の多くが興味を持ち、「強いアメリカ」をイメージする。しかし、それはもう過去のものなのか。アメリカ国民の生活苦、経済格差、安全を脅かす生活環境、と国民の不満・不安は大きく、「強大国アメリカ」とは裏腹の現実である。そこで、本講では、現代アメリカ社会の真相をミクロおよびマクロ両側面から考察する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	中国事情	学生に日本と全く異なる体制の大国である中国を理解してもらうために、政治、経済、社会などの仕組みを紹介し、今中国で起こっている様々な問題に目を向け、多角的な視点で現在の中国事情にアプローチする。	
	韓国事情	現代韓国の社会組織、生活、風俗、そして韓国人の意識構造など、韓国人と韓国の文化の基礎的な知識を身に付けることを目的とする。グループごとに韓国探訪計画書を作成してみる。テーマごとに関連テキストと資料を中心に講義。学生たちの興味のあるテーマについては、より深く調査、研究する。講義の展開に応じてテーマ及び取り上げる順番が変わる可能性があることを了解されたい。	
	地域圏研究Ⅰ-1	中国近代史も歴史の連続性の視点が必要であり、1949年に中華人民共和国成立を境にそれ以前を近代史、それ以降を現代史と考えた場合、歴史の連続性という視点でそれぞれの時代を考察する必要がある。中国近代史をテーマとし、1840年のアヘン戦争から1949年の中華人民共和国成立までを範囲とし、政治史を中心として講義する。近年、日本人の歴史認識が大きな話題になるが、歴史認識を問題とする歴史的事実について、これまで高校生が学ぶことは少なかったと考える。中国の古代史は、興味の対象とされても近代、現代を知る努力を是非おこなってもらいたい。	
	地域圏研究Ⅰ-2	1949年中華人民共和国成立から現在にいたる政治潮流について講義する。毛沢東の時代から鄧小平の改革開放、さらに現在の中国が考察の対象となる。日中関係について、台湾問題について、軍事問題について、文化文学の政治性について、大きなテーマは以上である。	
	地域圏研究Ⅱ-1	朝鮮半島の安全保障を主に日米安全保障条約と米韓相互防衛条約との関連から説明し、その構図のなかに日韓関係を位置づけてみる。その試みを通じて、日韓関係が同盟関係ではないにもかかわらず、日米同盟と米韓同盟と関連しながら展開していく過程を描くことができると考えている。同時に、歴史問題など、今日の日韓関係が直面する問題点の根源を説明することになる。講義では、朝鮮解放前後からデタント期までを扱うことになる。	
	地域圏研究Ⅱ-2	朝鮮半島の安全保障を主に日米安全保障条約と米韓相互防衛条約との関連から説明し、その構図のなかに日韓関係を位置づけてみる。その試みを通じて、日韓関係が同盟関係ではないにもかかわらず、日米同盟と米韓同盟と関連しながら展開していく過程を描くことができると考えている。同時に、歴史問題など、今日の日韓関係が直面する問題点の根源を説明することになる。講義では、デタント後期から現在までを扱うことになる。講義は担当者が作成したレジュメに従って進めることになる。	
	地域圏研究Ⅲ-1	It is hoped that, through this course, students will learn a great deal about American society. In the beginning of this course, students will learn about the United States government. Then, we will discuss various complex issues and problems facing American society. Some of the issues that we will deal with have a long history, and as such an effort will be made to provide students with a good deal of background information on these issues. On the other hand, there will also be an attempt to include as much information on current events in the United States as is possible. <和訳> 本講義を通して、学生諸君にはアメリカ社会に関わる多くのことを学んでもらいたい。授業ではまず、アメリカ政府について学習し、その後アメリカ社会が直面する複雑かつ多様な諸問題について議論していく。取り上げる問題の中には長い歴史があるものもあり、学生諸君には関連する背景的な情報が多く提供される。また、アメリカにおける時事的な情勢についても扱っていく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	地域圏研究Ⅲ-2	It is hoped that, through this course, students will learn a great deal about American society. As in the first semester, we will discuss various complex issues facing American society. However, this semester there will be a greater emphasis on current political debate in the United States. As such, when discussing issues, we will often focus on how the two major political parties as well as individual politicians approach these issues. 《和訳》 本講義を通して、学生諸君にはアメリカ社会に関わる多くのことを学んでもらいたい。春学期は、アメリカ社会が直面する複雑かつ多様な諸問題について議論していくこととなるが、秋学期はアメリカでの最新の政治討論について取り上げる。個人の政治家だけではなく二大政党が諸問題に対してどのようなアプローチをとっているのかということに着目して議論をする予定である。	
	地域圏研究Ⅳ-1	ラテンアメリカと世界史の歴史的な関係を諸段階ごとに学ぶ。ラテンアメリカを学ぶには、ラテンアメリカが世界史の歩みの中でどのような世界的な関係を有してきたかを知ることが重要である。授業では、グローバル化の歴史的起点を「大航海時代」と捉えて、ラテンアメリカがグローバル化のプロセスとどのように関わってきたかを20世紀前半までの歴史を軸として把握することを目指す。	
	地域圏研究Ⅳ-2	ラテンアメリカにおける現代史を各国毎に学ぶ。第二次世界大戦後のラテンアメリカ社会の変動、経済発展モデル、政治関係の推移を把握するとともに、世界経済の編成原理の変化を背景に拡大した「経済のグローバル化」の下でラテンアメリカ諸国がどのような影響を受け、どのように変化してきたかを学ぶ。特に、1990年代末以降に登場した反「新自由主義」を掲げる諸政権の動向に焦点をあて、国際社会に与えている影響について考察する。	
	地域圏研究Ⅴ-1	本講義は、EU(欧州連合)の機構を、役割と仕組みとの関係から説明することを目的とする。国際機構としてのEUにおいて注目すべき点は、国民国家体系と市場経済との調和をはかるために、制度上の工夫がなされていることである。この側面は、地域を枠組みとしたEUの機構上の大きな特徴となっている。本講義は、国家とEUとの役割分担、権限配分、政策分野ごとにそれぞれ異なる政策形成過程などを取り上げる。	
	地域圏研究Ⅴ-2	本講義は、第二次世界大戦以降のヨーロッパの政治および経済の歩みを歴史的に概観することによって、現代ヨーロッパの姿を解き明かすことを目的とする。現代ヨーロッパの特徴は、個別の国家と並んでEUという地域的な国際機構が形成されていることである。今日に至るまで、ヨーロッパ諸国は、政治と経済の両面において、数多くの困難な問題に直面してきた。本講義では、ヨーロッパを舞台とした政治と経済との交差を、EU成立との関わりの中から説明する予定である。	
	地域圏研究Ⅵ-1	オセアニアの伝統的社会的文化についての理解を深める。伝統的オセアニアをテーマに、オーストラリア、ニュージーランド、及びメラネシア、ポリネシア、ミクロネシア地域における先住民の共同体社会やそのアイデンティティの在り方と慣習、西欧との接触による植民地化の歴史とその影響を、人類学的視点から考察する。授業では、随時ビデオや写真からオセアニアを紹介しながら、その人々や文化、歴史にアプローチしていく。	
	地域圏研究Ⅵ-2	現代オセアニアの国々の社会や文化の在り方を理解する。現代オセアニアをテーマに、ネーションとエスニシティとの関わりから、各地域で如何に国家形成が成されていったか、そしてその後の社会的変動がネーションの在り方を如何に変えていったかを、民族関係やその文化の在り方を中心に考察する。また、授業では、随時ビデオや写真などを見ながら、オセアニアの国々や人々、その文化にアプローチしていく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	国際関係論Ⅰ	国際社会の現状に関する理解と問題意識を高め、問題点のあり方について理解を深めることを目標とする。特に、新聞の国際面で報じられる諸事件の背景や関連性が理解できるようになることを目指す。グローバル化時代における集団安全保障システムのあり方を考えることを目的とする。授業では、国際問題に関する問題意識を養いながら、国際関係が成立した19世紀後半にさかのぼって、冷戦構造が終焉する1980年代末までの集団安全保障システムの推移について学ぶ。	
	国際関係論Ⅱ	国際社会の現状に関する理解と問題意識を高め、問題点のあり方について理解を深めることを目標とする。特に、新聞の国際面で報じられる諸事件の背景や関連性が理解できるようになることを目指す。ポスト冷戦期における国際的な集団安全保障の問題を、国際経済面と国連システムの現状分析を通じて理解することを目指す。また、並行的に地球的規模の諸問題(地球温暖化、人口、食糧、水資源、エネルギー資源等)に関しても学んでゆく。	
	経済原論Ⅰ	新聞やテレビの経済ニュースを理解できるようになると共に、公務員試験への基礎を習得することを目的とする。マクロ経済学の入門講義である。公務員試験を念頭に置いて、好況や不況といった、一国経済の全体的変動のメカニズム、および政府の財政・金融政策について論ずる。	
	経済原論Ⅱ	経済学的なものの考え方に親しみ、公務員試験への基礎知識を提供する。ミクロ経済学の入門講義である。公務員試験を念頭に置いて、需要と供給のメカニズム、およびその応用について論ずる。また、併せて、経済学的なものの考え方や、分析手法の特徴にも親しんで欲しいと思っている。	
	西洋史-1	本講座では、古代ギリシアから14世紀のヨーロッパ史を概観する。ヨーロッパでは2007年に欧州連合の参加国が27カ国に増加するなど、統合と拡大が進む現在において、あらたな歴史像を必要としている。一方で、我々が住む東アジアにおいても、「東アジア共同体」の構築が政治日程に上がっている。そうした状況のなかで、お手本としてのヨーロッパが過去に戦争と統合を繰り返してきた事実をあらためて考えることに意義がある。	
	西洋史-2	ヨーロッパ史についての基本的な知識を確立し、各地域の政治と社会、文化についての理解を深めることを目的とする。三十年戦争とウェストファリア条約の結果、ヨーロッパ世界の普遍的な統一という理想は放棄され、個々の「主権国家」への分断が事実として容認されることとなった。神聖ローマ帝国(と帝国諸侯領)やフランス、イングランドなどの諸国がどのようにして「主権国家」に発展していったかという問題を明らかにしたい。	
	中国史-1	中国史の基礎ともいべき古代史に関して、常識的な知識を習得し、大まかな流れを理解することを目標とする。中国古代史の主要事項を時間の流れに沿って、簡明に解説する。	
	中国史-2	中国史の基礎ともいべき古代史に関して、常識的な知識を習得し、大まかな流れを理解することを目標とする。中国古代史の大勢を時間の流れに沿って解説する。後期は前漢王朝の成立までの予走。	
	日本史-1	日本の古代社会について、東アジア世界の枠組みの中で考察する。今年度は、日本古代の「都城」を取り上げる。そして、当代の中国・ローマの事例との比較を行いつつ、日本の古代社会の特質を考察する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門 関連 科目 A	日本史-2	高等学校で未習の場合も多い日本の近現代史の概説を行う。]今年度も昨年度に引き続き、昭和戦前期のわが国の歴史を概観したい。取り上げる時代は、時間的制約もあるため、昨年度に引き続く形で、日中戦争勃発から太平洋戦争の勃発までとしておく。	
	言語学-1	現代言語学とはどのようなことを研究する分野か概観し、基礎的な概念・専門用語の理解と習得を目標にする。「言語学」という学問に馴染みのない受講生を対象に、言語学とはどのようなことを研究しているかを紹介し、体験してもらおうクラス。言語学の簡潔な発展史と、現代言語学の目標・方法論について概観し、形態論、意味論、統語論という3つの領域について学習する。	
	言語学-2	前期に引き続き、現代言語学とはどのようなことを研究する分野か概観し、基礎的な概念・専門用語の理解と習得を目標にする。「言語学」という学問に馴染みのない受講生を対象に、言語学とはどのようなことを研究しているかを紹介し、体験してもらおうクラス。前期に学んだことをふまえ、語用論・社会言語学・歴史言語学・音声学などにも言及する予定。	
	言語と文化-1	「文化」と「言語」の関係についてさまざまな角度から考察する。まず、すべての前提条件として、「文化」というものが、どのようなものかを確認する。とくに文化事象の根底に「コミュニケーション」への欲求があることを認識する。つぎに、音声とモノの恣意的な結びつきにはじまり、各言語の語および語彙が意味するモノの範囲、そして、語によって分類される「世界」が、環境と伝統の強い影響下にあり、それが人間の思考形態に直結していることを認識する。それにより、言語(母語)を異にするということは、思考方法を異にするということにほかならないのだ、ということをもさまざまな実例と思考実験によって明確にする。	
	言語と文化-2	日本語の系統について論理的に思考力をやしなうのがこの講義である。『日本語とアルタイ諸語』というR. A. ミラーの著書を日本語訳で読んで行く。言うまでもなく言語は文化の一部である。言語について知ることは文化について知ることでもある。また、大学で学ぶことは論理的な思考力をやしなうことに重点があると云ってよい。そこで、日本語の系統について論理的に思考力をやしなうのがこの講義である。『日本語とアルタイ諸語』というR. A. ミラーの著書を日本語訳で読んで行く。	
	日中文化交流史-1	日本人が「自分の国とはどのような国なのか」、「自分とは何者なのか」と問うたとき、中国文化を抜きにしては語れず、中国人が同様の問いかけをしたときもまた、日本文化を度外視して確度の高い答えを導くことは難しい。日中文化交流史を学ぶことを通して、日中両国の文化と自分の関係を現実の所与として理解した上で、これを新たに展開させる基礎力をつけることを目指す。最初に歴史を学ぶとは何かという歴史学一般の課題について問題提起をする。その後日中文化交流における重要なトピックを取り上げて、個別具体的に考察していく。	
	日中文化交流史-2	日本人が「自分の国とはどのような国なのか」、「自分とは何者なのか」と問うたとき、中国文化を抜きにしては語れず、中国人が同様の問いかけをしたときもまた、日本文化を度外視して確度の高い答えを導くことは難しい。日中文化交流史を学ぶことを通して、日中両国の文化と自分の関係を現実の所与として理解した上で、これを新たに展開させる基礎力をつけることを目指す。最初に歴史を学ぶとは何かという歴史学一般の課題について問題提起をする。その後日中文化交流における重要なトピックを取り上げて、個別具体的に考察していく。	
	日韓文化交流史-1	日韓両国の文化の共通点と相違点を理解したうえで、相手の文化への受容・変容過程を理解する。日韓両国の文化が相手国の文化にどう受容され、変化、変容し、新しい文化として生まれ変わったのかを考察し、相手国の文化と自国の文化に対する視野を広げていく。各自一つのテーマを選んで、その日韓の交流は、どのように行なっていて、どのような知恵と教訓を残したのかを調べて発表する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	日韓文化交流史-2	日韓文化交流の例を通して、両国の文化の受容と発展を理解する。日韓の間の文化の交流は、どのように行なっていて、どのような知恵と教訓を残したのか。その歴史を知ることが、現代の日韓関係と文化交流を理解する上で不可欠であると言えよう。そこで、日韓の間の文化交流に関連する論文を読み、そこから一つのテーマを決めて、調査・発表し、両国の文化の理解とともにどう発展していくかを考えてみる。	
	神話学	現代において神話を学ぶことの意味とは何なのか。現代の我々と古代の神話はいかに関わりがあるのか。それをこの授業の中で見つけ出すことが目標である。世界各国の神話を概観し、それぞれの神話に現れるモチーフをまずつかみ、それらが現代の社会や作品においてどのように取り入れられ、あるいは脱神話化されているかを見ていく。なお、授業では、英雄神話と絡んでよく取り扱われるアーサー王伝説や叙事詩なども含めて扱う。	
	文化人類学	異文化にどのようにアプローチしていったらよいかを学ぶ。言語やその背景となる異文化を修得していく上で、文化に対してどのように取り組んでいったらよいかという視座から、その方法論として、文化を如何に見るのかについて、考えていく力を付けることを目的とする。世界の様々な地域をフィールドにして、具体例を見ながら、人類学的に文化にアプローチしていく。履修に際しては、文化やその基盤となるエスニシティに対する人類学的関心と理解力が必要とされる。	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1	In this course students will learn about Global Issues through the lives and work of musicians and singers from a variety of countries. Lectures will deal with the music and life of a particular musician or singer against the backdrop of events in his or her country. Homework assignments will involve researching issues arising from the lectures. 《和訳》 本講義は、様々な国々出身の歌手やミュージシャンの人生や仕事を題材とし「世界問題」に関して学んでいく。講義では、母国での出来事を背景とした特定のミュージシャンあるいは歌手の音楽や人生について取り上げる予定である。宿題は、講義の中から生じる調査すべき問題について課されることとなるだろう。	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2	In this course students will learn about Global Issues through the lives and work of musicians and singers from a variety of countries. Lectures will deal with the music and life of a particular musician or singer against the backdrop of events in his or her country. Homework assignments will involve researching issues arising from the lectures. 《和訳》 本講義は、様々な国々出身の歌手やミュージシャンの人生や仕事を題材とし「世界問題」に関して学んでいく。講義では、母国での出来事を背景とした特定のミュージシャンあるいは歌手の音楽や人生について取り上げる予定である。宿題は、講義の中から生じる調査すべき問題について課されることとなるだろう。	
	英語総合講座-1	Two instructors will teach this course: Which instructors teach first will be announced in the first class. This course is designed to improve students' listening comprehension. Each week the instructor will provide a short lecture on a British city which will be repeated with necessary cultural explanations and guidance as well as worksheets to allow students growing understanding of the topics. A secondary goal is exposure to current events and social issues and the way people talk about these topics in English. By the end of the course students should feel confident about listening to a variety of different styles and accents.	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		<p>《和訳》</p> <p>本講義は2人の講師が担当するが、初回の授業で担当講師については説明される予定である。授業は学生諸君の聴解力(リスニング力)の向上を目指して組み立てられ、毎週イギリスのある都市に関する簡潔な講義を行い、必要な文化的説明と当該トピックの理解を促進するワークシートが提供される。また、時事情勢や社会問題に触れ、英語でそれらの問題について語ることも目指す。終講までには、多様な話し方や発音を聞き取ることに自信を持つことができるようになっているはずである。</p>	
	英語総合講座-2	<p>Two instructors will teach this course: Which instructors teach first will be announced in the first class. This course is designed to improve students' listening comprehension. Each week the instructor will provide a short lecture on a British city which will be repeated with necessary cultural explanations and guidance as well as worksheets to allow students growing understanding of the topics. A secondary goal is exposure to current events and social issues and the way people talk about these topics in English. By the end of the course students should feel confident about listening to a variety of different styles and accents.</p> <p>《和訳》</p> <p>本講義は2人の講師が担当するが、初回の授業で担当講師については説明される予定である。授業は学生諸君の聴解力(リスニング力)の向上を目指して組み立てられ、毎週イギリスのある都市に関する簡潔な講義を行い、必要な文化的説明と当該トピックの理解を促進するワークシートが提供される。また、時事情勢や社会問題に触れ、英語でそれらの問題について語ることも目指す。終講までには、多様な話し方や発音を聞き取ることに自信を持つことができるようになっているはずである。</p>	
	英語特論-1	<p>Two instructors will teach this course: S. Shoji and T. Dillon. Which instructor teaches first will be announced in the first class. Professor Shoji: Food, Wine and Culture The first goal for this class is to look at food, wine and cultures worldwide. The second goal is to discover how modern farming and fast food impacts our health, social interaction, education and cultural identity. Through watching TV programs and movie clips we will look at traditional and modern food trends. Professor Dillon: A Look at Comedy and Culture What a particular culture defines as funny can say much about the values and viewpoints of that culture. Since the advent of television, situation comedies have become part of the weekly routine of hundreds of millions of people. This class looks at the history and components of situation comedy, with examples from numerous well-known programs. Classes will involve lectures and video. Homework will include written student feedback and vocabulary preparation.</p> <p>《和訳》</p> <p>本講義はS. ShojiとT. Dillonの2人が担当するが、初回の授業で最初の担当者について説明される予定である。Shoji講師は「食品」「ワインと文化」について扱い、それらを世界的規模で考察することを第1の目標とする。近代の農業とファーストフードが私たちの健康、社会的交流、教育、そして文化的独自性にどのように影響しているのかを知ることが第2の目標である。テレビ番組や映画クリップを通して、伝統的かつ近代的な食糧事情を考えていく。一方、Dillon講師は「コメディと文化」について扱う。ある特定の文化でおもしろいとされることは、その文化の価値観や視点に関する多くのことを伝える。テレビが出てきてから、連続ホームコメディは何億人もの人々が毎週欠かさず見ることとなった。授業では多くの有名な番組からの例を用い、ホームコメディの歴史と要素を考察する。授業は講義とテレビ映像の鑑賞から成り、その感想を書くことと語彙の予習が宿題となる予定である。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	英語特論-2	Two instructors will teach this course: S. Shoji and T. Dillon. Which instructor teaches first will be announced in the first class. Professor Shoji: Adventure Travel The goal for this class is for students to learn about the various popular types of adventure travel. Today, adventure travel is now one of the most popular segments of the travel industry. The second goal for students to make a tour plan to combine adventure, sports and culture. Each week the class will explore different adventure experiences through movies. Professor Dillon: Improving Listening Comprehension Through Popular Music The lyrics of English songs provide insights into both language and culture. This class will focus on developing listening comprehension skills through the study of popular songs of the 1950s, 1960s and 1970s. Each class will involve hearing practice and vocabulary study, as well as a glimpse into the life and times of the selected recording artists. 《和訳》 本講義はS. ShojiとT. Dillonの2人が担当するが、初回の授業で最初の担当者について説明される予定である。Shoji講師は「アドベンチャー・トラベル」について扱い、学生諸君が様々なアドベンチャー・トラベルについて学ぶことを目的とする。今日、それは観光事業の中で最も人気のある分野の1つである。第2の目的は、アドベンチャー・スポーツ・文化を組み合わせて旅行計画を立てることである。毎週、映画を通して様々なアドベンチャーに関わる経験を探求していく。一方、Dillon講師は「ポピュラー音楽」を通して聴解力(リスニング力)の向上を図る。英語の歌の歌詞は、言語と文化に対する洞察を与えてくれるため、授業では1950年代、1960年代、1970年代のポピュラー音楽を勉強することを通して、聴解力の向上に焦点を当てていく。毎回の授業では、聞き取り練習と語彙学習を行い、同時に扱うアーティストの人生についても垣間見る予定である。	
	コミュニケーション概論	コミュニケーションとは何かという問いを解決するために様々なコミュニケーションの現場を丹念に考察していく。受講にあたり1つ付記しておきたいことは、授業で学んだことを中心に、ご自分のコミュニケーションを一步引いて客観的に観察するという意識を持っていただきたいということである。そうすれば、教室で学問として学ぶコミュニケーションが、日常生活の中で生き生きとした鮮明なインパクトを持つ実体へと変わっていくはずである。	
	基礎演習-1	新入生を対象とし、高校教育から大学教育へのスムーズな移行と基礎力養成をめざす。1セメスターでは、主に基礎学力と大学生活に必要な基本的能力の養成に力点を置いた教育を進めていく。基本的にはクラス単位の授業形態を取るが、パソコン教室を利用する2クラス合同のIT授業も取り入れる予定である。クラス単位の授業は毎回、①漢字テスト、②各回のテーマ、という二部構成の授業とする。漢字検定試験の受験を推奨する。	
	基礎演習-2	大学生生活の充実とゼミ活動とキャリア指導への橋渡しとする。大学生生活の充実を目指して基礎力養成に重点を置く。基礎力養成に力点を置くとともに、グループワーク、発表、討論も取り入れて、自己を表現し、さらには他者との関わりを深めることも目指す。基本的にはクラス単位の授業形態を取るが、パソコン教室を利用する2クラス合同のIT授業も取り入れる。クラス単位の授業は毎回、①漢字テスト、②各回のテーマ、という二部構成の授業とする。漢字検定試験の受験を推奨する。	
	キャリア指導I-1	大学生生活の中で自分の進路を模索するための材料を様々な形で提供する。授業形態は以下の6種類の組合せとなる。①各分野の第一線で活躍する人たちらを外部講師として招聘し講義していただく。②各分野で活躍する卒業生による講義。③就職活動に必要な実力を開発するための各種試験の実施。これらを踏まえた上で、学科の枠を越えて現代社会を学ぶ時間と、各学科の特性に合う講義を組み合わせる。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	キャリア指導Ⅰ-2	大学生活の中で自分の進路を模索するための材料を様々な形で提供する。授業形態は以下の6種類の組合せとなる。① 各分野の第一線で活躍する人々を外部講師として招聘し講義していただく。② 各分野で活躍する卒業生による講義。③ 就職活動に必要な実力を開発するための各種試験の実施。これらを踏まえた上で、学科の枠を越えて現代社会を学ぶ時間と、各学科の特性に合う講義を組み合わせる。	
	キャリア指導Ⅱ-1	実際の就職活動をまじかに控え、実業社会の活きた情報に接することで就業意識のさらなる向上を図ることを目的とする。同時に実業社会で求められる一般知識・教養についても学びながら、人間力(特にコミュニケーションスキル)の向上を図る。	
	キャリア指導Ⅱ-2	実際の就職活動をまじかに控え、実業社会の活きた情報に接することで就業意識のさらなる向上を図ることを目的とする。同時に実業社会で求められる一般知識・教養についても学びながら、人間力(特にコミュニケーションスキル)の向上を図る。	
	ホスピタリティ実習-1	サービスの生産には人が密接に係わっている。サービスは価値として取引されるものであり、サービスの提供者が求められた役割を遂行するときその人は事業サービスを構成する商品の一つとなる。すなわち、サービス提供者の人格やその人のホスピタリティの良否が商品価値を左右する重要因子となる。現代の日本社会はものづくりの時代から無形のサービスに価値をもとめる時代へとシフトしている。日本のサービス社会では、今や良質のホスピタリティは広範に求められる産業資源のひとつである。この講義では対人関係において必要なマナーやエチケットの基礎を確認しながら、サービス産業の産業価値としてのホスピタリティを多面的に考察していく。	
	ホスピタリティ実習-2	サービスの生産には人間が密接に係わっている。サービスは取引される事業機能であり、従業員が求められた役割を遂行するときその人は事業サービスを構成する商品の一つとしてみなされることになる。すなわち、従業員の業務機能のみならず人格やその人個人のホスピタリティの良否が事業商品の質を左右する重要因子として働く。この講義では対人関係において必要なマナーやエチケットの基礎を確認しながら、サービス産業の産業価値としてのホスピタリティを多面的に考察していく。	
	インターンシップⅠ	教室で学んだ知識の成果を、社会の現場で検証を加えることで、学習効果の向上を図り、かつ就業意識の醸成をはかることを目的とする。事前に実施する派遣前ガイダンスと講義の後、長期休暇中に最長で一ヶ月間程度の企業での現場研修(研修先は追って提示する)を行う。また、事後には、各企業情報を報告し情報を共有する。なお本講義は「国内企業」への派遣を予定する。	
	インターンシップⅡ	インターンシップとは、学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことである。ただし、教育実習・医療実習・看護実習等特定の資格取得を目的として実施するものは除外するのが一般的である。職業観・就労意識の醸成、将来のキャリアを考える機会、社会や企業に対する理解度向上、人間的成長、自分自身の適性、持ち味の確認、異世代とのコミュニケーション機会につながることを目標とする。	
	インターンシップⅢ	インターンシップとは、学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことである。ただし、教育実習・医療実習・看護実習等特定の資格取得を目的として実施するものは除外するのが一般的である。職業観・就労意識の醸成、将来のキャリアを考える機会、社会や企業に対する理解度向上、人間的成長、自分自身の適性、持ち味の確認、異世代とのコミュニケーション機会につながることを目標とする。	

別記様式第2号（その3の1）

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	インターンシップⅣ	インターンシップとは、学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことである。ただし、教育実習・医療実習・看護実習等特定の資格取得を目的として実施するものは除外するのが一般的である。職業観・就労意識の醸成、将来のキャリアを考える機会、社会や企業に対する理解度向上、人間的成長、自分自身の適性、持ち味の確認、異世代とのコミュニケーション機会につながることを目標とする。	
	ドイツ語Ⅰ－１	ドイツ語文法の基礎（発音、動詞の現在人称変化、名詞の格変化、定形第二位）を理解する。はじめてドイツ語を学ぶ学生を対象とします。ドイツ語文法の基礎をゆっくり説明したあとで、練習問題をいっしょに解きます。まとめとして練習問題の解説をします。必要に応じて簡単な会話なども学びます。	
	ドイツ語Ⅰ－２	ドイツ語文法の基礎（発音、動詞の現在人称変化、名詞の格変化、前置詞の格変化、人称代名詞、定形第二位、定形の後置）を理解する。ドイツ語の初級文法を引き続き学ぶ。動詞の現在人称変化と名詞の格変化を理解している学生が対象となる。ドイツ語文法の基礎をゆっくり説明したあとで、練習問題をいっしょに解き、まとめとして練習問題の解説を行う。必要に応じて簡単な会話なども学ぶ。	
	ドイツ語Ⅱ－１	ドイツ語の発音を覚え、文法の基礎を修得する。この授業と、後期の「ドイツ語Ⅰ－２」の履修により、ドイツ語検定試験4級と5級で出題される文法事項はすべて修得できる。はじめてドイツ語を学ぶ学生のために作られたやさしい文法の教科書を用いて、ゆっくりと、確実に、ドイツ語の文法を理解してゆく。授業への積極的な取り組みを期待する。	
	ドイツ語Ⅱ－２	「ドイツ語Ⅰ－１」の続きとなる授業である。文法の基礎を習得し、現在完了形まで終わらせる。はじめてドイツ語を学ぶ学生のために作られたやさしい文法の教科書を用いて、ゆっくりと、確実に、ドイツ語の文法を理解してゆく。授業への積極的な取り組みを期待する。	
	ドイツ語Ⅲ－１	ドイツ語文法（名詞の複数形、形容詞の格変化、助動詞）を理解する。ドイツ語初級文法（動詞の現在人称変化、名詞の格変化、前置詞の格支配、人称代名詞）をすでに学んだ学生が対象となる。ドイツ語文法の基礎をゆっくり説明したあとで、練習問題をいっしょに解き、最後に練習問題の解説を行う。必要に応じて簡単な会話なども学ぶ。	
	ドイツ語Ⅲ－２	ドイツ語文法（定形の後置、zu不定詞句、分離動詞と非分離動詞、動詞の3要形、現在完了、過去の人称変化、受動文など）を理解する。ドイツ語初級文法（動詞の現在人称変化、名詞の格変化、前置詞の格支配、人称代名詞、教詞、形容詞の格変化、命令文、語法の助動詞）をすでに学んだ学生が対象となる。ドイツ語文法の基礎をゆっくり説明したあとで、練習問題をいっしょに解き、まとめとして練習問題の解説をする。必要に応じて簡単な会話なども学ぶ。	
	フランス語Ⅰ－１	今までフランス語を学習した経験のない学生を対象として、フランス語の発音や基本的な文法事項の説明と、フランス語を聞き、話し、書く能力を充実させることを目的とする。授業の具体的な目標は、主に、正しいフランス語の発音ができるようになること、動詞の現在形の活用を覚えること、名詞や形容詞の変化や冠詞の使い分けに慣れることなどである。	
	フランス語Ⅰ－２	今期の授業では、過去や未来について語ること、関係代名詞を用いて、より複雑な文章を作ること、仮定の表現や丁寧な表現を覚えることなどを具体的な目標にする。「フランス語Ⅰ－１」「フランス語Ⅰ」を履修した学生を対象に、引き続きフランス語の発音や基本的な文法事項の習得、またフランス語の文を読み、話し、書く力を養うことを目指す。※履修者は「フランス語Ⅰ－１」「フランス語Ⅰ」の単位取得者に限る。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	フランス語Ⅱ-1	「フランス語を自分の道具とする」。これが本講義の目標である。実際に話す場面を想定した基本的な文を、まずは映像と共に、次は音声だけで、聴き取って理解できることを目指す。また発音の規則を守って正しく読むことと、初歩的な文法を用いた文を自分で組み立てて述べるができるように、繰り返し練習する。時間の許す限り、音楽や映画などフランス語圏の同時代の様々なカルチャーも紹介し、フランス語を学ぶことによって開ける世界を体験する。	
	フランス語Ⅱ-2	春学期に引き続き、「自分の道具としてフランス語を使えるようになる」ことを目標に、会話と文法の初歩を学ぶ。習った表現を応用して色々なことを話せるよう、実際に声を出して読み、文を組み立てる練習をする。またフランス語の曲をひとつ覚えて歌えるようにし、フランス語でカードや手紙を書く練習をする時間も設ける。テキストの巻末には実用フランス語検定5級の模擬試験があるので、受験を考えている学生に対しては、その指導も行う。	
	フランス語Ⅲ-1	フランス語Ⅰ・Ⅱを終えた学生を対象に、フランス語の理解や運用の能力をさらに高めるために、過去や未来の様々な時制の表現や仮定法、接続法など、フランス語文法のより高度な事柄を学習する。フランス語Ⅰ・Ⅱが主に現在の行為や出来事を表現する現在形を扱っていたのに対して、この授業では、様々な過去形や未来形の動詞の使い分けに習熟することを最大の目標とする。 ※履修者は「フランス語Ⅰ-1、2」「フランス語Ⅱ-1、2」「フランス語Ⅰ、Ⅱ」の単位取得者に限る。	
	フランス語Ⅲ-2	様々な過去形や未来形の動詞の使い分けに習熟することを最大の目標とする。フランス語Ⅲ-1に引き続き、さらに高度なフランス語文法の学習を通して、より広範なフランス語の理解力や運用能力を身に付ける。この授業では、仮定表現に必要な条件法や主観的な内容を述べる際に用いる接続法、さらに歴史や物語の記述に使う直説法単純過去形などの動詞の使い方を理解し、実際に使えるようになることを主な目標にする。	
	スペイン語Ⅰ-1	At this basic level course the students will learn basic notions of the language. At the end of the semester they will be able to introduce themselves, and to make and answer basic questions in Spanish. The teacher will combine grammar classes with the teaching of the Spanish culture using videos, music and other resources. <和訳> 基礎クラスである本講義ではスペイン語の基礎的な概念を学び、学期終了までにはスペイン語で自己紹介や基本的な質疑応答ができるようになるだろう。映像・音楽・その他の教材を使い、文法の授業とスペイン文化の指導を組み合わせる予定である。	
	スペイン語Ⅰ-2	At this basic level of the course the students will learn basic notions of the language. At the end of the semester they will be able to have short conversations in Spanish. The teacher will combine grammar classes with the teaching of the Spanish culture using videos, music and other resources. <和訳> 基礎クラスである本講義ではスペイン語の基礎的な概念を学び、学期終了までにはスペイン語で短い会話ができるようになるだろう。映像・音楽・その他の教材を使い、文法の授業とスペイン文化の指導を組み合わせる予定である。	
	スペイン語Ⅱ-1	At this basic level course the students will learn basic notions of the language. At the end of the semester they will be able to introduce themselves, and to make and answer basic questions in Spanish. The teacher will combine grammar classes with the teaching of the Spanish culture using videos, music and other resources. <和訳> 基礎クラスである本講義ではスペイン語の基礎的な概念を学び、学期終了までにはスペイン語で自己紹介や基本的な質疑応答ができるようになるだろう。映像・音楽・その他の教材を使い、文法の授業とスペイン文化の指導を組み合わせる予定である。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	スペイン語Ⅱ-2	As this is a basic level course the students will learn basic notions of the language. At the end of the semester they will be able to have short conversations in Spanish. The teacher will combine grammar classes with the teaching of the Spanish culture using videos, music and other resources. 《和訳》 基礎クラスである本講義ではスペイン語の基礎的な概念を学び、学期終了までにはスペイン語で短い会話ができるようになるだろう。映像・音楽・その他の教材を使い、文法の授業とスペイン文化の指導を組み合わせる予定である。	
	スペイン語Ⅲ-1	国際公用語の1つであるスペイン語は、アメリカ合衆国におけるヒスパニック社会の拡大もあり、今や英語、中国語に次ぐ国際語である。授業では、スペイン語の基礎から応用へと学んでゆく。具体的には読解を中心としながら、文法面では直説法の現在形と過去形の復習、及び接続法、再帰動詞の活用及び使用法の理解を目指す。	
	スペイン語Ⅲ-2	スペイン語の応用力(読解力、会話力)の増進を図る。春学期において修得した基礎学力をベースに、さらに単語、熟語、活用を増やし、読解力を増進させるとともに、会話にも力を入れる。また、スペイン語映画を見て、スペイン語の聴取能力を高めるとともに、会話力の向上を図る。	
	インドネシア語Ⅰ-1	初級インドネシア語の基礎として、基礎会話の能力の取得を目標に学ぶ。そのためにまず、発音をマスターし、よく使う基本単語と日常会話で使われる表現を学ぶ。授業では、発音を繰り返し発音することにより、発音の特徴を覚える。また、日常会話でよく使われる表現を学びながら、自然に会話の基礎が身につくように学ぶ。	
	インドネシア語Ⅰ-2	インドネシア語Ⅰ-1を履修した学生が更に会話能力を高め、簡単な会話が話せるようになることを目標に学ぶ。また、日常会話でよく使われる表現を学び、自然に日常会話が身につくように学ぶ。授業では、テキストに沿って旅行の場面場面でよく使われている表現を学び実践力を養う。	
	インドネシア語Ⅱ-1	基本的なインドネシア語を理解し、基本的な文章が書けるようになることを目標に学ぶ。発音、インドネシア語の特徴を学びながら、基本的な文章を正確に書けるようにする。授業では、毎回異なる会話のテーマを取り上げるので、この会話を通してインドネシアの生活文化・習慣も学ぶ。また、問題集の練習問題を通してインドネシア語の基本的な理解力アップを図る。	
	インドネシア語Ⅱ-2	インドネシア語Ⅱ-1を履修した学生が日常の生活に必要なインドネシア語を理解し、口語で表現し、基本的な文章を自分の意思で表現できるように学ぶ。基本をしっかり学ぶ。授業では、基本的な文法を少しずつ取り上げながら多くの例文を挙げ、更に問題集の練習問題を通してインドネシア語の理解力アップを図る。	
	インドネシア語Ⅲ-1	インドネシア語Ⅱ-2を履修した学生が更に社会生活に必要なインドネシア語を理解し、口語で表現し、自分の意思を文章で表現できるように学ぶ。そして、テキストで学んだ文法事項に加えて読み物も学ぶのでこれらも理解し、インドネシア語の動詞もよく理解することで更なるインドネシア語の総合力アップを図る。授業では、テキストと読み物、問題集の練習問題を学ぶので、自分の意思を的確に文章で表現したり話せるように学ぶ。	
	インドネシア語Ⅲ-2	インドネシア語Ⅲ-1を履修した学生が自分の意思を正確なインドネシア語で話し、書き、読めるように総合的な能力アップを図る。動詞をしっかり覚えましょう。インドネシア語Ⅲ-1同様、テキストに加えて問題集の練習問題を通して自分の意思を正確に話し、書き、読めるように総合的な能力アップを図る。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光文化交流文化学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 関 連 科 目 B	韓国語Ⅰ－1	韓国語の文字・発音と、読み・書きマスター初心者のための講座である。この授業では韓国語の発音をマスターし、基礎的な文法の習得を目的とする。	
	韓国語Ⅰ－2	韓国語文法の基礎を理解し、簡単な文章を読み、書き、話せるようにする。まず、韓国語の基本文型を学び、次にそれを用いた会話の練習を行う。読む、話す能力を高める。	
	韓国語Ⅱ－1	韓国語は日本語ネイティブにとって一番早く習得できる外国語である。授業では発音や文法に対する説明は最低限にとどめ、すぐに話せることを目標に、韓国語会話の基本フレーズを学習する。韓国語の読み書きができる学習者のための講座である。発音の法則や文法の理解し、会話でよく使われる多様な表現が身に付けられるように学習していく。それにあわせて現代の日常生活に関する韓国文化も紹介する。	
	韓国語Ⅱ－2	韓国語は日本語ネイティブにとって一番早く習得できる外国語である。授業では発音や文法に対する説明は最低限にとどめ、すぐに話せることを目標に、韓国語会話の基本フレーズを学習する。春学期に引き続いて、基本的な韓国語会話を中心に授業を行う。基本的な文法事項を用いた会話で自由にできるような能力をつけることを目標とする。それにあわせて日常生活等の韓国文化の特性を紹介する。	
	韓国語Ⅲ－1	比較的高度な韓国語の会話能力を身につけることを目標とする。「聞く」と「話す」の両方を徹底的に練習する。後半には映像資料を使用し、実生活の各分野で使われる実用的な会話を習い、練習もする。事前に学習テーマを与え、それをもって話し合うことも試みる。	
	韓国語Ⅲ－2	春学期に続き、より高度な韓国語として、自分の考えや感情を相手に伝えられる韓国語コミュニケーション能力を身につけることを目標とする。「聞く」と「話す」の練習を徹底的にする。教科書の中、とくに本文の会話の表現文型を用いて練習し、それによって表現能力を高めると同時に韓国の文化や社会事情を理解する。事前に学習テーマを与え、それをもって話し合うことも試みる。	
	情報英語Ⅰ	聴解、読解、音読能力を高める。衛星放送から受信したアメリカの最新のテレビニュースを視聴、ニュースごとにディクテーションして、メディアで使われるネイティブ・イングリッシュに対する聴解能力を磨き、読解・英作の向上を図る。同時に、現在、世界で如何なる事が起こりつつあるかを理解し、ニューズトピックについての情報や時事知識の取得を目指す。履修に際しては、冒頭からハイ・レベルのヒアリングの実力や時事問題への関心が要求されることを、念頭におく必要がある。	
	情報英語Ⅱ	聴解、読解、音読能力を高める。衛星放送から受信したアメリカの最新のテレビニュースを視聴、ニュースごとにディクテーションして、メディアで使われるネイティブ・イングリッシュに対する聴解能力を磨き、読解・英作の向上を図る。同時に、現在、世界で如何なる事が起こりつつあるかを理解し、ニューズトピックについての情報や時事知識の取得を目指す。履修に際しては、冒頭からハイ・レベルのヒアリングの実力や時事問題への関心が要求されることを、念頭におく必要がある。	
	情報中国語Ⅰ	学部共通テキスト40課まで履修済みの学生を対象とする。これまでに学習した基本文型と語彙をもとに中国語入力的基础や中国語HPの検索を学び、実習を通じて中国語の聴解力と応用力を身につける。また中国のIT・通信事情に関する講義を通じて中国語と中国への理解を深める。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	情報中国語Ⅱ	3セメスター以上の学生を対象とする。これまでに学習した基本文型と語彙をもとに中国語入力の基本や中国語HPの検索方法を学び、実習を通じて中国語の読解力と応用力を身につける。また中国のIT・通信事情に関する講義を通じて中国語と中国への理解を深める。	
	情報日本語	ワードで論文やレポートが作成できるようにする。また、作成したレポートをメールに添付し、提出できるようにする。高度情報化社会と言われている現代を生きていくためには、コンピューターを基本とする情報リテラシーが必須である。この授業では、大学生活、日常生活に不可欠なコンピューターの利用法を学習しながら、ワードやEメールの基礎的な知識、インターネットを使った情報検索、PCを利用したレポート・論文・メール作成などに必要な文章表現、マナーについて考える。〈注意〉・基礎的なPCの知識・操作を習得したい学生が対象（日本語入力ができる程度の初心者）である。・この科目は抽選科目であり、希望者が20人を超える場合は、抽選になる。・「情報処理」授業を履修していない学生を優先する。	
	口語英語Ⅰ－1	This course is intended for the second year students who wish to further practice under the instruction of a native speaker of English what they have learned in PEP#1 (English I & English II) the previous year. Each classroom session will include review and expansion of PEP#1 vocabulary and expressions, pattern practice and spontaneous speaking activities. The maximum number of students acceptable for this class is 25, so should there be more applicants appropriate arrangements will be made prior to the commencement of the course. ≪和訳≫ 本講義は、昨年度PEP#1（英語Ⅰおよび英語Ⅱ）で学習したことを、今度はネイティブスピーカーの下でさらに練習を積み重ねたいと希望する2学年の学生を対象としている。毎回の授業は、PEP#1で出てきた語彙や表現の復習と発展、パターン練習、自発的なスピーキング練習から成る。履修者は25名を上限とし、それを超える場合には授業開始前に選考を行うこともある。	
	口語英語Ⅰ－2	This course is intended for the second year students who wish to further practice under the instruction of a native speaker of English what they have learned in PEP#1 (English I & English II) the previous year. Each classroom session will include review and expansion of PEP#1 vocabulary and expressions, pattern practice and spontaneous speaking activities. The maximum number of students acceptable for this class is 25, so should there be more applicants appropriate arrangements will be made prior to the commencement of the course. ≪和訳≫ 本講義は、昨年度PEP#1（英語Ⅰおよび英語Ⅱ）で学習したことを、今度はネイティブスピーカーの下でさらに練習を積み重ねたいと希望する2学年の学生を対象としている。毎回の授業は、PEP#1で出てきた語彙や表現の復習と発展、パターン練習、自発的なスピーキング練習から成る。履修者は25名を上限とし、それを超える場合には授業開始前に選考を行うこともある。	
	口語英語Ⅱ－1	オックスフォード在住のネイティブ・スピーカーが、現地で使われている英語や文化・生活習慣についてさまざまな授業を行う（6回）。14回の中の8回は日本人による授業で、ネイティブ・スピーカーによる授業内容を補充する。イギリス、そしてオックスフォードについて、現地の歴史や伝統についても話も交えつつ少しずつ学生を英語での受け答えに慣らしていく。中の6回は遠隔授業で、現地との時差を勘案しながら進めるため、夜間に学校に来てもらうことが前提となる。この授業の一部はオックスフォード海外研修に行く学生のためにもデザインされているが、その他の学生も履修が可能である。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	口語英語Ⅱ-2	オックスフォード在住のネイティブ・スピーカーが、現地で使われている英語や文化・生活習慣についてさまざまな授業を行う（6回）。14回の中の8回は日本人による授業で、ネイティブ・スピーカーによる授業内容を補完する。イギリス、そしてオックスフォードについて、現地の歴史や伝統についての話も交えつつ少しずつ学生を英語での受け答えに慣らししていく。中の6回は遠隔授業で、現地との時差を勘案しながら進めるため、夜間に学校に来てもらうことが前提となる。この授業の一部はオックスフォード海外研修に行く学生のためにもデザインされているが、その他の学生も履修が可能である。	
	口語英語Ⅲ-1	TOEICのリスニングを中心に行うクラス。460点を取得することが外国語学部では1年次の目標であるが、この授業ではリスニング・セクションで250点を取得できることを目指す。英語I・IIで習った表現などがTOEICのリスニング・セクションに直接出てくることなどを確認し、英語を日本語に訳すのではなく、そのまま英語としての情報処理をするトレーニングを行う。高校程度の知識から大学の知識へ移行する大切な内容なので、予習復習を怠ることなく、英語を毎日聞くという習慣確立のためにも役立ててもらいたい授業である。	
	口語英語Ⅲ-2	TOEICのリスニングを中心に行うクラス。500点を取得することが外国語学部では2年次の目標であるが、この授業ではリスニング・セクションで300点以上を取得できることを目指す。英語III・IVで習った表現などがTOEICのリスニング・セクションに直接出てくることなどを確認し、英語を日本語に訳すのではなくそのまま英語としての情報処理をするトレーニングを行う。特にPart IVではビジネスの現場で使用する表現の中でも難易度の高いものも出てくるので、予習復習を怠ることなく、高得点取得のために役立ててもらいたい授業である。	
	口語英語Ⅳ-1	この授業では1年生用の英会話力を養う。日本人が犯しがちな英語表現や発音の誤りを、実際の英会話を通じて矯正していく。トピックは大学生の日常生活にはじまり、映画、テレビ、インターネットについてなど多岐にわたる。特にインテンシブな英会話力を養うものとして、8月に英語合宿があるが、この授業に参加するものはそれへの積極的な参加が求められるので留意されたい。単に聞く・話すだけではなく、時には書き取り課題を提出することも求められるので、総合的な英語力を養う場と心得て参加することが望まれる。	
	口語英語Ⅳ-2	この授業では2年生用の英会話力を養う。日本人が犯しがちな英語表現や発音の誤りを、実際の英会話を通じて矯正していくとともに、複雑な、または多少専門的な話題について長い時間話せるようになることを目指す。トピックは英語学やコミュニケーション論にまつわるものが多くなる予定。特にインテンシブな英会話力を養うものとして、8月に英語合宿があるが、この授業に参加するものはそれへの積極的な参加が求められるので留意されたい。単に聞く・話すだけではなく、時には書き取り課題を提出することも求められるので、総合的な英語力を養う場と心得て参加することが望まれる。英語によるレポートの書き方の導入もこのクラスで扱うことになる。	
	口語英語Ⅴ-1	コンピュータを駆使しつつ英語に慣れることを主眼とする。アルクのE-Learningのプログラムを使い、TOEIC400点に全員が達することを目標とする。リスニングではFirst Listening, Quiz, Discovery, Speed Listening, Reviewという5種類のステップ、リーディングではFirst Reading, Quiz, Discovery, Speed Reading, Reviewという5段階を通じて、平易な設問に必ず答えることができるように練習を重ねる。学生は自分の都合に合わせてコンピュータ・ルームで自主的に練習を行い、最終的に終了テストを受けるまで時間数を自動登録していく仕組みになっている。	
	口語英語Ⅴ-2	コンピュータを駆使しつつ英語に慣れることを主眼とする。アルクのE-Learningのプログラムを使い、TOEIC400点に全員が達することを目標とする。リスニングではFirst Listening, Quiz, Discovery, Speed Listening, Reviewという5種類のステップ、リーディングではFirst Reading, Quiz, Discovery, Speed Reading, Reviewという5段階を通じて、平易な設問に必ず答えることができるように練習を重ねる。学生は自分の都合に合わせてコンピュータ・ルームで自主的に練習を行い、最終的に終了テストを受けるまで時間数を自動登録していく仕組みになっている。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	中国語演習Ⅰ-1	中国語総合力のさらなるレベルアップを図る。開講時（初日）にプレイズメント・テストを行って、受講の可否を決める。授業では、現代中国の実像を様々な視点から紹介する。短い文章をテキストとし、難易度は中級レベルである。「読む」ことによって、中国語の基礎文法を固め、基本表現を豊かにし、その上、作文や会話の演習を通じて、中国語の表現力を少しずつ身に付けることを目的とする。	
	中国語演習Ⅰ-2	中国語総合力のさらなるレベルアップを図る。「中国語演習Ⅰ-1」の続きの講義である。前期に引き続き、読解力を高め、その上作文や会話の演習を行うことによって、中国語の表現力を一層向上させることを目指す。	
	中国語演習Ⅱ-1	中国語を一年以上しっかり履修した学生を対象とする講義である。難易度は初・中級レベルであり、今まで学んだものをふまえて、日常会話の練習を通して、基礎文法を固め、言語表現を豊かにし、中国語会話の実践力を少しずつ身に付けることを目標とする。演習中心の授業となるので、皆さんの積極的な学習姿勢が望まれる。オリジナル教材（プリント）を使って、授業時間中に総合練習を行うことにより、着実に実践的コミュニケーション力が着くようにプログラムされている。	
	中国語演習Ⅱ-2	中国語を一年以上しっかり履修した学生を対象とする講義である。今まで学んだものをふまえて、作文練習等で基礎文法を固め、言語表現を豊かにし、その上会話練習を通して、実践力を少しずつ身につけることと中国文化に対する理解を高めることを目標とする。演習中心の授業となるので、皆さんの積極的な学習姿勢が望まれる。オリジナル教材（プリント）を使って、授業時間中に総合練習を行うことにより、着実に実践的コミュニケーション力が着くようにプログラムされている。	
	中国語演習Ⅲ-1	一年以上中国語を学んだ学生を対象にして、それまでの学習で培った基礎的な文法知識や日常会話の習得状況に加えていっそうの表現力を磨くことを目指す。中国語圏への語学研修に参加あるいは長期の留学を目指す学生諸君が十分な準備をして現地での学修・生活に臨めるように、教材にも工夫をこらし、音声教材や映像教材を活用して、臨場感のある場面設定で授業をすすめる。	
	中国語演習Ⅲ-2	一年以上中国語を学んだ学生を対象にして、それまでの学習で培った基礎的な文法知識や日常会話の習得状況に加えていっそうの表現力を磨くことを目指す。中国語圏への語学研修に参加あるいは長期の留学を目指す学生諸君が十分な準備をして現地での学修・生活に臨めるように、教材にも工夫をこらし、音声教材や映像教材を活用して、臨場感のある場面設定で授業をすすめる。	
	中国語実習Ⅰ-1	半年以上中国語を学んだ学生を対象にして、集中的に発音や会話の練習を行い、しっかりした基礎固めをして、その後の学習につなげる。視聴覚教材や中国語ネイティブ教員の話も交えて、中国文化への興味を喚起する。また、留学生との交流プログラムを設定するなど、学んだ言葉を使って意思疎通をはかる体験を通じて、受講生のモチベーションを高めていく。	
	中国語実習Ⅰ-2	一年以上中国語を学んだ学生を対象にして、集中的に会話や朗読の練習を行い音声表現の演習を行う。また、自分の意見を表現できるように、作文とその発表を行い、最終的には、短いスピーチを完成させる。力がついてきたら、学外のスピーチコンテストに挑戦するなど、より実践的かつ刺激的な学習を通じて、受講生のモチベーションを高めていく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	中国語実習Ⅱ-1	中国語を一年以上しっかり履修した学生を対象とする講義である。難易度は初・中級レベルで、今まで学んだものをふまえ、日常会話の練習を通して、基礎文法を固め、言語表現を豊かにし、中国語会話の実践力を少しずつ身につけることを目標とする。演習中心の授業となるので、皆さんの積極的な学習姿勢が望まれる。オリジナル教材（プリント）を使って、授業時間中に総合練習を行うことにより、着実に実践的コミュニケーション力が着くようにプログラムされている。	
	中国語実習Ⅱ-2	中国語を一年以上しっかり履修した学生を対象とする講義である。難易度は初・中級レベルで、今まで学んだものをふまえ、日常会話の練習を通して、基礎文法を固め、言語表現を豊かにし、中国語会話の実践力を少しずつ身につけることを目標とする。演習中心の授業となるので、皆さんの積極的な学習姿勢が望まれる。オリジナル教材（プリント）を使って、授業時間中に総合練習を行うことにより、着実に実践的コミュニケーション力が着くようにプログラムされている。	
	中国語実習Ⅲ-1	中国語検定2級合格を目指す。「中国語実習Ⅲ-1、2」では、1年間かけて中国語検定試験2級の受験対策を行う。やや難度の高い文章を読みながら、語彙や文法事項を整理し、作文練習等も行って、中国語検定2級受験に必要な中国語能力を養成する。毎回、課題として中国語の文章を自宅で訳し、授業では、一緒に日本語訳を確認したり、語彙や文法事項の解説を行う。また、授業中に過去問題を教回分解く。受講者は必ず中国語検定試験を受験する必要がある。また、受講者は中国語検定3級に合格しているかそれと同等の能力を有していることが望ましい。	
	中国語実習Ⅲ-2	中国語検定2級合格を目指す。やや難度の高い文章を読みながら、語彙や文法事項を整理し、作文練習等も行って、中国語検定2級受験に必要な中国語能力を養成する。毎回、課題として中国語の文章を自宅で訳し、授業では、一緒に日本語訳を確認したり、語彙や文法事項の解説を行う。また、授業中に過去問題を教回分解く。	
	哲学-1	本講義はいわば「哲学入門」への「入門」をめざす。「哲学」的に考えるとは、なにをどうすることなのか、これについて徹底的に学ぶことを目的とする。具体的には、古代から近代における代表的な哲学者をテーマとして取り上げ、彼らの論考を遍体験しつつ、哲学的思索の特質を把握していく。	
	哲学-2	本講義では、哲学的「人間学」について特に取り扱っていく。哲学者ヘラクレイトスとソクラテスによる古代ギリシアにおける「人間学」的展開、人間学の方法、デイルタイとシェーラーの所説に見られる「人間観」「人生観」「世界観」や、身体論、「心」「意識」「自己」などについて議論・思索を進めていく。	
	宗教学-1	今日、個人の精神面での活動や民族社会を支える理念として、宗教が極めて重要な役割を果たしていることは言うまでもなく、これからの国際社会を考える上で重要な概念である。本講義では宗教を理解する端緒として、世界宗教といわれる仏教・キリスト教・イスラム教の基本的教義と歴史を中心に解説する。	
	宗教学-2	今日、自らを無宗教と定義する日本人の間では、神社への初詣で、キリスト教婚、仏式葬式などの宗教的な儀式・習慣がさかんになる傾向にある。若い人たちが中心の占いやスピリチュアル・ブームもまた衰えを見せない。本講義では、日本由来の神道の展開や輸入された外来の宗教などをテーマに、日本人の宗教観を歴史から見ていく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	歴史学－1	ハブスブルク帝国の歴史について、毎回テーマを設定して年代順に概観する。1991年にベルリンの壁が崩壊し、東欧地域は典型的な「多民族地域」として姿をあらわすことになった。そのさい、この地域を統合する原理の一つとして、かつてのハブスブルク帝国による統治原理が再び注目されつつある。この帝国を崩壊させるべきでなかったという議論さえある。本 Semester では、この帝国を治めた諸君主の事績をおさえていながら、その支配機構や統治原理について考えてみたい。	
	歴史学－2	本講座では、7世紀～16世紀のイスラーム世界について、その宗教や社会、国家の原理を考察する。ヨーロッパ世界がイスラームを対抗的なものとして考える傾向は、8世紀以降、レコンキスタや十字軍、大航海時代など、キリスト教諸国が地中海世界に向かって発展していく過程で生じたといえる。ここでは、多様な文化を認め、それと共生していく「融和」の原理があったことを明らかにしたい。	
	文学－1	ドイツ文学の代表的な作家ゲーテの作品に親しみ、教養を身につける。また、文章表現力を養成する。ドイツの文学者ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの作品のなかから、戯曲『タウリスのイフィゲーニエ』、戯曲『エグモント』、戯曲『ファウスト』第一部を主に取り上げて論じる。	
	文学－2	ドイツ文学の代表的な作家ゲーテの作品に親しみ、教養を身につける。また、文章表現力を養成する。ドイツの文学者ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの作品のなかから、書簡体小説『若きウェルテルの悩み』、戯曲『トルクヴァート・タツナー』、戯曲『ファウスト』第二部を主に取り上げて論じる。	
	音楽－1	ヨーロッパの音楽の歴史をたどっていくと、音楽は政治や宗教の道具にされるなど、社会のなかで様々な役割を果たし、単なる「芸術」ではなかったことがわかる。「大音楽家」も、当初から特別な「大音楽家」であったわけではなく、その時代のニーズに合わせて活動していた数多くの音楽家のひとりであった。そこで本講座では、なぜそのような音楽が生まれたのか、社会のなかで音楽がどのような役割を担い、作用したかといったことに視点を置き、ヨーロッパにおける音楽の歴史を様々な角度から考察していく。	
	音楽－2	ヨーロッパの音楽の歴史をたどっていくと、音楽は政治や宗教の道具にされるなど、社会のなかで様々な役割を果たし、単なる「芸術」ではなかったことがわかる。「大音楽家」も、当初から特別な「大音楽家」であったわけではなく、その時代のニーズに合わせて活動していた数多くの音楽家のひとりであった。そこで本講座では、なぜそのような音楽が生まれたのか、社会のなかで音楽がどのような役割を担い、作用したかといったことに視点を置き、ヨーロッパにおける音楽の歴史を様々な角度から考察していく。	
	日本国憲法	日本国憲法第20条「宗教の自由」を中心に、政教分離や宗教法人など、「宗教」と憲法の間を考察することにしたい。歴史的には、宗教的なルールと法制度が未分化だった時代が、我が国においても諸外国においても、長い間、近代憲法の歴史はいわば宗教的ルールからの脱却の歴史であったといっても過言ではない。そのような歴史的経緯を踏まえ、現代の宗教に関連する人権問題を、できるだけ多くの事例を通して理解してゆきたい。	
	法学	私達の生活は常に法との関わりをもっている。将来、いかなる方面に進むにせよ、法と無縁の生活は考えられない。もちろん、関わりを有するであろう法を全て知ることはできないし、また、その必要もない。むしろ重要なことは、法的な考え方を身につけることである。本講義においては、各種の問題の分析を通じて、そこでの法的な問題点、解決のための考え方を身につけることを目的とする。できるだけ、具体的な事例等を用いながら、分かりやすく講義を進めたいと考えている。	

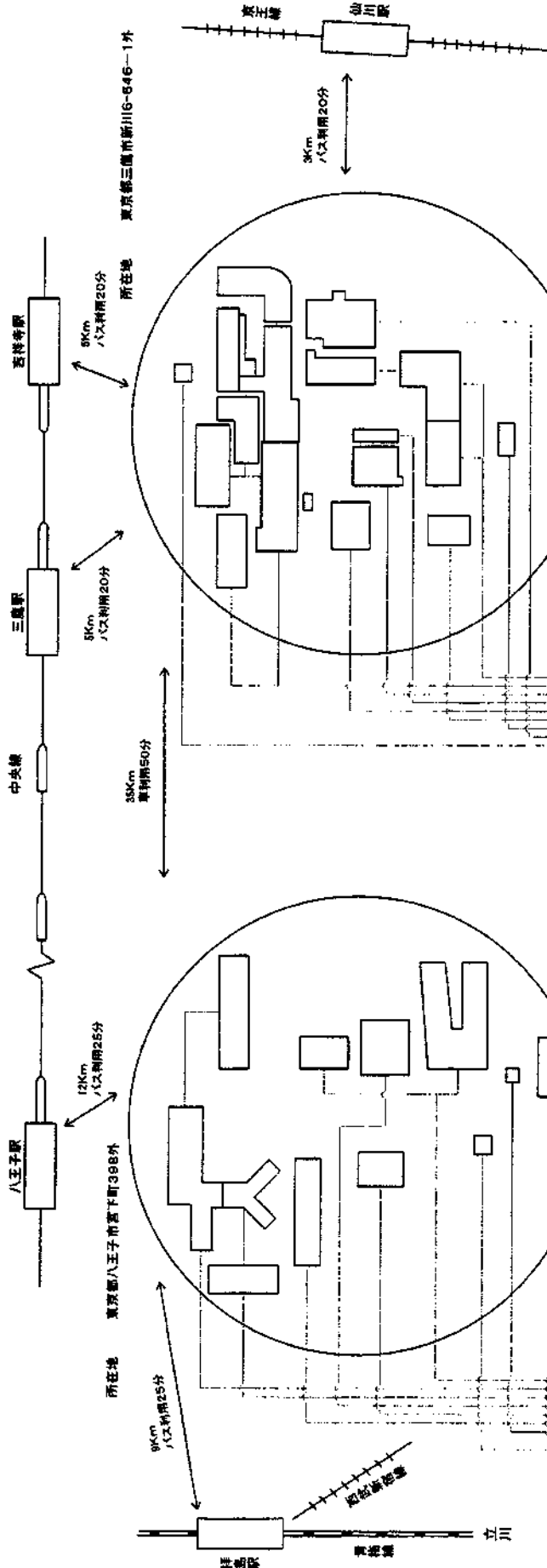
授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 関 連 科 目 C	政治学-1	現在の日本では様々な政治問題が表面化している。これらの諸問題を的確に理解するためには、政治学の基本となる理論を学ぶことが重要である。本講義では、政治学の基礎知識を身につけ、理解を深めていくことを目的とする。世界の政治制度は立法と行政の関係で異なる。立法と行政の具体的な役割や歴史について概観していく。	
	政治学-2	本講義では、政治学A(前期)で学んだ政治学の基礎知識を元に、より専門的な観点から政治思想について理解を深めていくことを目的とする。まず、米英仏を中心として近代欧米の政治思想について、次に近代日本の政治思想について明らかにしていく。	
	地理学-1	本講義では地理学の基本的な見方・考え方の楽しさ、面白さについて講義していきたい。受講者には、本講義を通して地誌的視点を取り入れ、国際社会に生きる日本人としての自覚と素養を養って欲しい。また、人文社会科学的な幅広い見方・考え方を養い、会得するための科目としてほしい。本講義を進めていく上での中心となる項目は①地図、②人間と環境、③生活と産業、④地域空間である。どのように地域をみる(見る、観る、診る)か、どのような見方・考え方があるかについて講義していきたい。	
	地理学-2	地理学の基本的な見方・考え方の楽しさ、面白さについて講義していきたい。また、人文社会科学的な幅広い見方・考え方を養い、会得するための科目としてほしい。本講義を進めていく上での中心となる項目は①東京大都市圏、②都市問題と都市環境、③よりよき都市生活を考えるである。今日、世界の大多数の人々が都市で暮らしている。都市を知ることは、世界を知ることにも通じる。どのように地域をみる(見る、観る、診る)か、どのような見方・考え方があるかについて講義していきたい。	
	経済学-1	身近な経済問題を足がかりに、日本経済の基本的な仕組みを理解するための入門講座です。日本経済は、景気、金融政策、財政、税制、雇用、年金・医療、構造改革などさまざまな問題に直面しています。本講義では、日本経済のこれら重要な問題についてやさしく解説します。基礎的な経済理論の説明にとどまらず、いま論議を呼んでいる日本経済のさまざまなトピックスをできるだけ講義のテーマに取り上げ、経済学の力を借りて解き明かしていく方針です。	
	経済学-2	本講義では、日本を取り巻く国際経済の重要な問題についてわかりやすく解説します。基礎的な経済理論の説明にとどまらず、いま論議を呼んでいる国際経済のさまざまなトピックス、たとえば、貿易摩擦、企業の海外投資、為替レート、金融危機、WTO交渉、地域統合、地球環境問題などをできるだけテーマに取り上げて、経済学の力を借りて解き明かしていく方針です。	
	数学-1	今、我々に求められているのは物を見る確かな眼です。物には虚実が入り交じって見分けのつき難いことが多いのですが、それに惑わされず真相を正しく捉える眼を養う必要があります。そのためには先ず考えるということが大切です。数学を通して考える習慣をつけたいと考えています。高校の範囲と似ていますが、一味違う内容です。数学的な考え方を重視して、鋭い解法を考えます。確率、基礎解析についてお話致します。	
	数学-2	今、我々に求められているのは物を見る確かな眼である。物には虚実が入り交じって見分けのつき難いことが多いが、それに惑わされず真相を正しく捉える眼を養う必要がある。そのためには先ず考えるということが大切である。本講義では数学を通して考える習慣をつけたいと考えている。高校の範囲と似ているが、数学的な考え方を重視して、鋭い解法を考える。微分法、積分法について解説する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	物理学-1	物理現象の原理を理解し、それらがどのように応用されているかを理解する。自然科学は日常的な現象を体系的に整理し、一定の法則を見出そうとする科学である。物理学はこのような自然科学の一分野であるばかりでなく、あらゆる学問の基礎となる学問であり、物理的なもの見方、考え方はあらゆる学問に通じるものである。この科目では数学的手法も使うが、考え方に重点を置く。	
	物理学-2	物理現象の原理を理解し、それらがどのように応用されているかを理解する。自然科学は日常的な現象を体系的に整理し、一定の法則を見出そうとする科学である。物理学はこのような自然科学の一分野であるばかりでなく、あらゆる学問の基礎となる学問であり、物理的なもの見方、考え方はあらゆる学問に通じるものである。この科目では数学的手法も使うが、考え方に重点を置く。	
	化学-1	高校で化学をほとんど学習していない学生が、化学の基本から現代的知識まで理解できるようになることを目標とする。化学の基本から現代的知識までを、中学レベルから出発してわかりやすく解説する。化学という学問・科目に対して、「計算や覚えることが多くて大変なので、難しい、わからない、つまらない」という感想を持っている学生の、そのような誤解が解ければ成功。	
	化学-2	現代化学の「超」はつかない入門コースであり、高校課程の化学の必須部分は一応理解しているが、入試の勉強まではしていない学生を対象とする。前期の「化学-1」の単位を取得していることが望ましいが必須ではない。化学の初歩的計算に慣れるよう、毎回、教科書の問題等で計算の練習を行なう。	
	生物学-1	生物の持つ共通性と多様性を把握し、理解することが生物学の目的の一つであり、現代の生物学は生命現象を物質レベルで理解できるまでになっている。また、人類の存続に関わる環境問題にも生物学は重要な位置を占めている。さらには、バイオテクノロジーとかエコロジーとかの生物学分野の名称が一般に使用されている現在では、生物学は自然科学分野はもとより、人間社会においても重要な学問となっている。本講義は、ヒトを題材にして、生命現象の共通性と個別性および生物の歴史性を、また、ヒトを含む生物と地球環境及び生物相互の関係を把握し、理解することを目標としている。	
	生物学-2	生物の持つ共通性と多様性を把握し、理解することが生物学の目的の一つであり、現代の生物学は生命現象を物質レベルで理解できるまでになっている。また、人類の存続に関わる環境問題にも生物学は重要な位置を占めている。さらには、バイオテクノロジーとかエコロジーとかの生物学分野の名称が一般に使用されている現在では、生物学は自然科学分野はもとより、人間社会においても重要な学問となっている。本講義は、ヒトを題材にして、生命現象の共通性と個別性および生物の歴史性を、また、ヒトを含む生物と地球環境及び生物相互の関係を把握し、理解することを目標としている。	
	心理学-1	青年期の心の発達課題は「自我の同一性」の確立とされており、自分自身の判断による行動を要求されることが多くなる時期である。この時期に、自分の「生き方」の考え方を振り返ることは重要なことであり、これに関わる心理学の知識・情報への理解を深めることを目標としている。人は自分をとりまく環境との相互関連の中で、日々成長・発達を遂げていく。その成長過程について、ライフステージの各生活環境の中で「自己理解」、「他者理解」、「場の理解」といったキーワードに基づいて解説をすすめていく。	
	心理学-2	心の健康に関わる心理学の知識・情報への理解を深め、自分自身の心の健康を自覚することを糸口に心理学を身近なものとして捉えることを目標としている。人は自分をとりまく環境との相互関連の中で、日々成長・発達を遂げていく。その成長の過程で精神あるいは心の健康を維持・増進すると同時に、精神的疾病を予防することが必要である。ライフステージにおける心の健康について解説をすすめていく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部観光交流文化学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	統計学-1	今、我々に求められているのは物を見る確かな眼である。物には虚実が入り交じって見分けのつき難いことが多いが、それに惑わされず実相を正しく捉える眼を養う必要がある。そのためには先ず考えるということが大切である。統計学を通じてその確かな眼を養いたい。この「統計学」では統計学の基礎に加え、新聞や雑誌の記事を用いてデータをみる眼を磨くことにも力を入れる。記述統計学を中心に解説し、確率論、標本抽出法などについても説明する	
	統計学-2	今、我々に求められているのは物を見る確かな眼である。物には虚実が入り交じって見分けのつき難い場合が多いが、それに惑わされず実相を正しく捉える眼を養う必要がある。統計学、データ解析を通してその確かな眼を養いたい。この講義では、統計学、データ解析の基礎だけではなく、新聞や雑誌の記事を用いたデータをみる眼を磨くことにも力を入れたい。推測統計学を中心に説明する。	
	情報処理	Word、Excel、PowerPointを用いて、大学でのレポート、会社で使用する書類などを作成するのに必要な操作の習得を目指す。・メモ帳を用いて簡単なホームページを作成する。(受講人数によっては、Dreamweaverも使用します。)・スムーズにコンピュータを操作できるように毎回の授業でタッチタイピングの練習を行う。・演習中心の科目であり、毎回課題を提出する必要がある。	
	体育理論	大学生として健康スポーツ科学の基本的内容の理解。健康なくして健全な学生生活も社会生活もあり得ない。体育・運動及び健康教育理念を深く浸透させ、健康の保持増進・体力の向上をはかるとともに、その自覚を促進させる。自己管理に徹底をきすべきは勿論、各種リーダーとして指導的役割を果たせるように学ばせる。本講義では、体育、運動、健康、体力、トレーニング科学などについて論じる。	
	体育実技-1	生涯に渡って、健康を維持・増進するため、スポーツ活動に対する肯定的態度を養成することを目的とする。そのために、年間を通じて複数のスポーツ種目を実践し、各スポーツ種目の基礎技術、およびその土台となる基本的な身体操作を身につけること、さらに、集団で行動する際の適切な行動がとれるようになることを求める。実施スポーツ種目は、バドミントンと硬式テニスの2種目であり、その中から選択することとする。	
	体育実技-2	生涯に渡って、健康を維持・増進するため、スポーツ活動に対する肯定的態度を養成することを目的とする。そのために、年間を通じて複数のスポーツ種目を実践し、各スポーツ種目の基礎技術、およびその土台となる基本的な身体操作を身につけること、さらに、集団で行動する際の適切な行動がとれるようになることを求める。実施スポーツ種目は、バドミントンと硬式テニスの2種目であり、その中から選択することとする。	

学校の位置及び校舎の配置図の概要

平成21年4月1日現在



専科大学八王子校舎

校地面積 130,329.49㎡(全部所有)
 内運動場用地 (11,566.00㎡)
 内職員宿舍敷地 (478.00㎡)

土地小計 130,329.49㎡

- 保健学術協会・研究棟
- 社会政策学術協会・研究棟
- 外国語学術協会・研究棟
- 体育館
- その他の建物
- ポイラー食堂棟
- 第3食堂棟
- 八王子動物舎
- 上記以外の学校法人所有建物
- 職員宿舍
- 守衛所外

鉄筋8階建外 15,134.17㎡
 鉄筋6階建外 11,750.43㎡
 鉄筋5階建外 8,672.39㎡
 鉄骨鉄筋地下2階付3階建 7,746.33㎡
 鉄筋3階建 1,058.40㎡
 鉄骨鉄筋2階建 1,393.50㎡
 プレハブ型平家建 9.90㎡
 鉄筋6階建 1,263.60㎡
 鉄筋平家建 196.41㎡

建物小計 47,226.13㎡

専科大学三鷹校舎

校地面積 57,992.32㎡(全部所有)
 内運動場用地 (3,004.00㎡)
 内付風雨庇駐車場用地 (1,656.00㎡)
 上記以外の学校法人所有地 27.09㎡
 法人本部 専用敷地 1,582.00㎡
 普通専門学芸敷地 59,601.41㎡

土地小計 59,601.41㎡

- 医学新技術・研究棟
- 病院
- 図書館
- 資料館
- 体育館
- 看護・理学療法学科
- 内看護専門学芸専用校舎
- 上記以外の学校法人所有建物
- 看護専門学芸第1校舎
- 駐車場
- 守衛所外

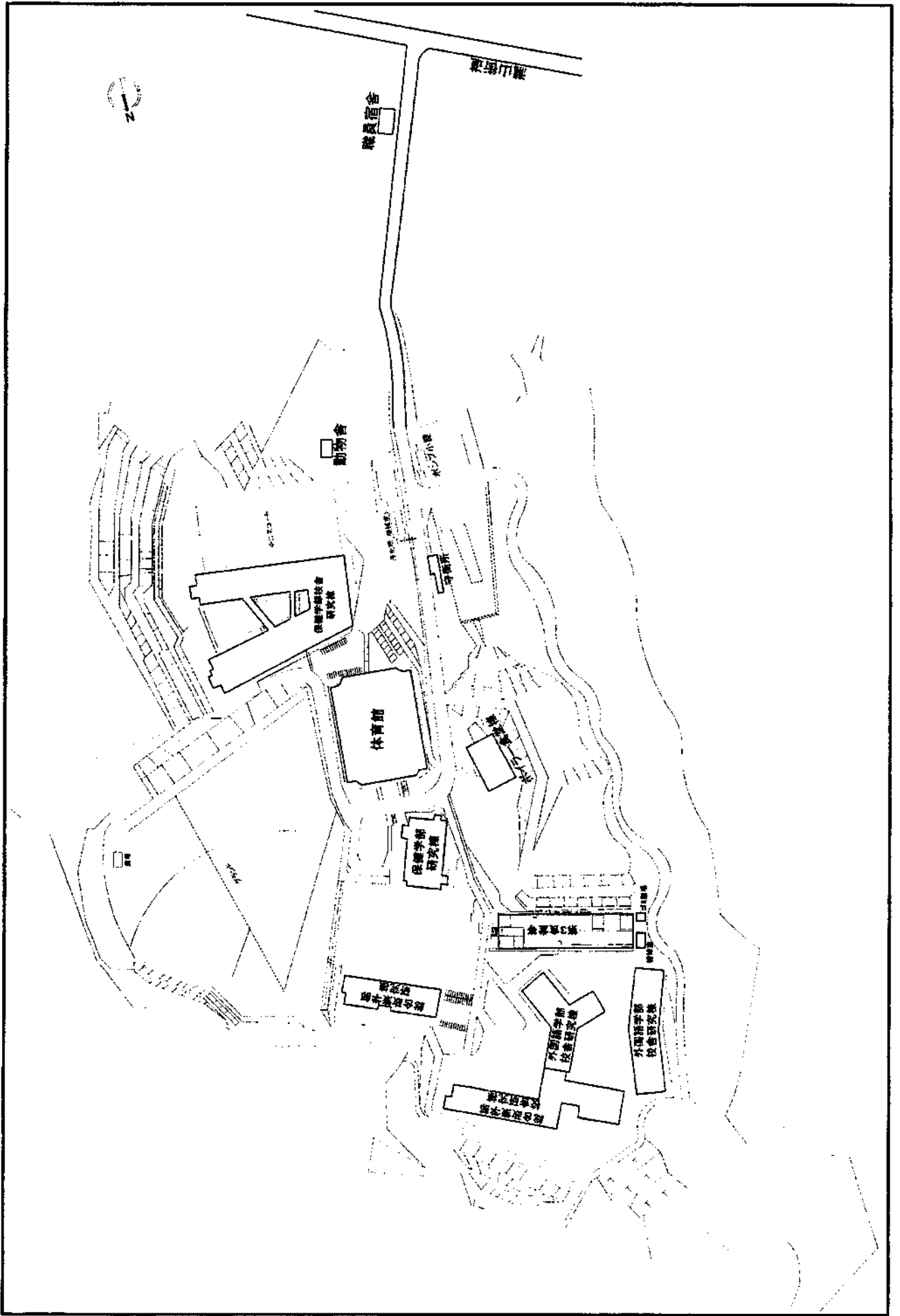
鉄骨鉄筋地下1階付7階建外 27,221.96㎡
 鉄骨鉄筋地下2階付10階建外 114,911.47㎡
 鉄筋地下2階付12階建外 3,518.11㎡
 鉄骨鉄筋地下2階付11階建 2,899.32㎡
 鉄骨鉄筋地下1階付3階建 5,148.20㎡
 鉄骨鉄筋9階建 8,734.57㎡
 (752.86㎡)
 鉄筋地下1階付3階建 2,396.88㎡
 鉄骨鉄筋地下1階付3階建 7,094.52㎡
 鉄骨鉄筋平家建外 606.61㎡

建物小計 172,531.64㎡

八王子校地及び建物配置図

八王子市宮下町398番1外

130,329.49㎡(敷地)



○杏林大学学則

制定	昭和45年	3月17日		
改正	昭和49年	4月23日	昭和50年	8月11日
	昭和52年	11月17日	昭和53年	12月25日
	昭和54年	10月25日	昭和57年	4月1日
	昭和59年	4月1日	昭和60年	1月9日
	昭和61年	4月1日	昭和63年	4月1日
	平成2年	12月21日	平成3年	9月25日
	平成4年	9月21日	平成6年	1月24日
	平成7年	7月3日	平成8年	10月23日
	平成9年	3月28日	平成9年	5月30日
	平成10年	3月27日	平成10年	12月11日
	平成11年	2月15日	平成11年	6月21日
	平成11年	9月20日	平成11年	12月10日
	平成12年	6月19日	平成12年	9月18日
	平成13年	5月30日	平成14年	2月26日
	平成14年	7月15日	平成14年	9月13日
	平成14年	12月6日	平成15年	2月17日
	平成15年	9月8日	平成15年	12月5日
	平成16年	5月28日	平成17年	5月27日
	平成17年	7月25日	平成17年	10月26日
	平成18年	3月29日	平成18年	12月8日
	平成19年	3月29日	平成19年	12月7日
	平成20年	5月29日	平成20年	9月8日
	平成20年	10月20日	平成21年	3月26日

第1章 目的、使命及び自己評価等

(目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。

(自己評価等)

第1条の2 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については、別に定める。

第2章 学部、大学院等

(学部、学科)

第2条 本学に次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科

保 健 学 部 臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科、臨床工学科、救急救命学科及び理学療法学科

総合政策学部 総合政策学科及び企業経営学科

第3類（杏林大学学則）

外国語学部 英語学科、中国語・日本語学科、応用コミュニケーション学科
及び観光交流文化学科

（学部又は学科の目的）

第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

- 2 医学部は、豊かな人間性の涵養と、医学の発展に対応しうる基礎的及び専門的知識の修得と臨床的技能の修練を通じて、良き医師を養成することを目的とする。
- 3 保健学部
 - (1) 臨床検査技術学科は、保健及び医療に携わる者として高い倫理観と、強い使命感を持ち、臨床検査に対する卓越した専門知識と技術、総合的な判断力を持つ人材を養成することを目的とする。
 - (2) 健康福祉学科は、保健、医療及び福祉の専門知識と技術をもち、高い倫理観と情熱をもって人の健康と生活の支援を実践する人材を養成することを目的とする。
 - (3) 看護学科は、看護を必要とする様々な人々に対して対処できるよう、的確な問題解決能力と技術をもち、人への思いやりを有し、高い倫理観を持ち、かつリーダーシップを発揮できる人材を養成することを目的とする。
 - (4) 臨床工学科は、生命維持管理装置の操作運用に関する医用生体工学の分野で、その専門的知識と技術を活かし、高い倫理観と使命感を持った実践的な臨床工学技士を養成することを目的とする。
 - (5) 救急救命学科は、高い倫理観を持ち、救急救命の最前線で求められる迅速かつ的確な状況判断能力と傷病者の状況観察に基づく適切な処置技術を有する人材を養成することを目的とする。
 - (6) 理学療法学科は、医療人としての倫理観に裏付けされた豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など幅広い領域において貢献できる人材を養成することを目的とする。
- 4 総合政策学部
 - (1) 総合政策学科は、社会をマクロの視点から捉え、国際政治・経済、法律・行政及び環境・福祉の各専門分野を総合的かつ学際的に学ぶことにより、様々な問題を多面的に把握分析し、実践的に解決するための知識と能力を備えた人材を養成することを目的とする。
 - (2) 企業経営学科は、企業活動というミクロの視点に立ち、経営及び会計の各専門分野における知識の修得はもとより他の関連分野にも通暁し、企業が求める幅広い知識と実務遂行のための能力、技能を備えた人材を養成することを目的とする。
- 5 外国語学部
 - (1) 英語学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、実践的な英語運用能力の開発を通じて、実社会の中で必要な専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することを目的とする。
 - (2) 中国語・日本語学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性

第3類（杏林大学学則）

そのものを陶冶し、知識だけでなく実感をともなって近隣諸国の言語と文化を理解し、アジア太平洋の時代の中核となる人材を養成することを目的とする。

(3) 応用コミュニケーション学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、言語の高度な運用能力によって涵養されるコミュニケーション力と表現力を基に、その実践と応用を通じて高度情報化社会に資する人材を養成することを目的とする。

(4) 観光交流文化学科は、観光産業の現場における有益な人材を輩出するため、充分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習し、実践的に応用できる人材を養成することを目的とする。

(学生定員)

第3条 学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	2年次編 入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	105名	—	—	630名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	80名	6名	4名	346名
	健康福祉学科	40名	6名	4名	186名
	看護学科	100名	2名	8名	422名
	臨床工学科	40名	—	—	160名
	救急救命学科	40名	—	5名	170名
	理学療法学科	40名	—	—	160名
総合政策学部	総合政策学科	170名	—	10名	700名
	企業経営学科	100名	—	5名	410名
外国語学部	英語学科	110名	—	5名	450名
	中国語・日本語学科	40名	—	13名	186名
	応用コミュニケーション学科	40名	—	2名	164名
	観光交流文化学科	70名	—	3名	286名

(大学院)

第4条 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は別に定める。

(付属施設)

第5条 本学に付属図書館、付属図書館分館、医学部付属病院、医学部付属看護専門

第3類（杏林大学学則）

学校、入学センター、キャリアサポートセンター、国際交流センター、学生支援センター、三鷹保健センター及び八王子保健センターを置く。これらに関する規程は別に定める。

第3章 教職員組織

（教員組織）

第6条 本学に学園長、学長、副学長、付属病院長、付属図書館長、付属図書分館長、医学部付属看護専門学校長、入学センター長、キャリアサポートセンター長、国際交流センター長、学生支援センター長、三鷹保健センター長及び八王子保健センター長を置く。

2 各学部に学部長、教務部長及び学生部長を置く。

3 事務組織については、別に定める。

第7条 本学に教授、准教授、講師、助教、事務職員、技術職員その他の職員を置く。

2 教職員は専任、兼担及び兼任に区分する。

3 教職員の定員、資格、任免、勤務等に関しては、別に定める。

（学園長の任務）

第8条 学園長は、学園が設置する教育機関の教学に関する事項を総理し、教学面の諸式を司る。

（学長の任務）

第9条 学長は、本学並びに本学付属教育機関の教育及び研究に関する事項を統括する。

（副学長の任務）

第10条 副学長は、所管の事項に関し常に学長を補佐し、学長に事故があり学園長の指名を受けたときは、学長の任務を代行する。

（学部長の任務）

第11条 学部長は、当該学部の校務を掌理し、所属教職員を指揮監督して、教育及び研究の責に任ずる。

第4章 教授会

（教授会）

第12条 各学部に教授会を置く。

2 各学部の教授会（以下「各教授会」という。）は、それぞれの学部長が招集しその議長となる。

3 各教授会は、それぞれの学部の専任教授をもって組織する。

4 各教授会は、必要に応じ准教授その他の教職員の意見を聴くことができる。

5 各教授会は、その学部における次の事項を審議する。

（1）教育に関する事項

（2）教員人事に関する事項

（3）学生に関する事項

（4）研究に関する事項

（5）その他前各号に関連し、学部長が必要と認めた事項

第3類（杏林大学学則）

6 前項第1号の事項中教授の選考に関する事項の審議については、別に定める教授選考委員会において予め審議するものとする。

7 学園長、学長、副学長は各教授会に出席し意見を述べることができる。

8 教授会運営に関する細則は、別に定める。

（大学評議会）

第12条の2 本学に杏林大学評議会（以下「評議会」という。）を置く。

2 評議会は、学長が招集しその議長となる。

3 評議会は、次に掲げる評議会委員（以下「委員」という。）をもって組織する。

（1）学園長

（2）学長

（3）副学長

（4）学部長

（5）付属図書館長

（6）各教授会構成員の中から教授会により選任された者、各2名

4 前項6号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で委員の交替のあったときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

5 評議会は、必要に応じ委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

6 評議会においては、次の事項を審議し議決する。

（1）学則及びこれに基づく諸規程の制定、改廃並びにこれらの解釈に関する事項

（2）大学の自己評価に関する事項

（3）その他大学全般の教学に関し、学長が必要と認める事項

7 評議会運営に関する規程は別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

（学年）

第13条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。ただし、総合政策学部及び外国語学部の秋入学者は10月1日に始まり、翌年9月30日に終る。

（学期）

第14条 学年を分けて前期又は春学期、後期又は秋学期の2学期とする。

2 前項の学期の呼称及び期間は、各学部において定める。

（休業日）

第15条 休業日は次のとおりとする。

（1）日曜日

（2）国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

（3）杏林学園創立記念日 11月11日

（4）春季休業 3月10日から4月10日まで

（5）夏季休業 7月11日から9月10日まで

（6）冬季休業 12月23日から翌年1月8日まで

2 学長は、必要により前項各号の休業日を変更することができる。

第3類（杏林大学学則）

第6章 修業年限及び在学年限

（修業年限）

第16条 修業年限は次のとおりとする。

医 学 部	6年
保 健 学 部	4年
総合政策学部	4年
外国語学部	4年

（在学年限）

第17条 卒業までの在学年限は、原則として各学部とも前条の修業年限の2倍を超えることができない。ただし、医学部においては、同一学年の在学年限を2年以内とする。

第7章 入 学

（入学の時期）

第18条 入学の時期は、学年の始めとする。

（入学資格）

第19条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- （1）高等学校を卒業した者若しくは中等教育学校を卒業した者
- （2）通常の課程における12年の学校教育を修了した者
- （3）外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- （4）専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- （5）文部科学大臣の指定した者
- （6）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- （7）高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者
- （8）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（入学志願）

第20条 入学を志願する者は、所定の入学願書に別に定める入学検定料を添えて、提出しなければならない。

（入学手続）

第21条 入学選考試験に合格した者は、所定の期日までに所定の入学料その他の学納金を添えて、誓約書を提出しなければならない。

2 入学選考試験合格の通知を受け、前項の手続を完了した者は、入学を許可する。

（転入学）

第22条 次の各号の一に該当する者で、本学への転入学を志願する者があるときは、

第3類（杏林大学学則）

欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に転入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
- (2) 他の大学に在学している者

（編入学）

第22条の2 短期大学、高等専門学校を卒業した者及び第19条の各号の一に該当しその後専修学校の専門課程を卒業し文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又はその他法令で定めるところにより資格があるとされている者は、選考の上、相当年次に編入学を許可する。

（転入学、編入学の入学志願等）

第22条の3 転入学、編入学の志願及び入学手続きについては、第20条及び第21条の規定を準用する。

（単位の認定等）

第22条の4 転入学、編入学又は再入学を許可された者の修得した単位の認定及び修業年限の決定は、当該学部教授会が行う。

第8章 教育課程・履修方法等

（教育課程の編成及び履修方法）

第23条 教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。ただし、履修方法の細部については、各学部において定める。

（教育課程）

第24条 授業科目の種類並びにその単位数又は履修時間数は、次に定めるとおりとする。

医 学 部	別表1
保 健 学 部	別表2
総合政策学部	別表3
外国語学部	別表4

（単位の計算方法）

第25条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、毎週1時間から2時間15週の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、毎週2時間から3時間15週の授業をもって1単位とする。
- (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前各号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。

（単位の授与）

第3類（杏林大学学則）

第26条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

（試験及び進級の認定）

第27条 試験は各授業科目ごとに行う。

2 試験は、口頭又は筆記により行う。ただし、科目の性質によりあらかじめ定めたものについては、他の方法によることができる。

3 試験の成績は、A B C Dの4種とし、A B Cを合格、Dを不合格とする。合格した授業科目については所定の単位を与える。

4 進級の認定については、各学部の学修規程又は履修規程に定める。

（他の大学における授業科目の履修等）

第27条の2 本学（医学部を除く。）は、教育上有益と認めるときは、別に定めるところにより、学生が他の大学で履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学において修得したものとみなすことができる。

（外国の大学において修得した単位）

第27条の3 前条の規定は、学生が外国の大学に留学した場合にも準用する。

（成績評価基準等の明示等）

第27条の4 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学生に対して、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的研修等）

第27条の5 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（単位互換）

第28条 単位の互換に関する規程は別に定める。

第29条 削 除

第9章 休学、転学、退学等

（休学）

第30条 疾病その他やむを得ない事由のため、3か月以上修学できないときは、学長に願い出て休学することができる。この場合その事由が病気であるときは、医師の診断書を添付しなければならない。

2 休学の期間は、1年を超えることはできない。ただし、特にやむを得ない事情があると認められるときは、さらに1年を限り延長することがある。

第31条 疾病のため修学することが適当でない認められる者に対しては、学長は当該学部長の申請により休学を命ずることができる。

（復学）

第32条 休学の期間中であっても、その事由が消滅したときは、当該学部長を経て、学長に願い出て復学することができる。この場合、休学の事由が病気である場合には、本学付属病院の医師の診断書を添付しなければならない。

第3類（杏林大学学則）

第33条 休学の期間は、第16条の修学年限及び第17条の在学年限に算入しない。

2 休学の期間は、通算して3年を超えることはできない。

（転学部等）

第34条 本学内で他学部の学科又は同一学部内の他学科へ転学部又は転学科を志願した者は選考の上、これを許可することがある。

2 前項によって転学部又は転学科した者の在学年数には、元の学部学科の在学年数の全部又は一部を通算することができる。

（転学）

第35条 本学から他の大学に転学しようとする者は、理由書を添えて、当該学部長を経て学長に願い出て、許可を得なければならない。

（退学）

第36条 疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人連署のうえ当該学部長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。

（再入学）

第37条 前条により退学した者で、2年以内に退学の事由が消滅し、再び入学を願う者があるときは、学長は当該学部長の申請により、相当年次に再入学を認めることができる。

（除籍）

第38条 次の各号の一に該当する者は、当該教授会の議を経て学長がこれを除籍する。

(1) 故なくして、3ヵ月以上授業料その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2) 第30条第2項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者

(3) 第17条に定める在学年限を超える者

(4) 行方不明で失踪の届出があった者

第10章 卒業

（卒業の要件）

第39条 医学部においては、別表1-1の適用を受ける者は、6年以上在学し270単位を修得しなければならない。別表1-2の適用を受ける者は、6年以上在学し264単位を修得しなければならない。別表1-3の適用を受ける者は6年以上在学し255単位を修得しなければならない。別表1-4の適用を受ける者は、6年以上在学し255単位を修得しなければならない。

2 保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科及び救急救命学科においては4年以上在学し124単位以上を、看護学科においては4年以上在学し137単位以上を、理学療法学科においては4年以上在学し125単位以上を修得しなければならない。

第3類（杏林大学学則）

- 3 総合政策学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。
- 4 外国語学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。
- 5 各学部とも自由科目については、その履修により修得した単位は卒業の単位に算入しない。
- 6 本学（医学部を除く。）の学生が、その所属する学科以外の学科（一学部に二学科以上の場合）、又は本学他学部の設置する授業科目のうち、在学する学部・学科に設置されていない授業科目については、関係学部長の許可を受けて履修することができる。
- 7 前項により修得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができる。
（卒業の認定）

第40条 前条に定める卒業の要件をみたした者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

（学位）

第41条 卒業の認定をうけた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部	学士（医学）
保健学部	
臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
健康福祉学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
救急救命学科	学士（救急救命学）
理学療法学科	学士（理学療法学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）
中国語・日本語学科	学士（文学）
応用コミュニケーション学科	学士（文学）
観光交流文化学科	学士（観光交流文化学）

（教育職員免許状）

第41条の2 本学に教職課程を置く。

2 教職に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5-1のとおりとする。

（教育職員免許取得に必要な科目及び単位数）

第41条の3 教育職員免許を得ようとする者は、別に定める本学教職課程履修に関する規程及び教育職員免許法並びに同法施行規則の定めるところに従い、それぞれ所定の科目及び単位を修得しなければならない。

第3類（杏林大学学則）

（免許状の種類及び履修学部・学科）

第41条の4 前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

履修する学部・学科	免許状の種類	
保健学部健康福祉学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	養護 保健 保健
保健学部看護学科	養護教諭一種免許状	養護
総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民
総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 商業
外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語

第11章 賞罰

（表彰）

第42条 学業その他が特にすぐれ、他の学生の範となる者があるときは、学長は教授会の議を経て、適当な方法でこれを表彰することができる。

（懲戒）

第43条 本学の建学精神、教育方針に違背し、又は学生としての本分に反した行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒は、その軽重に応じ、譴責、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

（1）性行不良で、改善の見込みのないと認められる者

（2）学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者

（3）正当の理由がなくて、出席常でない者

（4）本学の定める諸規程に反し、又は学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第12章 委託学生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

（委託学生）

第44条 公共又は民間の諸機関等から、委託学生の受入れについて申し入れがあったときは、欠員があり、教育上支障のない限り教授会の議を経て受入れることができる。

2 委託学生には本学則を準用する。ただし、委託学生として在学した期間及びその修得単位は、第39条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

第3類（杏林大学学則）

（聴講生）

第45条 本学学生にあらざるもので、本学の授業科目の一部を聴講することを希望するものがあるときは、教育研究上支障のない限り、聴講生としてこれを許すことができる。

2 聴講生となることが出来る者は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有するものであって、聴講する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

3 聴講生には本学則を適用する。ただし、聴講生として在学した期間及びその修得単位は、第39条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（科目等履修生）

第46条 本学学生にあらざるもので本学の授業科目の一部を履修することを希望する者がいるときは、教育研究上支障のない限り、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生となることが出来る者は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有するものであって、履修する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

3 科目等履修生には本学則を準用する。

4 本学科目等履修生として単位を修得した後に本学に入学した場合、当該単位の修得により当該学部教育課程の一部を履修したと当該学部が認めたときは、その単位数等に応じて、相当期間を当該学部の修業年限の2分の1を超えない範囲で第39条に定める在学期間として通算することができる。

5 科目等履修生には第26条の定めにより履修した科目の単位を授与する。

（外国人留学生）

第47条 外国人であって、本学学生としての教育を受けることを希望する者がいるときは、外国人留学生として入学させることができる。

2 外国人留学生の入学者選抜に関しては、必要ある場合は日本語の能力に関する試験を加える。

第13章 学納金

（入学検定料、入学料等の納入）

第48条 本学に入学を志願する者は、別に定める入学検定料を納入しなければならない。

2 入学選考試験に合格した者は、別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4に定める入学料、授業料その他の学納金を納入しなければならない。

3 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

（授業料等の納入）

第49条 本学学生は別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4に定める授業料等その他の学納金を納入しなければならない。

2 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

3 休学又は停学中であっても、授業料等は徴収する。ただし、休学の期間が1学年

第3類（杏林大学学則）

にわたる者の実験実習費はこれを徴収しない。

4 除籍の場合における授業料は、その納期に属する分はこれを徴収する。

5 授業料、実験実習費・施設設備費等を所定の期日までに納入しない者には、授業への出席、図書閲覧、その他施設の利用を認めない。

第50条 入学料、授業料その他既納の学納金は、如何なる理由があってもこれを還付しない。

第14章 雑則

(改正)

第51条 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則は、昭和45年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、教授の3分の2以上が出席した医学部教授会において、出席者の3分の2以上の賛成を得なければならない。
- 3 前項の学則の改正については、理事会の承認を要するものとする。

附 則

本学則は、昭和49年 4月26日から施行する。

附 則

本学則は、昭和51年 4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和53年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和54年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、両学部に関連する事項については、各学部の教授会に、医学部に関連する事項については、医学部教授会に、保健学部に関連する事項については、保健学部教授会に諮り、それぞれの賛成を得なければならない。各学部教授会は、所定の構成員たる教授の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決する。

附 則

- 1 本学則は、昭和55年 4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定に拘らず保健学部の総定員は、次のとおりとする。

年度	54年度	55年度	56年度	57年度以降
臨床検査技術学科	50名	100名	150名	200名

第3類（杏林大学学則）

保 健 学 科	50 名	100 名	150 名	200 名
---------	------	-------	-------	-------

附 則

本学則は、昭和57年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和59年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決するものとする。

附 則

本学則は、昭和60年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和61年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	100 名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	50 名
	保 健 学 科	50 名
社会科学部	社 会 学 科	300 名

附 則

- 1 本学則は、昭和63年 4月 1日から施行する。ただし、別表2-2（第24条関連）の適用については次の各号による。
 - (1) 昭和60年度入学生については適用しない。
 - (2) 昭和61年度入学生については、臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律施行令第12条第3号の規定に基づく指定科目に限りこの表の該当科目を適用する。
 - (3) 昭和62年度入学生については、この表を適用する。

附 則

本学則は、平成 3年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90 名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	65 名
	保 健 学 科	65 名
社 会 学 部	社 会 学 科	330 名
外 国 語 学 部	英 米 語 学 科	160 名
	中 国 語 学 科	70 名
	日 本 語 学 科	70 名

第3類（杏林大学学則）

附 則

- 1 本学則は、平成 3年10月 1日から施行する。
- 2 学則第24条別表3は、平成 4年 4月 1日在籍の学生から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成 5年 4月 1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成5年度入学生から適用する。
- 3 平成4年度以前の入学生は別表1-1を適用する。ただし、平成5年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成4年度以前の入学生は別表1-2を適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成 6年 4月 1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成6年度入学生から適用する。
- 3 平成5年度の別表1-2の適用者は、平成6年度の別表1-2に読みかえる。
- 4 別表1-1の時間数は、別表1-2の同名科目単位数を時間数に換算して読みかえる。
- 5 別表1-1を適用する学生に別表1-2で開講する科目を受講させることができるものとする。ただし、その履修により修得した単位は、卒業の単位に算入しない。
- 6 保健学部臨床検査技術学科及び保健学科において、平成6年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成5年度以前の入学生は、保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2-2の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2-1A及び2-1Bの授業科目で行う。
- 7 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則は、平成 8年 4月 1日から施行する。
- 2 別表2-3及び別表6-2は平成8年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成8年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度及び平成7年度の入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2-3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2-2の授業科目で行う。

附 則

本学則は、平成 9年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成10年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90名

第3類（杏林大学学則）

保健学部	臨床検査技術学科	65名
	保健学科	65名
	看護学科	80名
社会科学部	社会科学科	330名
外国語学部	英米語学科	160名
	中国語学科	70名
	日本語学科	100名

附 則

- 1 本学則は、平成11年 4月 1日から施行する。
- 2 別表2-3は平成11年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成11年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度から平成10年度までの入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により別表2-3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、平成6年度及び平成7年度入学生は、別表2-1の授業科目で行い、平成8年度から平成10年度までの入学生は別表2-2の授業科目で行う。

附 則

- 1 本学則は、平成11年 7月 1日から施行する。
- 2 第48条第1項は、平成12年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成12年 4月 1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員				
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医学部	医 学 科	90名	90名	90名	90名	90名
保健学部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社 会 学 科	330名	330名	330名	310名	290名
外国語学部	英 米 語 学 科	160名	160名	160名	160名	160名
	中 国 語 学 科	70名	50名	50名	50名	50名
	日 本 語 学 科	100名	100名	80名	80名	80名

- 3 別表1-1は、削除する。
- 4 別表1-4は、平成12年度入学生から適用する。

第3類（杏林大学学則）

- 5 平成8年度以前の入学生は、別表1-2、及び平成11年度以前の入学生は、別表1-3を適用する。ただし平成12年度以降の学年進行に組み入れる平成11年度以前の入学生は、別表1-4を適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。ただし、第6条の規定は、平成12年 7月 1日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、平成13年 3月31日までに外国語学部英米語学科、中国語学科及び日本語学科に在籍する学生は、改正前の学則を適用するものとする。
- 3 第3条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員			
		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社 会 学 科	330名	330名	310名	290名
外国語学部	外 国 語 学 科	310名	290名	290名	290名

附 則

本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、平成14年 3月31日までに社会科学部社会科学科に在籍する学生は、平成14年 4月 1日以降、社会科学部社会科学科に在籍する学生の当該学年に、編入若しくは転学部等によって入学する学生についても、改正前の学則を適用するものとする。
- 3 第3条の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員		
		平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名

第3類（杏林大学学則）

	看護学科	80名	80名	80名
総合政策学部	総合政策学科	330名	310名	290名
外国語学部	外国語学科	290名	290名	290名

附 則

本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成14年10月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。
- 2 第19条第1項第7号の規定は、平成16年度入学生から適用する。
- 3 別表1-3は、平成16年度入学生から適用する。

附 則

本学則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、第41条、第41条の3及び第41条の4は、平成18年4月1日以降の入学生に適用し、平成17年10月1日以前の入学生及び平成19年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める総合政策学部企業経営学科及び外国語学部の編入学定員は、平成20年4月1日以降の編入学生から適用する。また、学校図書館司書教諭講習修了証書の取得に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5-2のとおりとする。ただし、別表5-2は、平成17年10月1日以前の入学生に適用する。
- 3 この学則による別表2-1保健学科の項中「社会福祉援助技術論Ⅰ」「社会福祉援助技術論Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅲ」「社会福祉援助技術演習Ⅳ」「社会福祉援助技術演習Ⅴ」「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術現場実習指導」については、平成18年4月1日以降の履修者に適用し、平成17年4月1日以前の「社会福祉援助技術Ⅰ」「社会福祉援

第3類（杏林大学学則）

助技術Ⅱ」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習Ⅰ」「社会福祉援助技術実習Ⅱ」の履修者については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成17年 8月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、第39条第2項、第41条、第41条の4及び別表2-2の規定は、平成19年4月1日以降の入学生に適用し、平成18年10月1日以前の入学生並びに平成19年10月1日以前の2年次編入学生及び平成20年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める編入学定員は、平成20年4月1日以降の2年次編入学生並びに平成21年4月1日以降の3年次編入学生から適用する。
- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については、別表2-1を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表4-2の規定は、平成18年4月1日以降の入学生に適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条及び第41条の規定は、平成20年4月1日以降の入学生に適用し、平成19年10月1日以前の入学生並びに平成21年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 別表3-2、別表3-3の改正は当該別表に定める入学生より適用する。

附 則

第3類（杏林大学学則）

（施行期日）

1 本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第39条、第41条の4及び別表2-3の規定は、平成21年4月1日以降の入学生に適用し、平成20年10月1日以前の入学生及び平成21年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成22年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。

3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については別表2-1を、救急救命学科については別表2-2を適用する。

4 別表3-1、別表5-1-1及び別表6-1は、適用学生が平成20年3月31日付けで卒業したことに伴い、それぞれ削除することとし、以降順次繰り上げ、改正後の別表3-1、別表3-2、別表5-1-1、別表5-1-2、別表5-1-3、別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4は、平成20年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条及び第41条の規定は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生並びに平成23年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

第3類 (杏林大学学則)

別表1-1

医学部授業科目及び単位数

〈平成9年度入学生から適用〉

(A表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
医 療 科 学 I	3			
医 療 科 学 II	3			
医 療 科 学 III	3			
医 療 科 学 IV	3			
医 療 科 学 V	3			
臨 床 医 学 総 論			3	
基 礎 生 命 科 学 I	8			
基 礎 生 命 科 学 II	8			
基 礎 生 命 科 学 III	8			
基 礎 生 命 科 学 IV	4			
英 語 I	6			
英 語 II	6			
医 学 英 語 I			3	
医 学 英 語 II			3	
ド イ ツ 語 I			6	
ド イ ツ 語 II			6	
フ ラ ン ス 語 I			6	
フ ラ ン ス 語 II			6	
ス ペ イ ン 語 I			6	
ス ペ イ ン 語 II			6	
中 国 語 I			6	
中 国 語 II			6	
体 育 実 技	1			
				小計 56単位

第3類（杏林大学学則）

(B表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
解 剖 学 I	7			<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 各々の科目は実習を含む </div>
解 剖 学 II	8			
生 理 学 I	5			
生 理 学 II	5			
生 化 学 I	5			
生 化 学 II	5			
薬 理 学	6			
病 理 学 総 論	3			
病 理 学 各 論	5			
微 生 物 学	6			
熱 帯 病 ・ 寄 生 虫 学	4			
衛 生 学	4			
法 医 学	4			
公 衆 衛 生 学	5			
公 衆 衛 生 学 実 習	1			
				小計 73単位

第3類 (杏林大学学則)

(C表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
内 科 学 I	6			
内 科 学 I 实 习	3			
内 科 学 II	4			
内 科 学 II 实 习	2			
内 科 学 III	4			
内 科 学 III 实 习	2			
高 齡 医 学	2			
高 齡 医 学 实 习	1			
精 神 神 經 科 学	3			
精 神 神 經 科 学 实 习	2			
小 兒 科 学	6			
小 兒 科 学 实 习	3			
外 科 学 I	3			
外 科 学 I 实 习	2			
外 科 学 II	3			
外 科 学 II 实 习	2			
小 兒 外 科 学	1			
小 兒 外 科 学 实 习	1			
救 急 医 学	3			
救 急 医 学 实 习	2			
腦 神 經 外 科 学	3			
腦 神 經 外 科 学 实 习	2			
胸 部 外 科 学	3			
胸 部 外 科 学 实 习	2			
整 形 外 科 学	3			
整 形 外 科 学 实 习	2			
皮 膚 科 学	3			
皮 膚 科 学 实 习	1			
形 成 外 科 学	1			
形 成 外 科 学 实 习	1			

第3類 (杏林大学学則)

泌 尿 器 科 学	3			
泌 尿 器 科 学 实 习	2			
眼 科 学	3			
眼 科 学 实 习	1			
耳 鼻 咽 喉 科 学	3			
耳 鼻 咽 喉 科 学 实 习	1			
産 科 婦 人 科 学	6			
産 科 婦 人 科 学 实 习	2			
放 射 線 医 学	3			
放 射 線 医 学 实 习	2			
麻 醉 科 学	3			
麻 醉 科 学 实 习	1			
臨 床 病 理 学	2			
臨 床 病 理 学 实 习	1			
臨 床 免 疫 学	2			
臨 床 總 合 演 習	30			
			小計	141単位
	計			270単位

第3類 (杏林大学学則)

別表1-2

医学部授業科目及び単位数

〈平成12年度入学生から適用〉

(A表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
医 療 科 学 I	3			
医 療 科 学 II	3			
医 療 科 学 III	3			
臨 床 医 学 総 論		3		
基 礎 生 命 科 学 I	8			
基 礎 生 命 科 学 II	8			
基 礎 生 命 科 学 III	8			
基 礎 生 命 科 学 IV	4			
英 語 I	6			
英 語 II	6			
医 学 英 語 I			3	
医 学 英 語 II			3	
ド イ ツ 語 I			6	
ド イ ツ 語 II			6	
フ ラ ン ス 語 I			6	
フ ラ ン ス 語 II			6	
ス ペ イ ン 語 I			6	
ス ペ イ ン 語 II			6	
中 国 語 I			6	
中 国 語 II			6	
体 育 実 技	1			
				小計 53単位

(B表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
解 剖 学 I	7			
解 剖 学 II	8			
生 理 学 I	5			
生 理 学 II	5			
生 化 学 I	5			
生 化 学 II	5			

第3類（杏林大学学則）

薬理学	6			各々の科目は実習を含む
病理学	3			
病理解学	5			
微生物学	6			
熱帯病・寄生虫学	4			
衛生学	4			
法医学	4			
公衆衛生学	5			
公衆衛生学実習	1			
小計			73単位	

(C表)

授業科目	必修	選択	自由	備考
内科学 I	6			
内科学 I 実習	6			
内科学 II	4			
内科学 II 実習	4			
内科学 III	4			
内科学 III 実習	4			
高齢医学	2			
高齢医学実習	2			
精神神経科学	3			
精神神経科学実習	1			
小児科	6			
小児科学実習	4			
総合医療学	3			
診断学実習	1			
外科学 I	3			
外科学 I 実習	2			
外科学 II	3			
外科学 II 実習	2			
小児外科学	1			
小児外科学実習	1			
救急医学	2			
救急医学実習	2			
脳神経外科学	3			
脳神経外科学実習	2			
心臓血管外科学	2			
心臓血管外科学実習	2			
整形外科学	3			
整形外科学実習	2			

第3類 (杏林大学学則)

皮膚科	学	3		
皮膚科学	実習	2		
形成外科	学	1		
形成外科学	実習	1		
泌尿器科	学	2		
泌尿器科学	実習	2		
眼科	学	2		
眼科学	実習	1		
耳鼻咽喉科	学	2		
耳鼻咽喉科学	実習	1		
産科婦人科	学	6		
産科婦人科学	実習	3		
放射線医	学	3		
放射線医学	実習	2		
麻醉科	学	3		
麻醉科学	実習	1		
臨床検査医	学	2		
臨床検査医学	実習	1		
臨床免疫学	学	2		
臨床総合演習		16		
			小計	138単位
計				264単位

第3類（杏林大学学則）

別表1-3

医学部授業科目及び単位数

〈平成16年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医 療	科 学 と 医 療	医療科学A	8			
		医療科学B	4			
		医療科学C	3			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	3			
と 教 養	外 国 語	英語A	5			
		英語B	5			
		医学英語A	2			
		医学英語B	1			
		ドイツ語A			5	
		ドイツ語B			5	
		フランス語A			5	
		フランス語B			5	
		スペイン語A			5	
		スペイン語B			5	
		中国語A			5	
中国語B			5			
医 学 の 基 礎	人 体 の 構 造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人 体 の 機 能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝学A	6			
		代謝学B	2			
		生体統御生理学	4			
細胞生理学	4					

第3類（杏林大学学則）

	異常の発生と制御	薬理学総論 病理学総論 感染と防御 熱帯病・寄生虫学 法医学 衛生学 公衆衛生学	4 3 6 2 2 4 5			
臨床総合講義	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論 神経 呼吸器 循環器 消化器 腎・尿路 内分泌・代謝 血液 精神 感覚器 運動器 皮膚・形成 女性医学	3 5 4 4 6 4 3 3 2 3 2 2 2			
	老化・誕生・成長・	妊娠・分娩 発育・小児 老化と老年病 生活習慣病	2 2 1 1			
	系統的異常	感染症 免疫・アレルギー 腫瘍 救命と救急医療 麻酔・全身管理	2 2 1 2 1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断総論 内科学Ⅰ実習 内科学Ⅱ実習 内科学Ⅲ実習 高齢医学実習	8 6 4 4 2			

第3類（杏林大学学則）

	総合医療学実習	1		
	精神神経科学実習	2		
	小児科学実習	4		
	外科学実習	4		
	小児外科学実習	1		
	救急医学実習	2		
	脳神経外科学実習	2		
	心臓血管外科学実習	2		
	整形外科実習	2		
	皮膚科学実習	2		
	形成外科学実習	1		
	泌尿器科学実習	2		
	眼科学実習	1		
	耳鼻咽喉科学実習	1		
	産科婦人科学実習	2		
	放射線医学実習	1		
	麻酔科学実習	1		
	臨床検査医学実習	1		
	病理学実習	1		
応用 実習	臨床応用実習	6		
	臨床総合演習	16		
計				255単位

第3類（杏林大学学則）

別表1-4

医学部授業科目及び単位数

〈平成20年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考	
			必修	選択	自由		
医療と教養	科学と医療	医療科学A	8				
		医療科学B	4				
		医療科学C	3				
		生物学	6				
		生体化学	8				
		医学物理学	8				
		医学統計学	2				
		プレチュートリアル	2				
	外国語	英語A	5				
		英語B	5				
		医学英語A	2				
		医学英語B	1				
		ドイツ語A			5		
		ドイツ語B			5		
		フランス語A			5		
		フランス語B			5		
		中国語A			5		
		中国語B			5		
		医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8		
組織解剖学	5						
人体の機能	分子生物学		6				
	細胞生物学		3				
	代謝生化学A		6				
	代謝生化学B		2				
	生体統御生理学		4				
	細胞生理学		4				
生と制御	異常の発		薬理学総論	4			
			病理学総論	3			
			感染と防御	6			

第3類 (杏林大学学則)

		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	5			
臨床統合講義	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論	3			
		神経	5			
		呼吸器	4			
		循環器	4			
		消化器	6			
		腎・尿路	4			
		内分泌・代謝	3			
		血液	3			
		精神	2			
		感覚器	3			
		運動器	2			
		皮膚・形成	2			
		女性医学	2			
老化	誕生・成長・	妊娠・分娩	2			
		発育・小児	2			
		老化と老年病	1			
		生活習慣病	1			
系統的異常		感染症	2			
		免疫・アレルギー	2			
		腫瘍	1			
		救命と救急医療	2			
		麻酔・全身管理	1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断総論	8			
		内科学Ⅰ実習	6			
		内科学Ⅱ実習	4			
		内科学Ⅲ実習	4			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		外科学実習	4			
		小児外科学実習	1			

第3類 (杏林大学学則)

	救急医学実習	2			
	脳神経外科学実習	2			
	心臓血管外科学実習	2			
	整形外科実習	2			
	皮膚科学実習	2			
	形成外科学実習	1			
	泌尿器科学実習	2			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	臨床検査医学実習	1			
	病理学実習	1			
応用 実習	チュートリアル	2			
	臨床応用実習	6			
	臨床総合演習	16			
計					255単位

第3類（杏林大学学則）

別表2-1

保健学部学科目構成

（平成12年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法		2		
日本国憲		2		
社会倫理		2		
生命倫理		2		
芸		2		
数学系				
数学		2		3単位以上
統計学		1		
医療情報科		2		
計算機		2		
物理学系				
物理学		2		3単位以上
物理学実		1		
医用工学概論		2		
医用工学実		1		
化学系				
無機化学		2		3単位以上
生物有機化学Ⅰ		2		
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実		1		
生物学系				
生命科学概論		2		3単位以上
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実		1		
言語系				
日本語表現法	2			英語Ⅰ・Ⅱ(各2単位)又はフランス語Ⅰ・Ⅱ(各2単位)のどちらかを選択他に4単位以上英会話Ⅰを履修していること
英語Ⅰ		2		
英語Ⅱ		2		
英語Ⅲ		2		
医学英語		2		
英会話Ⅰ		2		
英会話Ⅱ		2		
フランス語Ⅰ		2		

第3類 (杏林大学学則)

フ	ラ	ン	ス	語	Ⅱ		2			
フ	ラ	ン	ス	語	Ⅲ		2			
フ	ラ	ン	ス	語	会		2			
体育学系										
体	育	実	技	Ⅰ	2					
体	育	実	技	Ⅱ			1			
健	康	ス	ポ	ー	ツ	科	学	2		
基礎医学系										
医	学	概	論	2						
公	衆	衛	生	学	Ⅰ	2				
公	衆	衛	生	学	Ⅱ		2			
解	剖	学	Ⅰ	2						
解	剖	学	Ⅱ				2			
解	剖	学	実	験	1					
病	理	学	実	験	2					
病	理	学	実	験	1					
生	理	学	Ⅰ	2						
生	理	学	Ⅱ				2			
生	理	学	実	験	1					
生	化	学	Ⅰ	2						
生	化	学	Ⅱ				2			
生	化	学	実	験	1					
血	液	学	実	験	2					
血	液	学	実	験	1					
免	疫	学	実	験	2					
免	疫	学	実	験	1					
微	生	物	学	実	験	2				
微	生	物	学	実	験	1				
医	動	物	学	実	験		2			
医	動	物	学	実	験		1			
薬	理	学	実	験			2			
医学検査系										
生	理	学	検	査	Ⅰ		2			
生	理	学	検	査	Ⅱ		2			
画	像	診	断	技	術		2			
生	理	学	検	査	実	習	1			
生	化	学	検	査	Ⅰ		2			
生	化	学	検	査	Ⅱ		2			
病	態	生	化	学			2			
生	化	学	検	査	実	習	1			
病	理	学	検	査	実	習	2			
病	理	学	検	査	実	習	1			
病	理	組	織	・	細	胞	検	査	2	
病	理	組	織	・	細	胞	検	査	実	1

第3類 (杏林大学学則)

血液学検査	2	
血液学検査実習	1	
微生物学検査	2	
微生物学検査実習	1	
免疫学検査	2	
免疫学検査実習	1	
一般検査	2	
一般検査実習	1	
臨床医学概論	2	
臨床病理学 I	2	
臨床病理学 II	2	
検査管	2	
検査総合演習	2	
医療関係法	2	
臨床実習 I	2	
臨床実習 II	4	
検査特別講義	1	
細胞検査法	2	
細胞検査演習 I	1	
細胞検査演習 II	1	
細胞検査演習 III	1	
細胞検査演習 IV	1	
細胞検査演習 V	1	
細胞検査演習 VI	1	
分子生物学系		
分子生物学 I	2	
分子生物学 II	2	
分子生物学実習	1	
臨床遺伝学	2	
遺伝子検査法	2	(実習を含む)
細胞遺伝学	2	
分子細胞生物学	2	
救急医学系		1 単位 30 時間 (実習を除く)
臨床内科学 I	1	
臨床内科学 II	1	
臨床内科学 III	1	
臨床内科学 IV	1	
臨床内科学 V	1	
臨床内科学 VI	1	
臨床内科学 VII	1	
臨床内科学 VIII	1	
救急医学概論 I	1	
救急医学概論 II	1	
救急医学検査	1	

第3類（杏林大学学則）

救急処置	総論	1		
救急処置	各論	2		
救急災害	医学	1		
臨床外科	科学 I	2		
臨床外科	科学 II	2		
臨床外科	科学 III	1		
臨床外科	科学 IV	1		
一般救急	救命学	1		
小児科	科学	1		
産婦人科	科学	1		
整形外科	科学	1		
脳外科	科学	1		
精神医学	科学	1		
救命救助	学	1		
シミュレーション	I	3		
シミュレーション	II	3		
シミュレーション	III	2		
病院実習	10			
救急車同乗実習	3			
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
放射線概論		2		
環境化学		2		
分析化学 I		2		
分析化学 II		2		
分析化学実験		1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
実験動物学		1		
動物実験実習		1		実験動物学を履修していること
職業適性論		2		
労働衛生法規 I		2		
労働衛生法規 II		2		
総合				
移植コーディネータ論		2		
特別講義 I		2		
特別講義 II		2		
特別演習 I		1		
特別演習 II		1		
卒業研究	4			
計	33	235		124 単位以上

第3類 (杏林大学学則)

保健学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		10単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 会 憲 法 学		2		
社 会 倫 理 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
教 育 心 理 学		2		
芸 術 学		2		
数学系				
数 学		2		3単位以上
統 計 学 演 習	1			
医 療 情 報 科 学 演 習	2			
物理学系				
物 理 学 実 験		2		3単位以上
物 理 学 概 論		1		
医 用 工 学 概 論		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
無 機 化 学		2		3単位以上
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
生 命 科 学 概 論		2		3単位以上
細 胞 生 物 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				
日 本 語 表 現 法	2			英語 I・II (各2単位) 又はフランス語 I・II (各2単位) のどちらかを選択他に4単位以上 英会話 I を履修していること
英 語 I		2		
英 語 II		2		
英 語 III		2		
英 学 英 話 I		2		
英 会 話 I		2		
英 会 話 II		2		
フ ラ ン ス 語 I		2		
フ ラ ン ス 語 II		2		
フ ラ ン ス 語 III		2		
フ ラ ン ス 語 会 話		2		

第3類 (杏林大学学則)

体育学系						
体	育	実	技	I	2	
体	育	実	技	II		1
健	康	ス	ポ	学		2
科	ツ	学				
基礎医学系						
医	学	概	論			2
公	衆	衛	生	I		2
公	衆	衛	生	II		2
解	剖	学	学	I	2	
解	剖	学	学	II		2
解	剖	学	実	験		1
病	理	学	実	験	2	
生	理	学	実	I	2	1
生	理	学	学	II		2
生	理	学	実	験		1
生	化	学	学	I	2	
生	化	学	学	II		2
生	化	学	実	験		1
血	液	学	実	験	2	
免	疫	学	実	験	2	1
免	疫	学	実	験		1
微	生	物	学	験	2	
微	生	物	学	験		1
医	動	物	学	験		2
医	動	物	学	験		1
薬	理			学		2
保健学系						
保	健	学	概	論	2	
人	類	生	態	学		2
環	境	保	健	学		2
疫				学		2
保	健	管	理	学		2
保	健	社	会	学		2
母	子	保	健	学		2
成	人	保	健	学		2
精	神	保	健	学		2
保	人	保	健	学		2
人	類	遺	伝	学		2
健	康	教	育	I	2	
健	康	教	育	II		2
人	間	適	応	論		1
人		口		学		1

4単位以上
小児保健を含む

食品学を含む

保健科指導研究 I
保健科指導研究 II

第3類 (杏林大学学則)

保健学基礎実習 I	2		
保健学基礎実習 II	4		
保健学実習 A		1	
保健学実習 B		1	
福祉・養護系			
社会福祉学		2	
社会福祉政策論		2	
老人福祉論		2	
高齢保健学		2	
障害者福祉論		4	
児童福祉論		2	
社会的扶助論		4	
地域福祉論		2	
社会福祉援助技術総論		4	
社会福祉援助技術論 I		2	
社会福祉援助技術論 II		2	
社会福祉援助技術演習 I		1	
社会福祉援助技術演習 II		1	
社会福祉援助技術演習 III		2	
社会福祉援助技術演習 IV		2	
社会福祉援助技術演習 V		2	
社会福祉援助技術実習		4	
社会福祉援助技術現場実習指導		4	
地域保健学		2	
養護学概論		2	
学校保健学 I		2	
学校保健学 II		2	
健康相談学		2	
臨床心理学		2	
カウンセリング		2	
看護学 I		2	
看護学 II		2	
看護学 III		2	
看護学実習		2	
救急看護学		2	
国際保健学		1	
移植コーディネータ論		2	
環境・食品系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
環境科学論		2	
放射線概論		2	
環境化学		2	

学校安全を含む

第3類 (杏林大学学則)

分析化学	I	2	
分析化学	II	2	
分析化学実験		1	放射性同位元素検査学を含む
環境生物	実験学	2	
食品栄養	学	2	
食品衛生	学	2	
食品製造	学	2	
実験動物	学	1	
動物実験実習		1	実験動物学を履修していること
職業適性	論	2	
労働衛生法規	I	2	
労働衛生法規	II	2	
臨床検査系			
生理学検査	I	2	
生理学検査	II	2	
画像診断技術		2	
生理学検査実習		1	
生化学検査	I	2	
生化学検査	II	2	
生化学検査実習		1	
病理学検査	実習	2	
病理学検査実習		1	
血液学検査	実習	2	
血液学検査実習		1	
微生物学検査	実習	2	
微生物学検査実習		1	
免疫学検査	実習	2	
免疫学検査実習		1	
一般検査	実習	2	
一般検査実習		1	
臨床医学概論	論	2	
医療関係法規	規	2	
臨床実習	I	2	
臨床実習	II	4	
検査特別講	義	1	
遺伝医学系			
分子生物学	I	2	
分子生物学	II	2	
分子生物学実習		1	
臨床遺伝学	学	2	
遺伝子検査法	学	2	(実習を含む)
細胞遺伝学	学	2	
分子細胞生物学	学	2	
救急医学系			
			1 単位 30 時間 (実習を除く)

第3類 (杏林大学学則)

臨床内科学 I	1		
臨床内科学 II	1		
臨床内科学 III	1		
臨床内科学 IV	1		
臨床内科学 V	1		
臨床内科学 VI	1		
臨床内科学 VII	1		
臨床内科学 VIII	1		
救急医学概論 I	1		
救急医学概論 II	1		
救急医学検査	1		
救急処置總論	1		
救急処置各論	2		
救急・災害医療 I	1		
救急・災害医療 II	2		
臨床外科学 I	2		
臨床外科学 II	2		
臨床外科学 III	1		
臨床外科学 IV	1		
一般救急命	1		
小兒科	1		
産婦人科	1		
整形外科	1		
脳外科	1		
精神医学	1		
救命救助法	1		
シミュレーション I	3		
シミュレーション II	3		
シミュレーション III	2		
病院内実習	10		
救急車同乗実習	3		
総合			
特別講義 I	2		
特別講義 II	2		
特別講演 I	1		
特別講演 II	1		
総合演習	2		
卒業演研	4		
計	33	327	124 単位以上

第3類 (杏林大学学則)

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
一般教養領域				
人間科学系				
哲 学		2		12単位以上
生 命 倫 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
社 会 福 祉 学		2		
芸 術 学		2		
体 育 実 技 I		1		
体 育 実 技 II		1		
健 康 と ス ポ ー ツ 論		2		1単位以上
自然科学系				
統 計 学		2		6単位以上
人 類 遺 伝 学 概 論		2		
物 理 学 概 論		2		
化 学 概 論		2		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語 I	2			6単位以上 英会話Iを履修している こと
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 語 IV		2		
英 会 話 I		2		
英 会 話 II		2		
フ ラ ン ス 語 I		2		
フ ラ ン ス 語 II		2		
日 本 語 表 現 法		2		
専門基礎領域				
解 剖 学	2			
生 理 学	2			
生 殖 生 理 学		1		
生 化 理 学	1			
生 病 理 学	2			
疾 病 論 I	2			
疾 病 論 II	2			
微 生 物 学	2			
免 疫 学		1		

第3類（杏林大学学則）

栄	養	学	2		
薬	理	学	2		
公	衆	生	1		
臨	床	理		1	
関	係	法	1		
専門領域					
基礎看護学系					
看	護	学	概	論	I 2
看	護	学	概	論	II 2
看	護	方	法	I	2
看	護	方	法	II	2
看	護	方	法	III	2
看	護	方	法	IV	2
看	護	方	法	V	2
カウンセリング					
基礎看護学実習 I 1					
基礎看護学実習 II 2					
在宅看護学系					
在宅ケア論 I 1					
在宅ケア論 II 1					
在宅看護学実習 2					
成人・高齢者看護学系					
成人看護学概論 1					
高齢者看護学概論 1					
成人保健学 1					
高齢者保健学 1					
成人看護学 I a 1					
成人看護学 I b 1					
成人看護学 II a 2					
成人看護学 II b 2					
高齢者看護学 I 1					
高齢者看護学 II 1					
成人看護学実習 I 3					
成人看護学実習 II 3					
成人看護学実習 III 2					
高齢者看護学実習 I 1					
高齢者看護学実習 II 3					
精神看護学系					
精神看護学概論 1					
精神保健学 2					
精神看護学 1					
精神看護学実習 2					
母子看護学系					
演習					
演習					
演習					
演習					
演習					
演習					
演習					
クリティカルケア、バリアティブケア、リハビリテーションから1科目選択					

第3類 (杏林大学学則)

母子看護学概論	2		
母性保健学	1		
小児保健学	1		
母性看護学Ⅰ	1		
母性看護学Ⅱ	2		
小児看護学Ⅰ	1		
小児看護学Ⅱ	2		
母性看護学実習	2		
小児看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学	1		
地域看護学活動論	3		
保健指導総論	1		
地域看護学実習	2		
保健学系			
保健管理学	2		
健康教育学	2		
環境保健学	2		
産業保健学	2		
保健福祉行政論	2		
疫学	2		
保健統計	2		
学校保健概論	2		学校安全を含む
養護学概論	2		
学校保健学Ⅰ	2		
学校保健学Ⅱ	2		
健康相談	2		
臨床検査学系			
臨床検査管理総論	1		
臨床遺伝学	1		
医用工学概論	1		
放射線概論	1		
助産学系			
助産学概論	1		
助産診断・技術学Ⅰ	1		
助産診断・技術学Ⅱ	3		
助産診断・技術学Ⅲ	3		
助産管理学	1		
助産学特論	1		
助産学実習Ⅰ	7		
助産学実習Ⅱ	1		
総合領域			
医療概論	1		

第3類 (杏林大学学則)

看護管理	学論	1		
看護教育	学論	1		
移植コーディネータ	学論	2		
基礎看護学	学特論	1		
成人看護学	学特論	1		
高齢者看護学	学特論	1		
精神看護学	学特論	1		
母子看護学	学特論	1		
地域看護学	学特論	1		
特別講義 I		2		
特別講義 II		2		
総合演習		2		
卒業研究		4		
計		112	104	137 単位以上

第3類（杏林大学学則）

臨床工学科（平成18年度入学生から適用）

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				10単位以上
哲 学		2		
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
芸 術 学		2		
数学系				
数 学	2			
統 計 学 演 習		1		
医 療 情 報 科 学		2		
計 算 機 演 習	2			
応 用 数 学	2			
物理学系				
基 礎 電 気 学	2			
基 礎 電 子 回 路	2			
医 用 工 学 概 論	2			
化学系				3単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				3単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				
日 本 語 表 現 法	2			
英 語 I		2		英語 I・II(各2単位)又
英 語 II		2		

第3類 (杏林大学学則)

英語	Ⅲ	2	はフランス語Ⅰ・Ⅱ(各2単位)のどちらかを選択他に4単位以上英会話Ⅰを履修していること	
医学英会話	Ⅰ	2		
英会話	Ⅱ	2		
フランス語	Ⅰ	2		
フランス語	Ⅱ	2		
フランス語	Ⅲ	2		
フランス語	Ⅳ	2		
フランス語	Ⅴ	2		
体育学系				
体育実技	Ⅰ	2	2単位以上	
体育実技	Ⅱ	1		
健康スポーツ科学		2		
基礎医学系				
医学概論		2		
公衆衛生学	Ⅰ	2		
公衆衛生学	Ⅱ	2		
解剖学	Ⅰ	2		
解剖学	Ⅱ	2		
病理学		2		
生理学	Ⅰ	2		
生理学	Ⅱ	2		
生理学実験		1		
生化学	Ⅰ	2		
生化学	Ⅱ	2		
血液学		2		
免疫学		2		
微生物学		2		
動物学		2		
薬理学		2		
看護学		2		
医学検査系				
生理学検査	Ⅰ	2		
生理学検査	Ⅱ	2		
画像診断技術		2		
生理学検査実習		1		
医学検査		2		

第3類 (杏林大学学則)

臨床病理学	2
臨床遺伝学	2
臨床工学系	
医用電気工学	2
医用電気工学実習	1
医用電子工学	2
医用電子工学実習	1
システム工学	2
医用情報処理工学	2
医用情報工学実習	1
医用計測工学	2
医用計測工学実習	1
医用機械工学	2
生体物性学	2
生体材料工学	2
医用機器学概論	2
医用計測機器学	2
医用計測機器学実習	1
医用治療機器学	2
医用治療機器学実習	1
生体機能代行装置学概論	2
生体機能代行装置学基礎実習	1
呼吸関連機器学	2
呼吸関連機器学実習	1
血液浄化装置学	2
血液浄化装置学実習	1
体外循環機器学	2
体外循環機器学実習	1
医用機器安全管理学Ⅰ	2
医用機器安全管理学Ⅱ	2
安全管理学実習	1
臨床医学総論Ⅰ	2
臨床医学総論Ⅱ	2
臨床医学総論Ⅲ	2
臨床医学総論Ⅳ	2
医療関係法規	2

第3類 (杏林大学学則)

臨 床 実 習 講 義	1		
臨 床 実 習	3		
衛生学系			
産 業 保 健 学	2		
環 境 衛 生 工 学	2		
放 射 線 概 論 学	2		
環 境 化 学	2		
分 析 化 学 I	2		
分 析 化 学 II	2		
食 品 栄 養 学	2		
食 品 衛 生 学	2		
食 品 製 造 学	2		
職 業 適 性 論	2		
勞 働 衛 生 法 規 I	2		
勞 働 衛 生 法 規 II	2		
救 命 救 助 法	1		
総合			
特 別 講 義 I	2		
特 別 講 義 II	2		
特 別 演 習 I	1		
特 別 演 習 II	1		
総 合 演 習	2		
卒 業 研 究	4		
計	37	177	124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-2

保健学部学科目構成

（平成19年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲		2		
社会学		2		
生命倫理		2		
芸術		2		
数学・物理学系				
数学		2		6単位以上
医療情報科学		2		
医療情報処理		2		
医療情報処理演習		2		
基礎物理学		1		
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
基礎化学		1		4単位以上
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1		4単位以上
生命科学概論		2		
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				

第3類 (杏林大学学則)

日 本 語 表 現 法		2	10 単位以上
英 語 I		2	
英 語 II		2	
英 語 III		2	
英 語 IV		2	
英 会 話		2	
医 学 英 語		2	
体育学系			
健康スポーツ科学		2	
体育実技 I	2		
基礎医学系			
医学概論	2		
医学検査概論	2		
保健学概論 I	2		
保健学概論 II		2	
公衆衛生学 I	2		
公衆衛生学 II		2	
解剖学 I	2		
解剖学 II		2	
解剖・組織学実験	1		
病理学	2		
病理学実験 I	1		
生理学 I	2		
生理学 II		2	
生理学実験 I	1		
生化学 I	2		
生化学 II		2	
生化学実験 I	1		
血液学	2		
血液学実験 I	1		
免疫学	2		
免疫学実験 I	1		
微生物学	2		
微生物学実験 I	1		
医動物学	2		
遺伝子工学		2	
遺伝子工学実験		1	

第3類 (杏林大学学則)

分子生物学		2	
分子細胞生物学		2	
薬理学		2	
実験動物学		1	
動物実験実習		1	
救命救助法		1	
医学検査系			
生理機能検査学 I	2		
生理機能検査学 II		2	
生理機能検査学実習		2	
画像診断技術		2	
臨床化学検査学 I	2		
臨床化学検査学 II		2	
臨床化学検査学実習		2	放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論		2	
染色体学		2	
臨床遺伝学		2	
遺伝子・染色体検査学	2		
遺伝子・染色体検査学実習		1	
病理診断学	2		
病理検査学		2	
病理検査学実習		2	
細胞診断学		2	
細胞診断学実習		1	
血液検査学	2		
血液検査学実習		2	
医動物検査学実習		1	
微生物検査学 I	2		
微生物検査学 II		2	
微生物検査学実習		2	
免疫検査学 I	2		
免疫検査学 II		2	
免疫検査学実習		2	
一般検査学	2		
一般検査学実習		1	
臨床病態学 I		2	
臨床病態学 II		2	

第3類 (杏林大学学則)

檢 查 管 理 学	2		
分 析 化 学 I	2		
分 析 化 学 II	2		
分 析 化 学 実 験	1		
專 門 実 験 ・ 実 習 手 法	1		
臨 地 実 習	6		
保健学系			
医 療 福 祉 概 論	2		
国 際 保 健 学	2		
生 活 習 慣 病 論	2		
衛生学系			
産 業 保 健 学	2		
環 境 衛 生 工 学	2		
環 境 化 学	2		
食 品 栄 養 学	2		
食 品 衛 生 学	2		
食 品 製 造 学	2		
職 業 適 性 論	2		
勞 働 衛 生 法 規 I	2		
勞 働 衛 生 法 規 II	2		
自由専攻			
細 胞 診 断 学 演 習 I	1		
細 胞 診 断 学 演 習 II	1		
細 胞 診 断 学 演 習 III	1		
細 胞 診 断 学 演 習 IV	1		
細 胞 診 断 学 演 習 V	1		
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 I	1		
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 II	1		
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習 I	1		
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習 II	1		
感 染 症 制 御 系 特別演習 I	1		
感 染 症 制 御 系 特別演習 II	1		
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習 I	1		
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習 II	1		
化 学 系 特 別 演 習 I	1		
化 学 系 特 別 演 習 II	1		
生 理 機 能 系 特別演習 I	1		

第3類 (杏林大学学則)

生理機能系特別演習Ⅱ		1		
治験コーディネート特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習Ⅰ		1		
総合医療演習Ⅱ	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	52	192		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
社会心理学		2		
自然科学系				
数学		2		10単位以上
統計学演習		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		

第3類 (杏林大学学則)

医 用 工 学 実 験		1	
無 機 化 学		2	
生 物 有 機 化 学 I		2	
生 物 有 機 化 学 II		2	
化 学 実 験		1	
生 命 科 学 概 論		2	
生 物 学 実 験		1	
言語系			
日 本 語 表 現 法		2	
英 語 I		2	英語 I・II (各2単位) 又はフランス語 I・II (各2単位) のどちらかを選択 他に4単位以上
英 語 II		2	
英 語 III		2	
医 学 英 語		2	
英 会 話		2	
フ ラ ン ス 語 I		2	
フ ラ ン ス 語 II		2	
フ ラ ン ス 語 III		2	
フ ラ ン ス 語 会 話		2	
体育学系			
体 育 実 技 I		2	
体 育 実 技 II		1	
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2	
基礎医学系			
医 学 概 論		2	
公 衆 衛 生 学 I	2		
公 衆 衛 生 学 II		2	
解 剖 学 I	2		
解 剖 学 II		2	
解 剖 学 実 験		1	
病 理 学	2		
病 理 学 実 験		1	
生 理 学 I	2		
生 理 学 II		2	
生 理 学 実 験		1	
生 化 学 I	2		
生 化 学 II		2	
生 化 学 実 験		1	

第3類 (杏林大学学則)

血液学	2	
血液学実験	1	
免疫学	2	
免疫学実験	1	
微生物学	2	
微生物学実験	1	
薬理学	2	
救命救助法	1	
専門基礎		
保健学概論 I	2	
保健学概論 II	2	
保健学基礎実習	1	
保健学発展実習 I (社会調査系)	1	
保健学発展実習 II (健康教育系)	1	
保健学発展実習 III (環境系)	1	
保健学発展実習 IV (遺伝系)	1	
保健学発展実習 V (心理検査系)	1	
保健学応用実習 A	1	
保健学応用実習 B	1	
基礎保健学系		
人類生態学	2	
環境保健学	2	
疫学	2	
保健管理学	2	
健康社会学	2	
母子保健学	2	小児保健を含む
成人保健学	2	
精神保健学	2	
保健栄養学	2	食品学を含む
人類遺伝学	2	
健康教育学 I	2	
社会福祉学	2	
ライフステージと心理	2	
生活と看護	2	
発展保健学系		
健康教育学 II	2	
栄養生態学	2	

第3類（杏林大学学則）

人	口	学	2	
地	域	保 健 学	2	
国	際	保 健 学	2	
臨	床	心 理 学	2	
細	胞	遺 伝 学	2	
現	代	社会と心の病理学	2	
認	知	心 理 学	2	
社会福祉学系				
社	会	福 祉 政 策 論	2	
老	人	福 祉 論	2	
高	齡	保 健 学	2	
障	害	者 福 祉 論	4	
児	童	福 祉 論	2	
社	会	保 障 論	4	
公	的	扶 助 論	2	
地	域	福 祉 論	2	
社	会	福 祉 援 助 技 術 総 論	4	
社	会	福 祉 援 助 技 術 論 I	2	
社	会	福 祉 援 助 技 術 論 II	2	
社	会	福 祉 援 助 技 術 演 習 I	1	
社	会	福 祉 援 助 技 術 演 習 II	1	
社	会	福 祉 援 助 技 術 演 習 III	2	
社	会	福 祉 援 助 技 術 演 習 IV	2	
社	会	福 祉 援 助 技 術 演 習 V	2	
社	会	福 祉 援 助 技 術 実 習	6	
社	会	福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導	6	
医	療	福 祉 論	2	
家	族	福 祉 論	2	
セ	ル	フヘルプグループ論	2	
保	健	福 祉 論	2	
初	め	ての社会福祉	2	
学校保健学系				
学	校	保 健 学 I	2	学校安全を含む
学	校	保 健 学 II	2	
学	校	看 護 学	1	
健	康	相 談 I	2	
健	康	相 談 II	1	

第3類 (杏林大学学則)

養護学概論	2		
カウンセリング	2		
精神医学	1		
保健科指導研究Ⅰ	2		
保健科指導研究Ⅱ	2		
看護学Ⅰ	2		
看護学Ⅱ	2		
看護学Ⅲ	2		
看護学実習学	2		
救急看護学	2		
環境・食品学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学	2		
放射線概論	2		
分析化学Ⅰ	2		
分析化学Ⅱ	2		
分析化学実験	1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規Ⅰ	2		
労働衛生法規Ⅱ	2		
総合			
コーディネート論	2		
特別講義Ⅰ	2		
特別講義Ⅱ	2		
特別演習Ⅰ	1		
特別演習Ⅱ	1		
教職総合演習	2		
ボランティア活動	2		
インターンシップ	2		
卒業研究	4		
計	24	273	124単位以上

第3類 (杏林大学学則)

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
一般教養領域				
人間科学系				
哲 学		2		10単位以上
生 命 倫 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
社 会 心 理 学		2		
社 会 福 祉 学		2		
芸 術 論		2		
ホスピタリティ論		2		
文 化 人 類 学		2		1単位以上
国 際 関 係 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		1単位以上
体 育 実 技		1		
自然科学系				
統 計 学		2		4単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		2		
化 学 概 論		2		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語 I	2			6単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
フ ラ ン ス 語 I		2		
フ ラ ン ス 語 II		2		
フ ラ ン ス 語 III		2		
フ ラ ン ス 語 会 話		2		
日 本 語 表 現 法		2		

第3類（杏林大学学則）

専門基礎領域			
基礎医学系			
解	剖	学	2
生	理	学	2
生	化	学	2
栄	養	学	2
病	態	学 I	2
病	態	学 II	2
微	生	物 学	2
薬	理	学	2
公	衆	衛 生 学	2
関	係	法 規	1
力	ウ	ン	1
臨	床	心 理 学	1
血	液	学	2
免	疫	学	2
医	学	概 論	2
専門領域			
基礎看護学系			
看	護	学 概 論	2
看	護	方 法 演 習 I	2
看	護	方 法 演 習 II	2
看	護	方 法 演 習 III	2
看	護	方 法 演 習 IV	2
基	礎	看 護 学 実 習 I	1
基	礎	看 護 学 実 習 II	2
在宅看護学系			
在	宅	ケ ア 論	2
在	宅	ケ ア 演 習	2
在	宅	看 護 学 実 習	2
成人・高齢者看護学系			
成	人	看 護 学 概 論	1
成	人	看 護 学 I	2
成	人	看 護 学 II	2
成	人	看 護 学 演 習	2
成	人	看 護 学 実 習 I	4
成	人	看 護 学 実 習 II	4

第3類 (杏林大学学則)

高 齡 者 看 護 学 概 論	1	
高 齡 者 看 護 学	2	
高 齡 者 看 護 学 实 習 I	2	
高 齡 者 看 護 学 实 習 II	2	
精神看護学系		
精 神 看 護 学 概 論	1	
精 神 看 護 学	2	
精 神 看 護 学 实 習	2	
精 神 看 護 学 演 習	1	
母子看護学系		
母 性 看 護 学 概 論	1	
母 性 看 護 学	2	
母 性 看 護 学 演 習	1	
母 性 看 護 学 实 習	2	
小 児 看 護 学 概 論	1	
小 児 看 護 学	2	
小 児 看 護 学 演 習	1	
小 児 看 護 学 实 習	2	
地域看護学系		
地 域 看 護 学 概 論	2	
地 域 看 護 学	2	
地 域 看 護 学 演 習 I	2	
地 域 看 護 学 演 習 II	2	
地 域 看 護 学 实 習 I	2	
地 域 看 護 学 实 習 II	1	
保健学系		
健 康 教 育 学 I		2
産 業 保 健 学		2
保 健 福 祉 行 政 論	2	
疫 学 ・ 保 健 統 計 学	2	
保 健 統 計	2	
保 健 学 概 論		1
保 健 学 I		1
保 健 学 II	1	
保 健 学 III		1
保 健 学 IV	1	
養 護 学 概 論		2

第3類 (杏林大学学則)

学 校 保 健 学 I		2	
学 校 保 健 学 II		2	
健 康 相 談		2	
健 康 教 育 学 II		2	
地 域 福 祉 論	2		
児 童 福 祉 論		2	
老 人 福 祉 論	2		
臨床検査学系			
医 用 工 学 概 論		2	
助産学系			
助 産 学 概 論		1	
助 産 診 断 ・ 技 術 学 I		2	
助 産 診 断 ・ 技 術 学 II		2	
助 産 診 断 ・ 技 術 学 III		2	
助 産 診 断 ・ 技 術 学 IV		2	
助 産 診 断 ・ 技 術 学 V		2	
助 産 管 理 学		1	
助 産 学 特 論		1	
助 産 学 実 習 I		6	
助 産 学 実 習 II		2	
総合領域			
看 護 管 理 学		1	
看 護 教 育 論		1	
移 植 コーディネータ論		1	
特 別 講 義		1	
看 護 理 論		1	
看 護 倫 理		1	
疾 病 論		2	
教 職 総 合 演 習		2	
死 生 学		1	
遺 伝 看 護		1	
地 域 活 動 論	2		
総 合 看 護		2	
救 急 看 護 学		2	
医 療 安 全		1	
国 際 看 護 活 動 論		1	
災 害 看 護 活 動 論		1	

第3類 (杏林大学学則)

ボランティア活動		2		4 単位以上
インターンシップ		4		
卒業研究		4		
計	109	132		134 単位以上

救急救命学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		10 単位以上
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学		2		
倫 理 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
教 育 心 理 学		2		
芸 術 学		2		
民 俗 学		2		
数学・物理学系				
基 礎 物 理 学		1		4 単位以上
物 理 学		2		
医 用 工 学 概 論		2		
数 学		2		
統 計 学		2		
医 療 情 報 科 学		2		
情 報 処 理 演 習		2		
化学系				
基 礎 化 学		1		3 単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
基 礎 生 物 学		1		3 単位以上
生 命 科 学 概 論		2		

第3類 (杏林大学学則)

細胞生物学		2	
人類遺伝学		2	
生物化学実験		1	
言語系			
日本語表現法		2	
英語 I	2		
英語 II	2		
英語 III		2	
英語 IV		2	
英語会話		2	
医学英語		2	
フランス語 I		2	
フランス語 II		2	
フランス語 III		2	
フランス語会話		2	
体育学系			
健康スポーツ科学		2	
体育実技 I	2		
体育実技 II	1		
基礎医学系			
医学概論		2	
公衆衛生学 I	2		
公衆衛生学 II		2	
解剖学 I	2		
解剖学 II		2	
生理学 I	2		
生理学 II		2	
生化学	2		
病理学	2		
微生物学	2		
血液学		2	
免疫学		2	
薬理学	2		
救命救助法	1		
救急医学系			
内科学 I	2		
内科学 II	2		

4単位以上

第3類（杏林大学学則）

内科学	Ⅲ	2	
内科学	Ⅳ		2
内科学	Ⅴ		2
内科学	Ⅵ		2
医療コミュニケーション学			2
医療安全論			2
救急医学概論	2		
救急処置総論	2		
救急処置各論	2		
災害医学			2
外科学	Ⅰ		2
外科学	Ⅱ		2
外傷学			2
環境障害・急性中毒学			2
救急搬送論			2
小児科学			2
産婦人科学			2
整形外科学			2
脳外科			2
精神医学			2
放射線概論			2
シミュレーションⅠ	2		
シミュレーションⅡ	2		
シミュレーションⅢ			3
シミュレーションⅣ			3
シミュレーションⅤ			2
シミュレーションⅥ			2
病院内実習		10	
救急車同乗実習		3	
衛生学系			
産業保健学			2
環境衛生工学			2
職業適性論			2
労働衛生法規Ⅰ			2
労働衛生法規Ⅱ			2
総合			
移植コーディネータ論			2

第3類（杏林大学学則）

特 別 講 義 I		2		
特 別 講 義 II		2		
特 別 演 習 I		1		
特 別 演 習 II		1		
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動		2		
イ ン タ ー ン シ ッ プ		4		
卒 業 研 究		4		4単位以上
計	38	168		124単位以上

第3類 (杏林大学学則)

別表2-3

保健学部学科目構成

(平成21年度入学生から適用)

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理		2		
芸術		2		
数学・物理学系				
数学		2		6単位以上
医療情報科学		2		
医療情報処理		2		
医療情報処理演習		2		
基礎物理学		1		
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
基礎化学		1		4単位以上
無機化学		2		
生物有機化学 I		2		
生物有機化学 II		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1		4単位以上
生命科学概論		2		
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				

第3類 (杏林大学学則)

日本語表現法	2	10単位以上
英語 I	2	
英語 II	2	
英語 III	2	
英語 IV	2	
英語会話	2	
医学英語	2	
体育学系		
健康スポーツ科学	2	
基礎医学系		
医学概論	2	
医学検査概論	2	
保健学概論 I	2	
保健学概論 II	2	
公衆衛生学 I	2	
公衆衛生学 II	2	
解剖学 I	2	
解剖学 II	2	
解剖・組織学実験	1	
病理学	2	
病理学実験	1	
生理学 I	2	
生理学 II	2	
生理学実験	1	
生化学 I	2	
生化学 II	2	
生化学実験	1	
血液学	2	
血液学実験	1	
免疫学	2	
免疫学実験	1	
微生物学	2	
微生物学実験	1	
医動物学	2	
遺伝子工学	2	
遺伝子工学実験	1	
分子生物学	2	

第3類（杏林大学学則）

分子細胞生物学	2	
薬理学	2	
実験動物学	1	
動物実験実習法	1	
救命救助法	1	
医学検査系		
生理機能検査学Ⅰ	2	
生理機能検査学Ⅱ	2	
生理機能検査学実習	2	
画像診断技術	2	
臨床化学検査学Ⅰ	2	
臨床化学検査学Ⅱ	2	
臨床化学検査学実習	2	放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論	2	
染色体学	2	
臨床遺伝学	2	
遺伝子・染色体検査学	2	
遺伝子・染色体検査学実習	1	
病理診断学	2	
病理検査学	2	
病理検査学実習	2	
細胞診断学	2	
細胞診断学実習	1	
血液検査学	2	
血液検査学実習	2	
医動物検査学実習	1	
微生物検査学Ⅰ	2	
微生物検査学Ⅱ	2	
微生物検査学実習	2	
免疫検査学Ⅰ	2	
免疫検査学Ⅱ	2	
免疫検査学実習	2	
一般検査学	2	
一般検査学実習	1	
臨床病態学Ⅰ	2	
臨床病態学Ⅱ	2	
検査管理学	2	

第3類 (杏林大学学則)

分 析 化 学 I		2
分 析 化 学 II		2
分 析 化 学 実 験		1
専 門 実 験 ・ 実 習 手 法	1	
臨 地 実 習		6
保健学系		
医 療 福 祉 概 論		2
国 際 保 健 学		2
生 活 習 慣 病 論		2
衛生学系		
産 業 保 健 学		2
環 境 衛 生 工 学		2
環 境 化 学		2
食 品 栄 養 学		2
食 品 衛 生 学		2
食 品 製 造 学		2
職 業 適 性 論		2
労 働 衛 生 法 規 I		2
労 働 衛 生 法 規 II		2
自由専攻		
細 胞 診 断 学 演 習 I		1
細 胞 診 断 学 演 習 II		1
細 胞 診 断 学 演 習 III		1
細 胞 診 断 学 演 習 IV		1
細 胞 診 断 学 演 習 V		1
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 I		1
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 II		1
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特 別 演 習 I		1
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特 別 演 習 II		1
感 染 症 制 御 系 特 別 演 習 I		1
感 染 症 制 御 系 特 別 演 習 II		1
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特 別 演 習 I		1
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特 別 演 習 II		1
化 学 系 特 別 演 習 I		1
化 学 系 特 別 演 習 II		1
生 理 機 能 系 特 別 演 習 I		1
生 理 機 能 系 特 別 演 習 II		1

第3類（杏林大学学則）

治験コーディネート特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習Ⅰ		1		
総合医療演習Ⅱ	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	50	196		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
自然科学系				
数学		2		
統計学演習		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		

第3類 (杏林大学学則)

基礎物理学	1	10単位以上
物理学	2	
物理学実験	1	
基礎化学	1	
無機化学	2	
生物有機化学	2	
化学実験	1	
基礎生物学	1	
生命科学概論	2	
生物学実験	1	
言語系		
日本語表現法	2	英語Ⅰ・Ⅱ (各2単位) 又はフランス語Ⅰ・Ⅱ (各2単位) のどちらか を選択、他に4単位以上
英語Ⅰ	2	
英語Ⅱ	2	
英語Ⅲ	2	
医学英語	2	
英会話	2	
フランス語Ⅰ	2	
フランス語Ⅱ	2	
フランス語Ⅲ	2	
フランス語会話	2	
基礎医学系		
医学概論	2	
医学基礎実習	1	
公衆衛生学Ⅰ	2	
公衆衛生学Ⅱ	2	
解剖学Ⅰ	2	
解剖学Ⅱ	2	
病理学	2	
生理学Ⅰ	2	
生理学Ⅱ	2	
生化学Ⅰ	2	

第3類 (杏林大学学則)

生 化 学 II	2	
血 液 学	2	
免 疫 学	2	
微 生 物 学	2	
微 生 物 学 实 験	1	
薬 理 学	2	
实 験 動 物 学	1	
動 物 实 験 实 習	1	
救 命 救 助 法	1	
専門基礎系		
保 健 学 概 論 I	2	
保 健 学 概 論 II	2	
保 健 学 基 礎 实 習	1	
保 健 学 発 展 实 習 I (社 会 調 査 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 II (健 康 教 育 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 III (環 境 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 IV (遺 伝 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 V (心 理 検 査 系)	1	
保 健 学 応 用 实 習 A	1	
保 健 学 応 用 实 習 B	1	
保健学系		
人 類 生 態 学	2	
環 境 保 健 学	2	
疫 学	2	
保 健 管 理 学	2	
健 康 社 会 学	2	
母 子 保 健 学	2	小児保健を含む
成 人 保 健 学	2	

第3類（杏林大学学則）

精神保健学	2	食品学を含む	
保健栄養学	2		
人類遺伝学	2		
健康教育学Ⅰ	2		
健康教育学Ⅱ	2		
看護と養護学	2		
栄養生態学	2		
人口学	2		
地域保健学	2		
国際保健学	2		
臨床心理学	2		
細胞遺伝学	2		
認知心理学	2		
病気の生化学	2		
健康スポーツ科学	2		
社会福祉学系			
社会福祉学	2		
社会福祉政策論	2		
老人福祉論	2		
高齢保健学	2		
障害者福祉論	2		
児童福祉論	2		
社会保障論	4		
公的扶助論	2		
地域福祉論	4		
社会福祉援助技術総論Ⅰ	4		
社会福祉援助技術総論Ⅱ	2		
社会福祉援助技術論Ⅰ	2		
社会福祉援助技術論Ⅱ	2		
社会福祉援助技術演習Ⅰ	1		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	1		
社会福祉援助技術演習Ⅲ	2		
		150時間	

第3類（杏林大学学則）

社会福祉援助技術演習Ⅳ	2	
社会福祉援助技術演習Ⅴ	2	
社会福祉援助技術演習Ⅵ	2	
社会福祉援助技術実習	6	180時間
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	1	30時間（実習）
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	4	60時間（講義・演習）
医療福祉論	2	
保健福祉論	2	
初めての社会福祉	2	
社会調査概論	1	
福祉行財政と福祉計画概論	1	
社会福祉経営論	1	
就労支援概論	1	
権利擁護と成年後見概論	1	
更生保護概論	1	
介護福祉論	2	
学校保健学系		
学校保健学Ⅰ	2	学校安全を含む
学校保健学Ⅱ	2	
学校看護学	1	
健康相談Ⅰ	2	
健康相談Ⅱ	1	
養護学概論	2	
カウンセリング	2	
精神医学	1	
保健科指導研究Ⅰ	2	
保健科指導研究Ⅱ	2	
保健科教育法－1	2	
保健科教育法－2	2	
看護学Ⅰ	2	
看護学Ⅱ	2	
看護学Ⅲ	2	

第3類 (杏林大学学則)

看護学実習	2		
救急看護学	2		
環境・食品学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学	2		
放射線概論	2		
分析化学	2		
分析化学実験	1		
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規Ⅰ	2		
労働衛生法規Ⅱ	2		
総合			
コーディネータ論	2		
特別講義Ⅰ	2		
特別講義Ⅱ	2		
特別演習Ⅰ	1		
特別演習Ⅱ	1		
教職総合演習	2		
ボランティア活動	2		
インターンシップ	2		
卒業研究	4		
計	25	269	124単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		10単位以上
死 生 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学	2			
社 会 福 祉 学		2		
教 育 学		2		
ホスピタリティ論		2		
国 際 協 力 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
自然科学系				
統 計 学		2		6単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		1		
化 学 概 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語 I	2			10単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法	2			
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
形 態 ・ 機 能 学	2			
代 謝 ・ 栄 養 学	2			
薬 理 学	2			
病 原 微 生 物 学	1			

第3類 (杏林大学学則)

免 疫 学	1	
病 態 治 療 論 I	2	
病 態 治 療 論 II	2	
病 態 治 療 論 III	1	
病 態 治 療 論 IV	1	
病 態 治 療 論 V	1	
病 態 治 療 論 VI	1	
病 態 治 療 論 VII	1	
病 態 治 療 論 VIII	1	
健康支援と社会保障制度		
公 衆 衛 生 学	1	
関 係 法 規	1	
保 健 福 祉 行 政 論	2	
健 康 教 育 学		2
学 校 保 健 学 概 論	2	
学 校 保 健 学		2
養 護 学 概 論		2
カ ウ ン セ リ ン グ		2
健 康 相 談		2
疫学と統計		
疫 学	2	
保 健 統 計	2	
基礎看護学		
基礎看護学系		
看 護 学 概 論 I	1	
看 護 学 概 論 II	2	
生 活 行 動 援 助 技 術 I	2	
生 活 行 動 援 助 技 術 II	2	
ヘルスアセスメント技術	1	
看 護 過 程	1	
治 療 ・ 処 置 技 術	2	
基 礎 看 護 学 実 習 I	1	
基 礎 看 護 学 実 習 II	2	
専門看護学		
成人看護学系		
成 人 看 護 学 概 論	2	
成 人 看 護 学 I	2	

第3類 (杏林大学学則)

成人看護学Ⅱ	2		
成人看護学演習	1		
成人看護学実習Ⅰ	3		
成人看護学実習Ⅱ	3		
高齢者看護学系			
高齢者看護学概論	2		
高齢者看護学	2		
高齢者看護学演習	1		
高齢者看護学実習Ⅰ	2		
高齢者看護学実習Ⅱ	2		
小児看護学系			
小児看護学概論	2		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	2		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学	2		
精神看護学演習	1		
精神看護学実習	2		
在宅看護学系			
在宅看護学	2		
在宅看護学演習	2		
在宅看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学方法論	2		
地域看護学Ⅰ	2		
地域看護学Ⅱ	2		
地域看護学演習	2		
地域看護学実習Ⅰ	1		
地域看護学実習Ⅱ	3		

第3類（杏林大学学則）

応用看護学					
応用看護学系					
看護研究	2				
看護倫理	1				
看護管理学	1				
総合看護学実習Ⅰ		2		☐ — どちらか一方を選択	
総合看護学実習Ⅱ		2			
特別講義Ⅰ		2			
特別講義Ⅱ		2			
助産学専攻					
助産学系					
助産学概論		1			
周産期医学		2			
助産診断・技術学Ⅰ		1			
助産診断・技術学Ⅱ		2			
助産診断・技術学Ⅲ		2			
助産診断・技術学Ⅳ		1			
助産管理学		1			
助産学特別講義		1			
助産学実習Ⅰ		8			
助産学実習Ⅱ		1			
計	121	72		137単位以上	

理学療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲学		2		☐ — 必修2単位及び 選択6単位以上
社会学		2		
法学		2		
心理学		2		
生命倫理学	2			
芸術学		2		
社会福祉学		2		
倫理学		2		

第3類 (杏林大学学則)

発 達 心 理 学	2		
職 業 適 性 論	2		
自然科学系			
数 学	2		
統 計 学	2		
情 報 処 理 論	2		
基 礎 物 理 学	1		
物 理 学 概 論	2		必修2単位及び 選択4単位以上
基 礎 化 学	1		
生 化 学 概 論	2		
基 礎 生 物 学	1		
生 命 科 学 概 論	2		
言語系			
英 語 I	2		
英 語 II	2		
英 語 III	2		
英 語 IV	2		必修4単位及び 選択4単位以上
英 会 話	2		
医 学 英 語	2		
日 本 語 表 現 法	2		
専門基礎分野			
医学系			
解 剖 学 I	2		
解 剖 学 II	1		
解 剖 学 実 習 I	1		
解 剖 学 実 習 II	1		
生 理 学 I	2		
生 理 学 II	1		
生 理 学 実 習	1		
病 理 学	1		
人 間 発 達 学	2		
リハビリテーション概論	1		
臨 床 心 理 学 概 論	1		
精 神 医 学	2		
内 科 学 I	2		必修27単位及び 選択3単位以上
内 科 学 II	2		

第3類 (杏林大学学則)

小児科学	1			
神経内科学	2			
外科	1			
整形外科	2			
脳神経外科学	1			
リハビリテーション医学	1			
医療安全論	1			
感染症学		1		
免疫学		1		
薬理学		1		
栄養学		1		
保健学・衛生学系				
保健学概論		2		
高齢保健学		2		
産業保健学		2		
地域保健学		2		
公衆衛生学Ⅰ		2		
公衆衛生学Ⅱ		2	4単位以上	
環境衛生工学		2		
看護学		2		
救命救助法		1		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
専門分野				
基礎理学療法学系				
理学療法概論	1			
理学療法用語論		1		
運動学	1			
運動学実習	1			
病態運動学		2		
運動解剖学		1		
理学療法評価学系				
理学療法評価学概論	1			
理学療法評価学Ⅰ	1			
理学療法評価学Ⅱ	1			
理学療法評価学実習	1			

第3類 (杏林大学学則)

動作分析学	1		
理学療法治療学系			
理学療法治療学総論	1		
運動療法学	2		
運動療法学実習	1		
物理療法学Ⅰ	1		
物理療法学Ⅱ	1		
物理療法学実習	1		
義肢学	1		
義肢学実習	1		
装具学	1		
装具学実習	1		
日常生活技術学	1		
日常生活技術学実習	1		
運動器障害系理学療法学Ⅰ	1		
運動器障害系理学療法学Ⅱ	1		
神経障害系理学療法学Ⅰ	1		
神経障害系理学療法学Ⅱ	1		
内部障害系理学療法学Ⅰ	1		
内部障害系理学療法学Ⅱ	1		
小児理学療法学	1		
高次脳機能障害学	1		
高齢者理学療法学	1		
急性期理学療法学	1		
スポーツ障害理学療法学	1		
マニュアルセラピー	1		
プロフェッショナルスキル	4		
クリニカルリーズニング	1		
地域理学療法学系			
生活環境学	1		
地域理学療法学	2		
理学療法国際事情	1		
臨床実習系			
見学実習	1		
評価実習Ⅰ	2		
評価実習Ⅱ	4		

必修62単位及び
選択7単位以上

第3類（杏林大学学則）

総合臨床実習	14			
総合領域				
理学療法特論Ⅰ		1		
理学療法特論Ⅱ		1		
理学療法研究法		1		
応用理学療法学		1		
基礎ゼミ	4			
特別講義Ⅰ		1		
特別講義Ⅱ		1		
卒業研究	4			
計	97	87		125単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表3-1（平成14年度入学生から適用）
総合政策学部学科目構成

1 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	総合政策論		4		28単位以上
	国際関係論		2		
	国際情勢分析論		2		
	日本経済論		2		
	金融財政論		2		
	経済政策論		2		
	経営学総論		4		
	会計学総論		4		
	情報処理概論		4		
	憲法総論		4		
	民法各論		2		
	物権法各論		2		
	契約法論		2		
	刑事法概論		2		
	日本政治論		2		
	日本行政論		2		
	社会保険法論		4		
	社会福祉学		2		
	社会福祉学		2		
	環境社会学		2		
地域社会学		2			
IT総論		2			
インターネット情報論		2			
キャリア開発論		2			
比較文化論		4			
基礎演習		2			
国際経済コース	国際政治学		2		
	国際政治史		2		
	国際政治学論		2		
	国際安全保障論		2		
	日本外交論		2		
	アメリカ外交論		2		
	中国外交論		2		
	世界経済論		2		
	国際貿易論		2		
	国際金融論		2		
国際投資論		2			

第3類 (杏林大学学則)

基 本 科 目	経国済開発論 資際協力論 国源政策論 際際政経営論	2 2 2 2		
	経営情報論 経営情報システム論 日本経営論 経営管理論 経営戦略論 戦略マネジメント論 人材マネジメント論 組織心理学 eコマース論 マーケティング概論 会計学原理 財務会計論 会計ディスクロージャー論 会計監査論 情報処理論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1コースを 選択し、所 属コースの 科目を20単 位以上
	法律行政コース 物債不家相会民刑労行政公政立 権権法 法法行族統社訴法 事法 働基政政過選組過 法	2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 2		
環境福祉コース 環境アセスメント 環境政策保障 社会福祉政策 社会的扶助 現代家族法 医事	2 2 2 4 2 2 2 2			

第3類 (杏林大学学則)

		労働衛生法規	4		
		保健学概論	2		
		人類生態学	2		
		環境保健学	2		
		産業保健学	2		
		国際保健学	2		
発 展 科 目	A群	現代アメリカ政治論	2		
		現代ヨーロッパ政治論	2		
		現代ロシア政治論	2		
		現代中国政治論	2		
		現代東アジア政治論	2		
		現代中東政治論	2		
		国際機構論	2		
		国際紛争処理論	2		
		エネルギー戦略論	2		
	B群	国際マクロ経済学	2		
		日本通商政策論	2		
		アメリカ経済論	2		
		ヨーロッパ経済論	2		
		アジア経済論	2		
		開発政策論	2		
	C群	原価計算論	2		
		監査制度論	2		
		企業取引法	2		
		有価証券法	2		
		電子商取引法	2		
		税法各論	4		
		税法各論	2		
	D群	税務会計論	2		
		日本経営史	2		
		欧米経営史	2		
		組織行動論	2		
		組織デザイン論	2		
国際経営戦略論		2			
マーケティング戦略論		2			
消費者行動論		2			
経営分析		2			
経営財務		2			
流通システム論	2				
現代会社研究	2				
	金融法	2			
	担保法	2			
	住宅関係法	2			
	民事執行法	2			
				36単位以上	

第3類 (杏林大学学則)

E群	民法	2	
	民事	2	
	民事	2	
	経済	2	
	刑事	2	
	労働	2	
	国際	2	
	国際	2	
F群	現代日本政策論	2	
	行政救済法	2	
	パブリックマネジメント論	2	
	地方府論	2	
	日本法制史	2	
	日本政治史	2	
	政治心理学	2	
マスコミュニケーション論	2		
G群	人口学	2	
	産業社会学	2	
	保健社会学	2	
	環境保全論	2	
	環境生物学	2	
H群	環境衛生工学	2	
	地域福祉論	2	
	老人福祉論	2	
	障害者福祉論	4	
	児童福祉論	2	
	社会福祉援助技術総論	4	
	保健管理学	2	
	地域保健学	2	
	高齢保健学	2	
学校保健学	2		
カウンセリング論	2		
I群	サイバーポリティクス論	2	
	デジタルエコノミー論	2	
	情報産業論	2	
	コンピュータシステム論	2	
	プログラミング論	2	
	システム設計	2	
	法情報学	2	
	情報社会論	2	
データ分析論	2		
研究会	演習	8	
	卒業研究	4	

第3類 (杏林大学学則)

2 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
1 類	人文学分野	宗 教 学 A	2		8 単位以上
		宗 教 学 B	2		
		哲 学 A	2		
		哲 学 B	2		
		倫 理 学 A	2		
		倫 理 学 B	2		
		歴 史 学 A	2		
		歴 史 学 B	2		
		文 学 学 A	2		
	文 学 学 B	2			
	音 楽 学 A	2			
	音 楽 学 B	2			
	社会科学分野	社 会 学 A	2		8 単位以上
		社 会 学 B	2		
		法 学 A	2		
		法 学 B (日本国憲法)	2		
		政 治 学 A	2		
		政 治 学 B	2		
		地 理 学 A	2		
		地 理 学 B	2		
	自然科学分野	数 学 A	2		8 単位以上
		数 学 B	2		
		統 計 学 A	2		
		統 計 学 B	2		
		物 理 学 A	2		
		物 理 学 B	2		
		化 学 A	2		
化 学 B		2			
生 物 学 A		2			
生 物 学 B		2			
心 理 学 A	2				
心 理 学 B	2				
2 類	第1外国語	英 語 A	2	6 単位以上	
		英 語 B	2		
		英 語 C	2		
		英 語 展 示 A	2		
		英 語 展 示 B	2		
		英 語 展 示 C	2		

第3類（杏林大学学則）

第2類 外国語	ドイツ語 A	2	ドイツ語・フランス語・中国語のいずれかを選択し、4単位以上
	ドイツ語 B	2	
	発展ドイツ語 A	2	
	フランス語 A	2	
	フランス語 B	2	
	発展フランス語	2	
	中国語 A	2	
	中国語 B	2	
3類	発展中国語	2	1学期間に他科目を履修しない者は必修
	特別プレゼミナール A	2	
	特別プレゼミナール B	2	
	特別演習 I	2	
	特別演習 II	2	
	特別演習 III	2	
	特別演習 IV	2	
特別演習 V	2		
特別演習 VI	2		
4類	体育実技 A	1	
	体育実技 B	1	
	体育理論	2	
自由科目			

3 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史 I			2	
日本史 II			2	
外国史 I			2	
外国史 II			2	
外地誌 I			2	
外地誌 II			2	
地誌学 I			2	
地誌学 II			2	
職業指導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3-2（平成18年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ	4			
文章力演習	2			
読解力演習	2			
計算力演習	2			
近現代史論	2			
データ分析演習	2			
表現力演習	2			

2 専門科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論 I		2	16単位以上
	国際関係論 II		2	
	日本政治論 I		2	
	日本政治論 II		2	
	憲法 I		2	
	憲法 II		2	
	民法総論 I		2	
	民法総論 II		2	
	社会福祉学 I		2	
	社会福祉学 II		2	
	経済原論 I		2	
	経済原論 II		2	
	財政学概論 I		2	
	財政学概論 II		2	
	総合政策論 I		2	
	総合政策論 II		2	
国際政治学 I		2		
国際政治学 II		2		

第3類 (杏林大学学則)

国際政経 コース 基本科目	比較政治学 I	2	24 単位以上
	比較政治学 II	2	
	外交政策論 I	2	
	外交政策論 II	2	
	経済政策論 I	2	
	経済政策論 II	2	
	国際政治史 I	2	
	国際政治史 II	2	
	国際貿易論 I	2	
	国際貿易論 II	2	
	国際金融論 I	2	
	国際金融論 II	2	
	国際投資論 I	2	
	国際投資論 II	2	
	経済開発論 I	2	
	経済開発論 II	2	
	国際法 I	2	
	国際法 II	2	
	アメリカ政治外交論	2	
ヨーロッパ政治外交論	2		
ロシア政治外交論	2		
中国政治外交論	2		
中東政治外交論	2		
エネルギー戦略論	2		
朝鮮半島政治外交論	2		
国際資源論	2		
途上国協力論	2		
国際機構論	2		
日本経済論	2		
世界経済論	2		
アメリカ経済論	2		
ヨーロッパ経済論	2		
アジア経済論	2		
環境経済学	2		
環境政策論	2		
国際企業論 I	2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 発展科目	国際企業論	Ⅱ	2	42単位以上
	国際私法		2	
	環境法		2	
	国際経営論	Ⅰ	2	
	国際経営論	Ⅱ	2	
	キャリア開発論		2	
	憲法概論		2	
	民法概論		2	
	政治学概論		2	
	国際関係論	演習	2	
	経済原論	演習	2	
	憲法	演習	2	
	民法	演習	2	
	行政法	演習	2	
	行政学	演習	2	
	政治学	演習	2	
	インターンシップ	Ⅰ	2	
	インターンシップ	Ⅱ	2	
	学際	演習	Ⅰ 2	
	学際	演習	Ⅱ 2	
演習		Ⅰ 12		
演習		Ⅱ 8		
卒業研究		4		
法律行政 コース 基本科目	公選択論	Ⅰ	2	24単位以上
	公選択論	Ⅱ	2	
	公比較政治学	Ⅰ	2	
	公比較政治学	Ⅱ	2	
	行政学	Ⅰ	2	
	行政学	Ⅱ	2	
	行政法	Ⅰ	2	
	行政法	Ⅱ	2	
	物権法	Ⅰ	2	
	物権法	Ⅱ	2	
	債権法	Ⅰ	2	
	債権法	Ⅱ	2	
家族法	Ⅰ	2		

第3類 (杏林大学学則)

	家	族	法	II	2	
	刑	事	法	I	2	
	刑	事	法	II	2	
	勞	働	法	I	2	
	勞	働	法	II	2	
	經	濟	政	I	2	
	經	濟	政	策	論	2
	經	濟	政	策	論	2
	會	社	法	I	2	
	會	社	法	II	2	
	刑	法	總	論	2	
	刑	法	各	論	2	
	民	事	訴	訟	法	2
	刑	事	訴	訟	法	2
	医	事	法	I	2	
	医	事	法	II	2	
	税		法	I	2	
	税		法	II	2	
	有	価	証	券	法	2
	企	業	取	引	法	2
	現	代	家	族	法	2
	情	報	法	制	法	2
	經	濟	刑	法	2	
	国	際	私	法	2	
	国	際	法	I	2	
	国	際	法	II	2	
	環	境		法	2	
	年	金	・	勞	働	保
	勞	働	衛	生	法	規
	社	会	保	障	論	I
	社	会	保	障	論	II
法律行政	日	本	法	制	史	2
コース	日	本	政	治	史	2
発展科目	政	策	過	程	論	2
	立	法	過	程	論	2
	地	方	政	府	論	2
	キ	ャ	リ	ア	開	2
					発	論
						2
						42単位以上

第3類 (杏林大学学則)

	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップⅠ	2	
	インターンシップⅡ	2	
	学際演習Ⅰ	2	
	学際演習Ⅱ	2	
	演習Ⅰ	1 2	
	演習Ⅱ	8	
	卒業研究	4	
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論Ⅰ	2	24単位以上
	社会保障論Ⅱ	2	
	環境科学概論Ⅰ	2	
	環境科学概論Ⅱ	2	
	人類生態学Ⅰ	2	
	人類生態学Ⅱ	2	
	人体構造機能論Ⅰ	2	
	人体構造機能論Ⅱ	2	
	健康福祉システム論Ⅰ	2	
	健康福祉システム論Ⅱ	2	
	障害者福祉論Ⅰ	2	
	障害者福祉論Ⅱ	2	
	医療経済学Ⅰ	2	
	医療経済学Ⅱ	2	
	医事法Ⅰ	2	
	医事法Ⅱ	2	
家族法Ⅰ	2		
家族法Ⅱ	2		
労働法Ⅰ	2		

第3類 (杏林大学学則)

	労働法 II		
	国際保健学	2	
	環境保健学	2	
	疫学	2	
	カウンセリング論	2	
	社会福祉政策論	2	
	児童福祉論	2	
	老人福祉論	2	
	経済政策論 I	2	
	経済政策論 II	2	
	環境経済学	2	
	環境政策論	2	
	環境アセスメント論	2	
	環境保全論	2	
	医療福祉財政論	2	
	社会福祉援助技術総論 I	2	
	社会福祉援助技術総論 II	2	
	産業社会学	2	
	地域社会学	2	
環境福祉	環境法	2	
コース	現代家族法論	2	
発展科目	年金・労働保険法	2	
	労働衛生法規	2	
	キャリア開発論	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ I	2	
	インターンシップ II	2	
			42単位以上

第3類 (杏林大学学則)

学 際 演 習 I	2	
学 際 演 習 II	2	
演 習 I	1 2	
演 習 II	8	
卒 業 研 究	4	

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学 分 野	宗 教 学 A	2		16単位以上
		宗 教 学 B	2		
		哲 学 A	2		
		哲 学 B	2		
		倫 理 学 A	2		
		倫 理 学 B	2		
		歴 史 学 A	2		
		歴 史 学 B	2		
		文 学 A	2		
		文 学 B	2		
	音 楽 A	2			
	音 楽 B	2			
	社会科学 分 野	社 会 学 A	2		
		社 会 学 B	2		
法 学 A		2			
法学B(日本国憲法)		2			
政 治 学 A		2			
政 治 学 B		2			
地 理 学 A		2			
地 理 学 B		2			
自然科学 分 野	数 学 A	2			
	数 学 B	2			
	統 計 学 A	2			
	統 計 学 B	2			
	物 理 学 A	2			

第3類 (杏林大学学則)

		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
2類	第1 外国語	英語 I	2			
		英語 II	2			
		英語 III	2			
		日本語 A	2			留学生のみ
		日本語 B	2			
		日本語 C	2			
	第2 外国語	発展英語 A		2		最大6単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B		2		
		発展英語 C		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
韓国語 A		2				
韓国語 B		2				
3類	特別プレゼミナールA		2			
	特別プレゼミナールB		2			
	特別演習 I		2			
	特別演習 II		2			
	特別演習 III		2			
	特別演習 IV		2			
	特別演習 V		2			
	特別演習 VI		2			
4類	体育実技 A		1			
	体育実技 B		1			

第3類（杏林大学学則）

	体 育 理 論		2		
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称				単 位 数			備 考
				必 修	選 択	自 由	
日	本	史	I			2	
日	本	史	II			2	
外	国	史	I			2	
外	国	史	II			2	
地	誌	学	I			2	
地	誌	学	II			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称				単 位 数			備 考
				必 修	選 択	自 由	
社	会	の	し	く	み	4	
文	章	力	演	習		2	
読	解	力	演	習		2	
計	算	力	演	習		2	
近	現	代	史	論		2	
デ	ー	タ	分	析	演	2	
表	現	力	演	習		2	

2 専門科目

授業科目の名称				単 位 数			備 考	
				必 修	選 択	自 由		
	経	営	学	総	論	I		
	経	営	学	総	論	II		
	会	計	学	総	論	I		
	会	計	学	総	論	II		
	情	報	処	理	概	論	I	
共	通	科	目	情	報	処	理	概
				論	II			
							— 16単位以上	

第3類 (杏林大学学則)

	マーケティング総論 I	2	
	マーケティング総論 II	2	
	経営情報論 I	2	
	経営情報論 II	2	
	総合政策論 I	2	
	総合政策論 II	2	
経営戦略 コース 基本科目	経営管理総論 I	2	24単位以上
	経営管理総論 II	2	
	経営戦略論 I	2	
	経営戦略論 II	2	
	人材マネジメント論 I	2	
	人材マネジメント論 II	2	
	経営史 I	2	
	経営史 II	2	
	経営組織論 I	2	
	経営組織論 II	2	
	国際経営論 I	2	
	国際経営論 II	2	
	財務管理 I	2	
	財務管理 II	2	
	流通システム論 I	2	
	流通システム論 II	2	
	会社法 I	2	
会社法 II	2		
労働法 I	2		
労働法 II	2		
	キャリア開発論	2	
	地域社会学	2	
	産業社会学	2	
	情報処理論 I	2	
	情報処理論 II	2	
	システム設計 I	2	
	システム設計 II	2	
	簿記論 I	2	
	簿記論 II	2	
	株式会社簿記論 I	2	

第3類 (杏林大学学則)

経営戦略 コース 発展科目	株式会社簿記論	II	2	— 4 2 単位以上
	財務会計論	I	2	
	財務会計論	II	2	
	財務会計各論	I	2	
	財務会計各論	II	2	
	税法	I	2	
	税法	II	2	
	税法各論	I	2	
	税法各論	II	2	
	財政学概論	I	2	
	財政学概論	II	2	
	国際関係論	I	2	
	国際関係論	II	2	
	世界経済論	II	2	
	国際貿易論	I	2	
	国際貿易論	II	2	
	国際金融論	I	2	
	国際金融論	II	2	
	国際投資論	I	2	
	国際投資論	II	2	
	国際企業論	I	2	
	国際企業論	II	2	
	環境経済学	II	2	
	環境政策論	II	2	
	憲法	I	2	
	憲法	II	2	
	民法総論	I	2	
	民法総論	II	2	
	物権法	I	2	
	物権法	II	2	
	債権法	I	2	
	債権法	II	2	
有価証券法	II	2		
国際法	I	2		
国際法	II	2		

第3類 (杏林大学学則)

	経 済 刑 法	2	
	社 会 保 障 論 I	2	
	社 会 保 障 論 II	2	
	経 済 政 策 論 I	2	
	経 済 政 策 論 II	2	
	経 済 原 論 I	2	
	経 済 原 論 II	2	
	憲 法 概 論	2	
	民 法 概 論	2	
	政 治 学 概 論	2	
	国 際 関 係 論 演 習	2	
	経 済 原 論 演 習	2	
	憲 法 演 習	2	
	民 法 演 習	2	
	行 政 法 演 習	2	
	行 政 学 演 習	2	
	政 治 学 演 習	2	
	インターンシップ I	2	
	インターンシップ II	2	
	学 際 演 習 I	2	
	学 際 演 習 II	2	
	演 習 I	1 2	
	演 習 II	8	
	卒 業 研 究	4	
経営会計 コース 基本科目	簿 記 論 I	2	24単位以上
	簿 記 論 II	2	
	株 式 会 社 簿 記 論 I	2	
	株 式 会 社 簿 記 論 II	2	
	財 務 会 計 論 I	2	
	財 務 会 計 論 II	2	
	財 務 会 計 各 論 I	2	
	財 務 会 計 各 論 II	2	
	税 法 I	2	
	税 法 II	2	
	税 法 各 論 I	2	
	税 法 各 論 II	2	

第3類 (杏林大学学則)

情報処理論 I	2		
情報処理論 II	2		
システム設計 I	2		
システム設計 II	2		
会社法 I	2		
会社法 II	2		
労働法 I	2		
労働法 II	2		
管理会計論	2		
会計監査論	2		
経営管理総論 I	2		
経営管理総論 II	2		
経営戦略論 I	2		
経営戦略論 II	2		
人材マネジメント論 I	2		
人材マネジメント論 II	2		
経営史 I	2		
経営史 II	2		
財務管理 I	2		
財務管理 II	2		
経営組織論 I	2		
経営組織論 II	2		
国際経営論 I	2		
国際経営論 II	2		
流通システム論 I	2		
流通システム論 II	2		
地域社会学	2		
産業社会学	2		
キャリア開発論	2		
財政学概論 I	2		
財政学概論 II	2		
国際関係論 I	2		
国際関係論 II	2		
世界経済論	2		
国際貿易論 I	2		
国際貿易論 II	2		

第3類 (杏林大学学則)

経営会計 コース 発展科目	国際金融論	I	2	42単位以上
	国際金融論	II	2	
	国際投資論	I	2	
	国際投資論	II	2	
	国際企業論	I	2	
	国際企業論	II	2	
	環境経済学	論	2	
	環境政策	論	2	
	憲法	I	2	
	憲法	II	2	
	民法総論	I	2	
	民法総論	II	2	
	物権法	I	2	
	物権法	II	2	
	債権法	I	2	
	債権法	II	2	
	有価証券	法	2	
	企業取引	法	2	
	国際法	I	2	
	国際法	II	2	
	経済刑法	法	2	
	社会保障論	I	2	
	社会保障論	II	2	
	経済政策論	I	2	
	経済政策論	II	2	
	経済原論	I	2	
	経済原論	II	2	
	憲法概論	論	2	
	民法概論	論	2	
	政治学概論	論	2	
国際関係論	演習	2		
経済原論	演習	2		
憲法	演習	2		
民法	演習	2		
行政法	演習	2		
行政学	演習	2		

第3類 (杏林大学学則)

政治学演習	2	
インターンシップ I	2	
インターンシップ II	2	
学際演習 I	2	
学際演習 II	2	
演習 I	1 2	
演習 II	8	
卒業研究	4	

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
人文科学分野	宗教学 A		2		16単位以上
	宗教学 B		2		
	哲学 A		2		
	哲学 B		2		
	倫理学 A		2		
	倫理学 B		2		
	歴史学 A		2		
	歴史学 B		2		
	文学 A		2		
	文学 B		2		
	音楽 A		2		
	音楽 B		2		
1類 社会科学分野	社会学 A		2		
	社会学 B		2		
	法学 A		2		
	法学 B (日本国憲法)		2		
	政治学 A		2		
	政治学 B		2		
	地理学 A		2		
	地理学 B		2		
	経済学 A		2		
	経済学 B		2		
	数学 A		2		
	数学 B		2		

第3類 (杏林大学学則)

	自然科学分野	統計学 A	2		
		統計学 B	2		
		物理学 A	2		
		物理学 B	2		
		化学 A	2		
		化学 B	2		
		生物学 A	2		
		生物学 B	2		
		心理学 A	2		
		心理学 B	2		
2類	第1外国語	英語 I	2		
		英語 II	2		
		英語 III	2		
		日本語 A	2		— 留学生のみ
		日本語 B	2		
		日本語 C	2		
	第2外国語	発展英語 A	2		最大6単位まで — 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B	2		
		発展英語 C	2		
		ドイツ語 A	2		
		ドイツ語 B	2		
		フランス語 A	2		
		フランス語 B	2		
		中国語 A	2		
中国語 B	2				
3類	特別演習	特別演習 I	2		
		特別演習 II	2		
		特別演習 III	2		
		特別演習 IV	2		
		特別演習 V	2		
		特別演習 V	2		

第3類 (杏林大学学則)

	特 別 演 習 VI		2		
4	体 育 実 技 A		1		
	体 育 実 技 B		1		
	体 育 理 論		2		
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必 修	選 択	自 由	
日	本	史	I			2	
日	本	史	II			2	
外	国	史	I			2	
外	国	史	II			2	
地	誌	学	I			2	
地	誌	学	II			2	
職	業	指	導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表4-1

外国語学部学科目構成

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
専門外国語科目	英語 I	1	英語又は中国語（留学生は日本語）選択必修14単位
	英語 I	1	
	英語 II	1	
	英語 II	1	
	英語 II	2	
	英語 III	1	
	英語 III	2	
	英語 III	1	
	英語 III	2	
	英語 IV	1	
	英語 IV	1	
	英語 IV	2	
	英語 会話 I	1	
	英語 会話 I	2	
	英語 会話 II	1	
	英語 会話 II	2	
	英語 会話 III	1	
	英語 会話 III	2	
	中国語 基礎	1	
	中国語 基礎	2	
	中国語 基礎	3	
	中国語 基礎	4	
	中国語 基礎	5	
	中国語 基礎	6	
	中国語 基礎	7	
	中国語 基礎	8	
	中国語 基礎	9	
	中国語 基礎	10	
	中国語 基礎	11	
	中国語 基礎	12	
	中国語 基礎	13	
	中国語 基礎	14	
	日本語 I	1	
日本語 I	2		
日本語 II	1		
日本語 II	2		
日本語 III	1		
日本語 III	2		
日本語 IV	1		
日本語 IV	2		
日本語 V	1		
日本語 V	2		
日本語 VI	1		

第3類 (杏林大学学則)

	日 本 語 VI - 2		1	
	日 本 語 VII - 1		1	
	日 本 語 VII - 2		1	
専 門 科 目 A	日 本 語 表 現 法 一 1	2		必修16単位
	日 本 語 表 現 法 一 2	2		
	現 代 日 本 社 会 特 論 一 1	2		
	現 代 日 本 社 会 特 論 一 2	2		
	言 語 学 一 1		2	
	言 語 学 一 2		2	
	対 照 言 語 学 一 1		2	
	対 照 言 語 学 一 2		2	
	社 会 言 語 学 一 1		2	
	社 会 言 語 学 一 2		2	
	言 語 と 文 化 一 1		2	
	言 語 と 文 化 一 2		2	
	比 較 文 化 論 I 一 1		2	
	比 較 文 化 論 I 一 2		2	
	比 較 文 化 論 II 一 1		2	
	比 較 文 化 論 II 一 2		2	
	情 報 処 理 基 礎 I 一 1	1		
	情 報 処 理 基 礎 I 一 2	1		
	情 報 処 理 基 礎 II 一 1		1	
	情 報 処 理 基 礎 II 一 2		1	
	情 報 処 理 基 礎 III 一 1		1	
	情 報 処 理 基 礎 III 一 2		1	
	情 報 処 理 I 一 1		1	
	情 報 処 理 I 一 2		1	
	情 報 処 理 II 一 1		1	
	情 報 処 理 II 一 2		1	
	情 報 処 理 概 論 一 1		2	
	情 報 処 理 概 論 一 2		2	
	情 報 産 業 論 一 1		2	
	情 報 産 業 論 一 2		2	
	ゼ ミ ナ ル 一 1	2		
ゼ ミ ナ ル 一 2	2			
ゼ ミ ナ ル 一 3	2			
卒 業 論 文		4		
専 門 科 目 B	英 語 発 音 聴 取 一 1		1	
	英 語 発 音 聴 取 一 2		1	
	実 用 英 語 演 習 I 一 1		1	
	実 用 英 語 演 習 I 一 2		1	
	実 用 英 語 演 習 II 一 1		1	
	実 用 英 語 演 習 II 一 2		1	
	実 用 英 語 演 習 III 一 1		1	

第3類 (杏林大学学則)

実用英語演習Ⅲ	—	2	1
現代英語講読Ⅰ	—	1	1
現代英語講読Ⅰ	—	2	1
現代英語講読Ⅱ	—	1	1
現代英語講読Ⅱ	—	2	1
現代英語講読Ⅲ	—	1	1
現代英語講読Ⅲ	—	2	1
英語作文Ⅰ	—	1	1
英語作文Ⅰ	—	2	1
英語作文Ⅱ	—	1	1
英語作文Ⅱ	—	2	1
英語聴解・討論Ⅰ	—	1	1
英語聴解・討論Ⅰ	—	2	1
英語聴解・討論Ⅱ	—	1	1
英語聴解・討論Ⅱ	—	2	1
英語特論Ⅰ	—	1	1
英語特論Ⅰ	—	2	1
英語特論Ⅱ	—	1	1
英語特論Ⅱ	—	2	1
口語英語Ⅰ			2
口語英語Ⅱ			2
英語総合講座—		1	2
英語総合講座—		2	2
英語文法—		1	2
英語文法—		2	2
英語文章表現法—		1	2
英語文章表現法—		2	2
英語学—		1	2
英語学—		2	2
英語学特論—		1	2
英語学特論—		2	2
英語史—		1	2
英語史—		2	2
英語音声学—		1	2
英語音声学—		2	2
英語音声学特論—		1	2
英語音声学特論—		2	2
英米文学概論—		1	2
英米文学概論—		2	2
英米文学特論Ⅰ—		1	2
英米文学特論Ⅰ—		2	2
英米文学特論Ⅱ—		1	2
英米文学特論Ⅱ—		2	2
英米文学史—		1	2

第3類 (杏林大学学則)

	中国語文学概論	— 2	2
	中国語文学特論	— 1	2
	中国語文学特論	— 2	2
	中国語現代文学	— 1	2
	中国語現代文学	— 2	2
	中国語文学史	— 1	2
	中国語文学史	— 2	2
	中国古典概説	— 1	2
	中国古典概説	— 2	2
	中国史	— 1	2
	中国史	— 2	2
	中国思想史	— 1	2
	中国思想史	— 2	2
	時事中国語	— 1	2
	時事中国語	— 2	2
	商業中国語	— 1	2
	商業中国語	— 2	2
	中国語翻訳法	— 1	2
	中国語翻訳法	— 2	2
	中国語通訳法	— 1	2
	中国語通訳法	— 2	2
専門科目D	日本語学概論	— 1	2
	日本語学概論	— 2	2
	日本語文字・表記概説		2
	日本語音声学	— 1	2
	日本語音声学	— 2	2
	日本語語彙論		2
	日本語文法論	— 1	2
	日本語文法論	— 2	2
	日本語意味論		2
	日本語史	— 1	2
	日本語史	— 2	2
	日本人の言語行動	— 1	2
	日本人の言語行動	— 2	2
	ビジネス日本語I	— 1	2
	ビジネス日本語I	— 2	2
	ビジネス日本語II	— 1	2
	ビジネス日本語II	— 2	2
	日本史	— 1	2
	日本史	— 2	2
	日本文化論	— 1	2
	日本文化論	— 2	2
	日本語教育教材・教具論		2
日本語教授法概論	— 1	2	

第3類 (杏林大学学則)

	日本語教授法概論	— 2	2
	日本語教授法演習	— 1	2
	日本語教授法演習	— 2	2
	日本語教育実習 I		2
	日本語教育実習 II		2
	日本語教育概説	— 1	2
	日本語教育概説	— 2	2
	日本文学概論	— 1	2
	日本文学概論	— 2	2
	日本文学特論	— 1	2
	日本文学特論	— 2	2
	日本文学史	— 1	2
	日本文学史	— 2	2
	漢文学	— 1	2
	漢文学	— 2	2
	書道	— 1	2
	書道	— 2	2
専門科目 E	地域圏研究 I	— 1	2
	地域圏研究 I	— 2	2
	地域圏研究 II	— 1	2
	地域圏研究 II	— 2	2
	地域圏研究 III	— 1	2
	地域圏研究 III	— 2	2
	地域圏研究 IV	— 1	2
	地域圏研究 IV	— 2	2
	地域圏研究 V	— 1	2
	地域圏研究 V	— 2	2
	地域圏研究 VI	— 1	2
	地域圏研究 VI	— 2	2
	中国政治経済	— 1	2
	中国政治経済	— 2	2
	西洋史	— 1	2
	西洋史	— 2	2
	アメリカ社会論	— 1	2
	アメリカ社会論	— 2	2
	国際関係論	— 1	2
	国際関係論	— 2	2
	外交政策論	— 1	2
	外交政策論	— 2	2
	国際観光概論	— 1	2
	国際観光概論	— 2	2
	サービス産業論	— 1	2
	サービス産業論	— 2	2
	ホスピタリティ論		2

第3類 (杏林大学学則)

	インターンシップ I		2		
	インターンシップ II		2		
	観光業務論 I		2		
	観光業務論 II - 1		2		
	観光業務論 II - 2		2		
	観光業務論 III		2		
	観光業務論 IV - 1		2		
	観光業務論 IV - 2		2		
	観光地理		2		
専門 関連 科目 A	フランス語 I - 1		1	1言語以上選択で必修6単位。ただし、専門外国語科目で代替することができる。	
	フランス語 I - 2		1		
	フランス語 II - 1		1		
	フランス語 II - 2		1		
	フランス語 III - 1		1		
	フランス語 III - 2		1		
	ドイツ語 I - 1		1		
	ドイツ語 I - 2		1		
	ドイツ語 II - 1		1		
	ドイツ語 II - 2		1		
	ドイツ語 III - 1		1		
	ドイツ語 III - 2		1		
	スペイン語 I - 1		1		
	スペイン語 I - 2		1		
	スペイン語 II - 1		1		
	スペイン語 II - 2		1		
	スペイン語 III - 1		1		
	スペイン語 III - 2		1		
	インドネシア語 I - 1		1		
	インドネシア語 I - 2		1		
	インドネシア語 II - 1		1		
	インドネシア語 II - 2		1		
	インドネシア語 III - 1		1		
	インドネシア語 III - 2		1		
	韓国語 I - 1		1		
	韓国語 I - 2		1		
	韓国語 II - 1		1		
	韓国語 II - 2		1		
	韓国語 III - 1		1		
	韓国語 III - 2		1		
	実用英語 I - 1		1		実用英語は留学生のみ履修可
	実用英語 I - 2		1		
実用英語 II - 1		1			
実用英語 II - 2		1			
実用英語 III - 1		1			

第3類 (杏林大学学則)

専門 関連 科目 B	実	用	英	語	Ⅲ	—	2		1
	哲		学		—		1		2
	哲		学		—		2		2
	宗	教	学	学	—		1		2
	宗	教	学	学	—		2		2
	歴	史	学	学	—		1		2
	歴	史	学	学	—		2		2
	文	学	学		—		1		2
	文	学	学		—		2		2
	音	学	学		—		1		2
	音	学	学		—		2		2
	民	俗	学	学	—		1		2
	民	俗	学	学	—		2		2
	社	会	学	学	—		1		2
	社	会	学	学	—		2		2
	日	本	国	学	憲		法	学	2
	法								2
	政	治	学	学	—		1		2
	政	治	学	学	—		2		2
	地	理	学	学	—		1		2
	地	理	学	学	—		2		2
	経	済	学	学	—		1		2
	経	済	学	学	—		2		2
	数	学	学		—		1		2
	数	学	学		—		2		2
	物	理	学	学	—		1		2
	物	理	学	学	—		2		2
	化	学	学		—		1		2
	化	学	学		—		2		2
	生	物	学	学	—		1		2
	生	物	学	学	—		2		2
	心	理	学	学	—		1		2
	心	理	学	学	—		2		2
	統	計	学	学	—		1		2
	統	計	学	学	—		2		2
ボ	ラン	テ	ィ	ア		活	動	2	
体	育	理				論		2	
体	育	実	技	—		1		1	
体	育	実	技	—		2		1	
教	育	育	原			理		2	
教	育	社	会			学		2	
教	育	測	評			法		2	
教	育	育	工			学		2	
教	育	心	理			学		2	

第3類（杏林大学学則）

	英語科教育法		2	
	中国語科教育法		2	
	中国語科教育法		2	
専科 門目 関C 連	他学部 の 設置科目			
自科 由目				

第3類（杏林大学学則）

別表4-2（平成18年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称					単位数		備考
					必修	選択	
専門外国語科目	英語	I	—	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語	I	—	2	1		
	英語	II	—	1	1		
	英語	II	—	2	1		
	英語	III	—	1	1		
	英語	III	—	2	1		
	英語	IV	—	1	1		
	英語	IV	—	2	1		
	中国語	I	—	1	1		
	中国語	I	—	2	1		
	中国語	II	—	1	1		
	中国語	II	—	2	1		
	中国語	III	—	1	1		
	中国語	III	—	2	1		
	中国語	IV	—	1	1		
	中国語	IV	—	2	1		
	日本語	I	—	1		1	
	日本語	I	—	2		1	
	日本語	II	—	1		1	
	日本語	II	—	2		1	
	日本語	III	—	1		1	
	日本語	III	—	2		1	
	日本語	IV	—	1		1	
	日本語	IV	—	2		1	
	日本語	V	—	1		1	
	日本語	V	—	2		1	
	日本語	VI	—	1		1	
	日本語	VI	—	2		1	
日本語	VII	—	1		1		
日本語	VII	—	2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	インテンシブ中国語Ⅰ-1		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ-2		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ-1		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ-2		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ-1		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ-2		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ-1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ-2		1	
専 門 科 目 A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	現代英語講読Ⅰ-1	1		
	現代英語講読Ⅰ-2	1		
	現代英語講読Ⅱ-1		1	
	現代英語講読Ⅱ-2		1	
	英語文章表現法-1		1	
	英語文章表現法-2		1	
	英語聴解・討論-1		1	
	英語聴解・討論-2		1	
	実用英語演習Ⅰ	1		
	実用英語演習Ⅱ	1		
	実用英語演習Ⅲ	1		
	実用英語演習Ⅳ	1		
	マルチメディア・イングリッシュ	1		
	ゼミナール-1	2		
	ゼミナール-2	2		
	ゼミナール-3	2		
卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目	国際コミュニケーション論-1	2		英語ビジネスコミュニケー ションコース
	国際コミュニケーション論-2	2		
	英米文化論-1		2	
	英米文化論-2		2	
	アメリカ近現代史概説-1		2	
アメリカ近現代史概説-2		2		

第3類 (杏林大学学則)

B	ヨーロッパ近現代史概説-1		2	
	ヨーロッパ近現代史概説-2		2	
	グローバルビジネス論-1	2		
	グローバルビジネス論-2	2		
	現代北米ビジネス事情-1	2		
	現代北米ビジネス事情-2	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情-1	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情-2	2		
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	経営管理総論Ⅰ		2	
	経営管理総論Ⅱ		2	
	人材マネジメント論Ⅰ		2	
	人材マネジメント論Ⅱ		2	
	マーケティング総論Ⅰ		2	
	マーケティング総論Ⅱ		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	1		
	ビジネスイングリッシュⅡ	1		
	ビジネスイングリッシュⅢ	1		
	ビジネスイングリッシュⅣ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		1	
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅲ		1	
	ビジネス情報処理演習Ⅰ	1		
	ビジネス情報処理演習Ⅱ		1	
ビジネス情報処理演習Ⅲ		1		
専門科目 C	英語学-1	2		英語教育コース
	英語学-2	2		
	英語音声学-1	2		
	英語音声学-2	2		
	英語史-1		2	
	英語史-2		2	
	英語学特論-1		2	

第3類 (杏林大学学則)

	英語学特論 - 2		2
	英語音声学特論 - 1	2	
	英語音声学特論 - 2	2	
	英語教育論 - 1	2	
	英語教育論 - 2	2	
	児童英語教育論		2
	英米文学		2
	児童文学論		2
	社会言語学 - 1		2
	社会言語学 - 2		2
	対照言語学 - 1		2
	対照言語学 - 2		2
	認知言語学 - 1		2
	認知言語学 - 2		2
	言語獲得のメカニズム - 1		2
	言語獲得のメカニズム - 2		2
	バイリンガル教育論 - 1		2
	バイリンガル教育論 - 2		2
	英語発音聴取	1	
	英語会話	1	
	英語作文	1	
	英語文法	1	
	児童英語教育教材研究		1
	児童英語教育実習		1
	社会人英語教育法 - 1		1
	社会人英語教育法 - 2		1
	英語科教育法 - 1		2
	英語科教育法 - 2		2
専門 関連 科	比較文化論 I - 1		2
	比較文化論 I - 2		2
	比較文化論 II - 1		2
	比較文化論 II - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2

第3類 (杏林大学学則)

目	韓 国 事 情	2
A	地 域 圏 研 究 I - 1	2
	地 域 圏 研 究 I - 2	2
	地 域 圏 研 究 II - 1	2
	地 域 圏 研 究 II - 2	2
	地 域 圏 研 究 III - 1	2
	地 域 圏 研 究 III - 2	2
	地 域 圏 研 究 IV - 1	2
	地 域 圏 研 究 IV - 2	2
	地 域 圏 研 究 V - 1	2
	地 域 圏 研 究 V - 2	2
	地 域 圏 研 究 VI - 1	2
	地 域 圏 研 究 VI - 2	2
	国 際 関 係 論 I	2
	国 際 関 係 論 II	2
	経 済 原 論 I	2
	経 済 原 論 II	2
	西 洋 史 - 1	2
	西 洋 史 - 2	2
	中 国 史 - 1	2
	中 国 史 - 2	2
	日 本 史 - 1	2
	日 本 史 - 2	2
	言 語 学 - 1	2
	言 語 学 - 2	2
	言 語 と 文 化 - 1	2
	言 語 と 文 化 - 2	2
	日 中 文 化 交 流 史 - 1	2
	日 中 文 化 交 流 史 - 2	2
	日 韓 文 化 交 流 史 - 1	2
	日 韓 文 化 交 流 史 - 2	2
	神 話 学	2
	文 化 人 類 学	2
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1	2
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2	2

第3類 (杏林大学学則)

	英語総合講座 ー 1		2	
	英語総合講座 ー 2		2	
	英語特論 ー 1		2	
	英語特論 ー 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導 I ー 1	1		
	キャリア指導 I ー 2	1		
	キャリア指導 II ー 1	1		
	キャリア指導 II ー 2	1		
	ホスピタリティ実習 ー 1	1		
	ホスピタリティ実習 ー 2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語 I ー 1		1	
	ドイツ語 I ー 2		1	
	ドイツ語 II ー 1		1	
	ドイツ語 II ー 2		1	
	ドイツ語 III ー 1		1	
	ドイツ語 III ー 2		1	
	フランス語 I ー 1		1	
	フランス語 I ー 2		1	
	フランス語 II ー 1		1	
	フランス語 II ー 2		1	
	フランス語 III ー 1		1	
	フランス語 III ー 2		1	
	スペイン語 I ー 1		1	
	スペイン語 I ー 2		1	
	スペイン語 II ー 1		1	
	スペイン語 II ー 2		1	
	スペイン語 III ー 1		1	
	スペイン語 III ー 2		1	
	インドネシア語 I ー 1		1	
	インドネシア語 I ー 2		1	

第3類 (杏林大学学則)

インドネシア語Ⅱ-1	1
インドネシア語Ⅱ-2	1
インドネシア語Ⅲ-1	1
インドネシア語Ⅲ-2	1
韓国語Ⅰ-1	1
韓国語Ⅰ-2	1
韓国語Ⅱ-1	1
韓国語Ⅱ-2	1
韓国語Ⅲ-1	1
韓国語Ⅲ-2	1
情報英語Ⅰ	1
情報英語Ⅱ	1
情報中国語Ⅰ	1
情報中国語Ⅱ	1
情報日本語	1
口語英語Ⅰ-1	1
口語英語Ⅰ-2	1
口語英語Ⅱ-1	1
口語英語Ⅱ-2	1
口語英語Ⅲ-1	1
口語英語Ⅲ-2	1
口語英語Ⅳ-1	1
口語英語Ⅳ-2	1
口語英語Ⅴ-1	1
口語英語Ⅴ-2	1
中国語演習Ⅰ-1	2
中国語演習Ⅰ-2	2
中国語演習Ⅱ-1	2
中国語演習Ⅱ-2	2
中国語演習Ⅲ-1	2
中国語演習Ⅲ-2	2
中国語実習Ⅰ-1	1
中国語実習Ⅰ-2	1
中国語実習Ⅱ-1	1
中国語実習Ⅱ-2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語実習Ⅲ	-	1		1	
	中国語実習Ⅲ	-	2		1	
専門 関連 科目 C	哲学	-	1		2	
	哲学	-	2		2	
	宗教学	-	1		2	
	宗教学	-	2		2	
	歴史学	-	1		2	
	歴史学	-	2		2	
	文学	-	1		2	
	文学	-	2		2	
	音楽	-	1		2	
	音楽	-	2		2	
	本 国 憲 法			2		2
	法 学			2		2
	政治学	-	1		2	
	政治学	-	2		2	
	地理学	-	1		2	
	地理学	-	2		2	
	経済学	-	1		2	
	経済学	-	2		2	
	数学	-	1		2	
	数学	-	2		2	
	物理学	-	1		2	
	物理学	-	2		2	
	化学	-	1		2	
	化学	-	2		2	
	生物学	-	1		2	
	生物学	-	2		2	
	心理学	-	1		2	
	心理学	-	2		2	
	統計学	-	1		2	
	統計学	-	2		2	
情報処理			2		2	
体育			1		1	
体育実技	-	1			1	

第3類 (杏林大学学則)

	体 育 実 技 - 2		1	
専 科 門 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

東アジア言語学科

授 業 科 目 の 名 称						単 位 数		備 考
						必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	I	-	1	1		英語及び中国語 (留学生 は日本語から8単位選択) 必修16単位	
	英 語	I	-	2	1			
	英 語	II	-	1	1			
	英 語	II	-	2	1			
	英 語	III	-	1	1			
	英 語	III	-	2	1			
	英 語	IV	-	1	1			
	英 語	IV	-	2	1			
	中 国 語	I	-	1	1			
	中 国 語	I	-	2	1			
	中 国 語	II	-	1	1			
	中 国 語	II	-	2	1			
	中 国 語	III	-	1	1			
	中 国 語	III	-	2	1			
	中 国 語	IV	-	1	1			
	中 国 語	IV	-	2	1			
	日 本 語	I	-	1		1		
	日 本 語	I	-	2		1		
	日 本 語	II	-	1		1		
	日 本 語	II	-	2		1		
日 本 語	III	-	1		1			
日 本 語	III	-	2		1			
日 本 語	IV	-	1		1			

第3類 (杏林大学学則)

	日 本 語 IV - 2		1		
	日 本 語 V - 1		1		
	日 本 語 V - 2		1		
	日 本 語 VI - 1		1		
	日 本 語 VI - 2		1		
	日 本 語 VII - 1		1		
	日 本 語 VII - 2		1		
	インテンシブ中国語 I - 1		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修	
	インテンシブ中国語 I - 2		1		
	インテンシブ中国語 II - 1		1		
	インテンシブ中国語 II - 2		1		
	インテンシブ中国語 III - 1		1		
	インテンシブ中国語 III - 2		1		
	インテンシブ中国語 IV - 1		1		
	インテンシブ中国語 IV - 2		1		
専 門 科 目 A	日 本 文 化 論	2			
	異文化 交流 の 実 際	2			
	民 俗 学		2		
	東アジア対照言語学 - 1		2		
	東アジア対照言語学 - 2		2		
	朝鮮半島政治外交論		2		
	実務英語 - 1	1			
	実務英語 - 2	1			
	交渉英語 - 1	1			
	交渉英語 - 2	1			
	ゼミナール - 1	2			
	ゼミナール - 2	2			
	ゼミナール - 3	2			
	卒業論文・課題指導		4		
専 門 科	日本語教育概説 - 1	2		日本語教育学コース	
	日本語教育概説 - 2	2			
	日本語教授法概論 - 1	2			
	日本語教授法概論 - 2	2			
	日本語学概論 - 1	2			

第3類 (杏林大学学則)

目	日本語学概論 - 2	2	
B	日本語音声学 - 1		2
	日本語音声学 - 2		2
	日本語文法論 - 1		2
	日本語文法論 - 2		2
	日本語意味論 - 1		2
	日本語意味論 - 2		2
	日本語教材教具論		2
	試験と評価		2
	日本語語彙論		2
	日本語文字表記概説		2
	日本語史		2
	日本人の言語行動		2
	異文化理解とコミュニケーション		2
	社会言語学 - 1		2
	社会言語学 - 2		2
	対照言語学 - 1		2
	対照言語学 - 2		2
	認知言語学 - 1		2
	認知言語学 - 2		2
	言語獲得のメカニズム - 1		2
	言語獲得のメカニズム - 2		2
	バイリンガル教育論 - 1		2
	バイリンガル教育論 - 2		2
	日本語教授法演習 - 1		1
	日本語教授法演習 - 2		1
	日本語教育実習 I - 1		1
	日本語教育実習 I - 2		1
	日本語教育実習 II - 1		1
	日本語教育実習 II - 2		1
	日本語学演習 - 1	1	
	日本語学演習 - 2	1	
	日本語教育演習 - 1	1	
	日本語教育演習 - 2	1	
	中国語学概論 - 1	2	

第3類 (杏林大学学則)

専 門 科 目 C	中国語学概論－2	2		中国語ビジネスコミュニケ
	中国人のコミュニケーションスタイル-1		2	ーションコース
	中国人のコミュニケーションスタイル-2		2	
	中国語音声学－1		2	
	中国語音声学－2		2	
	中国語翻訳法－1		2	
	中国語翻訳法－2		2	
	中国語通訳法－1		2	
	中国語通訳法－2		2	
	中国の自然地理・風俗習慣	2		
	中国思想史		2	
	中国文学史		2	
	中国古典概説		2	
	日中比較文化概論		2	
	中国経済概論－1	2		
	中国経済概論－2	2		
	現代中国ビジネス事情		2	
	日中貿易論		2	
	アジア経済論		2	
	中国近現代史－1		2	
	中国近現代史－2		2	
	中国政治外交論		2	
	実用中国語演習Ⅰ		1	
	実用中国語演習Ⅱ		1	
	中国語文章表現法－1		1	
	中国語文章表現法－2		1	
	中国語聴解・討論－1		1	
	中国語聴解・討論－2		1	
	時事中国語Ⅰ－1		1	
	時事中国語Ⅰ－2		1	
	貿易中国語－1		1	
	貿易中国語－2		1	
	中国語ビジネス会話－1	1		
中国語ビジネス会話－2	1			
中国語情報処理－1	1			

第3類 (杏林大学学則)

	中国語情報処理 - 2	1	
専門 関連 科目 目 A	比較文化論 I - 1		2
	比較文化論 I - 2		2
	比較文化論 II - 1		2
	比較文化論 II - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 I - 1		2
	地域圏研究 I - 2		2
	地域圏研究 II - 1		2
	地域圏研究 II - 2		2
	地域圏研究 III - 1		2
	地域圏研究 III - 2		2
	地域圏研究 IV - 1		2
	地域圏研究 IV - 2		2
	地域圏研究 V - 1		2
	地域圏研究 V - 2		2
	地域圏研究 VI - 1		2
	地域圏研究 VI - 2		2
	国際関係論 I		2
	国際関係論 II		2
	経済原論 I		2
	経済原論 II		2
	西洋史 - 1		2
	西洋史 - 2		2
	中国史 - 1		2
	中国史 - 2		2
	日本史 - 1		2
	日本史 - 2		2
言語学 - 1		2	
言語学 - 2		2	
言語と文化 - 1		2	
言語と文化 - 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	日中文化交流史 - 1		2	
	日中文化交流史 - 2		2	
	日韓文化交流史 - 1		2	
	日韓文化交流史 - 2		2	
	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導 I - 1	1		
	キャリア指導 I - 2	1		
	キャリア指導 II - 1	1		
	キャリア指導 II - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専 門 関 連 科 目 B	ドイツ語 I - 1		1	
	ドイツ語 I - 2		1	
	ドイツ語 II - 1		1	
	ドイツ語 II - 2		1	
	ドイツ語 III - 1		1	
	ドイツ語 III - 2		1	
	フランス語 I - 1		1	
	フランス語 I - 2		1	
	フランス語 II - 1		1	
	フランス語 II - 2		1	
	フランス語 III - 1		1	
	フランス語 III - 2		1	

第3類 (杏林大学学則)

スペイン語 I - 1	1
スペイン語 I - 2	1
スペイン語 II - 1	1
スペイン語 II - 2	1
スペイン語 III - 1	1
スペイン語 III - 2	1
インドネシア語 I - 1	1
インドネシア語 I - 2	1
インドネシア語 II - 1	1
インドネシア語 II - 2	1
インドネシア語 III - 1	1
インドネシア語 III - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
情報英語 I	1
情報英語 II	1
情報中国語 I	1
情報中国語 II	1
情報日本語	1
口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1
口語英語 II - 1	1
口語英語 II - 2	1
口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1
口語英語 IV - 1	1
口語英語 IV - 2	1
口語英語 V - 1	1
口語英語 V - 2	1
中国語演習 I - 1	2
中国語演習 I - 2	2

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習Ⅱ	—	1	2
	中国語演習Ⅱ	—	2	2
	中国語演習Ⅲ	—	1	2
	中国語演習Ⅲ	—	2	2
	中国語実習Ⅰ	—	1	1
	中国語実習Ⅰ	—	2	1
	中国語実習Ⅱ	—	1	1
	中国語実習Ⅱ	—	2	1
	中国語実習Ⅲ	—	1	1
	中国語実習Ⅲ	—	2	1
専門 関連 科目 C	哲学	—	1	2
	哲学	—	2	2
	宗教学	—	1	2
	宗教学	—	2	2
	歴史学	—	1	2
	歴史学	—	2	2
	文学	—	1	2
	文学	—	2	2
	音楽	—	1	2
	音楽	—	2	2
	日本国憲法	—	2	2
	法学	—	2	2
	政治学	—	1	2
	政治学	—	2	2
	地理学	—	1	2
	地理学	—	2	2
	経済学	—	1	2
	経済学	—	2	2
	数学	—	1	2
	数学	—	2	2
物理学	—	1	2	
物理学	—	2	2	
化学	—	1	2	
化学	—	2	2	
生物	—	1	2	

第3類（杏林大学学則）

	生 物 学	-	2		2	
	心 理 学	-	1		2	
	心 理 学	-	2		2	
	統 計 学	-	1		2	
	統 計 学	-	2		2	
	情 報 処 理 論				2	
	体 育 理 論				1	
	体 育 実 技	-	1		1	
	体 育 実 技	-	2		1	
専 科 門 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目					
自 科 由 目						

応用コミュニケーション学科

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語 I	-	1	英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語 I	-	2	
	英 語 II	-	1	
	英 語 II	-	2	
	英 語 III	-	1	
	英 語 III	-	2	
	英 語 IV	-	1	
	英 語 IV	-	2	
	中 国 語 I	-	1	
	中 国 語 I	-	2	
	中 国 語 II	-	1	
	中 国 語 II	-	2	
	中 国 語 III	-	1	
	中 国 語 III	-	2	
	中 国 語 IV	-	1	

第3類 (杏林大学学則)

	中国語 IV - 2	1	
	日本語 I - 1		1
	日本語 I - 2		1
	日本語 II - 1		1
	日本語 II - 2		1
	日本語 III - 1		1
	日本語 III - 2		1
	日本語 IV - 1		1
	日本語 IV - 2		1
	日本語 V - 1		1
	日本語 V - 2		1
	日本語 VI - 1		1
	日本語 VI - 2		1
	日本語 VII - 1		1
	日本語 VII - 2		1
	インテンシブ中国語 I - 1		1
	インテンシブ中国語 I - 2		1
	インテンシブ中国語 II - 1		1
	インテンシブ中国語 II - 2		1
	インテンシブ中国語 III - 1		1
	インテンシブ中国語 III - 2		1
	インテンシブ中国語 IV - 1		1
	インテンシブ中国語 IV - 2		1
専門科目 A	応用コミュニケーション論	2	
	生活文化論 I		2
	生活文化論 II		2
	地域の伝統文化		2
	日本語表現法 - 1	2	
	日本語表現法 - 2	2	
	IT イングリッシュ	1	
	ブロードキャスト・イングリッシュ		1
	ゼミナール - 1	2	
	ゼミナール - 2	2	
ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4

第3類 (杏林大学学則)

専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		表現メディアコース
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論 I - 1		2	
	大衆文化論 I - 2		2	
	大衆文化論 II - 1		2	
	大衆文化論 II - 2		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論 - 1		2	
	印刷出版文化論 - 2		2	
	翻訳・翻案文化論		2	
	映像文化論		2	
	演劇文化論		2	
	身体表現論		2	
	空間表現論		2	
	意匠・デザイン論		2	
	情報発信特論 I		2	
	情報発信特論 II		2	
	言語芸術表現論 I		2	
	言語芸術表現論 II		2	
	言語芸術表現論 III		2	
	比較文学論		2	
	レトリック論		2	
	ファンタジー論		2	
	こころと身体のメカニズム I		2	
	こころと身体のメカニズム II		2	
	こころと身体のメカニズム III		2	
	言語芸術表現演習 I		1	
	言語芸術表現演習 II		1	
言語芸術表現演習 III		1		
クリエイティブ・コミュニケーション演習 I		1		
クリエイティブ・コミュニケーション演習 II		1		
クリエイティブ・コミュニケーション演習 III		1		
コンテンツ・デザイン実習		1		

第3類 (杏林大学学則)

	カルチャー・マネジメント実習	1	
	アドバタイズメント・デザイン実習	1	
	ライフスタイル・コーディネート実習	1	
	アーツ・セラピー実習	1	
専 門 科 目 C	観光文化論入門	2	観光文化コース
	ホスピタリティ・コミュニケーション論入門	2	
	ホスピタリティ論Ⅰ-1	2	
	ホスピタリティ論Ⅰ-2	2	
	ホスピタリティ論Ⅱ-1	2	
	ホスピタリティ論Ⅱ-2	2	
	宿泊産業概論	2	
	宿泊産業経営論	2	
	旅行産業概論	2	
	旅行産業経営論	2	
	フードビジネス概論	2	
	フードビジネス経営論	2	
	観光文化特論Ⅰ-1	2	
	観光文化特論Ⅰ-2	2	
	観光文化特論Ⅱ-1	2	
	観光文化特論Ⅱ-2	2	
	観光文化特論Ⅲ-1	2	
	観光文化特論Ⅲ-2	2	
	観光文化特論Ⅳ-1	2	
	観光文化特論Ⅳ-2	2	
	観光保健論-1	2	
	観光保健論-2	2	
	観光地理Ⅰ	2	
	観光地理Ⅱ	2	
	観光業務論Ⅰ	2	
	観光業務論Ⅱ	2	
	観光業務論Ⅲ	2	
	観光業務論Ⅳ	2	
	観光業務論Ⅴ-1	2	
	観光業務論Ⅴ-2	2	
観光業務特論Ⅰ	2		

第3類 (杏林大学学則)

	観光業務特論 II		2
	ホスピタリティ演習 - 1		1
	ホスピタリティ演習 - 2		1
	ホスピタリティ演習 - 3		1
	観光手話 - 1		1
	観光手話 - 2		1
	観光英語 - 1	1	
	観光英語 - 2	1	
	観光日本語	1	
	観光中国語	1	
	観光実習	1	
専門 関連 科目 A	比較文化論 I - 1		2
	比較文化論 I - 2		2
	比較文化論 II - 1		2
	比較文化論 II - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 I - 1		2
	地域圏研究 I - 2		2
	地域圏研究 II - 1		2
	地域圏研究 II - 2		2
	地域圏研究 III - 1		2
	地域圏研究 III - 2		2
	地域圏研究 IV - 1		2
	地域圏研究 IV - 2		2
	地域圏研究 V - 1		2
	地域圏研究 V - 2		2
	地域圏研究 VI - 1		2
	地域圏研究 VI - 2		2
国際関係論 I		2	
国際関係論 II		2	
経済原論 I		2	
経済原論 II		2	

第3類 (杏林大学学則)

西 洋 史	— 1		2	
西 洋 史	— 2		2	
中 国 史	— 1		2	
中 国 史	— 2		2	
日 本 史	— 1		2	
日 本 史	— 2		2	
言 語 学	— 1		2	
言 語 学	— 2		2	
言 語 と 文 化	— 1		2	
言 語 と 文 化	— 2		2	
日 中 文 化 交 流 史	— 1		2	
日 中 文 化 交 流 史	— 2		2	
日 韓 文 化 交 流 史	— 1		2	
日 韓 文 化 交 流 史	— 2		2	
神 話 学			2	
文 化 人 類 学			2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-1			2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-2			2	
英 語 総 合 講 座	— 1		2	
英 語 総 合 講 座	— 2		2	
英 語 特 論	— 1		2	
英 語 特 論	— 2		2	
コミュニケーション概論		2		
キャリア指導 I	— 1	1		
キャリア指導 I	— 2	1		
キャリア指導 II	— 1	1		
キャリア指導 II	— 2	1		
ホスピタリティ実習	— 1	1		
ホスピタリティ実習	— 2	1		
インターンシップ I			1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
インターンシップ II			1	
インターンシップ III			1	
インターンシップ IV			1	
ド イ ツ 語 I	— 1		1	
ド イ ツ 語 I	— 2		1	

第3類 (杏林大学学則)

専	ド	イ	ツ	語	Ⅱ	ー	1	1
門	ド	イ	ツ	語	Ⅱ	ー	2	1
関	ド	イ	ツ	語	Ⅲ	ー	1	1
連	ド	イ	ツ	語	Ⅲ	ー	2	1
科	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅰ	ー	1
目	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅰ	ー	2
B	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅱ	ー	1
	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅱ	ー	2
	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅲ	ー	1
	フ	ラ	ン	ス	語	Ⅲ	ー	2
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅰ	ー	1
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅰ	ー	2
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅱ	ー	1
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅱ	ー	2
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅲ	ー	1
	ス	ペ	イ	ン	語	Ⅲ	ー	2
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅰ
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅰ
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅱ
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅱ
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅲ
	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	語	Ⅲ
	韓	国	語	Ⅰ	ー	1	1	
	韓	国	語	Ⅰ	ー	2	1	
	韓	国	語	Ⅱ	ー	1	1	
	韓	国	語	Ⅱ	ー	2	1	
	韓	国	語	Ⅲ	ー	1	1	
	韓	国	語	Ⅲ	ー	2	1	
	情	報	英	語	Ⅰ		1	
	情	報	英	語	Ⅱ		1	
	情	報	中	国	語	Ⅰ	1	
	情	報	中	国	語	Ⅱ	1	
	情	報	日	本	語		1	
	口	語	英	語	Ⅰ	ー	1	
	口	語	英	語	Ⅰ	ー	2	

第3類 (杏林大学学則)

	口語英語	II	-	1	1
	口語英語	II	-	2	1
	口語英語	III	-	1	1
	口語英語	III	-	2	1
	口語英語	IV	-	1	1
	口語英語	IV	-	2	1
	口語英語	V	-	1	1
	口語英語	V	-	2	1
	中国語演習	I	-	1	2
	中国語演習	I	-	2	2
	中国語演習	II	-	1	2
	中国語演習	II	-	2	2
	中国語演習	III	-	1	2
	中国語演習	III	-	2	2
	中国語実習	I	-	1	1
	中国語実習	I	-	2	1
	中国語実習	II	-	1	1
	中国語実習	II	-	2	1
	中国語実習	III	-	1	1
	中国語実習	III	-	2	1
専門 関連 科目 C	哲学		-	1	2
	哲学		-	2	2
	宗教学		-	1	2
	宗教学		-	2	2
	歴史学		-	1	2
	歴史学		-	2	2
	文学		-	1	2
	文学		-	2	2
	音楽		-	1	2
	音楽		-	2	2
	日本国憲法				2
	日法政治学				2
	政治学		-	1	2
	政治学		-	2	2
地理学		-	1	2	

第3類 (吉林大学学則)

	地 理 学	-	2	2
	經 済 学	-	1	2
	經 済 学	-	2	2
	数 学	-	1	2
	数 学	-	2	2
	物 理 学	-	1	2
	物 理 学	-	2	2
	化 学	-	1	2
	化 学	-	2	2
	生 物 学	-	1	2
	生 物 学	-	2	2
	心 理 学	-	1	2
	心 理 学	-	2	2
	統 計 学	-	1	2
	統 計 学	-	2	2
	情 報 処 理			2
	体 育 理 論			1
	体 育 実 技	-	1	1
	体 育 実 技	-	2	1
専 科 門 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

第3類（杏林大学学則）

別表4-3（平成20年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称						単位数		備考
						必修	選択	
専門外国語科目	英語	I	—	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位	
	英語	I	—	2	1			
	英語	II	—	1	1			
	英語	II	—	2	1			
	英語	III	—	1	1			
	英語	III	—	2	1			
	英語	IV	—	1	1			
	英語	IV	—	2	1			
	中国語	I	—	1	1			
	中国語	I	—	2	1			
	中国語	II	—	1	1			
	中国語	II	—	2	1			
	中国語	III	—	1	1			
	中国語	III	—	2	1			
	中国語	IV	—	1	1			
	中国語	IV	—	2	1			
	日本語	I	—	1		1		
	日本語	I	—	2		1		
	日本語	II	—	1		1		
	日本語	II	—	2		1		
	日本語	III	—	1		1		
	日本語	III	—	2		1		
	日本語	IV	—	1		1		
	日本語	IV	—	2		1		
日本語	V	—	1		1			
日本語	V	—	2		1			
日本語	VI	—	1		1			
日本語	VI	—	2		1			
日本語	VII	—	1		1			
日本語	VII	—	2		1			

第3類 (杏林大学学則)

	インテンシブ中国語Ⅰ-1		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ-2		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ-1		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ-2		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ-1		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ-2		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ-1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ-2		1	
専 門 科 目 A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	英語演習Ⅰ	1		
	英語演習Ⅱ	1		
	英語演習Ⅲ	1		
	英語演習Ⅳ	1		
	現代英語講読Ⅰ-1	1		
	現代英語講読Ⅰ-2	1		
	現代英語講読Ⅱ-1		1	
	現代英語講読Ⅱ-2		1	
	英語文章表現法-1		1	
	英語文章表現法-2		1	
	英語聴解・討論-1		1	
	英語聴解・討論-2		1	
	実用英語Ⅰ		1	
	実用英語Ⅱ		1	
	実用英語Ⅲ		1	
	実用英語Ⅳ		1	
	実用英語演習Ⅰ	1		
	実用英語演習Ⅱ	1		
	実用英語演習Ⅲ	1		
実用英語演習Ⅳ	1			
マルチメディア・イングリッシュ	1			
ゼミナール-1	2			
ゼミナール-2	2			

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論-1	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	国際コミュニケーション論-2	2		
	英米文化論 - 1		2	
	英米文化論 - 2		2	
	アメリカ近現代史概説-1		2	
	アメリカ近現代史概説-2		2	
	ヨーロッパ近現代史概説-1		2	
	ヨーロッパ近現代史概説-2		2	
	グローバルビジネス論-1	2		
	グローバルビジネス論-2	2		
	現代北米ビジネス事情-1	2		
	現代北米ビジネス事情-2	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情-1	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情-2	2		
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	経営管理総論 I		2	
	経営管理総論 II		2	
	人材マネジメント論 I		2	
	人材マネジメント論 II		2	
	マーケティング総論 I		2	
	マーケティング総論 II		2	
	ビジネスイングリッシュ I	1		
	ビジネスイングリッシュ II	1		
	ビジネスイングリッシュ III	1		
	ビジネスイングリッシュ IV	1		
	ビジネスコミュニケーション演習 I	1		
	ビジネスコミュニケーション演習 II		1	
ビジネスコミュニケーション演習 III		1		
ビジネス情報処理演習 I	1			
ビジネス情報処理演習 II		1		

第3類 (杏林大学学則)

		ビジネス情報処理演習Ⅲ		1	
専 門 科 目 C	英 語 学	- 1	2		英語教育コース
	英 語 学	- 2	2		
	英 語 音 声 学	- 1	2		
	英 語 音 声 学	- 2	2		
	英 語 史	- 1		2	
	英 語 史	- 2		2	
	英 語 学 特 論	- 1		2	
	英 語 学 特 論	- 2		2	
	英 語 音 声 学 特 論	- 1	2		
	英 語 音 声 学 特 論	- 2	2		
	英 語 教 育 論	- 1	2		
	英 語 教 育 論	- 2	2		
	児 童 英 語 教 育 論			2	
	英 米 文 学			2	
	児 童 文 学 論			2	
	社 会 言 語 学	- 1		2	
	社 会 言 語 学	- 2		2	
	対 照 言 語 学	- 1		2	
	対 照 言 語 学	- 2		2	
	認 知 言 語 学	- 1		2	
	認 知 言 語 学	- 2		2	
	言語獲得のメカニズム	- 1		2	
	言語獲得のメカニズム	- 2		2	
	バイリンガル教育論	- 1		2	
	バイリンガル教育論	- 2		2	
	英 語 発 音 聴 取		1		
	英 語 会 話		1		
	英 語 作 文		1		
	英 語 文 法		1		
	児童英語教育教材研究			1	
児童英語教育実習			1		
社会人英語教育法	- 1		1		
社会人英語教育法	- 2		1		
英語科教育法	- 1		2		

第3類 (杏林大学学則)

	英語科教育法	— 2	2
専門 関連 科目 A	比較文化論 I	— 1	2
	比較文化論 I	— 2	2
	比較文化論 II	— 1	2
	比較文化論 II	— 2	2
	アメリカ社会論	— 1	2
	アメリカ社会論	— 2	2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 I	— 1	2
	地域圏研究 I	— 2	2
	地域圏研究 II	— 1	2
	地域圏研究 II	— 2	2
	地域圏研究 III	— 1	2
	地域圏研究 III	— 2	2
	地域圏研究 IV	— 1	2
	地域圏研究 IV	— 2	2
	地域圏研究 V	— 1	2
	地域圏研究 V	— 2	2
	地域圏研究 VI	— 1	2
	地域圏研究 VI	— 2	2
	国際関係論 I		2
	国際関係論 II		2
	経済原論 I		2
	経済原論 II		2
	西洋史	— 1	2
	西洋史	— 2	2
	中国史	— 1	2
	中国史	— 2	2
	日本史	— 1	2
	日本史	— 2	2
言語学	— 1	2	
言語学	— 2	2	
言語と文化	— 1	2	
言語と文化	— 2	2	

第3類 (杏林大学学則)

	日中文化交流史 - 1		2	
	日中文化交流史 - 2		2	
	日韓文化交流史 - 1		2	
	日韓文化交流史 - 2		2	
	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 I - 1	1		
	キャリア指導 I - 2	1		
	キャリア指導 II - 1	1		
	キャリア指導 II - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専 門 関 連 科 目 B	ドイツ語 I - 1		1	
	ドイツ語 I - 2		1	
	ドイツ語 II - 1		1	
	ドイツ語 II - 2		1	
	ドイツ語 III - 1		1	
	ドイツ語 III - 2		1	
	フランス語 I - 1		1	
	フランス語 I - 2		1	
	フランス語 II - 1		1	
	フランス語 II - 2		1	

第3類 (杏林大学学則)

フランス語 III - 1	1
フランス語 III - 2	1
スペイン語 I - 1	1
スペイン語 I - 2	1
スペイン語 II - 1	1
スペイン語 II - 2	1
スペイン語 III - 1	1
スペイン語 III - 2	1
インドネシア語 I - 1	1
インドネシア語 I - 2	1
インドネシア語 II - 1	1
インドネシア語 II - 2	1
インドネシア語 III - 1	1
インドネシア語 III - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
情報英語 I	1
情報英語 II	1
情報中国語 I	1
情報中国語 II	1
情報日本語	1
口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1
口語英語 II - 1	1
口語英語 II - 2	1
口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1
口語英語 IV - 1	1
口語英語 IV - 2	1
口語英語 V - 1	1
口語英語 V - 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習 I	—	1	2
	中国語演習 I	—	2	2
	中国語演習 II	—	1	2
	中国語演習 II	—	2	2
	中国語演習 III	—	1	2
	中国語演習 III	—	2	2
	中国語実習 I	—	1	1
	中国語実習 I	—	2	1
	中国語実習 II	—	1	1
	中国語実習 II	—	2	1
	中国語実習 III	—	1	1
	中国語実習 III	—	2	1
専門 関連 科目 C	哲学	—	1	2
	哲学	—	2	2
	宗教学	—	1	2
	宗教学	—	2	2
	歴史学	—	1	2
	歴史学	—	2	2
	文学	—	1	2
	文学	—	2	2
	音楽	—	1	2
	音楽	—	2	2
	日本国憲法			2
	法学			2
	政治学	—	1	2
	政治学	—	2	2
	地理学	—	1	2
	地理学	—	2	2
	経済学	—	1	2
	経済学	—	2	2
	数学	—	1	2
	数学	—	2	2
物理学	—	1	2	
物理学	—	2	2	
化学	—	1	2	

第3類 (杏林大学学則)

	化 学	—	2		2	
	生 物 学	—	1		2	
	生 物 学 学	—	2		2	
	心 理 学	—	1		2	
	心 理 学 学	—	2		2	
	統 計 学	—	1		2	
	統 計 学 学	—	2		2	
	情 報 処 理 論				2	
	体 育 理 論				1	
	体 育 実 技	—	1		1	
	体 育 実 技	—	2		1	
専 科 門 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目					
自 科 由 目						

中国語・日本語学科

	授 業 科 目 の 名 称					単 位 数		備 考
						必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	I	—	1	1		英 語 及 び 中 国 語 (留 学 生 は 日 本 語 から 8 単 位 選 択) 必 修 1 6 単 位	
	英 語	I	—	2	1			
	英 語	II	—	1	1			
	英 語	II	—	2	1			
	英 語	III	—	1	1			
	英 語	III	—	2	1			
	英 語	IV	—	1	1			
	英 語	IV	—	2	1			
	中 国 語	I	—	1	1			
	中 国 語	I	—	2	1			
	中 国 語	II	—	1	1			
	中 国 語	II	—	2	1			
	中 国 語	III	—	1	1			

第3類 (杏林大学学則)

	中国語 III - 2	1			
	中国語 IV - 1	1			
	中国語 IV - 2	1			
	日本語 I - 1		1		
	日本語 I - 2		1		
	日本語 II - 1		1		
	日本語 II - 2		1		
	日本語 III - 1		1		
	日本語 III - 2		1		
	日本語 IV - 1		1		
	日本語 IV - 2		1		
	日本語 V - 1		1		
	日本語 V - 2		1		
	日本語 VI - 1		1		
	日本語 VI - 2		1		
	日本語 VII - 1		1		
	日本語 VII - 2		1		
	インテンシブ中国語 I - 1		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修	
	インテンシブ中国語 I - 2		1		
	インテンシブ中国語 II - 1		1		
	インテンシブ中国語 II - 2		1		
	インテンシブ中国語 III - 1		1		
	インテンシブ中国語 III - 2		1		
	インテンシブ中国語 IV - 1		1		
	インテンシブ中国語 IV - 2		1		
専門科目 A	日本文化論	2			
	異文化交流の実際	2			
	民俗学		2		
	東アジア対照言語学 - 1		2		
	東アジア対照言語学 - 2		2		
	朝鮮半島政治外交論		2		
	実務英語 - 1	1			
	実務英語 - 2	1			
	交渉英語 - 1	1			
	交渉英語 - 2	1			

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	日本語教育概説 - 1	2		日本語教育学コース
	日本語教育概説 - 2	2		
	日本語教授法概論 - 1	2		
	日本語教授法概論 - 2	2		
	日本語学概論 - 1	2		
	日本語学概論 - 2	2		
	日本語音声学 - 1		2	
	日本語音声学 - 2		2	
	日本語文法論 - 1		2	
	日本語文法論 - 2		2	
	日本語意味論 - 1		2	
	日本語意味論 - 2		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
バイリンガル教育論 - 1		2		
バイリンガル教育論 - 2		2		
日本語教授法演習 - 1		1		
日本語教授法演習 - 2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	日本語教育実習Ⅰ－1		1		
	日本語教育実習Ⅰ－2		1		
	日本語教育実習Ⅱ－1		1		
	日本語教育実習Ⅱ－2		1		
	日本語学演習－1	1			
	日本語学演習－2	1			
	日本語教育演習－1	1			
	日本語教育演習－2	1			
専 門 科 目 C	中国語学概論－1	2		中国語ビジネスコミュニケ ーションコース	
	中国語学概論－2	2			
	中国人のコミュニケーションスタイル-1		2		
	中国人のコミュニケーションスタイル-2		2		
	中国語音声学－1	2			
	中国語音声学－2	2			
	中国語翻訳法－1		2		
	中国語翻訳法－2		2		
	中国語通訳法Ⅰ－1		2		
	中国語通訳法Ⅰ－2		2		
	中国語通訳法Ⅱ－1		2		
	中国語通訳法Ⅱ－2		2		
	中国の自然地理・風俗習慣	2			
	中国思想史		2		
	中国文学史－1		2		
	中国文学史－2		2		
	中国古典概説－1		2		
	中国古典概説－2		2		
	日中比較文化概論		2		
	中国経済概論－1		2		
	中国経済概論－2		2		
	現代中国ビジネス事情		2		
	日中貿易論		2		
	アジア経済論		2		
	中国近現代史－1		2		
	中国近現代史－2		2		
	中国政治外交論		2		

第3類 (杏林大学学則)

	実用中国語演習 I		1
	実用中国語演習 II		1
	中国語文章表現法 - 1		1
	中国語文章表現法 - 2		1
	中国語聴解・討論 - 1		1
	中国語聴解・討論 - 2		1
	時事中国語 - 1		1
	時事中国語 - 2		1
	貿易中国語 - 1		1
	貿易中国語 - 2		1
	中国語ビジネス会話 - 1	1	
	中国語ビジネス会話 - 2	1	
	中国語情報処理 - 1	1	
	中国語情報処理 - 2	1	
専門 関連 科目 A	比較文化論 I - 1		2
	比較文化論 I - 2		2
	比較文化論 II - 1		2
	比較文化論 II - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 I - 1		2
	地域圏研究 I - 2		2
	地域圏研究 II - 1		2
	地域圏研究 II - 2		2
	地域圏研究 III - 1		2
	地域圏研究 III - 2		2
	地域圏研究 IV - 1		2
	地域圏研究 IV - 2		2
	地域圏研究 V - 1		2
	地域圏研究 V - 2		2
	地域圏研究 VI - 1		2
	地域圏研究 VI - 2		2
国際関係論 I		2	

第3類 (杏林大学学則)

国際関係論 II		2
経済原論 I		2
経済原論 II		2
西洋史 - 1		2
西洋史 - 2		2
中国史 - 1		2
中国史 - 2		2
日本史 - 1		2
日本史 - 2		2
言語学 - 1		2
言語学 - 2		2
言語と文化 - 1		2
言語と文化 - 2		2
日中文化交流史 - 1		2
日中文化交流史 - 2		2
日韓文化交流史 - 1		2
日韓文化交流史 - 2		2
神話学		2
文化人類学		2
クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2
クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2
英語総合講座 - 1		2
英語総合講座 - 2		2
英語特論 - 1		2
英語特論 - 2		2
コミュニケーション概論	2	
基礎演習 - 1	1	
基礎演習 - 2	1	
キャリア指導 I - 1	1	
キャリア指導 I - 2	1	
キャリア指導 II - 1	1	
キャリア指導 II - 2	1	
ホスピタリティ実習 - 1	1	
ホスピタリティ実習 - 2	1	
インターンシップ I		1

第3類 (杏林大学学則)

	インターンシップ II	1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ III	1	
	インターンシップ IV	1	
専 門 関 連 科 目 B	ドイツ語 I - 1	1	
	ドイツ語 I - 2	1	
	ドイツ語 II - 1	1	
	ドイツ語 II - 2	1	
	ドイツ語 III - 1	1	
	ドイツ語 III - 2	1	
	フランス語 I - 1	1	
	フランス語 I - 2	1	
	フランス語 II - 1	1	
	フランス語 II - 2	1	
	フランス語 III - 1	1	
	フランス語 III - 2	1	
	スペイン語 I - 1	1	
	スペイン語 I - 2	1	
	スペイン語 II - 1	1	
	スペイン語 II - 2	1	
	スペイン語 III - 1	1	
	スペイン語 III - 2	1	
	インドネシア語 I - 1	1	
	インドネシア語 I - 2	1	
	インドネシア語 II - 1	1	
	インドネシア語 II - 2	1	
	インドネシア語 III - 1	1	
	インドネシア語 III - 2	1	
	韓国語 I - 1	1	
	韓国語 I - 2	1	
	韓国語 II - 1	1	
	韓国語 II - 2	1	
	韓国語 III - 1	1	
	韓国語 III - 2	1	
情報英 語 I	1		
情報英 語 II	1		

第3類 (杏林大学学則)

	情報中国語 I		1
	情報中国語 II		1
	情報日本語		1
	口語英語 I - 1		1
	口語英語 I - 2		1
	口語英語 II - 1		1
	口語英語 II - 2		1
	口語英語 III - 1		1
	口語英語 III - 2		1
	口語英語 IV - 1		1
	口語英語 IV - 2		1
	口語英語 V - 1		1
	口語英語 V - 2		1
	中国語演習 I - 1		2
	中国語演習 I - 2		2
	中国語演習 II - 1		2
	中国語演習 II - 2		2
	中国語演習 III - 1		2
	中国語演習 III - 2		2
	中国語実習 I - 1		1
	中国語実習 I - 2		1
	中国語実習 II - 1		1
	中国語実習 II - 2		1
	中国語実習 III - 1		1
	中国語実習 III - 2		1
専門 関連 科目 C	哲学 - 1		2
	哲学 - 2		2
	宗教学 - 1		2
	宗教学 - 2		2
	歴史学 - 1		2
	歴史学 - 2		2
	文学 - 1		2
	文学 - 2		2
	音楽 - 1		2
	音楽 - 2		2
	日本国憲法		2

第3類 (杏林大学学則)

	法			学		2	
	政	治	学	-	1	2	
	政	治	学	-	2	2	
	地	理	学	-	1	2	
	地	理	学	-	2	2	
	経	済	学	-	1	2	
	経	済	学	-	2	2	
	数	学		-	1	2	
	数	学		-	2	2	
	物	理	学	-	1	2	
	物	理	学	-	2	2	
	化	学		-	1	2	
	化	学		-	2	2	
	生	物	学	-	1	2	
	生	物	学	-	2	2	
	心	理	学	-	1	2	
	心	理	学	-	2	2	
	統	計	学	-	1	2	
	統	計	学	-	2	2	
	情	報	処	理		2	
	体	育	理	論		1	
	体	育	実	技	-	1	
	体	育	実	技	-	2	
専科 専門 関連 D	他学部 の 設置科目						
自由 科目							

応用コミュニケーション学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
英語 I - 1	1		英語及び中国語 (留学生)

第3類 (杏林大学学則)

専門外国語科目	英語	I	—	2	1	は日本語から8単位選択) 必修16単位	
	英語	II	—	1	1		
	英語	II	—	2	1		
	英語	III	—	1	1		
	英語	III	—	2	1		
	英語	IV	—	1	1		
	英語	IV	—	2	1		
	中国語	I	—	1	1		
	中国語	I	—	2	1		
	中国語	II	—	1	1		
	中国語	II	—	2	1		
	中国語	III	—	1	1		
	中国語	III	—	2	1		
	中国語	IV	—	1	1		
	中国語	IV	—	2	1		
	日本語	I	—	1	1		
	日本語	I	—	2	1		
	日本語	II	—	1	1		
	日本語	II	—	2	1		
	日本語	III	—	1	1		
	日本語	III	—	2	1		
	日本語	IV	—	1	1		
	日本語	IV	—	2	1		
	日本語	V	—	1	1		
	日本語	V	—	2	1		
	日本語	VI	—	1	1		
	日本語	VI	—	2	1		
	日本語	VII	—	1	1		
	日本語	VII	—	2	1		
インテンシブ中国語	I	—	1	1			
インテンシブ中国語	I	—	2	1			
インテンシブ中国語	II	—	1	1			
インテンシブ中国語	II	—	2	1			
インテンシブ中国語	III	—	1	1			
インテンシブ中国語	III	—	2	1			

第3類 (杏林大学学則)

	インテンシブ中国語Ⅳ-1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ-2		1	
専 門 科 目 A	応用コミュニケーション論	2		
	生活文化論Ⅰ		2	
	生活文化論Ⅱ		2	
	地域の伝統文化		2	
	英語演習Ⅰ-1	1		
	英語演習Ⅰ-2	1		
	英語演習Ⅱ-1	1		
	英語演習Ⅱ-2	1		
	TOEIC演習Ⅰ-1		1	
	TOEIC演習Ⅰ-2		1	
	TOEIC演習Ⅱ-1		1	
	TOEIC演習Ⅱ-2		1	
	TOEIC演習Ⅲ-1		1	
	TOEIC演習Ⅲ-2		1	
	日本語表現法-1	2		
	日本語表現法-2	2		
	ITイングリッシュ		1	
	ブロードキャスト・イングリッシュ		1	
	ゼミナール-1	2		
	ゼミナール-2	2		
ゼミナール-3	2			
卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		表現メディアコース
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論Ⅰ-1		2	
	大衆文化論Ⅰ-2		2	
	大衆文化論Ⅱ-1		2	
	大衆文化論Ⅱ-2		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論-1		2	
印刷出版文化論-2		2		

第3類 (杏林大学学則)

	翻訳・翻案文化論	2	
	映像文化論	2	
	演劇文化論	2	
	身体表現論	2	
	空間表現論	2	
	意匠・デザイン論	2	
	情報発信特論Ⅰ	2	
	情報発信特論Ⅱ	2	
	言語芸術表現論Ⅰ	2	
	言語芸術表現論Ⅱ	2	
	言語芸術表現論Ⅲ	2	
	比較文学論	2	
	レトリック論	2	
	ファンタジー論	2	
	こころと身体のメカニズムⅠ	2	
	こころと身体のメカニズムⅡ	2	
	こころと身体のメカニズムⅢ	2	
	言語芸術表現演習Ⅰ	1	
	言語芸術表現演習Ⅱ	1	
	言語芸術表現演習Ⅲ	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅰ	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅱ	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅲ	1	
	コンテンツ・デザイン実習	1	
	カルチャー・マネジメント実習	1	
	アダプタイズメント・デザイン実習	1	
	ライフスタイル・コーディネート実習	1	
	アーツ・セラピー実習	1	
専 門 科 目 C	観光文化論入門	2	観光文化コース
	ホスピタリティ・コミュニケーション論入門	2	
	ホスピタリティ論Ⅰ-1	2	
	ホスピタリティ論Ⅰ-2	2	
	ホスピタリティ論Ⅱ-1	2	
	ホスピタリティ論Ⅱ-2	2	
	宿泊産業概論	2	

第3類 (杏林大学学則)

宿泊産業経営論	2
旅行産業概論	2
旅行産業経営論	2
フードビジネス概論	2
フードビジネス経営論	2
観光文化特論Ⅰ-1	2
観光文化特論Ⅰ-2	2
観光文化特論Ⅱ-1	2
観光文化特論Ⅱ-2	2
観光文化特論Ⅲ-1	2
観光文化特論Ⅲ-2	2
観光文化特論Ⅳ-1	2
観光文化特論Ⅳ-2	2
観光保健論-1	2
観光保健論-2	2
観光地理Ⅰ	2
観光地理Ⅱ	2
観光業務論Ⅰ	2
観光業務論Ⅱ	2
観光業務論Ⅲ	2
観光業務論Ⅳ	2
観光業務論Ⅴ-1	2
観光業務論Ⅴ-2	2
観光業務特論Ⅰ	2
観光業務特論Ⅱ	2
ホスピタリティ演習-1	1
ホスピタリティ演習-2	1
ホスピタリティ演習-3	1
観光手話-1	1
観光手話-2	1
観光英語-1	1
観光英語-2	1
観光日本語	1
観光中国語	1
観光実習	1

第3類 (杏林大学学則)

専門 関 連 科 目 A	比較文化論 I - 1	2
	比較文化論 I - 2	2
	比較文化論 II - 1	2
	比較文化論 II - 2	2
	アメリカ社会論 - 1	2
	アメリカ社会論 - 2	2
	中国事情	2
	韓国事情	2
	地域圏研究 I - 1	2
	地域圏研究 I - 2	2
	地域圏研究 II - 1	2
	地域圏研究 II - 2	2
	地域圏研究 III - 1	2
	地域圏研究 III - 2	2
	地域圏研究 IV - 1	2
	地域圏研究 IV - 2	2
	地域圏研究 V - 1	2
	地域圏研究 V - 2	2
	地域圏研究 VI - 1	2
	地域圏研究 VI - 2	2
	国際関係論 I	2
	国際関係論 II	2
	経済原論 I	2
	経済原論 II	2
	西洋史 - 1	2
	西洋史 - 2	2
	中国史 - 1	2
	中国史 - 2	2
	日本史 - 1	2
	日本史 - 2	2
	言語学 - 1	2
	言語学 - 2	2
言語と文化 - 1	2	
言語と文化 - 2	2	
日中文化交流史 - 1	2	

第3類 (杏林大学学則)

	日中文化交流史 - 2		2	
	日韓文化交流史 - 1		2	
	日韓文化交流史 - 2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 I - 1	1		
	キャリア指導 I - 2	1		
	キャリア指導 II - 1	1		
	キャリア指導 II - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語 I - 1		1	
	ドイツ語 I - 2		1	
	ドイツ語 II - 1		1	
	ドイツ語 II - 2		1	
	ドイツ語 III - 1		1	
	ドイツ語 III - 2		1	
	フランス語 I - 1		1	
	フランス語 I - 2		1	
	フランス語 II - 1		1	
	フランス語 II - 2		1	
	フランス語 III - 1		1	

第3類 (杏林大学学則)

フランス語 III - 2	1
スペイン語 I - 1	1
スペイン語 I - 2	1
スペイン語 II - 1	1
スペイン語 II - 2	1
スペイン語 III - 1	1
スペイン語 III - 2	1
インドネシア語 I - 1	1
インドネシア語 I - 2	1
インドネシア語 II - 1	1
インドネシア語 II - 2	1
インドネシア語 III - 1	1
インドネシア語 III - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
情報英語 I	1
情報英語 II	1
情報中国語 I	1
情報中国語 II	1
情報日本語	1
口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1
口語英語 II - 1	1
口語英語 II - 2	1
口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1
口語英語 IV - 1	1
口語英語 IV - 2	1
口語英語 V - 1	1
口語英語 V - 2	1
中国語演習 I - 1	2

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習 I	—	2	2
	中国語演習 II	—	1	2
	中国語演習 II	—	2	2
	中国語演習 III	—	1	2
	中国語演習 III	—	2	2
	中国語実習 I	—	1	1
	中国語実習 I	—	2	1
	中国語実習 II	—	1	1
	中国語実習 II	—	2	1
	中国語実習 III	—	1	1
	中国語実習 III	—	2	1
専門 関連 科目 C	哲学	—	1	2
	哲学	—	2	2
	宗教学	—	1	2
	宗教学	—	2	2
	歴史学	—	1	2
	歴史学	—	2	2
	文学	—	1	2
	文学	—	2	2
	音楽	—	1	2
	音楽	—	2	2
	日本国憲法	—	2	2
	法学	—	2	2
	政治学	—	1	2
	政治学	—	2	2
	地理学	—	1	2
	地理学	—	2	2
	経済学	—	1	2
	経済学	—	2	2
	数学	—	1	2
	数学	—	2	2
物理学	—	1	2	
物理学	—	2	2	
化学	—	1	2	
化学	—	2	2	

第3類 (杏林大学学則)

	生 物 学	—	1		2
	生 物 学	—	2		2
	心 理 学	—	1		2
	心 理 学	—	2		2
	統 計 学	—	1		2
	統 計 学	—	2		2
	情 報 処 理				2
	体 育 理 論				1
	体 育 実 技	—	1		1
	体 育 実 技	—	2		1
専 科 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目				
自 科 目					

第3類（杏林大学学則）

別表4-4（平成22年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称					単位数		備考
					必修	選択	
専門外国語科目	英語	I	—	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語	I	—	2	1		
	英語	II	—	1	1		
	英語	II	—	2	1		
	英語	III	—	1	1		
	英語	III	—	2	1		
	英語	IV	—	1	1		
	英語	IV	—	2	1		
	中国語	I	—	1	1		
	中国語	I	—	2	1		
	中国語	II	—	1	1		
	中国語	II	—	2	1		
	中国語	III	—	1	1		
	中国語	III	—	2	1		
	中国語	IV	—	1	1		
	中国語	IV	—	2	1		
	日本語	I	—	1		1	
	日本語	I	—	2		1	
	日本語	II	—	1		1	
	日本語	II	—	2		1	
	日本語	III	—	1		1	
	日本語	III	—	2		1	
	日本語	IV	—	1		1	
	日本語	IV	—	2		1	
	日本語	V	—	1		1	
	日本語	V	—	2		1	
	日本語	VI	—	1		1	
	日本語	VI	—	2		1	
日本語	VII	—	1		1		
日本語	VII	—	2		1		

第3類（杏林大学学則）

	インテンシブ中国語Ⅰ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅰ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅱ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅲ－2		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ－2		1	
専 門 科 目 A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	英語演習Ⅰ	1		
	英語演習Ⅱ	1		
	英語演習Ⅲ	1		
	英語演習Ⅳ	1		
	現代英語講読Ⅰ－1	1		
	現代英語講読Ⅰ－2	1		
	現代英語講読Ⅱ－1		1	
	現代英語講読Ⅱ－2		1	
	英語文章表現法－1		1	
	英語文章表現法－2		1	
	英語聴解・討論－1		1	
	英語聴解・討論－2		1	
	実用英語Ⅰ		1	
	実用英語Ⅱ		1	
	実用英語Ⅲ		1	
	実用英語Ⅳ		1	
	実用英語演習Ⅰ	1		
	実用英語演習Ⅱ	1		
	実用英語演習Ⅲ	1		
実用英語演習Ⅳ	1			
マルチメディア・イングリッシュ	1			
ゼミナール－1	2			
ゼミナール－2	2			

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論-1	2		英語ビジネスコミュニケー ションコース
	国際コミュニケーション論-2	2		
	英米文化論 - 1		2	
	英米文化論 - 2		2	
	アメリカ近現代史概説-1		2	
	アメリカ近現代史概説-2		2	
	ヨーロッパ近現代史概説-1		2	
	ヨーロッパ近現代史概説-2		2	
	グローバルビジネス論-1	2		
	グローバルビジネス論-2	2		
	現代北米ビジネス事情-1	2		
	現代北米ビジネス事情-2	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情-1	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情-2	2		
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	経営管理総論 I		2	
	経営管理総論 II		2	
	人材マネジメント論 I		2	
	人材マネジメント論 II		2	
	マーケティング総論 I		2	
	マーケティング総論 II		2	
	ビジネスイングリッシュ I	1		
	ビジネスイングリッシュ II	1		
	ビジネスイングリッシュ III	1		
ビジネスイングリッシュ IV	1			
ビジネスコミュニケーション演習 I	1			
ビジネスコミュニケーション演習 II		1		
ビジネスコミュニケーション演習 III		1		
ビジネス情報処理演習 I	1			
ビジネス情報処理演習 II		1		

第3類 (杏林大学学則)

	ビジネス情報処理演習Ⅲ		1	
専 門 科 目 C	英 語 学 一 1	2		英語教育コース
	英 語 学 一 2	2		
	英 語 音 声 学 一 1	2		
	英 語 音 声 学 一 2	2		
	英 語 史 一 1		2	
	英 語 史 一 2		2	
	英 語 学 特 論 一 1		2	
	英 語 学 特 論 一 2		2	
	英 語 音 声 学 特 論 一 1	2		
	英 語 音 声 学 特 論 一 2	2		
	英 語 教 育 論 一 1	2		
	英 語 教 育 論 一 2	2		
	児 童 英 語 教 育 論		2	
	英 米 文 学		2	
	児 童 文 学 論		2	
	社 会 言 語 学 一 1		2	
	社 会 言 語 学 一 2		2	
	対 照 言 語 学 一 1		2	
	対 照 言 語 学 一 2		2	
	認 知 言 語 学 一 1		2	
	認 知 言 語 学 一 2		2	
	言語獲得のメカニズム一1		2	
	言語獲得のメカニズム一2		2	
	バイリンガル教育論一1		2	
	バイリンガル教育論一2		2	
	英 語 発 音 聴 取	1		
	英 語 会 話	1		
	英 語 作 文	1		
	英 語 文 法	1		
	児 童 英 語 教 育 教 材 研 究		1	
	児 童 英 語 教 育 実 習		1	
	社 会 人 英 語 教 育 法 一 1		1	
社 会 人 英 語 教 育 法 一 2		1		
英 語 科 教 育 法 一 1		2		

第3類 (杏林大学学則)

	英語科教育法	- 2		2
専門 関連 科目 A	比較文化論 I	- 1		2
	比較文化論 I	- 2		2
	比較文化論 II	- 1		2
	比較文化論 II	- 2		2
	アメリカ社会論	- 1		2
	アメリカ社会論	- 2		2
	中国事情			2
	韓国事情			2
	地域圏研究 I	- 1		2
	地域圏研究 I	- 2		2
	地域圏研究 II	- 1		2
	地域圏研究 II	- 2		2
	地域圏研究 III	- 1		2
	地域圏研究 III	- 2		2
	地域圏研究 IV	- 1		2
	地域圏研究 IV	- 2		2
	地域圏研究 V	- 1		2
	地域圏研究 V	- 2		2
	地域圏研究 VI	- 1		2
	地域圏研究 VI	- 2		2
	国際関係論 I			2
	国際関係論 II			2
	経済原論 I			2
	経済原論 II			2
	西洋史	- 1		2
	西洋史	- 2		2
	中国史	- 1		2
	中国史	- 2		2
	日本史	- 1		2
	日本史	- 2		2
言語学	- 1		2	
言語学	- 2		2	
言語と文化	- 1		2	
言語と文化	- 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	日中文化交流史 - 1		2	
	日中文化交流史 - 2		2	
	日韓文化交流史 - 1		2	
	日韓文化交流史 - 2		2	
	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 I - 1	1		
	キャリア指導 I - 2	1		
	キャリア指導 II - 1	1		
	キャリア指導 II - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I ~ IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専 門 関 連 科 目 B	ドイツ語 I - 1		1	
	ドイツ語 I - 2		1	
	ドイツ語 II - 1		1	
	ドイツ語 II - 2		1	
	ドイツ語 III - 1		1	
	ドイツ語 III - 2		1	
	フランス語 I - 1		1	
	フランス語 I - 2		1	
フランス語 II - 1		1		
フランス語 II - 2		1		

第3類 (杏林大学学則)

フランス語 III - 1	1
フランス語 III - 2	1
スペイン語 I - 1	1
スペイン語 I - 2	1
スペイン語 II - 1	1
スペイン語 II - 2	1
スペイン語 III - 1	1
スペイン語 III - 2	1
インドネシア語 I - 1	1
インドネシア語 I - 2	1
インドネシア語 II - 1	1
インドネシア語 II - 2	1
インドネシア語 III - 1	1
インドネシア語 III - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
情報英語 I	1
情報英語 II	1
情報中国語 I	1
情報中国語 II	1
情報日本語	1
口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1
口語英語 II - 1	1
口語英語 II - 2	1
口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1
口語英語 IV - 1	1
口語英語 IV - 2	1
口語英語 V - 1	1
口語英語 V - 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習 I - 1	2
	中国語演習 I - 2	2
	中国語演習 II - 1	2
	中国語演習 II - 2	2
	中国語演習 III - 1	2
	中国語演習 III - 2	2
	中国語実習 I - 1	1
	中国語実習 I - 2	1
	中国語実習 II - 1	1
	中国語実習 II - 2	1
	中国語実習 III - 1	1
	中国語実習 III - 2	1
専門 関連 科目 C	哲学 - 1	2
	哲学 - 2	2
	宗教学 - 1	2
	宗教学 - 2	2
	歴史学 - 1	2
	歴史学 - 2	2
	文学 - 1	2
	文学 - 2	2
	音楽 - 1	2
	音楽 - 2	2
	日本国憲法学	2
	法政治学 - 1	2
	政治学 - 2	2
	地理学 - 1	2
	地理学 - 2	2
	経済学 - 1	2
	経済学 - 2	2
	数学 - 1	2
	数学 - 2	2
	物理学 - 1	2
物理学 - 2	2	
化学 - 1	2	

第3類 (杏林大学学則)

	化学	-	2		2
	生物学	-	1		2
	生物物理学	-	2		2
	心理学	-	1		2
	心理物理学	-	2		2
	統計学	-	1		2
	統計学	-	2		2
	情報処理				2
	体育実技	-	1		1
	体育実技	-	2		1
専科 専門 関連 目D	他学部 の 設置科目				
自科 自由 目					

中国語・日本語学科

	授業科目の名称					単位数		備考
						必修	選択	
専 門 外 国 語 科 目	英語	I	-	1	1		英語及び中国語 (留学生 は日本語から8単位選択) 必修16単位	
	英語	I	-	2	1			
	英語	II	-	1	1			
	英語	II	-	2	1			
	英語	III	-	1	1			
	英語	III	-	2	1			
	英語	IV	-	1	1			
	英語	IV	-	2	1			
	中国語	I	-	1	1			
	中国語	I	-	2	1			
	中国語	II	-	1	1			
	中国語	II	-	2	1			
	中国語	III	-	1	1			

第3類 (杏林大学学則)

	中国語 III - 2	1			
	中国語 IV - 1	1			
	中国語 IV - 2	1			
	日本語 I - 1		1		
	日本語 I - 2		1		
	日本語 II - 1		1		
	日本語 II - 2		1		
	日本語 III - 1		1		
	日本語 III - 2		1		
	日本語 IV - 1		1		
	日本語 IV - 2		1		
	日本語 V - 1		1		
	日本語 V - 2		1		
	日本語 VI - 1		1		
	日本語 VI - 2		1		
	日本語 VII - 1		1		
	日本語 VII - 2		1		
	インテンシブ中国語 I - 1		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修	
	インテンシブ中国語 I - 2		1		
	インテンシブ中国語 II - 1		1		
	インテンシブ中国語 II - 2		1		
	インテンシブ中国語 III - 1		1		
	インテンシブ中国語 III - 2		1		
	インテンシブ中国語 IV - 1		1		
	インテンシブ中国語 IV - 2		1		
専門科目 A	日本文化論	2			
	異文化交流の実際	2			
	民俗学		2		
	東アジア対照言語学 - 1		2		
	東アジア対照言語学 - 2		2		
	朝鮮半島政治外交論		2		
	実務英語 - 1	1			
	実務英語 - 2	1			
	交渉英語 - 1	1			
交渉英語 - 2	1				

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専門科目 B	日本語教育概説 - 1	2	日本語教育学コース	
	日本語教育概説 - 2	2		
	日本語教授法概論 - 1	2		
	日本語教授法概論 - 2	2		
	日本語学概論 - 1	2		
	日本語学概論 - 2	2		
	日本語音声学 - 1			2
	日本語音声学 - 2			2
	日本語文法論 - 1			2
	日本語文法論 - 2			2
	日本語意味論 - 1			2
	日本語意味論 - 2			2
	日本語教材教具論			2
	試験と評価			2
	日本語語彙論			2
	日本語文字表記概説			2
	日本語史			2
	日本人の言語行動			2
	異文化理解とコミュニケーション			2
	社会言語学 - 1			2
	社会言語学 - 2			2
	対照言語学 - 1			2
	対照言語学 - 2			2
	認知言語学 - 1			2
	認知言語学 - 2			2
	言語獲得のメカニズム - 1			2
	言語獲得のメカニズム - 2			2
バイリンガル教育論 - 1		2		
バイリンガル教育論 - 2		2		
日本語教授法演習 - 1		1		
日本語教授法演習 - 2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	日本語教育実習Ⅰ－1		1	
	日本語教育実習Ⅰ－2		1	
	日本語教育実習Ⅱ－1		1	
	日本語教育実習Ⅱ－2		1	
	日本語学演習－1	1		
	日本語学演習－2	1		
	日本語教育演習－1	1		
	日本語教育演習－2	1		
専 門 科 目 C	中国語学概論－1	2		中国語ビジネスコミュニケーションコース
	中国語学概論－2	2		
	中国人のコミュニケーションスタイル－1		2	
	中国人のコミュニケーションスタイル－2		2	
	中国語音声学－1	2		
	中国語音声学－2	2		
	中国語翻訳法－1		2	
	中国語翻訳法－2		2	
	中国語通訳法Ⅰ－1		2	
	中国語通訳法Ⅰ－2		2	
	中国語通訳法Ⅱ－1		2	
	中国語通訳法Ⅱ－2		2	
	中国の自然地理・風俗習慣	2		
	中国思想史		2	
	中国文学史－1		2	
	中国文学史－2		2	
	中国古典概説－1		2	
	中国古典概説－2		2	
	日中比較文化概論		2	
	中国経済概論－1		2	
	中国経済概論－2		2	
	現代中国ビジネス事情		2	
	日中貿易論		2	
	アジア経済論		2	
	中国近現代史－1		2	
	中国近現代史－2		2	
	中国政治外交論		2	

第3類 (杏林大学学則)

	実用中国語演習 I		1
	実用中国語演習 II		1
	中国語文章表現法 - 1		1
	中国語文章表現法 - 2		1
	中国語聴解・討論 - 1		1
	中国語聴解・討論 - 2		1
	時事中国語 - 1		1
	時事中国語 - 2		1
	貿易中国語 - 1		1
	貿易中国語 - 2		1
	中国語ビジネス会話 - 1	1	
	中国語ビジネス会話 - 2	1	
	中国語情報処理 - 1	1	
	中国語情報処理 - 2	1	
専門 関連 科目 A	比較文化論 I - 1		2
	比較文化論 I - 2		2
	比較文化論 II - 1		2
	比較文化論 II - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 I - 1		2
	地域圏研究 I - 2		2
	地域圏研究 II - 1		2
	地域圏研究 II - 2		2
	地域圏研究 III - 1		2
	地域圏研究 III - 2		2
	地域圏研究 IV - 1		2
	地域圏研究 IV - 2		2
	地域圏研究 V - 1		2
	地域圏研究 V - 2		2
	地域圏研究 VI - 1		2
	地域圏研究 VI - 2		2
国際関係論 I		2	

第3類 (杏林大学学則)

国際関係論	Ⅱ		2
経済原論	Ⅰ		2
経済原論	Ⅱ		2
西洋史	—	1	2
西洋史	—	2	2
中国史	—	1	2
中国史	—	2	2
日本史	—	1	2
日本史	—	2	2
言語学	—	1	2
言語学	—	2	2
言語と文化	—	1	2
言語と文化	—	2	2
日中文化交流史	—	1	2
日中文化交流史	—	2	2
日韓文化交流史	—	1	2
日韓文化交流史	—	2	2
神話学			2
文化人類学			2
クリエイティブ・コミュニケーション論-1			2
クリエイティブ・コミュニケーション論-2			2
英語総合講座	—	1	2
英語総合講座	—	2	2
英語特論	—	1	2
英語特論	—	2	2
コミュニケーション概論		2	
基礎演習	—	1	1
基礎演習	—	2	1
キャリア指導	Ⅰ	—	1
キャリア指導	Ⅰ	—	2
キャリア指導	Ⅱ	—	1
キャリア指導	Ⅱ	—	2
ホスピタリティ実習	—	1	1
ホスピタリティ実習	—	2	1
インターンシップ	Ⅰ		1

第3類 (杏林大学学則)

	インターンシップⅡ	1	インターンシップⅠ～Ⅳ のうち1科目選択必修
	インターンシップⅢ	1	
	インターンシップⅣ	1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語Ⅰ－1	1	
	ドイツ語Ⅰ－2	1	
	ドイツ語Ⅱ－1	1	
	ドイツ語Ⅱ－2	1	
	ドイツ語Ⅲ－1	1	
	ドイツ語Ⅲ－2	1	
	フランス語Ⅰ－1	1	
	フランス語Ⅰ－2	1	
	フランス語Ⅱ－1	1	
	フランス語Ⅱ－2	1	
	フランス語Ⅲ－1	1	
	フランス語Ⅲ－2	1	
	スペイン語Ⅰ－1	1	
	スペイン語Ⅰ－2	1	
	スペイン語Ⅱ－1	1	
	スペイン語Ⅱ－2	1	
	スペイン語Ⅲ－1	1	
	スペイン語Ⅲ－2	1	
	インドネシア語Ⅰ－1	1	
	インドネシア語Ⅰ－2	1	
	インドネシア語Ⅱ－1	1	
	インドネシア語Ⅱ－2	1	
	インドネシア語Ⅲ－1	1	
	インドネシア語Ⅲ－2	1	
	韓国語Ⅰ－1	1	
	韓国語Ⅰ－2	1	
	韓国語Ⅱ－1	1	
	韓国語Ⅱ－2	1	
	韓国語Ⅲ－1	1	
韓国語Ⅲ－2	1		
情報英 語Ⅰ	1		
情報英 語Ⅱ	1		

第3類 (杏林大学学則)

	情 報 中 国 語 I		1
	情 報 中 国 語 II		1
	情 報 日 本 語		1
	口 語 英 語 I - 1		1
	口 語 英 語 I - 2		1
	口 語 英 語 II - 1		1
	口 語 英 語 II - 2		1
	口 語 英 語 III - 1		1
	口 語 英 語 III - 2		1
	口 語 英 語 IV - 1		1
	口 語 英 語 IV - 2		1
	口 語 英 語 V - 1		1
	口 語 英 語 V - 2		1
	中 国 語 演 習 I - 1		2
	中 国 語 演 習 I - 2		2
	中 国 語 演 習 II - 1		2
	中 国 語 演 習 II - 2		2
	中 国 語 演 習 III - 1		2
	中 国 語 演 習 III - 2		2
	中 国 語 実 習 I - 1		1
	中 国 語 実 習 I - 2		1
	中 国 語 実 習 II - 1		1
	中 国 語 実 習 II - 2		1
	中 国 語 実 習 III - 1		1
	中 国 語 実 習 III - 2		1
専 門 関 連 科 目 C	哲 学 - 1		2
	哲 学 - 2		2
	宗 教 学 - 1		2
	宗 教 学 - 2		2
	歴 史 学 - 1		2
	歴 史 学 - 2		2
	文 学 - 1		2
	文 学 - 2		2
	音 楽 - 1		2
	音 楽 - 2		2
	日 本 国 憲 法		2

第3類 (杏林大学学則)

	法			学		2	
	政	治	学	-	1	2	
	政	治	学	-	2	2	
	地	理	学	-	1	2	
	地	理	学	-	2	2	
	経	済	学	-	1	2	
	経	済	学	-	2	2	
	数	学		-	1	2	
	数	学		-	2	2	
	物	理	学	-	1	2	
	物	理	学	-	2	2	
	化	学		-	1	2	
	化	学		-	2	2	
	生	物	学	-	1	2	
	生	物	学	-	2	2	
	心	理	学	-	1	2	
	心	理	学	-	2	2	
	統	計	学	-	1	2	
	統	計	学	-	2	2	
	情	報	処	理		2	
	体	育	理	論		1	
	体	育	実	技	-	1	
	体	育	実	技	-	2	
専 門 関 連 D	他学部 の 設 置 科 目						
自 科 由 目							

応用コミュニケーション学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
英 語 I - 1	1		英語及び中国語 (留学生)

第3類 (杏林大学学則)

専門外国語科目	英語	I	—	2	1	は日本語から8単位選択) 必修16単位
	英語	II	—	1	1	
	英語	II	—	2	1	
	英語	III	—	1	1	
	英語	III	—	2	1	
	英語	IV	—	1	1	
	英語	IV	—	2	1	
	中国語	I	—	1	1	
	中国語	I	—	2	1	
	中国語	II	—	1	1	
	中国語	II	—	2	1	
	中国語	III	—	1	1	
	中国語	III	—	2	1	
	中国語	IV	—	1	1	
	中国語	IV	—	2	1	
	日本語	I	—	1	1	
	日本語	I	—	2	1	
	日本語	II	—	1	1	
	日本語	II	—	2	1	
	日本語	III	—	1	1	
	日本語	III	—	2	1	
	日本語	IV	—	1	1	
	日本語	IV	—	2	1	
	日本語	V	—	1	1	
	日本語	V	—	2	1	
	日本語	VI	—	1	1	
	日本語	VI	—	2	1	
	日本語	VII	—	1	1	
	日本語	VII	—	2	1	
インテンシブ中国語	I	—	1	1		
インテンシブ中国語	I	—	2	1		
インテンシブ中国語	II	—	1	1		
インテンシブ中国語	II	—	2	1		
インテンシブ中国語	III	—	1	1		
インテンシブ中国語	III	—	2	1		

第3類 (杏林大学学則)

	インテンシブ中国語Ⅳ-1		1	
	インテンシブ中国語Ⅳ-2		1	
専 門 科 目 A	メディアコミュニケーション論	2		
	生活文化とメディア		2	
	地域の伝統文化		2	
	英語演習Ⅰ-1	1		
	英語演習Ⅰ-2	1		
	英語演習Ⅱ-1	1		
	英語演習Ⅱ-2	1		
	実用英語Ⅰ-1		1	
	実用英語Ⅰ-2		1	
	実用英語Ⅱ-1		1	
	実用英語Ⅱ-2		1	
	実用英語Ⅲ-1		1	
	実用英語Ⅲ-2		1	
	日本語表現法-1	2		
	日本語表現法-2	2		
	IT イングリッシュ		1	
	ブロードキャスト・イングリッシュ		1	
	ゼミナール-1	2		
	ゼミナール-2	2		
	ゼミナール-3	2		
卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論Ⅰ-1		2	
	大衆文化論Ⅰ-2		2	
	大衆文化論Ⅱ-1		2	
	大衆文化論Ⅱ-2		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論-1		2	
印刷出版文化論-2		2		
翻訳・翻案文化論		2		

第3類 (杏林大学学則)

	映像文化論	2	
	演劇文化論	2	
	身体表現論	2	
	空間表現論	2	
	意匠・デザイン論	2	
	情報発信特論Ⅰ	2	
	情報発信特論Ⅱ	2	
	言語芸術表現論Ⅰ	2	
	言語芸術表現論Ⅱ	2	
	言語芸術表現論Ⅲ	2	
	比較文学論	2	
	レトリック論	2	
	ファンタジー論	2	
	こころと身体のメカニズムⅠ	2	
	こころと身体のメカニズムⅡ	2	
	こころと身体のメカニズムⅢ	2	
	言語芸術表現演習Ⅰ	1	
	言語芸術表現演習Ⅱ	1	
	言語芸術表現演習Ⅲ	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅰ	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅱ	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習Ⅲ	1	
	コンテンツ・デザイン実習	1	
	カルチャー・マネジメント実習	1	
	アドバタイズメント・デザイン実習	1	
	ライフスタイル・コーディネート実習	1	
	アーツ・セラピー実習	1	
専門 関 連 科 目 A	比較文化論Ⅰ-1	2	
	比較文化論Ⅰ-2	2	
	比較文化論Ⅱ-1	2	
	比較文化論Ⅱ-2	2	
	アメリカ社会論-1	2	
	アメリカ社会論-2	2	
	中国事情	2	
	韓国事情	2	

第3類 (杏林大学学則)

地域圏研究 I - 1	2
地域圏研究 I - 2	2
地域圏研究 II - 1	2
地域圏研究 II - 2	2
地域圏研究 III - 1	2
地域圏研究 III - 2	2
地域圏研究 IV - 1	2
地域圏研究 IV - 2	2
地域圏研究 V - 1	2
地域圏研究 V - 2	2
地域圏研究 VI - 1	2
地域圏研究 VI - 2	2
国際関係論 I	2
国際関係論 II	2
経済原論 I	2
経済原論 II	2
西洋史 - 1	2
西洋史 - 2	2
中国史 - 1	2
中国史 - 2	2
日本史 - 1	2
日本史 - 2	2
言語学 - 1	2
言語学 - 2	2
言語と文化 - 1	2
言語と文化 - 2	2
日中文化交流史 - 1	2
日中文化交流史 - 2	2
日韓文化交流史 - 1	2
日韓文化交流史 - 2	2
神話学	2
文化人類学	2
クリエイティブ・コミュニケーション論-1	2
クリエイティブ・コミュニケーション論-2	2
英語総合講座 - 1	2

第3類 (杏林大学学則)

	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 I - 1	1		
	キャリア指導 I - 2	1		
	キャリア指導 II - 1	1		
	キャリア指導 II - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語 I - 1		1	
	ドイツ語 I - 2		1	
	ドイツ語 II - 1		1	
	ドイツ語 II - 2		1	
	ドイツ語 III - 1		1	
	ドイツ語 III - 2		1	
	フランス語 I - 1		1	
	フランス語 I - 2		1	
	フランス語 II - 1		1	
	フランス語 II - 2		1	
	フランス語 III - 1		1	
	フランス語 III - 2		1	
	スペイン語 I - 1		1	
	スペイン語 I - 2		1	
	スペイン語 II - 1		1	
	スペイン語 II - 2		1	
	スペイン語 III - 1		1	
	スペイン語 III - 2		1	
	インドネシア語 I - 1		1	

第3類 (杏林大学学則)

インドネシア語 I - 2	1
インドネシア語 II - 1	1
インドネシア語 II - 2	1
インドネシア語 III - 1	1
インドネシア語 III - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
情報英語 I	1
情報英語 II	1
情報中国語 I	1
情報中国語 II	1
情報日本語	1
口語英語 I - 1	1
口語英語 I - 2	1
口語英語 II - 1	1
口語英語 II - 2	1
口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1
口語英語 IV - 1	1
口語英語 IV - 2	1
口語英語 V - 1	1
口語英語 V - 2	1
中国語演習 I - 1	2
中国語演習 I - 2	2
中国語演習 II - 1	2
中国語演習 II - 2	2
中国語演習 III - 1	2
中国語演習 III - 2	2
中国語実習 I - 1	1
中国語実習 I - 2	1
中国語実習 II - 1	1
中国語実習 II - 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語実習Ⅲ	—	1		1
	中国語実習Ⅲ	—	2		1
専門 関連 科目 C	哲学	—	1		2
	哲学	—	2		2
	宗教学	—	1		2
	宗教学	—	2		2
	歴史学	—	1		2
	歴史学	—	2		2
	文学	—	1		2
	文学	—	2		2
	音楽	—	1		2
	音楽	—	2		2
	日本国憲			法	2
	法学			学	2
	政治学	—	1		2
	政治学	—	2		2
	地理学	—	1		2
	地理学	—	2		2
	経済学	—	1		2
	経済学	—	2		2
	数学	—	1		2
	数学	—	2		2
	物理学	—	1		2
	物理学	—	2		2
	化学	—	1		2
	化学	—	2		2
	生物学	—	1		2
	生物学	—	2		2
	心理学	—	1		2
	心理学	—	2		2
統計学	—	1		2	
統計学	—	2		2	
情報処理			理論	2	
体育			論	1	
体育実技	—	1		1	

第3類 (杏林大学学則)

	体 育 実 技 一 二		1	
専 科 門 関 目 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

観光交流文化学科

授 業 科 目 の 名 称						単 位 数		備 考
						必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	I	一	1	1	英語及び中国語 (留学生 は日本語から8単位選択) 必修16単位		
	英 語	I	一	2	1			
	英 語	II	一	1	1			
	英 語	II	一	2	1			
	英 語	III	一	1	1			
	英 語	III	一	2	1			
	英 語	IV	一	1	1			
	英 語	IV	一	2	1			
	中 国 語	I	一	1	1			
	中 国 語	I	一	2	1			
	中 国 語	II	一	1	1			
	中 国 語	II	一	2	1			
	中 国 語	III	一	1	1			
	中 国 語	III	一	2	1			
	中 国 語	IV	一	1	1			
	中 国 語	IV	一	2	1			
	日 本 語	I	一	1			1	
	日 本 語	I	一	2			1	
	日 本 語	II	一	1			1	
	日 本 語	II	一	2			1	
日 本 語	III	一	1		1			
日 本 語	III	一	2		1			
日 本 語	IV	一	1		1			

第3類 (杏林大学学則)

	日本語 IV - 2		1	
	日本語 V - 1		1	
	日本語 V - 2		1	
	日本語 VI - 1		1	
	日本語 VI - 2		1	
	日本語 VII - 1		1	
	日本語 VII - 2		1	
	インテンシブ中国語 I - 1		1	
	インテンシブ中国語 I - 2		1	
	インテンシブ中国語 II - 1		1	
	インテンシブ中国語 II - 2		1	
	インテンシブ中国語 III - 1		1	
	インテンシブ中国語 III - 2		1	
	インテンシブ中国語 IV - 1		1	
	インテンシブ中国語 IV - 2		1	
専門科目 A	観光交流文化論	2		8単位以上
	ホスピタリティ論	2		
	国際観光論	2		
	交流文化論	2		
	異文化コミュニケーション論	2		
	サービス文化論	2		
	サービス日本語	2		
	紀行文文学論		2	
	観光メディア論		2	
	観光心理学		2	
	観光人類学		2	
	観光地理学		2	
	観光保健論		2	
	福祉観光論		2	
	観光マーケティング論		2	
	キャリアデザイン I	2		
	キャリアデザイン II	2		
	観光英語 I - 1	1		
	観光英語 I - 2	1		
	観光英語 II - 1	1		

第3類 (杏林大学学則)

	観光英語Ⅱ－2	1		観光中国語－1・2(各1単位)又は観光韓国語－1・2(各1単位)のどちらかを選択必修
	観光中国語－1		1	
	観光中国語－2		1	
	観光韓国語－1		1	
	観光韓国語－2		1	
	観光手話基礎		1	
	観光手話		1	
	実用英語－1		1	
	実用英語－2		1	
	観光基礎演習－1	1		
	観光基礎演習－2	1		
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専門科目 B	サービス産業論	2		
	航空産業論		2	
	航空サービス論		2	
	宿泊産業論		2	
	宿泊サービス論		2	
	外食産業論		2	
	外食サービス論		2	
	旅行産業論		2	
	旅行サービス論		2	
	ホスピタリティマネジメント論		2	
	観光政策・行政論		2	
	風景・景観論		2	
	イベント・コンベンション論		2	
	エンターテインメント産業論		2	
	ツアーガイド論		2	
	ブライダルコーディネート論		2	
	多摩八王子観光論		2	
	世界遺産観光論		2	
	旅行医学概論		2	
	サービス衛生論		2	
観光交流文化特論Ⅰ		2		

第3類 (杏林大学学則)

	観光交流文化特論Ⅱ	2	
	観光交流文化特論Ⅲ	2	
	観光交流文化特論Ⅳ	2	
	観光交流文化特論Ⅴ	2	
	観光交流文化特論Ⅵ	2	
専門 関連 科目 A	比較文化論Ⅰ-1	2	
	比較文化論Ⅰ-2	2	
	比較文化論Ⅱ-1	2	
	比較文化論Ⅱ-2	2	
	アメリカ社会論-1	2	
	アメリカ社会論-2	2	
	中国事情	2	
	韓国事情	2	
	地域圏研究Ⅰ-1	2	
	地域圏研究Ⅰ-2	2	
	地域圏研究Ⅱ-1	2	
	地域圏研究Ⅱ-2	2	
	地域圏研究Ⅲ-1	2	
	地域圏研究Ⅲ-2	2	
	地域圏研究Ⅳ-1	2	
	地域圏研究Ⅳ-2	2	
	地域圏研究Ⅴ-1	2	
	地域圏研究Ⅴ-2	2	
	地域圏研究Ⅵ-1	2	
	地域圏研究Ⅵ-2	2	
	国際関係論Ⅰ	2	
	国際関係論Ⅱ	2	
	経済原論Ⅰ	2	
	経済原論Ⅱ	2	
	西洋史-1	2	
	西洋史-2	2	
	中国史-1	2	
	中国史-2	2	
	日本史-1	2	
日本史-2	2		

第3類 (杏林大学学則)

	言語学 一 1		2	
	言語学 一 2		2	
	言語と文化 一 1		2	
	言語と文化 一 2		2	
	日中文化交流史 一 1		2	
	日中文化交流史 一 2		2	
	日韓文化交流史 一 1		2	
	日韓文化交流史 一 2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座 一 1		2	
	英語総合講座 一 2		2	
	英語特論 一 1		2	
	英語特論 一 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 一 1	1		
	基礎演習 一 2	1		
	キャリア指導 I 一 1	1		
	キャリア指導 I 一 2	1		
	キャリア指導 II 一 1	1		
	キャリア指導 II 一 2	1		
	ホスピタリティ実習 一 1	1		
	ホスピタリティ実習 一 2	1		
	インターンシップ I		1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップ II		1	
	インターンシップ III		1	
	インターンシップ IV		1	
専門 関連	ドイツ語 I 一 1		1	
	ドイツ語 I 一 2		1	
	ドイツ語 II 一 1		1	
	ドイツ語 II 一 2		1	
	ドイツ語 III 一 1		1	
	ドイツ語 III 一 2		1	

第3類 (杏林大学学則)

科目 B	フランス語 I - 1	1
	フランス語 I - 2	1
	フランス語 II - 1	1
	フランス語 II - 2	1
	フランス語 III - 1	1
	フランス語 III - 2	1
	スペイン語 I - 1	1
	スペイン語 I - 2	1
	スペイン語 II - 1	1
	スペイン語 II - 2	1
	スペイン語 III - 1	1
	スペイン語 III - 2	1
	インドネシア語 I - 1	1
	インドネシア語 I - 2	1
	インドネシア語 II - 1	1
	インドネシア語 II - 2	1
	インドネシア語 III - 1	1
	インドネシア語 III - 2	1
	韓国語 I - 1	1
	韓国語 I - 2	1
	韓国語 II - 1	1
	韓国語 II - 2	1
	韓国語 III - 1	1
	韓国語 III - 2	1
	情報英語 I	1
	情報英語 II	1
	情報中国語 I	1
	情報中国語 II	1
	情報日本語	1
	口語英語 I - 1	1
	口語英語 I - 2	1
	口語英語 II - 1	1
	口語英語 II - 2	1
	口語英語 III - 1	1
口語英語 III - 2	1	

第3類 (杏林大学学則)

	口 語 英 語 IV - 1	1
	口 語 英 語 IV - 2	1
	口 語 英 語 V - 1	1
	口 語 英 語 V - 2	1
	中 国 語 演 習 I - 1	2
	中 国 語 演 習 I - 2	2
	中 国 語 演 習 II - 1	2
	中 国 語 演 習 II - 2	2
	中 国 語 演 習 III - 1	2
	中 国 語 演 習 III - 2	2
	中 国 語 実 習 I - 1	1
	中 国 語 実 習 I - 2	1
	中 国 語 実 習 II - 1	1
	中 国 語 実 習 II - 2	1
	中 国 語 実 習 III - 1	1
	中 国 語 実 習 III - 2	1
專 門 関 連 科 目 C	哲 学 - 1	2
	哲 学 - 2	2
	宗 教 学 - 1	2
	宗 教 学 - 2	2
	歴 史 学 - 1	2
	歴 史 学 - 2	2
	文 学 - 1	2
	文 学 - 2	2
	音 楽 - 1	2
	音 楽 - 2	2
	日 本 国 憲 法 学	2
	法 学	2
	政 治 学 - 1	2
	政 治 学 - 2	2
	地 理 学 - 1	2
	地 理 学 - 2	2
	経 済 学 - 1	2
経 済 学 - 2	2	
数 学 - 1	2	

第3類（杏林大学学則）

	数 学	-	2		2
	物 理 学	-	1		2
	物 理 学	-	2		2
	化 学	-	1		2
	化 学	-	2		2
	生 物 学	-	1		2
	生 物 学	-	2		2
	心 理 学	-	1		2
	心 理 学	-	2		2
	統 計 学	-	1		2
	統 計 学	-	2		2
	情 報 処 理				2
	体 育 理 論				1
	体 育 実 技	-	1		1
	体 育 実 技	-	2		1
専 科 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目				
自 科 目					

第3類（杏林大学学則）

別表5-1-1

教職に関する科目構成
（平成12年度入学者から適用）

授業科目の名称	単位	備考
教職総論	2	
教育心理学	2	
教育社会学	2	
保健科教育学	2	
社会科教育学	2	
公民科教育学	2	
商業科教育学	2	
英語科教育学	2	
中国語科教育学	2	
中国語科教育学	2	
健康教育学Ⅰ（保健科指導研究Ⅰ）	2	
健康教育学Ⅱ（保健科指導研究Ⅱ）	2	
社会科・公民科指導研究Ⅰ	2	
社会科・公民科指導研究Ⅱ	2	
商業科指導研究Ⅰ	2	
商業科指導研究Ⅱ	2	
英語科指導研究Ⅰ	2	
英語科指導研究Ⅱ	2	
中国語科指導研究Ⅰ	2	
中国語科指導研究Ⅱ	2	
中国語科指導研究Ⅰ	2	
中国語科指導研究Ⅱ	2	
道徳教育の研究	2	
特別活動の研究	2	
教育工学	2	
教育測定評価法	2	
生徒指導の研究（進路指導を含む。）	2	
生徒指導の研究	2	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総合演習		
総合演習Ⅰ	2	（保健学部・外国語学部） （総合政策学部）
総合演習Ⅱ	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	2	
教育実習Ⅲ	2	
養護実習Ⅰ	1	
養護実習Ⅱ	4	

第3類（杏林大学学則）

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5-1-2

教 職 に 関 す る 科 目 構 成

（平成18年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 一 1	2	
保 健 科 教 育 法 一 2	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 一 1	2	
商 業 科 教 育 法 一 2	2	
英 語 科 教 育 法 一 1	2	
英 語 科 教 育 法 一 2	2	
健康教育学Ⅰ（保健科指導研究Ⅰ）	2	
健康教育学Ⅱ（保健科指導研究Ⅱ）	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅰ	2	
英 語 科 指 導 研 究 Ⅱ	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 工 学	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総 合 演 習	2	
教 育 実 習 Ⅰ	1	
教 育 実 習 Ⅱ	2	
教 育 実 習 Ⅲ	2	
養 護 実 習 Ⅰ	1	
養 護 実 習 Ⅱ	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得よう

第3類 (杏林大学学則)

とする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5-1-3

教 職 に 関 す る 科 目 構 成

(平成19年度入学生から適用)

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 一	2	
保 健 科 教 育 法 二	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 一	2	
商 業 科 教 育 法 二	2	
英 語 科 教 育 法 一	2	
英 語 科 教 育 法 二	2	
保 健 科 指 導 研 究 I	2	
保 健 科 指 導 研 究 II	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究 I	2	
英 語 科 指 導 研 究 II	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教 育 相 談 (カウ ン セ リ ン グ を 含 む。)	2	
総 合 演 習		
教 職 総 合 演 習	2	(保健学部)
総 合 演 習	2	(総合政策学部・外国語学部)
教 育 実 習 I	1	
教 育 実 習 II	2	
教 育 実 習 III	2	
養 護 実 習 I	1	
養 護 実 習 II	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得よう

第3類（杏林大学学則）

とする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5-2

学校図書館司書教諭講習科目構成

授 業 科 目	備 考
学校経営と学校図書館 2単位	
学校図書館メディアの構成 2単位	
学習指導と学校図書館 2単位	
読書と豊かな人間性 2単位	
情報メディアの活用 2単位	

平成17年10月 1日以前の入学生に適用する。

第3類（杏林大学学則）

別表6-1

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	2,300,000円 (年額)	1,100,000円 (年額)	600,000円 (年額)	600,000円 (年額)
実 験 実 習 費	500,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施設拡充整備費	2,000,000円 (年額)	150,000円 (年額)	250,000円 (年額)	250,000円 (年額)
教 育 充 実 費	2,500,000円			

- 1 平成8年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6-2

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	500,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 (年額)	1,100,000円 (年額)	600,000円 (年額)	600,000円 (年額)
実 験 実 習 費	1,000,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施設拡充整備費	4,000,000円 (初年度) 1,500,000円 (2年次以降)	150,000円 (年額)	250,000円 (年額)	250,000円 (年額)

- 1 平成16年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6-3

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 (年額)	1,150,000円 (年額)	720,000円 (年額)	720,000円 (年額)
実 験 実 習 費	1,000,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施 設 設 備 費	4,000,000円 (初年度) 1,500,000円 (2年次以降)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)

- 1 平成17年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6-4

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 (年額)	1,150,000円 (年額)	720,000円 (年額)	720,000円 (年額)
実 験 実 習 費	1,000,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施 設 設 備 費	4,000,000円 (初年度) 1,500,000円 (2年次以降)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)

- 1 平成20年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

ア. 設置の主旨及び必要性

[設置の母体と経緯]

本学の建学精神は「真・善・美の探究」であり、その精神を基に優れた人格を持ち、人のために尽くすことの出来る国際的な人材を育成することを教育理念としている。

その母体は、杏林学園短期大学（昭和 41 年）の開設に始まり、その後、昭和 45 年に医学部、昭和 49 年に保健学部、昭和 59 年に社会科学部（平成 14 年より総合政策学部に変更）、昭和 63 年に外国語学部を開設するに至った。

外国語学部は開設以来一貫して、外国語の習得を通じて「言葉」の持つ豊かな創造性とコミュニケーション機能の可能性を追究するとともに、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶することを目的として教育を行ってきた。

現代において、言語を用いた異文化間のコミュニケーションを支え、双方の交流促進に大きく貢献している要因のひとつとして観光が注目され、同時に交通や宿泊などの観光関連産業が発展してきた。そこで外国語学部において、平成 12 年 4 月より外国語学科に観光関連科目を設置し、平成 18 年 4 月からは応用コミュニケーション学科のコースとして、外国語の高度な運用能力およびホスピタリティ精神の表現によって涵養されるコミュニケーション力を基に、その実践と応用を通じて 21 世紀社会を担う観光関連産業の人材育成を行ってきた。

さらに、「グローバル化」という社会状況に置かれる人間文化にとって、国内外の他者との「交流」がもたらす影響は近年になって大きいものとなっている。その中でも、観光はそれが日常生活で身近な体験となったことに伴い、他者との交流を発生させる「装置」として機能することを通じて社会に新たな交流と地域文化が創造されつつある。そこでは、観光を単なる産業と捉えた上での表層的な「サービス提供者」の養成では不十分な部分が出てきている。現代における「文化現象」となりつつある観光を支える事業において必要とされる能力として、十分な語学力、教養、産業への理解に加え、「コミュニケーション力」と「ホスピタリティ」が求められている。

そこで、応用コミュニケーション学科におけるコースをより発展・充実させるため、観光を「Management」「Creation」「Entertainment」の視点から「交流」と「文化創造」の装置として再定義し、その教育内容に基づき関連産業の現場における有益な人材を輩出するため、十分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには観光関連産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習・実践的に応用できる人材の育成を目的とする「観光交流文化学科」の設置を計画するものである。

[人材の養成]

(a) 経済社会の人材需要

観光関連産業は、World Tourism Organization などの統計から、今後の国際観光客数の増加に伴い 21 世紀の世界的基幹産業となりうる産業とされている。わが国に関しては、世界有数の観光客送出国である一方、いわゆるインバウンド（訪日外国人数）とアウトバウンド（出国日本人数）との不均衡が問題とされてきた。このことを受け、政府が平成 15 年より「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を展開した結果、平成 19 年度のインバウンド数は 830 万人を突破した。また、平成 20 年 10 月には観光庁が設置され、より一層の観光立国の推進が期待されている。

その状況にあって、多くの組織体・審議会は、高度な能力を有する観光関連産業に従事する人材の養成を提唱している。例えば、平成 17 年 6 月に発表された、日本経済団体連合会の『国際観光立国に関

する提言』では、「10の提言」のひとつとして、「人材育成の推進」が挙げられている。また、小泉純一郎元総理大臣主宰の『観光立国懇談会』による平成15年4月の「観光立国懇談会報告書」、観光に関する有識者で構成された「観光立国推進戦略会議」による平成16年11月の「観光立国推進戦略会議報告書」も同様に、観光産業に従事する「人材の育成強化」を課題にしている。観光庁においても、施策のひとつとして「観光分野に関する人材の育成と活用」を挙げ、観光関連大学等における人材育成のための産学官による連携・協力体制の構築が重要であることから、「観光関係人材育成のための産学官連携検討会議」を開催している。

また、観光に関する国際機関のひとつである World Travel and Tourism Council によると、平成18年には全世界で約2億3千万人が観光関連産業に従事しているが、これは全産業人口の8.7%の規模であり、今後も従事者が増加すると予想している。

これらの流れをまとめると、今後、世界的な産業のひとつとして成長することが予想される観光事業においてわが国の国際競争力を高めるために、大学を中心とする高等教育機関における人材の育成が広く求められているといえる。このような社会からの人材要請に適切に応えることに主眼を置き、本学科では十分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力の養成とともに、観光ホスピタリティ教育による専門性の高い知識と技術の習得が可能な教育課程を設計し、観光事業の発展の一端を担うことを目指す。

(b) 本学科の人材養成目的と教育目標

上述の状況をふまえ、本学科の学位授与の方針を以下の3点に設定した。

- ①異なる社会・文化に住む人びとと士の交流がもたらす新しい価値を理解し、十分な外国語運用能力を元にそれをより一層促進させ、大きな成果を生み出す人材を養成する。
- ②観光の現代的な役割や課題を理解し、観光関連産業を通じて交流・変容する社会・文化に貢献する人材を養成する。
- ③上質なサービスと空間が作り出す価値を理解し、それを現代的な産業としての観光を通じて表現できる人材を養成する。

具体的には、国境や民族を越えた人びとの交流において、今後さらに重要な役割を果たす「観光」の分野において、その発展に貢献する人材を育成することを目的とする。その教育内容は、①学部共通課程での英語・中国語等の外国語運用能力の十分な養成、②異文化間コミュニケーションの現状理解、③観光事業の現場において求められる知識および技能、問題解決能力の習得の3点を基軸とし、理論と実践が相互に補完するよう編成する。

なお、教育上、英語において、2年修了時「TOEIC500点以上」を目標とする。

〔組織としての研究対象と学問分野〕

観光を学問対象としたこれまでの研究は、心理学や文学等による「人間行動」としての研究、経営学等による「産業論」としての研究、文化人類学・社会学・地理学等による「地域社会・文化の変容」としての研究など、さまざまな視点（ディシプリン）から複合的に行われてきたといえる。

そこで本学科は、幅広い学問分野においてテーマとして取り上げられている観光及び地域における文化的交流に関する成果を統合し、それを教育にも還元しつつ、観光関連産業の現代的側面のひとつとしての「交流文化」を中心的テーマとして取り上げて研究を行う。

イ. 学科の特色

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の提言する「高等教育の多様な機能と個性・特色

の明確化」を参照すれば、本学部学科は主要な機能7つのうち、特に「幅広い職業人養成」の機能を重点的に担うものである。

「幅広い職業人養成」としては、上述の通り、従来からの外国語学部における語学教育に基づく十分な運用能力を基礎とし、観光という異なる社会・文化に住む人びと同士の交流がもたらす価値を最大化させ、交流・変容する社会・文化に貢献することができる人材の養成、具体的には広く観光関連産業や公務員・団体職員として活躍できる職業人を養成する。

ウ. 学科の名称及び学位の名称

[学科の名称]

設置する学科の名称は、

「観光交流文化学科 (Department of Hospitality and Tourism)」

とする。

単なる「観光」ではなく、「観光交流文化」と称す理由は、観光が日常生活の中で身近な体験となったことに伴い、他者との交流を発生させる「装置」としての観光が機能することを通じて、社会に新たな交流と地域文化が創造されている現在の状況にあわせたものである。

このような状況下の大学教育においては、観光を単なる産業論として捉えて研究・教育を行うのではなく、総合的かつ現代的な「文化現象」として観光を捉え、「交流」と「文化創造」の装置として再定義する必要があると考え、本学科の名称に「観光交流文化」を冠した。

また学科英文名称は、観光教育を説明する用語として、国際的に広く用いられているものとした。

[学位の名称]

本学科が授与する学位の名称は「学士(観光交流文化学)」とする。

(英: Bachelor of Hospitality and Tourism)

エ. 教育課程の編成の考え方及び特色

[教育課程編成の考え方]

観光を軸とした学科について構想するにあたり、観光を「交流」と「文化創造」の装置として再定義し、その学位授与の方針に基づき関連産業の現場における有益な人材を輩出するため、充分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには観光関連産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習・実践的に応用できる人材の育成を目的とした。また、本学科は「Management」「Creation」「Entertainment」の3つの視点から編成した。

その上で、本学独自の教育課程の可能性として、以下の点に配慮した。

① 産業別の科目編成のみならず、現代観光にもとめられる要素別の横断的な講義

例えば、ホテルは「宿泊」産業と呼ばれていながら、実際には結婚式などの冠婚葬祭や宴会、会議などのイベントの会場として利用され、また施設内のレストランの経営も行っている。近年では、オフィスビルやファッションビルを併設して、テナント収入を得ているホテルもある。このように、観光を支える代表的な産業は、その役割を多様化させており、それを分析する視点も多岐にわたる。こうした観光産業の現代的かつ多様なあり方も視座に入れた形で研究・教育を行う。

② 理論と実践を通じた体系的な観光の「理解」

特に観光教育においては、これまでのような理論を中心とした教育や一部に実習を取り入れたような教育から、理論と実践を境目なく学生が理解し身につけることが重要であり、本学科の教育課程もその

点を重視して編成している。具体的には、後述するインターンシップ科目や実習科目の充実に加え、産業別や学問体系別などの教育する側の都合での展開ではなく、観光の実際に立脚した、学生や一般の人びとの経験に近い形での展開をしていく。

本学の礎である保健学部と医学部では、社会的要請の高い実学として、研究・理論と技術・技能を分けることなく、一人の人格がそれらを統合した形で身につける教育を実践してきたが、本学科もそれを踏襲するものである。

③ 観光研究・教育の新たな視点としての「Well・Being」

本学科における教育上の特徴を示すもう1つの概念として「ホスピタリティ」がある。ホスピタリティは教育が扱うべきテーマかどうか、教育が可能な分野かどうかについては諸説があるが、本学では、保健学部、医学部、医学部付属病院を通じてホスピタリティを教育の中で扱ってきた。この取り組みは「よりよく生きるための環境を提供する」という観光の使命と重ね合わせることができ、これまでの観光教育・研究では正面から取り扱われることのなかった「Well・Being」という新しい分野を観光交流学科では切り開けると考えている。具体的な科目として、専門科目A「観光保健論」「福祉観光論」、専門科目B「旅行医学概論」「サービス衛生論」を配置した。

以上の3点において、観光交流文化学科が本学のこれまでの実績と経験を、観光教育の中で活かすことを通じて、社会から求められる人材の育成がより可能になる。

[教育課程編成の体系性の確保]

具体的には、本学科は以下に示す専門科目群の編成により教育課程の体系性を確保する。

なお、現代における「文化現象」となりつつある観光を支える事業において必要とされる十分な語学力、教養、産業への理解、「コミュニケーション力」と「ホスピタリティ」の修得が本学科の目的であるが、その教育内容の質を確保するためには、適切な少人数での学生に目が行き届く指導が重要である。そこで、とりわけ後述する専門外国語科目、専門科目A・Bにおけるゼミナール・演習系科目、専門関連科目Aにおける「社会人基礎力」の養成を目的とした科目については少人数教室での運営を行う。

また、本学科が属する外国語学部では、学習目標とその達成プロセスを明示することで、学生に授業に対する緊張感を持たせるため、また、4月入学生と10月入学生双方において教育課程の体系性を確保し学習効果を向上させるため、セメスター制を導入しており、本学科もそれを踏襲する。また、セメスター制の効果を最大化するためにセメスターごとに履修登録させ、時間割を決定させる。

① 専門外国語科目（学部共通）

本学科は外国語学部に属しており、かつ観光関連産業において高度な語学力が要請されている現状を鑑みて、語学教育を重視する。現在の世界的な観光客のフローも視野に入れ、1～2年次において、英語・中国語の双方（留学生は英語・日本語）を必修科目として履修させる。2年間の学習を前提として、学生は3年次以降に集中的に観光関係の科目群（専門科目A・B）を履修することとなる。

また、外国語科目履修を前提とし、海外留学についても促進していく。留学については、これまでの協定校（観光関係ではSingapore International Hotel and Tourism Collegeとの協定が結ばれている）への派遣を中心に進めていく。現地での単位履修については、本学の規定に基づき、卒業単位として認定する。

② 専門科目A

教養教育科目と並行して、観光文化交流に関わる諸活動に参加する上で、必要とされる基礎知識・技術を、主として1～2年次に履修させることを通じて、観光に関する視野を広げ、3年次以降のより詳細な専門科目の学習につなげていく。導入としては、観光全般、「交流文化」という視点、観光の場面における交流文化、異文化理解、観光を学ぶ上での基礎的なディシプリン、企業経営などに関する基礎的

学識を学ぶ。

その中でも本学科の学生が共通して理解しておくべき分野である、語学科目、観光交流文化論、ホスピタリティ論、異文化コミュニケーション論、サービス文化論、サービス日本語、キャリアデザインについては、学科の全学生の必修とした。また、ディシプリンに関わる科目は学生自身の関心分野に応じ、選択必修としている。

また、本学科の特徴である少人数教室での運営による多角的な視点での観光の学習については、2年次の「観光基礎演習」、3～4年次の「卒業論文・課題指導」で行い、これらの科目はいずれも学科全学生必修とする。

③ 専門科目 B

「専門科目 B」は、学科が対象とする分野の関連産業とその現代的な課題、国・政府の政策および関連法規、大学が立地する地域、研究・調査方法などの理解を目的とした科目である。専門科目 A での学習成果を有機的に結びつける内容となるよう配慮し、科目群を編成している。

④ 専門関連科目 A・C

基礎教養の補完、社会倫理の養成、IT 指導、そして就業意識の向上のための学部共通科目である。今後の観光関連事業を支える人材に求められる基礎的教養を広く涵養することを目的とする。

また、本学科の目的のひとつである「幅広い職業人養成」の達成を進めるため、専門関連科目 A に、プレゼンテーション能力の向上を目的とする「基礎演習」、就業意識の涵養を目的とする「キャリア指導」、社会における各自の心を表現する実践的スキルを確立させる「ホスピタリティ実習」を設置し、学科所属学生全員の必修科目としている。

また、観光関連企業における「インターンシップ」を重要視し、事前指導・2週間程度の企業実習・成果報告書(日誌)の提出と担当教員との意見交換・事後指導・成績評価という一連の流れで実施する。

⑤ 専門関連科目 B

より高度な語学力を養成するための科目で、英語と中国語の応用的科目を1年次以上から履修できるようにし、また必修としていないドイツ語、フランス語、インドネシア語、韓国語の各言語についても2年次・3年次向けに科目を配置する。

[10月入学の設定について]

本学科では、留学生を主たる対象とし、母国の学校制度も考慮して10月入学の設定を行う。10月入学時期の定員設定は若干名とし、入試要綱によって決定する。

なお、前述の通り本学では Semester 制度を導入しており、1学期で完結する講義によるカリキュラムを編成しているため、教育課程の体系性・教員の負担などの教育体制は、4月入学同様の形で確保可能である。加えて、入学時に各学生と教員が面談を行い、履修について適正な指導を行うこととする。

オ 教員組織の編成の考え方及び特色

[教員組織編成の基本的考え方]

本学科の教員組織について、設置の趣旨や学部学科の特色、教育課程の編成の考え方及び特色などをふまえ、学科の目標を達成するのに必要かつ最適な編成を行う。

- ① 本学科は、学科に設置される「専門科目A」35科目のうち29科目（約83%）、「専門科目B」26科目のうち20科目（約77%）を専任教員が担当する。特に「専門科目A」の講義形式の必修科目はすべて教授が担当する。また、ゼミナール、基礎演習などの演習形式の必修科目は、すべて専任教員が担当する。
- ② 兼任・兼任教員が担当する科目を含めたカリキュラム全体についても、学科の目標達成に向けて専任教員が管理運営を行う。
- ③ 観光・ホスピタリティ関連分野の研究において成果のある研究者とともに、関連産業の実務経験者を専任教員として配置し、既述のような特色を持つカリキュラムが効果的かつ効率的に展開されるように配慮する。
- ④ 「専門科目A」および「専門科目B」の兼任・兼任教員については、当該分野において十分な学識を有する人材を採用することはもちろんのこと、関連産業において豊富な経験を有する人材についても採用する。
- ⑤ 本学では、教授の定年を満65歳と定めている。新学科の完成年度以前に定年に達する教授が2名存在する。

[中核的科目・必修科目への教員配置]

本学科は、科目区分「専門科目A」「専門科目B」の必修科目を中核的科目とし、専任教員を中心に配置する。また、科目区分「専門関連科目A」の必修科目についても専任教員を配置する。これらの科目を専任教員が担当することによって、カリキュラム全体の調整や各科目間の連携が可能になる。

① 科目区分「専門外国語科目」

本学科が属する外国語学部では、必修の外国語として英語と中国語の2言語を設定している。また、それぞれについて独自に開発した教材および教授法があり、学部で統一的に展開している。本学科の「専門外国語科目」の必修科目「英語Ⅰ－1」～「英語Ⅳ－2」および「中国語Ⅰ－1」～「中国語Ⅳ－2」についても同様に展開し、各言語を専門とする他学科の専任教員の管理運営のもとで兼任・兼任教員が担当する。

「専門科目A」の英語系科目との連携を深めるために、各言語を専門とする同学部他学科の専任教員との調整を適宜行い、観光・ホスピタリティ分野の産業で求められる外国語運用能力の獲得を目指す。

② 科目区分「専門科目A」「専門科目B」

人文科学分野に関連が深い中核的科目は、文学を専門の研究領域とする教授、歴史学を専門の研究領域とする教授、文化人類学を専門の研究領域とする教授が中心となって担当する。同じく社会科学分野に関連が深い中核的科目は、観光・ホスピタリティ分野の経営学やマーケティング論、社会学を専門の研究領域とする教授、准教授、講師が中心となって担当する。各教員は、それぞれの科目に関連する学位（修士号または博士号）、またはそれに相当する実務経験を有する。

既述のように、「専門科目A」の必修科目は中核的科目に位置づけている。そのため、講義形式の科目は教授職の専任教員が担当する。また、演習形式の必修科目「観光基礎演習－1～2」および「ゼミナール－1～3」は教授職を含む複数の専任教員が担当する。さらに、「ゼミナール1～3」に関連の深い「卒業論文・課題指導」も教授職を含む複数の専任教員が担当する。

「専門科目B」は、学科が対象とする分野の関連産業とその現代的な課題、国・政府の政策および関

連法規、大学が立地する地域、研究・調査方法などの理解を目的とした科目である。当該科目が対象とする分野の研究・実務に精通した専任教員および兼任・兼任教員が担当する。

③ 科目区分「専門関連科目A」、「専門関連科目B」および「専門関連科目C」

科目区分「専門関連科目A」、「専門関連科目B」および「専門関連科目C」は、基礎教養の補完、社会倫理の養成、IT指導、そして就業意識の向上のための学部共通科目である。当該科目が対象とする分野の研究・実務に精通した専任教員および兼任・兼任教員が担当する。

学生一人ひとりの就業意識を高めキャリア形成を助ける諸科目（「基礎演習」、「キャリア指導」、「ホスピタリティ実習」など）と国際人に欠かせない知識と教養を身に付けるための諸科目（「比較文化論」、「地域圏研究」などの講義科目、ならびに「フランス語」、「インドネシア語」などの演習科目）を配置し、特に、1、2年次の必修科目である「基礎演習」・「キャリア指導」・「ホスピタリティ実習」では、すべて専任教員による少人数クラスで基礎教養の補完、IT指導、そして就業意識の向上を図る。

[教員組織の年齢構成]

教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がないように、教員組織の年齢構成について次のように配慮する。

本学科設置時、60歳代の教授が2名、50歳代の教授が4名、40歳代の教授が2名、30歳代の准教授が2名、30歳代の講師が1名の構成である。それぞれ、文学、社会学、観光学、保健学等の分野で教育研究または実務での実績を有している。なお、既述のように、本学では教授の定年を満65歳と定めていて、新学科の完成年度以前に教授2名が定年に達する。

よって学科の完成時にもその構成を維持することが可能である。さらにそれ以降に定年退職者等がある場合には、教育研究に支障がないように、また適切な年齢構成となるように当該分野の専任教員を補充する。

カ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

[教育方法]

まず、学部全体の教育目標を達成するために、次のような教育方法を徹底する。

- 語学・演習授業における、少人数クラス編成
- クラス担任、ゼミナール担当教員による学習指導
- 厳格な成績評価
- 教育効果向上のための教育改善

語学・演習授業においては、少人数クラス編成を徹底する。とりわけ、1・2年次必修の「英語」「中国語」「日本語」（留学生のみ）「基礎演習」「キャリア指導」では、習熟度別の少人数クラス編成を行う。

授業形態としては、通常の授業、集中講義、「インターンシップ」や海外研修などの事前・事後指導の授業と現場・現地での実習・研修を組み合わせた授業を展開する。

また、平成17年の「杏林学園中長期改革委員会の提言」に基づき、学部のIT化、マルチメディア化されたコンピュータ室、LL教室、同時通訳用ブースなどを利用した授業を行う。同様に、全教室に整備されたビデオDVDなどのAV機器、PC・プロジェクター、LANコンセント、無線LANを積極的に活用する。

さらに、遠隔授業については、「口語英語」の授業の一部でイギリスの学校とのあいだで実施するもので、ネット回線を利用し、学部教員とイギリス人教員の二人でチームティーチングを行うという独自の授業方法を採用する。

既述のような教育目標を実現するには、従来のキャンパスおよび教室内で理論を中心とした講義形式

とともに、それを学生が主体的かつ経験的に理解する実践的な教育法・指導法の導入が必要である。

すでに述べたように、本学科には関連分野の研究において成果のある研究者教員のみならず、関連産業での豊富な実務経験を持つ教員を配置する。実践的な教育法・指導法として、前者が研究・調査の方法論を指導し、後者が具体的な事象・産業を対象にして視察や見学、調査などを実施するといった形態によって実現する。

[配当年次]

配当年次については、教育目標の達成のため、次のような方針で設定する。

「専門外国語科目」は、英語および中国語（外国人留学生は日本語）の基礎的な科目であるため、1年次および2年次に配置する。

「専門科目A」の各科目については、観光・ホスピタリティ分野の基礎的科目、当該分野の教育研究活動を支える基幹科目のため、概論的な科目や基礎的な科目は1年次および2年次に、応用的な科目は2年次以降に配置する。

「専門科目B」の各科目については、観光・ホスピタリティ分野の産業とその機能・役割の理解に関連した科目のため、概要と基本となる業務に関する科目は2年次に、現代的業務や課題については3年次以降に配置する。また、卒業論文執筆に関連する科目は4年次に配置する。

「専門関連科目A」の各科目については、学部共通で必修の基盤科目は1年次と2年次に、そのほか外国語教育に関連の深い科目を同じく1年次と2年次に配置する。

「専門関連科目B」の各科目については、英語と中国語の応用的科目は1年次以上、それ以外の外国語科目は2年次・3年次に配置する。

「専門関連科目C」の各科目については、教養的科目のため、3年次に配置する。

[履修指導]

入学時のオリエンテーションをはじめ、各学期開始時にオリエンテーション期間を設け、履修に関するガイダンスと個別履修相談を実施する。また、留学からの帰国学生、留年者、外国人留学生については、別に個別履修指導を実施し学習支援を行う。「履修案内」「簡易版シラバス」「学生ハンドブック」「時間割表」など履修に必要な冊子・書類は全学生に配布するとともに、平成18年度から導入されたWEB履修システム「Universal Passport」でいつでも関連する情報を確認できるようにする。

第1学期（第1セメスター）から第4学期（第4セメスター）次にはクラス担任が、第5学期（第5セメスター）から第8学期次（第8セメスター）にはゼミナール担当教員が、履修相談をはじめ個人的な悩みや進路相談にあたる。また、各専任教員はオフィスアワーを週1回以上設けて学生に対応する。

[卒業要件]

授業科目は、講義科目と演習科目からなり、「学則」第25条および「大学設置基準」第6章第21条の定めに従い、講義科目については週1時間15週の授業をもって1単位とし、演習科目については、週2時間15週の授業をもって1単位とする。「インターンシップ」については、教室での事前・事後指導と実際の研修をあわせて1単位を与える。

必修科目58単位、専門科目Aの観光心理学、観光人類学、観光地理学、観光保健論、福祉観光論、観光マーケティング論から8単位、観光中国語－1・2(各1単位)又は観光韓国語－1・2(各1単位)のどちらか2単位、専門関連科目AのインターンシップI～IVのうち1単位以上を修得し、124単位以上を修得しなければならない。

専門外国語科目は、英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択）必修16単位とする。

1 学期の履修科目の登録の上限を 24 単位とする。

科目区分	配当単位数	卒業要件単位数		総合計
		必修	選択	
専門外国語科目	38	16	55	—
専門科目 A	58	40(選択必修含む)		—
専門科目 B	52	2		—
専門関連科目 A	106	11(選択必修含む)		—
専門関連科目 B	63	—		—
専門関連科目 C	65	—		—
専門関連科目 D	—	—		—
計	382	69(選択必修含む)	55	124

注①：専門関連科目 D は他学部設置科目であり、配当単位数の総計には含めていない。

ク 入学者選抜の概要

入学者選抜は、学部の入試審議委員会や教授会で決定した入試制度をもとに、学部の担当委員会および全学的な入試委員会においてその方法を企画・立案する。それに基づき、全教職員協力のもと、進学相談会、オープンキャンパス、高校訪問などを実施し、その周知を図る。また、大学・学部案内のパンフレットや募集要項は、希望者はもちろん、主要な高校や予備校、さらには日本語学校や海外の学校等にも送付する。同時に、大学のホームページにおいても公表する。

外国語の習得を通じて、「言葉」の持つ豊かな創造性とコミュニケーション機能の可能性を追求するとともに、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶するという学部の理念・目的、既述のような学科の学位授与、教育課程編成の方針に則し、一定の知識水準に達し、観光・ホスピタリティ、外国語、外国文化に対する知的好奇心や豊かな創造力（想像力）を有する多様なタイプの人材を求めため、言語能力と学習意欲を測ることを基礎とした多様な選抜方法の入試を実施する。

1) 4月入学

- ① 一般入試（大学試験および「大学入試センター試験」利用）
- ② 推薦入試（公募制、資格取得者制、指定校制）
- ③ AO 入試
- ④ 外国人留学生・社会人入学・帰国子女入試

2) 10月入学（外国人留学生対象）

全学組織である入学センターと連携し、次のような体制で入学者選抜を実施する。

学部内に、学部長、各委員会委員長、学科責任者からなる入試審議委員会を設置し、基本方針の策定など入学者選抜に関する基本的なことがらを審議すると同時に、合否判定の原案を作成する。

入試問題作成については、学部長からの推薦をもとに学長から入試問題作成委員を委嘱する。作成委員が過年度入試データをもとに、その難易度、出題範囲、高校教科書の点検をした上で作成する。また、それをチェックする委員を指名し、入試問題の適切性を検証する。

また、AO 入試については、数名の専任教員が担当し、課題の添削指導および面接等を実施し、その結果を総合的に検討して合否を判定する。

入試の実施にあたっては、学部入試委員会が中心となって実施態勢を組み、全専任教員が試験監督、面接などの業務にあたる。また、選抜基準の透明性を確保するために、推薦入試や AO 入試ではその出

願資格を「募集要項」などに明示し、面接や添削指導についても複数の教員が担当することで判定の客観性を確保する。一般入試についても配点などを公表し、さらに過年度入試の最高点・最低点などの情報や入試問題なども公表する。

[科目等履修生]

本学科では、開かれた大学と生涯教育の場を提供するために、科目等履修生、聴講生を受け入れる。科目等履修生制度は、本学・本学科で授業が聴講できるだけでなく、単位の認定も行う。聴講生制度については、単位の認定は行わない。

募集定員はそれぞれ若干名とし、出願資格は高等学校を卒業または、学校教育法施行規則第 69 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者とする。選考方法は、科目等履修生、聴講生ともに書類審査と面接によって審査する。

シ 編入学定員

本学科は、3年次に編入学生を受け入れる。入学定員は3名とする。出願に当たっては、本学が定める要件を満たしていることを求める。また、編入学生の選抜にあたっては、既述の1年次入学者選抜に準じた体制で実施し、筆記試験や面接試験などを行う。

観光・ホスピタリティ、外国語、外国文化に対する知的好奇心や豊かな創造力（想像力）を有する多様なタイプの人材を求めるため、言語能力と学習意欲を測ることを基礎とした多様な選抜方法の入試を実施する。一般の編入学生のほか、協定校、外国人留学生、社会人を対象とした試験を実施する。

[既修得単位の認定方法]

編入学時に、原則として既修得単位のうち 62 単位を一括して認定する。卒業要件は、4 学期以上在籍し、62 単位以上を修得することとする。

[履修指導]

入学時のオリエンテーションをはじめ、各学期開始時にオリエンテーション期間を設け、履修に関するガイダンスと個別履修相談を実施する。「履修案内」「簡易版シラバス」「学生ハンドブック」「時間割表」など履修に必要な冊子・書類は全学生に配布するとともに、平成 18 年度から導入された WEB 履修システム「Universal Passport」でいつでも関連する情報を確認できるようにする。

[教育上の配慮]

編入学生については、これまでの学修歴などの事情を配慮しながら個別履修指導等を実施し学習支援を行う。第 5 学期から第 8 学期次にはゼミナール担当教員が、履修相談をはじめ個人的な悩みや進路相談にあたる。また、各専任教員はオフィスアワーを週 1 回以上設けて学生に対応する。

テ 情報の提供

学部および学科の理念・目的は大学案内、ホームページ、さらに学生に配布する「履修案内」に掲載し周知を図っている。カリキュラム、シラバス、学則や履修規程等の諸規定については、ホームページや「履修案内」で情報を提供している。専任教員のプロフィールは、ホームページや独立行政法人科学技術振興機構の ReaD に、研究成果や教育活動については、独立行政法人科学技術振興機構の ReaD および年一回刊行する「杏林大学外国語学部紀要」「杏林大学の現況」に掲載している。

定員、学生数、教員数等の大学の基本的な情報については、ホームページや「杏林大学の現況」に掲

載し、周知を図っている。自己点検報告書は、「杏林大学の現況」、大学基準協会の認証評価受審のための「杏林大学の点検・評価報告書」を冊子にまとめ公表するとともに、ホームページにも公開している。また、財務情報については、杏林学園会報「あんず」、ホームページで公開している。

設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況報告書については、学園本部で個人情報に関する部分を除いて閲覧できる。なお、本届出書については、設置の趣旨、科目表などを中心に大学ホームページで公開する予定である。

ト 教員の資質の維持向上の方策

学生による授業評価アンケートを各学期末に実施し、教員の授業改善に活用している。また、外部評価者を招いてFDに関するシンポジウムや講演会を実施し、教員の参加を義務づけている。さらに、学部内研究会「Academia」は、研究発表部門と教育開発部門からなり、教育改善のための研修の場となっている。さらに2年間の施行期間を経て、平成21年度より教員評価制度が全学的に導入され、教員の資質の維持向上をはかることになっている。

(添付資料)

1. 1年次入学生用「履修モデル」(総取得単位 124 単位の場合)

[観光産業で活躍する人材]

学年	科目	科目名	必修選択	単位数
	区分			
1年次				
1前	専門外国語科目	英語Ⅰ-1	必修	1
1後	専門外国語科目	英語Ⅰ-2	必修	1
1前	専門外国語科目	英語Ⅱ-1	必修	1
1後	専門外国語科目	英語Ⅱ-2	必修	1
1前	専門外国語科目	中国語Ⅰ-1	必修	1
1後	専門外国語科目	中国語Ⅰ-2	必修	1
1前	専門外国語科目	中国語Ⅱ-1	必修	1
1後	専門外国語科目	中国語Ⅱ-2	必修	1
1前	専門科目A	観光交流文化論	必修	2
1後	専門科目A	ホスピタリティ論	必修	2
1前	専門科目A	国際観光論	必修	2
1前	専門科目A	観光英語Ⅰ-1	必修	1
1後	専門科目A	観光英語Ⅰ-2	必修	1
1後	専門科目B	サービス産業論	必修	2
1前	専門関連科目A	コミュニケーション概論	必修	2
1前	専門関連科目A	基礎演習-1	必修	1
1後	専門関連科目A	基礎演習-2	必修	1
1前	専門関連科目A	ホスピタリティ実習-1	必修	1
1後	専門関連科目A	ホスピタリティ実習-2	必修	1
1前	専門関連科目A	中国事情	選択	2
1後	専門関連科目A	韓国事情	選択	2
1前	専門関連科目A	地域圏研究Ⅰ-1	選択	2
1後	専門関連科目A	地域圏研究Ⅰ-2	選択	2
1前	専門関連科目A	経済原論Ⅰ	選択	2
1後	専門関連科目A	経済原論Ⅱ	選択	2
2年次				
2前	専門外国語科目	英語Ⅲ-1	必修	1
2後	専門外国語科目	英語Ⅲ-2	必修	1
2前	専門外国語科目	英語Ⅳ-1	必修	1
2後	専門外国語科目	英語Ⅳ-2	必修	1
2前	専門外国語科目	中国語Ⅲ-1	必修	1
2後	専門外国語科目	中国語Ⅲ-2	必修	1
2前	専門外国語科目	中国語Ⅳ-1	必修	1
2後	専門外国語科目	中国語Ⅳ-2	必修	1

2前	専門科目A	交流文化論	必修	2
2後	専門科目A	異文化コミュニケーション論	必修	2
2前	専門科目A	サービス文化論	必修	2
2後	専門科目A	サービス日本語	必修	2
2前	専門科目A	観光心理学	選択必修	2
2後	専門科目A	福祉観光論	選択必修	2
2後	専門科目A	キャリアデザインI	必修	2
2前	専門科目A	観光英語Ⅱ-1	必修	1
2後	専門科目A	観光英語Ⅱ-2	必修	1
2前	専門科目A	観光基礎演習-1	必修	1
2後	専門科目A	観光基礎演習-2	必修	1
2前	専門科目A	観光手話基礎	選択	2
2前	専門科目B	宿泊産業論	選択	2
2後	専門科目B	宿泊サービス論	選択	2
2前	専門関連科目A	キャリア指導Ⅰ-1	必修	1
2後	専門関連科目A	キャリア指導Ⅰ-2	必修	1
2前	専門関連科目A	インターンシップⅠ	選択必修	1
3年次				
3前	専門科目A	観光地理学	選択必修	2
3前	専門科目A	観光マーケティング論	選択必修	2
3前	専門科目A	観光中国語-1	選択必修	1
3後	専門科目A	観光中国語-2	選択必修	1
3前	専門科目A	ゼミナール-1	必修	2
3後	専門科目A	ゼミナール-2	必修	2
3前	専門科目B	外食産業論	選択	2
3後	専門科目B	外食サービス論	選択	2
3前	専門科目B	イベント・コンベンション論	選択	2
3後	専門科目B	エンターテインメント産業論	選択	2
3後	専門科目B	ブライダルコーディネート論	選択	2
3前	専門科目B	世界遺産観光論	選択	2
3後	専門科目B	サービス衛生論	選択	2
3前	専門科目B	観光交流文化特論Ⅰ	選択	2
3後	専門科目B	観光交流文化特論Ⅱ	選択	2
3前	専門関連科目A	キャリア指導Ⅱ-1	必修	1
3後	専門関連科目A	キャリア指導Ⅱ-2	必修	1
3前	専門関連科目A	インターンシップⅡ	選択必修	1
3前	専門関連科目C	韓国語Ⅰ-1	選択	1
3後	専門関連科目C	韓国語Ⅰ-2	選択	1
3前	専門関連科目C	韓国語Ⅱ-1	選択	1
3後	専門関連科目C	韓国語Ⅱ-2	選択	1

4年次				
4前	専門科目A	ゼミナールー3	必修	2
4通	専門科目A	卒業論文・課題指導	選択	4
4前	専門科目A	観光韓国語ー1	選択必修	1
4後	専門科目A	観光韓国語ー2	選択必修	1
4前	専門科目B	観光交流文化特論Ⅲ	選択	2
4後	専門科目B	観光交流文化特論Ⅳ	選択	2
4前	専門科目B	観光交流文化特論Ⅴ	選択	2
4後	専門科目B	観光交流文化特論Ⅵ	選択	2
4前	専門関連科目C	韓国語Ⅲー1	選択	1
4後	専門関連科目C	韓国語Ⅲー2	選択	1

※「卒業論文・課題指導」は4前に履修登録し、通年に渡って指導する。

[国際交流で活躍する人材]

学年	科目	科目名	必修選択	単位数
	区分			
1年次				
1前	専門外国語科目	英語Ⅰー1	必修	1
1後	専門外国語科目	英語Ⅰー2	必修	1
1前	専門外国語科目	英語Ⅱー1	必修	1
1後	専門外国語科目	英語Ⅱー2	必修	1
1前	専門外国語科目	中国語Ⅰー1	必修	1
1後	専門外国語科目	中国語Ⅰー2	必修	1
1前	専門外国語科目	中国語Ⅱー1	必修	1
1後	専門外国語科目	中国語Ⅱー2	必修	1
1前	専門科目A	観光交流文化論	必修	2
1後	専門科目A	ホスピタリティ論	必修	2
1前	専門科目A	国際観光論	必修	2
1前	専門科目A	観光英語Ⅰー1	必修	1
1後	専門科目A	観光英語Ⅰー2	必修	1
1後	専門科目B	サービス産業論	必修	2
1前	専門関連科目A	コミュニケーション概論	必修	2
1前	専門関連科目A	基礎演習ー1	必修	1
1後	専門関連科目A	基礎演習ー2	必修	1
1前	専門関連科目A	ホスピタリティ実習ー1	必修	1
1後	専門関連科目A	ホスピタリティ実習ー2	必修	1
1前	専門関連科目A	比較文化論Ⅰー1	選択	2
1後	専門関連科目A	比較文化論Ⅰー2		2
1前	専門関連科目A	地域圏研究Ⅰー1	選択	2
1後	専門関連科目A	地域圏研究Ⅰー2	選択	2

1 前	専門関連科目 A	神話学	選択	2
1 後	専門関連科目 A	文化人類学	選択	2
2 年次				
2 前	専門外国語科目	英語Ⅲ-1	必修	1
2 後	専門外国語科目	英語Ⅲ-2	必修	1
2 前	専門外国語科目	英語Ⅳ-1	必修	1
2 後	専門外国語科目	英語Ⅳ-2	必修	1
2 前	専門外国語科目	中国語Ⅲ-1	必修	1
2 後	専門外国語科目	中国語Ⅲ-2	必修	1
2 前	専門外国語科目	中国語Ⅳ-1	必修	1
2 後	専門外国語科目	中国語Ⅳ-2	必修	1
2 前	専門科目 A	交流文化論	必修	2
2 後	専門科目 A	異文化コミュニケーション論	必修	2
2 前	専門科目 A	サービス文化論	必修	2
2 後	専門科目 A	サービス日本語	必修	2
2 前	専門科目 A	観光心理学	選択必修	2
2 後	専門科目 A	観光人類学	選択必修	2
2 後	専門科目 A	キャリアデザイン I	必修	2
2 前	専門科目 A	観光英語Ⅱ-1	必修	1
2 後	専門科目 A	観光英語Ⅱ-2	必修	1
2 前	専門科目 A	観光基礎演習-1	必修	1
2 後	専門科目 A	観光基礎演習-2	必修	1
2 前	専門科目 A	観光手話基礎	選択	2
2 前	専門関連科目 A	言語と文化-1	選択	2
2 後	専門関連科目 A	言語と文化-2	選択	2
2 前	専門関連科目 A	キャリア指導Ⅰ-1	必修	1
2 後	専門関連科目 A	キャリア指導Ⅰ-2	必修	1
2 前	専門関連科目 A	言語と文化-1	選択	2
2 後	専門関連科目 A	言語と文化-2	選択	2
2 前	専門関連科目 A	インターンシップ I	選択必修	1
3 年次				
3 前	専門科目 A	紀行文学論	選択	2
3 後	専門科目 A	観光メディア論	選択	2
3 前	専門科目 A	観光地理学	選択必修	2
3 前	専門科目 A	福祉観光論	選択必修	2
3 前	専門科目 A	観光中国語-1	選択必修	1
3 後	専門科目 A	観光中国語-2	選択必修	1
3 前	専門科目 A	ゼミナール-1	必修	2
3 後	専門科目 A	ゼミナール-2	必修	2
3 前	専門科目 B	ツアーガイド論	選択	2

3 後	専門科目 B	多摩八王子観光論	選択	2
3 前	専門科目 B	世界遺産観光論	選択	2
3 後	専門科目 B	エンターテインメント産業論	選択	2
3 前	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅰ	選択	2
3 後	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅱ	選択	2
3 前	専門関連科目 A	キャリア指導Ⅱ-1	必修	1
3 後	専門関連科目 A	キャリア指導Ⅱ-2	必修	1
3 前	専門関連科目 A	インターンシップⅡ	選択必修	1
4 年次				
4 前	専門科目 A	ゼミナール-3	必修	2
4 通	専門科目 A	卒業論文・課題指導	選択	4
4 前	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅲ	選択	2
4 後	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅳ	選択	2
4 前	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅴ	選択	2
4 前	専門関連科目 A	地域圏研究Ⅳ-1	選択	2
4 後	専門関連科目 A	地域圏研究Ⅳ-2	選択	2
4 前	専門関連科目 C	宗教学-1	選択	2
4 後	専門関連科目 C	宗教学-2	選択	2

※「卒業論文・課題指導」は 4 前に履修登録し、通年に渡って指導する。

2. 編入学生用「履修モデル」（総取得単位 124 単位の場合 ※うち 62 単位は入学時に認定済み）

〔観光産業で活躍する人材〕

学年	科目	科目名	必修選択	単位数
	区分			
3 年次				
3 前	専門科目 A	観光交流文化論	選択	2
3 後	専門科目 A	ホスピタリティ論	選択	2
3 前	専門科目 A	国際観光論	選択	2
3 後	専門科目 A	サービス日本語	選択	2
3 前	専門科目 A	観光地理学	選択必修	2
3 前	専門科目 A	観光マーケティング論	選択必修	2
3 前	専門科目 A	観光中国語-1	選択必修	1
3 後	専門科目 A	観光中国語-2	選択必修	1
3 前	専門科目 A	ゼミナール-1	必修	2
3 後	専門科目 A	ゼミナール-2	必修	2
3 後	専門科目 B	サービス産業論	選択	2
3 後	専門科目 B	プライダグコーディネート論	選択	2
3 前	専門科目 B	世界遺産観光論	選択	2
3 後	専門科目 B	サービス衛生論	選択	2
3 前	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅰ	選択	2

3 後	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅱ	選択	2
3 前	専門関連科目 A	キャリア指導Ⅱ－1	必修	1
3 後	専門関連科目 A	キャリア指導Ⅱ－2	必修	1
3 前	専門関連科目 C	韓国語Ⅰ－1	選択	1
3 後	専門関連科目 C	韓国語Ⅰ－2	選択	1
3 前	専門関連科目 C	韓国語Ⅱ－1	選択	1
3 後	専門関連科目 C	韓国語Ⅱ－2	選択	1
4 年次				
4 前	専門科目 A	ゼミナール－3	必修	2
4 通	専門科目 A	卒業論文・課題指導	選択	4
4 前	専門科目 A	観光韓国語－1	選択必修	1
4 後	専門科目 A	観光韓国語－2	選択必修	1
4 前	専門科目 B	外食産業論	選択	2
4 後	専門科目 B	外食サービス論	選択	2
4 前	専門科目 B	イベント・コンベンション論	選択	2
4 後	専門科目 B	エンターテインメント産業論	選択	2
4 前	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅲ	選択	2
4 後	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅳ	選択	2
4 前	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅴ	選択	2
4 後	専門科目 B	観光交流文化特論Ⅵ	選択	2
4 前	専門関連科目 C	韓国語Ⅲ－1	選択	1
4 後	専門関連科目 C	韓国語Ⅲ－2	選択	1

※「卒業論文・課題指導」は4前に履修登録し、通年に渡って指導する。

[国際交流で活躍する人材]

学年	科目	科目名	必修選択	単位数
	区分			
3 年次				
3 前	専門科目 A	観光交流文化論	選択	2
3 後	専門科目 A	ホスピタリティ論	選択	2
3 前	専門科目 A	国際観光論	選択	2
3 前	専門科目 A	紀行文学論	選択	2
3 後	専門科目 A	観光メディア論	選択	2
3 前	専門科目 A	観光地理学	選択必修	2
3 前	専門科目 A	福祉観光論	選択必修	2
3 前	専門科目 A	観光中国語－1	選択必修	1
3 後	専門科目 A	観光中国語－2	選択必修	1
3 前	専門科目 A	ゼミナール－1	必修	2
3 後	専門科目 A	ゼミナール－2	必修	2
3 後	専門科目 B	サービス産業論	必修	2

3 前	専門科目 B	ツアーガイド論	選択	2
3 後	専門科目 B	多摩八王子観光論	選択	2
3 前	専門科目 B	観光交流文化特論 I	選択	2
3 後	専門科目 B	観光交流文化特論 II	選択	2
3 前	専門関連科目 A	キャリア指導 II-1	必修	1
3 後	専門関連科目 A	キャリア指導 II-2	必修	1
4 年次				
4 前	専門科目 A	観光心理学	選択	2
4 後	専門科目 A	観光人類学	選択必修	2
4 前	専門科目 A	ゼミナール-3	必修	2
4 通	専門科目 A	卒業論文・課題指導	選択	4
4 前	専門科目 B	世界遺産観光論	選択	2
4 後	専門科目 B	エンターテインメント産業論	選択	2
4 前	専門科目 B	観光交流文化特論 III	選択	2
4 後	専門科目 B	観光交流文化特論 IV	選択	2
4 前	専門科目 B	観光交流文化特論 V	選択	2
4 後	専門関連科目 A	文化人類学	選択	2
4 前	専門関連科目 A	地域圏研究 IV-1	選択	2
4 後	専門関連科目 A	地域圏研究 IV-2	選択	2
4 前	専門関連科目 C	宗教学-1	選択	2
4 後	専門関連科目 C	宗教学-2	選択	2

※「卒業論文・課題指導」は 4 前に履修登録し、通年に渡って指導する。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月) (任期)
	学 長	カガトシコ 長澤 俊彦 (平成22年4月)		医学博士		杏林大学長 (平10.4) (~平22.3.31) ※改選予定

教 員 の 氏 名 等												
(外国語学部観光交流文化学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の 従事する 担当たり平均 日 数
1	専	教授 (学部長)	アカイ タカオ 赤井 孝雄 <平成22年4月>		文学 修士		英語Ⅳ-1 英語Ⅳ-2 観光英語Ⅰ-1 観光英語Ⅰ-2 観光英語Ⅱ-1 観光英語Ⅱ-2	1前 1後 1前 1後 2前 2後	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 教授 (平成21年4月)	4 日
2	専	教授	イワサキ キミオ 岩崎 公生 <平成22年4月>		文学士		基礎演習-1 基礎演習-2 ホスピタリティ実習-1 ホスピタリティ実習-2	1前 1後 1前 1後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 教授 (平成18年4月)	4 日
3	専	教授	キザキ エイジ 木崎 英司 <平成22年4月>		修士 (経営学)		観光交流文化論 ホスピタリティ論 国際観光論 観光基礎演習-1 観光基礎演習-2 ゼミナール-1 ゼミナール-2 ゼミナール-3 卒業論文・課題指導 キャリア指導Ⅰ-1 キャリア指導Ⅰ-2 ホスピタリティ実習-1 ホスピタリティ実習-2 インターンシップⅠ	1前 1後 1前 2前 2後 3前 3後 4前 4通 2前 2後 1前 1後 2前	2 2 2 1 1 2 2 2 4 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 講師 (平成18年4月)	4 日
4	専	教授	コヤマ サブロー 小山 三郎 <平成22年4月>		法学 博士		紀行文学論 観光メディア論 観光中国語-1 観光中国語-2 比較文化論Ⅰ-1 比較文化論Ⅰ-2 地域圏研究Ⅰ-1 地域圏研究Ⅰ-2 キャリア指導Ⅱ-1 キャリア指導Ⅱ-2 インターンシップⅢ インターンシップⅣ	3前 3後 3前 3後 1前 1後 1前 1後 3前 3後 2前 2後	2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 講師 (平成21年4月)	4 日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 相当日数 平均日数
5	専	教授	スギタ ユキコ 杉田 由紀子 <平成22年4月>		修士※ (社会学)		異文化コミュニケーション論 サービス文化論 サービス日本語 観光基礎演習-1 観光基礎演習-2 ゼミナール-1 ゼミナール-2 ゼミナール-3 卒業論文・課題指導 航空産業論 航空サービス論 旅行産業論 ブライダルコーディネート論 キャリア指導I-1 キャリア指導I-2	2後 2前 2後 2前 2後 3前 3後 4前 4通 2前 2後 2前 3後 2前 2後	2 2 2 1 1 2 2 2 4 2 2 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 講師 (平成21年4月)	4 日
6	専	教授	デジマ ヤスシ 出嶋 靖志 <平成22年4月>		博士 (保健学)		観光保健論 福祉観光論 旅行医学概論 サービス衛生論	2前 2後 3前 3後	2 2 2 2	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 講師 (平成21年4月)	4 日
7	専	教授	トリオ カンジ 鳥尾 克二 <平成22年4月>		教育 学士		基礎演習-1 基礎演習-2 ホスピタリティ実習-1 ホスピタリティ実習-2	1前 1後 1前 1後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 教授 (平成18年4月)	4 日
8	専	教授	ホンダ ヒロユキ 本田 弘之 <平成22年4月>		修士 (芸術)		交流文化論 観光人類学 観光交流文化特論Ⅲ 言語と文化-1	2前 2後 4前 1前	2 2 2 2	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 講師 (平成21年4月)	4 日
9	専	准教授	ノグチ ヨウヘイ 野口 洋平 <平成22年4月>		修士※ (観光学)		観光マーケティング論 キャリアデザインI キャリアデザインII 観光基礎演習-1 観光基礎演習-2 ゼミナール-1 ゼミナール-2 ゼミナール-3 卒業論文・課題指導 サービス産業論 宿泊産業論 宿泊サービス論 旅行サービス論 ホスピタリティマネジメント論 観光交流文化特論IV 基礎演習-1 基礎演習-2	2前 2後 3前 2前 2後 3前 3後 4前 4通 1後 2前 2後 2後 2後 2後 4前 1前 1後	2 2 2 1 1 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 講師 (平成18年4月)	4 日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 位 数	当 年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等 の職務に 従事する 週当たり平 均 日 数
10	専	准教授	フルモト ヤスユキ 古本 泰之 <平成22年4月>		修士※ (観光学)		観光地理学 観光基礎演習-1 観光基礎演習-2 ゼミナール-1 ゼミナール-2 ゼミナール-3 卒業論文・課題指導 観光政策・行政論 風景・景観論 多摩八王子観光論 基礎演習-1 基礎演習-2 インターンシップⅡ	2前 2前 2後 3前 3後 4前 4通 3前 3後 3後 1前 1後 2後	2 1 1 2 2 2 4 2 2 2 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 准教授 (平成21年4月)	4 日
11	専	講師	イデ タクロウ 井手 拓郎 <平成22年4月>		修士 (観光学)		観光心理学 観光基礎演習-1 観光基礎演習-2 ゼミナール-1 ゼミナール-2 ゼミナール-3 卒業論文・課題指導 イベント・コンベンション論 エンターテインメント産業論 観光交流文化特論Ⅴ 観光交流文化特論Ⅵ 基礎演習-1 基礎演習-2 インターンシップⅡ	2前 2前 2後 3前 3後 4前 4通 3前 3後 4前 4後 1前 1後 2後	2 1 1 2 2 2 4 2 2 2 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	株式会社アーバン・コミュ ニケーションズ (平成16年4月)	4 日
12	兼担	教授	エド ジュンコ 江戸 淳子 <平成22年4月>		Ph.D. philosophy (泰州)		地域圏研究Ⅵ-1 地域圏研究Ⅵ-2 文化人類学 情報英語Ⅰ 情報英語Ⅱ	1前 1後 1後 1前 2後	2 2 2 1 1	1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 英語学科 教授 (平成18年4月)	
13	兼担	教授	イマイズミ キイチ 今泉 喜一 <平成22年4月>		博士 (学術)		日本語Ⅴ-1 日本語Ⅴ-2	1前 1後	3 3	3 3	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 教授 (平成18年4月)	
14	兼担	教授	キンダイチ ヒデホ 金田一 秀徳 <平成22年4月>		文学 修士		日本語Ⅵ-1 日本語Ⅵ-2	1前 1後	3 3	3 3	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 教授 (平成18年4月)	
15	兼担	教授	クサバ ユタカ 草場 裕 <平成22年4月>		文学 修士※		言語と文化-2	1後	2	1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 教授 (平成18年4月)	

調番 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係る 大学等に 従事する 従事日数
16	兼担	教授	セン ミツエ 詹 満江 <平成22年4月>		博士 (文学)		中国語Ⅱ-1 中国語Ⅱ-2 インテンシブ中国語Ⅱ-1 インテンシブ中国語Ⅱ-2	1前 1後 1前 1後	3 3 1 1	3 3 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 教授 (平成18年4月)	
17	兼担	教授	タマムラ ヨシオ 玉村 禎郎 <平成22年4月>		文学 修士※		日本語Ⅳ-1 日本語Ⅳ-2	1前 1後	3 3	3 3	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 教授 (平成18年4月)	
18	兼担	教授	ツカモト ヒロ 塚本 尋 <平成22年4月>		文学 修士		中国語Ⅳ-1 中国語Ⅳ-2 インテンシブ中国語Ⅰ-1 インテンシブ中国語Ⅰ-2	1前 1後 1前 1後	3 3 1 1	3 3 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 教授 (平成18年4月)	
19	兼担	教授	クスヤ シゲトシ 楠家 重敏 <平成22年4月>		文学 修士※		比較文化論Ⅱ-1 比較文化論Ⅱ-2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 教授 (平成18年4月)	
20	兼担	教授	ハセガワ ヒロコ 長谷川 弘子 <平成22年4月>		修士※ (文学)		ドイツ語Ⅰ-1 ドイツ語Ⅰ-2 ドイツ語Ⅲ-1 ドイツ語Ⅲ-2 文学-1 文学-2	2前 2後 3前 3後 3前 3後	2 2 1 1 4 4	2 2 1 1 2 2	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 教授 (平成21年4月)	
21	兼担	教授	カワスミ イワオ 川澄 岩雄 <平成22年4月>		工学 博士		物理学-1 物理学-2	3前 3後	2 2	1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成3年4月)	
22	兼担	教授	ウマダ ケイイチ 馬田 啓一 <平成22年4月>		経済学修 士※		経済学-1 経済学-2	3前 3後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 総合政策学科 教授 (平成4年4月)	
23	兼担	教授	ニシ タカシ 西 孝 <平成22年4月>		経済学修 士※		経済原論Ⅰ 経済原論Ⅱ	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 総合政策学科 教授 (平成13年4月)	
24	兼担	准教授	イワモト カズヨシ 岩本 和良 <平成22年4月>		M.A.※ Teaching English to Speakers of Other Languages (未団)		口語英語Ⅱ-1 口語英語Ⅱ-2	1前 1後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 英語学科 准教授 (平成21年4月)	
25	兼担	准教授	クラバヤシ ヒデオ 倉林 秀男 <平成22年4月>		M.A.※ Applied Linguistics (愛州)		英語Ⅱ-1 英語Ⅱ-2 口語英語Ⅲ-1 口語英語Ⅲ-2	1前 1後 1前 1後	3 3 1 1	3 3 1 1	杏林大学外国語学部 英語学科 准教授 (平成21年4月)	

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係る の職務に 相当する 平均日数
26	兼担	准教授	タカギ マサコ 高木 真佐子 <平成22年4月>		修士※ (文学)		英語IV-1 英語IV-2 実用英語-1 実用英語-2 口語英語IV-1 口語英語IV-2	1前 1後 3前 3後 1前 1後	2 2 1 1 1 1	2 2 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 英語学科 准教授 (平成18年4月)	
27	兼担	准教授	イアン ランバート IAN B.M. LAMBERT <平成22年4月>		M.A. Applied Linguistics (英国)		クリエイティブ・コミュニケーション論-1 クリエイティブ・コミュニケーション論-2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 准教授 (平成21年4月)	
28	兼担	准教授	ヒラオカ アツシ 平岡 厚 <平成22年4月>		理学 博士		化学-1 化学-2	3前 3後	2 2	1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成19年4月)	
29	兼担	准教授	イトウ アツシ 伊藤 教司 <平成22年4月>		法学 修士※		法学	3前	4	2	杏林大学総合政策学部 企業経営学科 准教授 (平成15年4月)	
30	兼担	准教授	イワグマ ミチヒロ 岩隈 道洋 <平成22年4月>		修士※ (法学)		日本国憲法	3後	4	2	杏林大学総合政策学部 企業経営学科 准教授 (平成21年4月)	
31	兼担	准教授	クボ マサヒコ 久保 雅彦 <平成22年4月>		工学 修士		数学-1 数学-2 統計学-1 統計学-2	3前 3後 3前 3後	4 4 4 4	2 2 2 2	杏林大学総合政策学部 企業経営学科 准教授 (平成16年4月)	
32	兼担	講師	ヤギハシ ヒロシ 八木橋 宏男 <平成22年4月>		修士※ (文学)		コミュニケーション概論 口語英語V-1 口語英語V-2	1前 1前 1後	2 1 1	1 1 1	杏林大学外国語学部 英語学科 講師 (平成21年4月)	
33	兼担	講師	タガワ ヨウコ 田川 洋子 <平成22年4月>		博士 (文学)		日本語II-1 日本語II-2	1前 1後	3 3	3 3	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 講師 (平成18年4月)	
34	兼担	講師	チノ マリコ 千野 万里子 <平成22年4月>		修士 (学術)		中国語I-1 中国語I-2 中国語実習II-1 中国語実習II-2 中国語実習III-1 中国語実習III-2	1前 1後 1前 1後 1前 1後	3 3 1 1 1 1	3 3 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 講師 (平成18年4月)	

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 位 数	当 年 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり平 均 日 数
35	兼任	講師	チヨン ヨンスク 鄭 英淑 <平成22年4月>		博士 (文学)		観光韓国語-1 観光韓国語-2 韓国事情 地域圏研究Ⅱ-1 地域圏研究Ⅱ-2 日韓文化交流史-1 日韓文化交流史-2 韓国語Ⅰ-1 韓国語Ⅰ-2	3前 3後 1後 1前 1後 1前 1後 2前 2後	1 1 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 2 2	吉林大学外国語学部 中国語・日本語学科 講師 (平成18年4月)	
36	兼任	講師	ハシモト ミドリ 橋本 みどり <平成22年4月>		西洋史学 修士		日本語Ⅲ-1 日本語Ⅲ-2	1前 1後	3 3	3 3	吉林大学外国語学部 中国語・日本語学科 講師 (平成19年4月)	
37	兼任	講師	ミヤクビ ヒロコ 宮首 弘子 <平成22年4月>		文学士		中国語Ⅲ-1 中国語Ⅲ-2 中国語実習Ⅰ-1 中国語実習Ⅰ-2	1前 1後 1前 1後	3 3 1 1	3 3 1 1	吉林大学外国語学部 中国語・日本語学科 講師 (平成19年4月)	
38	兼任	講師	マツイ トモコ 松井 知子 <平成22年4月>		博士 (保健学)		心理学-1 心理学-2	3前 3後	4 4	2 2	吉林大学保健学部 健康福祉学科 講師 (平成21年4月)	
39	兼任	講師	マツモト セイジ 松本 誠治 <平成22年4月>		理学士		生物学-1 生物学-2	3前 3後	2 2	1 1	吉林大学保健学部 臨床検査技術学科 講師 (平成2年4月)	
40	兼任	助教	タカハシ ムネヨシ 高橋 宗良 <平成22年4月>		修士 (教育学)		体育実技-1 体育実技-2	1前 1後	2 2	2 2	吉林大学保健学部 救急救命学科 助教 (平成19年4月)	
41	兼任	講師	イタバシ タカコ 板橋 貴子 <平成22年4月>		修士 (日本語 教育学)		日本語Ⅰ-1 日本語Ⅰ-2	1前 1後	3 3	3 3	吉林大学外国語学部 兼任講師 (平18.10)	
42	兼任	講師	イワサキ アケミ 岩崎 明美 <平成22年4月>		文学士		観光手話基礎 観光手話 観光交流文化特論Ⅰ 観光交流文化特論Ⅱ	2前 2後 3前 3後	1 1 2 2	1 1 1 1	有限会社 Rock Point 代表取締役 (平成15年5月)	
43	兼任	講師	ウチダ サトル 内田 論 <平成22年4月>		修士 (学術)		英語Ⅰ-1 英語Ⅰ-2	1前 1後	3 3	3 3	吉林大学外国語学部 兼任講師 (平20.4)	
44	兼任	講師	エンドウ ヌウスケ 遠藤 祐介 <平成22年4月>		修士※ (文学)		日中文化交流史-1 日中文化交流史-2	1前 1後	2 2	1 1	吉林大学外国語学部 兼任講師 (平19.4)	

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり平 均 日 数
45	兼任	講師	オウ トシアキ 王 利彰 <平成22年4月>		法学士		外食産業論 外食サービス論	2前 2後	2 2	1 1	有限会社 清晃 代表取締役 (平成4年7月)	
46	兼任	講師	オグラ ヒデタカ 小倉 英敬 <平成22年4月>		文学 修士※		地域圏研究Ⅳ-1 地域圏研究Ⅳ-2 国際関係論Ⅰ 国際関係論Ⅱ スペイン語Ⅲ-1 スペイン語Ⅲ-2	1前 1後 1前 1後 3前 3後	2 2 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1	常盤会学園大学 教授 (平成18年4月)	
47	兼任	講師	カ ウケイ 夏 宇継 <平成22年4月>		文学士		中国語演習Ⅰ-1 中国語演習Ⅰ-2	2前 2後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成3年4月)	
48	兼任	講師	カキヌマ ツトム 柿沼 勉 <平成22年4月>		文学士		インドネシア語Ⅰ-1 インドネシア語Ⅰ-2 インドネシア語Ⅱ-1 インドネシア語Ⅱ-2 インドネシア語Ⅲ-1 インドネシア語Ⅲ-2	2前 2後 2前 2後 3前 3後	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成9年4月)	
49	兼任	講師	カク リミン 郭 麗明 <平成22年4月>		修士 (情報工 学)		情報中国語Ⅰ 情報中国語Ⅱ	1前 2後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成20年4月)	
50	兼任	講師	カラサワ コウイチ 唐澤 晃一 <平成22年4月>		修士※ (文学)		西洋史-1 西洋史-2 歴史学-1 歴史学-2	1前 1後 3前 3後	2 2 2 2	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成19年4月)	
51	兼任	講師	クチイ ノリコ 久池井 紀子 <平成22年4月>		文学 修士		日本語Ⅶ-1 日本語Ⅶ-2	1前 1後	3 3	3 3	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成8年4月)	
52	兼任	講師	クマガイ フミエ 熊谷 文枝 <平成22年4月>		社会学 博士		アメリカ社会論-1 アメリカ社会論-2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 客員教授 (平成21年4月)	
53	兼任	講師	ゲイリー ウォーレン キャンター Gary Warren Cantor <平成22年4月>		Ph.D. Philosophy (米園)		地域圏研究Ⅲ-1 地域圏研究Ⅲ-2	1前 1後	2 2	1 1	中央大学 教授 (平成15年4月)	
54	兼任	講師	サイトウ ケイコ 齋藤 圭子 <平成22年4月>		文学 修士		フランス語Ⅱ-1 フランス語Ⅱ-2	2前 2後	2 2	2 2	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成8年4月)	

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり平 均日数
55	兼任	講師	ショウジ クニコ 小路 邦子 <平成22年4月>		文学 修士※		神話学	1前	2	1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成21年4月)	
56	兼任	講師	スウ ビンリ 鄒 敏俐 <平成22年4月>		文学士		インテンシブ中国語Ⅳ-1 インテンシブ中国語Ⅳ-2 中国語演習Ⅲ-1 中国語演習Ⅲ-2	1前 1後 1前 1後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成19年4月)	
57	兼任	講師	スズキ リョウタロウ 鈴木 涼太郎 <平成22年4月>		文学士		ツアーガイド論 世界遺産観光論	3前 3前	2 2	1 1	相模女子大学 講師 (平成20年4月)	
58	兼任	講師	ダイゴ ミワコ 醍醐 美和子 <平成22年4月>		修士 (文学)		インテンシブ中国語Ⅲ-1 インテンシブ中国語Ⅲ-2	1前 1後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成20年4月)	
59	兼任	講師	タジマ ヒロヒサ 田島 裕久 <平成22年4月>		文学 修士※		日本史-1 日本史-2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成7年4月)	
60	兼任	講師	チヨウ ヨシエ 張 佳恵 <平成22年4月>		修士 (文学)		中国語演習Ⅱ-1 中国語演習Ⅱ-2	2前 2後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成18年4月)	
61	兼任	講師	トーマス ディロン Thomas Dillon <平成22年4月>		M.A. Teaching English as a second language (米国)		英語特論-1 英語特論-2 口語英語Ⅰ-1 口語英語Ⅰ-2	1前 1後 2前 2後	2 2 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成16年4月)	
62	兼任	講師	ナガイ ミヅヒト 永井 弥人 <平成22年4月>		修士 (文学)		中国事情 中国史-1 中国史-2	1前 1前 1後	2 2 2	1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成11年4月)	
63	兼任	講師	ノト ショウジ 能登 省二 <平成22年4月>		文学 修士※		フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語Ⅲ-1 フランス語Ⅲ-2	2前 2後 3前 3後	2 2 1 1	2 2 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成4年4月)	
64	兼任	講師	パク ミヨンジュン 朴 明燾 <平成22年4月>		博士 (文学)		韓国語Ⅱ-1 韓国語Ⅱ-2	2前 2後	2 2	2 2	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成20年4月)	
65	兼任	講師	ハム ジュワン 咸 周完 <平成22年4月>		修士※ (学術)		韓国語Ⅲ-1 韓国語Ⅲ-2	3前 3後	2 2	2 2	目白大学 講師 (平成20年4月)	

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の 職務に 相当する 相当たり 平均日数
66	兼任	講師	フルタニ ヒロミ 古谷 裕美 <平成22年4月>		修士 (文学)		英語Ⅲ-1 英語Ⅲ-2	1前 1後	3 3	3 3	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成19年4月)	
67	兼任	講師	ポール ナイトン Paul Knighton <平成22年4月>		M.A. Philosophy (米国)		英語総合講座-1 英語総合講座-2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成9年10月)	
68	兼任	講師	マリア ルルデス ドミ ニク アロンソ Maria Lourdes Domenech Allonso <平成22年4月>		B.A. English philology (西欧)		スペイン語Ⅰ-1 スペイン語Ⅰ-2 スペイン語Ⅱ-1 スペイン語Ⅱ-2	2前 2後 2前 2後	2 2 2 2	2 2 2 2	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成8年4月)	
69	兼任	講師	ミズオカ ミノリ 水岡 実乃里 <平成22年4月>		修士 (学術)		情報日本語	3前	1	1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成17年4月)	
70	兼任	講師	モリ コウセイ 森 公成 <平成22年4月>		文学 修士※		ドイツ語Ⅱ-1 ドイツ語Ⅱ-2	2前 2後	2 2	2 2	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成3年4月)	
71	兼任	講師	ユハラ イチロウ 柚原 一郎 <平成22年4月>		Ph.D. Linguistics (米国)		言語学-1 言語学-2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成20年4月)	
72	兼任	講師	ヨシダ ユキヒコ 吉田 悠樹彦 <平成22年4月>		修士※ (政策・メ ディア)		情報処理	1前	2	1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成21年4月)	
73	兼任	講師	シモカワ テツノリ 下川 哲徳 <平成22年4月>		博士 (保健学)		体育理論	1前	2	2	杏林大学保健学部 客員教授 (平成21年4月)	
74	兼任	講師	オйкаワ ヒロカズ 筈川 博一 <平成22年4月>		文学 修士※		宗教学-1 宗教学-2	3前 3後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 客員教授 (平成20年4月)	
75	兼任	講師	オオイシ マナブ 大石 学 <平成22年4月>		文学 修士		哲学-1 哲学-2	3前 3後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 兼任講師 (平成19年4月)	
76	兼任	講師	クラニシ マサコ 倉西 雅子 <平成22年4月>		修士 (法学)		地域圏研究Ⅴ-1 地域圏研究Ⅴ-2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 兼任講師 (平成11年4月)	

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の従事する 従事当り平均 日 数
77	兼任	講師	ハラ ケイスケ 原 啓介 <平成22年4月>		博士 (地理学)		地理学-1 地理学-2	3前 3後	4 4	2 2	杏林大学総合政策学部 兼任講師 (平成11年4月)	
78	兼任	講師	ハンダ ヒデトシ 半田 英俊 <平成22年4月>		修士 (開発学)		政治学-1 政治学-2	3前 3後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 兼任講師 (平成17年4月)	
79	兼任	講師	ヨネダ カオリ 米田 かおり <平成22年4月>		芸術 学士		音楽-1 音楽-2	3前 3後	4 4	2 2	杏林大学総合政策学部 兼任講師 (平成15年4月)	